



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員67名 出席56名 出席率83.58% 前回出席率78.87% 修正出席62名 確定出席率87.32%



第24期 鶴岡ロータリークラブ会長就任挨拶

中 江 亮 君

ご挨拶の前に、今郷愁に耽っていらっしゃる前期会長の新穂様のご苦労とご指導に対し感謝を申し上げます。

向笠R.I会長の“人類は一つ..”と云うターゲットを受けて石黒ガバナーは“友情の橋をかける我々の年度..”と云うテーマで、我々に行動を要請されてすでに作業を始められたのでありますが、この意義ある年度に、非才の私がすばらしい伝統と歴史の数々を誇る鶴岡ロータリークラブの第24代会長を仰せつけられ、この席から新任のご挨拶を申し上げる事は洵に光栄であり名誉な事です。

しかし乍ら私の場合に限り名誉とは、自分の力の届かぬ分不相応の大役を与えられることを意味するものと受けとめて、今後座右の銘とし乍ら誠実にご奉仕申し上げたい所存であります。

先づ最初に、1年間の仕事の基本となる私のロータリー観について申し上げ、他日いろいろと批判をいただき、ご教示を賜りたいと存じます。

ご承知の様に国際ロータリー発祥の当初にあっては、友情を土台にして奉仕の理論の確立と拡大の展望に力を注がれたと考えられますが、70年有余の歳月の経過の中でいくつかの奉仕部門が段階的に組織され発展したのであります。

社会の進化が進むにつれて複雑な法律が制定されると同様に、国際ロータリーも亦実に難解な多くのルールをもたらしたのであります。

新穂直前会長は“制多ければ危し..”と云う諺を引用されてロータリーの在り方を批判されましたが、全く同感であり、圧倒的多数のロータリアンが簡潔素朴な原点にあこがれを抱いて居られるのではなからうかと想像致します。

しかし乍ら、ロータリーが“組織された道徳..”と強調されているのは教育の思考を伴う宗教の一面と結びつけられた論理が育っている事は、興味深い事です。

私個人の考えを申しますと、ロータリーについて理論の武装をしたり、固くなな迄に定義付けを求めるよりも、日頃奉仕の実践を積み重ね乍ら試行錯誤を自ら繰り返す中で“体験..”を通して自らその真隨を会得するのが良いのではなからうかと思ひます。

ロータリーに教師が居ないと言われる所以もここにあるかと思ひます。

私たちのクラブの多くの先輩が自らのロータリー観に対して円熟した思想を持って居られるのも、この方法に依る事が多かったのではなからうかと想像しております。

以上の考え方からこの1年間クラブを運営する中で、

尊敬が友情の始まりであり

“友情が奉仕活動の伴侶..”であり

親睦が奉仕のための泉である

ことを認識して、これらが常に影の倚りそうが如くに組み合わせられて行く様、心がけたいと考えています。

全分野についての考え方を申し上げますと、私共のクラブには過去に於て先輩が作って下さった実績と歴史の大きな遺産を大切にしなければいけないと思ひます。そしてこの偉大な遺産の上に更により豊かな肉付けをされたらありがたいと思ひます。

今年は幸いに石黒ガバナーを擁しての年次大会が私共のクラブをホストとして開かれるのでありますが、この目玉商品を十分に活用して行くならば、之が当クラブにとりまして奉仕部門の全分野を網羅する総合奉仕活動のチャンスとならうかと存じ、力を竭して成功にご協力致したいと存じます。

次にクラブ年来の懸案について申し上げたいと思ひます。

先づ第1点としまして

長い間根強く定着している直立不動のロータリーソングから始まる例会のパターンの起源の程、又、その是非は分かりませんがロータリー修行や苦行の場ではないと思ひます。

例会の場は職業奉仕で疲れたロータリアンが片時の

休息を求めて何処の地からでも自由に飛び込んで来られるドライブインであるとも聞いています。ユーモアある雰囲気の中で食事、そして友達と楽しく語り合う中から友情が深まり、奉仕に対する理解が自ら芽はえて来るのではないかと思います。

特効薬は未だ見つかっておりませんが、S.A.A.、プログラム、親睦の各委員会を中心に努力してみたいと思います。

第2点としまして

新入会員の研修と同代の早期達成をとり上げていきたいと考えています。

私たちのクラブに切角お迎えした金の玉子を失望させたり、さびしい思いをさせてはならないと思います。



幹事就任挨拶

佐藤元伸君

私は当クラブの会員として5年前に最年少会員として入会させていただきました。入会以来諸先輩の方々よりいろいろと教えていただき、大変お世話になって参りました。

ロータリーを通じて自分の職業への取り組み方や自分の人間としての人生への取り組み方を含めて、大変参考になったと思っています。私は当クラブの中ではお金と能力は最もない会員と認識しておりますし、その上、暇と申しましょうか、時間的にも私自身が先頭に立ってやらないと成り立たない様な零細企業の責任者でございますので、当クラブの様な歴史あるクラブの幹事が十分に務まるかどうか大変不安に思っています。幸いな事に、会長さんが大変有能な方でございます事と、当クラブの会員の方々が大変友情厚き人達ばかりでございますので安心です。何とか誠心誠意、一生懸命務めまして皆様方に御迷惑をかけないでいける様に努力するつもりです。

今は大変な不況の時代といわれております。私の職種も建設業関連の管工事でございますので、倒産

S.A.Aから始まりロータリー情報、親睦の各段階を経て100日位の後に仲間入りの祝福を皆さんでしてあげたいと思います。

長々と申し上げましたことをまとめますと、

20年有余の歴史と実績を回顧し乍ら

友情を奉仕の伴侶として

活動計画目標の達成に微力を尽し、そして総合奉仕活動の場として年次大会の成功にご協力申し上げたいと云うことに尽きるかと思えます。

何卒会員の皆さんのお力添えに依りまして、1年の任を全う出来ます様ご協力をお願いしまして、就任の挨拶と致します。

件数等から見ましても最も厳しい業種の一つでございます。

我々業界では今、自然淘汰が行われている最中でございます。民間物件に於ては当然ダンピングは日常茶飯事でございます。私は県の管工事組合の役員と鶴岡市管工事組合の専務理事もさせられておりますので、ある程度業界全体の事も考えなくてはならない立場に居ります。しかしながら最も努力をして最もその職に適した者だけが生き残るのは当然と考えております。私といたしましては、他人に迷惑をかけるのではないは当然でございますが、不況のせいだとか、ロータリーが忙がしいせいにはしないつもりでがんばります。幸いにも昨年度に於いては、前会長幹事さんのあたたかい友情のもとに見習期間を充分にとっていただきまして、皮肉ではなく心から感謝申し上げます。

これからは、本番幹事としまして会長を助けながら会員の皆様方がより一層ロータリーを楽しむ事が出来ます様、心掛けながら頑張りたいと思っております。

早く一年が過ぎて諸先輩の方々の様に、心からロータリーを楽しむ事ができるようになりたいと思っております。

会長報告

- 7月1日開かれた青少年市民会議に川村徳男副会長出席
- 7月3日湯之浜亀屋ホテルで開かれた地区委員総会にホストクラブ会長として出席
- 理事会報告事項
 1. 委員会所属変更
風間真一さん→会員選考委へ

三井 健さん→プログラム委へ

中田敏和さん→ロータアクトへ

2. 名誉会員委嘱

斎藤第六鶴岡市長さん

酒井忠明さん

3. クラブ会計監査任命→黒谷正夫さん

4. 理事会にS.A.A.、副幹事オブザーバーとして出席すること

5. 三井賢二、上野三郎両氏病状報告とお見舞の件

6. 例会司会代行順序

会長不在代行 → 副会長 → 会長エレクト → 直前
会長
幹事不在代行 → 副幹事 → 直前幹事

幹 事 報 告

1. 会報到着

鹿児島西R.C 台中港区R.C

2. 新入会員の推薦に関する件

菅健氏の後任として、荘内証券株式会社鶴岡支店長の高田耕助氏が推薦された。若し同氏の入会に反対の方は、理事を介して10日以内に幹事まで報告下さい。



ガバナー就任挨拶

石 黒 慶之助 君

7月1日より新しいロータリー年度を迎えました。好むと好まざるにかかわらず、その時点よりガバナーに就任となった訳です。

本日の第1回例会におきましては、新穂会長より中江会長と、会長のボタンタッチがございまして、会長・幹事の心強い抱負のお言葉を頂戴し非常に喜んでおります。

私は就任早々7月1日から、東京でガバナー連絡会議に出席し、今までノミニー、ノミニーと言われて来たのが、ガバナーと言われてドキッとしたのが実感であります。

早速ガバナー会議に2日間出席しまして、午後には全国ファストガバナー、ノミニーがお集まりになり、約300名の集会が持たれました。

そこでR.Iの理事をやっておられる松平さんの近況報告やら、今年度から私共年度の理事になられる末永さんの話があり、R.I会長となられる向笠さんの考えも大分はっきりして参りました。

今日のこの第1例会に、私は会員のつもりで、その(一般席の方を指し)席に坐りましたら、この役員席の方に誘導されまして坐らせて頂きました。

追々とガバナーというものは、如何に責任が重いかということを感じるこの頃でございます。

先程中江会長からお話のあったように、3日の日は、第1回の顧問審議会と諮問委員会を第1インで午後からは湯の浜亀屋さんで大変盛大な地区委員総会を開催して頂きました。

これが、私のガバナーとしての第一関門でございました。

今月の16日からは、公式訪問を開始致します。

年度内は皆様と一緒にすることは少ないと思いま

ます。一生懸命廻ったとしても どうしても半年はかかるので、その辺はご賢察の上、せめてホームクラブに来た時は、やはりあの席の方が嬉しい感じが致しますので、気を使わないで頂けませんか!

公式訪問の時は、この席に坐らせて頂きますから、例会出席の時、どうか皆さんと同じ席に坐らせてほしいと思います。

何れにしましても、地区の小松幹事を始めと致しまして副幹事の方々が非常に重い荷物を上手に処理されまして、皆さんが前後の会合が余りにも多い為入れ変っているようなところも若干見受けられる程ですが、真剣に取り組んで頂いております。

真に有難いことだと思っております。

本日のガバナー月信に私の紹介が記載されていますが、これは私の最も尊敬する、ファストガバナー早坂源四郎先生に筆を取って頂いたものであり、私にとっても、勿体ないような紹介文であり、私は心から感謝申し上げている次第であります。

いずれにしましても、今年度は日本人の第2回目のR.I会長・向笠先生が就任される訳でありますので、どうぞ向笠年度を有意義なものにしたいと思って、私も一生懸命努力致しますので、皆様も一つご協力下さるようお願い致します。

本日からの新しいテーマは、二つに掲げられました。

日本語では友情の橋と言っておりますが、英語ではBridgesと複数になっています。一本の橋ではございません。何本も橋をかけようと言うことでございますので、ぜひ実現しようではありませんか。

これをもって私の就任のご挨拶に致したいと思えます。どうも有難うございました。

親睦活動委員会

会員誕生 黒谷正夫君、嶺岸光吉君、森田清治君、
中江亮君、佐藤順治君

奥様誕生 張秀子様、飯白安江様、小池英様、
風間富士子様(真一)、工藤利子様、
諸橋靖子様、中野ふみ子様、中村静子様
佐藤清子様(忠)、富樫貞様

出席委員会

年間皆出席

17年間皆出席	鈴木弥一郎
15	〃 早坂重雄
14	〃 小野寺清
11	〃 小松広穂
10	〃 森田清治
6	〃 石川寿男
3	〃 本山弥

6月120%出席 14名

6月100%出席 40名

新 会 員 紹 介



生年月日 昭和20年4月23日
本 籍 石川県金沢市
学 歴 昭和39年3月
石川県立金沢二水高校卒業
職 歴 東京海上火災浅草支社、宇
都宮支社、府中支社、日本
橋支社勤務を経て、

昭和56年7月鶴岡支社に転任

昭和57年7月鶴岡支社長に着任

体重58kg、身長165cm、足25cm、この20年近く全く変化のないサイズである。学生時代に100mを11秒7で走り、現在3kmを18分位のペースで早朝のジョギングを楽しんでいる。毎朝の目標が3日に1回の頻度になってはいるが…。又、ゴルフが趣味とはいえ110の壁に突き当たったまま前進がなく、待機中です。

すべてを計量化したくなる年代であるが、新たな目標、クラブ出席率100%にチャレンジしたく入会を機に秘かに燃えております。ロータリークラブとの出会いは昭和42～3年頃、栃木氏家クラブに紹介されたことに始まるが、その後具体的な接触もなく現在に至り全く白紙の状態です。幸いに森田清治先生のご推薦が得られ入会させていただけますが、よろしくご支援下さいますようお願い申し上げます。

鶴岡西ロータリークラブ会長・幹事挨拶

新会長 瀬尾助三郎
新幹事 斎藤 健治

貴重な時間をお借りして御挨拶申し上げます。この度、鶴岡西ロータリークラブの会長を勤める瀬尾でございます。又、幹事の斎藤でございます。

今年度は石黒ガバナーの年でございます。

年次大会並びに第4回のライラー研究会を行なうに当りまして、会員一同全力を盡してこれに当る覚悟をしています。

先日5月18日、鶴岡ロータリークラブにて、家政高校の御橋校長先生が零戦のお話をされた由、私は非常に感激をしています。私は零戦のパイロットの一員でございます。サイゴン、シンガポール、マニラ、ラバウル、そして終戦は台中でございます。若し沖繩に行っていたらお終いになっているところでした。

その頃の根性とファイトを持って、その任に当たりたいと思っております。

鶴岡ロータリークラブと、鶴岡西ロータリークラブの益々の友情が結ばれることを切望しまして、御挨拶と致します。

委 員 会 報 告

S.A.A委員会 委員長 石川寿男

S.A.Aを代表致しまして、今年度の活動計画の一端を申し上げ、御了解を得たいと思います。

前年度とたいした変りはありませんが、奇数月の第一例会には皆さんのお座りになる席をS.A.Aの方に指定させて頂き戴きます。

今日が奇数月の第1例会なので、委員会ごとにお席についていただきましたが、この様なことは何年間か例がございませんので、心のどこかに抵抗があるかと思われませんが、主旨は皆さん充分御理解の事ですので、宣しく御協力をお願い致します。尚、前年度のS.A.Aよりの申し送りに、スピーカーがスピーチなさっているときに私語が多いとの事でしたので、充分御自粛をお願い致します。

尚、今年度は会計の方で、諸事節約のきびしい要望がだされておられるようなので、S.A.Aとしましては、特に欠席なさる方は必ず前以て事務局にご連絡下さる様をお願い致します。

尚、お仕事、又は其の他の理由にて早退なさる方は、スマイルボックスが準備されておりますので当クラブの申し合せによりスマイルをなされて早退なさる様お願い致します。

又、親睦、プログラムの両委員長と月の最終例会後に会合を持ちまして、次の月の例会が出来得る限り楽しい例会である様努力すると共に、新会員の方々が一日も早く皆さんに同化出来得る様親睦委員会及びロータリー情報委員会等に協力を致しますよう会員各位の御助力をお願い致します。

最後に、S.A.Aがこの様にきびしい注文をつけたがために出席が悪くなりますと、出席委員長が大変迷惑致しますので、そういう結果にならない様、ロータリアンとしてのご友情に心からお願い申し上げます。S.A.Aの活動計画の報告とお願いを終らせて戴きます。

社会奉仕委員会 山口篤之助
社会奉仕委員会より、内川清掃作業につき協力が必要とされた。

1. 日 時 7月11日(日)
午前7時～9時まで
2. 清掃区間 十日町橋～三雪橋
3. 集合場所 消防本部裏広場
4. その他 おにぎり、手ぬぐいを準備していただきます。
ゴム長靴と手袋は着用して下さい。

ビ ジ タ ー

温海R.C 菅原鉄三郎君、渡部晃雄君
鶴岡西R.C 大川俊一君、本間文一君、
佐藤成生君、菅原年雄君、
瀬尾助三郎君、加藤有倫君、
斎藤健治君

例 会 メ モ

1. スマイルの標準額を次の如く黒板に示された。
- | | |
|----------|--------|
| 誕生祝スマイル | 2,000円 |
| 皆出席スマイル | 1,000円 |
| 無届欠勤スマイル | 1,000円 |
| 遅刻早退スマイル | 300円 |
2. ロータリー財団協力日について
奇数月第1例会が協力日です。
1人1\$以上の協力をお願いします。
1\$は円安で257円ですが、4捨5入で300円をお願いします。

(今週の担当者 石塚敏彦)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員67名 出席53名 出席率79.10% 前回出席率83.58% 修正出席62名 確定出席率92.54%

会 長 報 告

中 江 亮 君

- 本日の臨時理事会に於て今年度のクラブ予算が承認されました。後刻会計担当の森田清治さんから説明が予定されています。
- 小野寺清さんの退会が承認されました。
- 友好の塔を市で建立する計画が出来ているようで特に当クラブの意向をききたい申し入れがありましたので、新穂直前会長が出席する事にしました。
- 台中港区R.C. が年次大会慶祝団として20名程来訪される予定です。国際奉仕部門関係で歓迎実行委員会を作られては如何かと思います。
- 石黒ガバナーは愈々7月16日郡山ロータリークラブから公式訪問に入られるようですが、炎天の季節どうぞお体をお大事になされますよう祈念申し上げます。

自 57年8月21日(土)
至 57年11月6日(土)
土曜日10回 計20時間
(一般市民及び企業関係者対象)

ローターアクト委員会

ローターアクト・クラブ会長挨拶

R.A.C. 会長 清 和 由 雅 氏
幹 事 五十嵐由紀さん
前 幹 事 佐藤温子さん

愈々今月から1年間、私がローターアクト・クラブの会長を勤めさせて頂くことになりました。よろしくお願い致します。

昨年度は急に決まりました年次大会へのご協力を始め、今年度に引き継ぐに当りまして、様々の問題即ち会員の減少とか、クラブ活動に関する問題等、



クラブ活動そのものも危ぶまれたのではありますが、何とか少しずつではありますが、クラブ員の増員も見ることができました。

又、これから活動に対しての目標も、皆との話し合いにより、目標も定まり、少しずつ先の見通

しが見えて来たように思われます。

これも皆R.C. の方々のお蔭であると、先輩の皆様に対し、

私はローターアクト・クラブのメンバー。及び退会したOBである。R.A.C. のクラブ委員の代表として、本日前幹事・新幹事ともどもお礼方々ご挨拶に参上した次第であります。誠に有難うございました。

幹 事 報 告

佐 藤 元 伸 君

- 1時5分迄スケジュールを終らせたい。協力下さい。
1. インター・アクト指導者講習会記念写真 回覧
 2. 会報到着 東京R.C. 回覧
 3. 例会変更のお知らせ
7月19日の例会(温海R.C.)
11時 念珠ヶ関ビーチセンター集合
海岸清掃
12時30分 点鐘 念珠ヶ関ビーチセンター
登 録 料 1,500 円
 4. 鶴岡工業高等専門学校の講座案内
 - (1) 初級マイコン講座(中学生対象)
自 57年8月3日(火)
至 57年8月5日(木) 15時間
 - (2) これからの庄内の工業
"21世紀の庄内をめざして、"

庄内空港の建設を推進しましょう

今年度は又前年度以上に、今までにない活動、或いはインターアクト委員とのより密接な連絡を取り乍ら、更に幅広い活動を進めたいと思っております。よろしくご指導下さるようお願いして、ご挨拶とさせていただきます。

ほんとうに昨年度いろいろお世話をおかけして申し訳ありませんでした。よろしく願います。

委員会報告

◆ 決算報告 渡部利男君

1981年7月1日より1982年6月30日まで昨年度の収支決算書資料を配布し、収支及び繰越金等につき、一般会計、スマイル会計、交換学生会計、クラブ基金会計、ロータリー財団会計、そして特別会費会計等につき説明を行い、承認された。

◆ 予算承認 森田清治君

今年度の収支予算資料を配布し、年会費 13万円(半期65,000円)の範囲に収めたいと説明があった。

特に会報委員会は、活版印刷からタイプ印刷に変更し、昨年度より35万円の経費節減を計りたい旨説明があり、それぞれ承認された。詳細については、当日配布の資料を参照下さい。

◆ インターアクト委員会 藤川享胤君

7月11日、午後1時より、鶴岡高専グラウンドで我々ロータリークラブと高専インターアクトクラブとの交流親善ソフトボール大会が行なわれた。

当日は灼熱の炎天下、32度の高温の中、老骨にムチ打って意欲的な熱戦がくり広げられ、(鶴高専・鶴工高・鶴西高の)連合軍を32-7の大差で打ち破った。

もとより勝負は2の次、久方ぶりの土の上に立つ人も多いと思うが、意外の善戦にあとから来た会長もびっくり。びっくりついでに代打出場。

本塁打を打った人、出塁率100%の人、随所に好守、好打をみせた人等、疲れも楽しさに比例した一日であった。

とかく疎遠であったインターアクトとの親睦と交流ができたことは、大きな収穫であった。当日ご苦勞頂いた名選手は次の通り。

1. 板垣 広志 SS
2. 小松 三雄 1B
3. 藤川 享胤 3B
4. 新穂 光一郎 2B
5. 斎藤 隆 LF
6. 工藤 弘道 C
7. 秋野 忠 P
8. 田中(鶴工) CF
9. 東山(西校) RF
- PH 大森 健司 (RF)
- 〃 阿蘇 司朗 (2B)
- 〃 中江 亮
- 〃 篠崎(高専)

◆ 社会奉仕委員会報告(御礼)

今年度最初の奉仕活動の内川クリーン作戦を去る11日(日)に炎天下、早朝より行なわれました。

多数の方々からのご参加を頂きました。

本年は特に下記12名の多勢のご奉仕をいただき、汗を流していただきました事に、厚くお礼申し上げます。

参加された方々は、

- | | |
|----------|---------|
| 中江 亮会長 | 飯白 裕吉さん |
| 佐藤 元 伸幹事 | 大森 健司さん |
| 内山 喜一さん | 鈴木 茂男さん |
| 川村 徳男さん | 阿蘇 司朗さん |
| 三井 健さん | 石井 敬三さん |
| 風間 真一さん | 山口篤之助さん |

◆ ロータリー財団委員会 佐藤 衛君

ロータリー財団委員会より、会員の皆さんに御報告を申し上げます。

会員の張紹淵さんが前年度に引き続き、今年度も地区のロータリー財団推進委員をつとめられます。誠にご苦勞さんです。

特に今年度はR.I.向笠広次会長の年でもあり、又、当クラブから石黒ガバナーも出ており、誠に記念すべき年であります。そういった意味合いを含めて張さんは卒先して、昨日ロータリー財団に多額の御寄附をいただきました。

亡き生妹奥さんを含め御家族全員がすでにポール・ハリス・フェローとなられておりますが、先生の場合は史上まれにみるダブル・ポール・ハリス・フェローとなられた訳であります。

又、先般新穂前会長からも御話がありましたが、

石黒ガバナーの奥さん、石黒常さんも新たにポール・ハリス・フェローとなりました。

お二人の立派な奉仕活動に、会員の皆様から拍手を以てたたえて頂きたいと思えます。

❖ 青少年市民会議報告 川村 徳男 君

会長に代りまして、先日市の青少年育成審議会に当クラブが会員になっているので、出席して参りました。

内容は役員の改選でしたが、全員が留任再選されました。

財政面で、従来国・県・市より25万円づつの補助金が得られていましたが、今年度からは国・県の補助がなくなり、市一本になるようであります。その補強として一般法人の会費が年額1,000円で安いという点、又、青少年の家庭のお子さん達を育成する為、各ご家庭に呼びかけて、会費のアップを呼びかけようという申し合せが行なわれました。

❖ ニューブランズ ウィック訪問の件

新穂光一郎君

鶴岡市より、先日庶務課長を通じて、来る9月25

日(予定が9月23日であった)出発の鶴岡市の姉妹都市、

“ニューブランズ”ウィック市訪問団、にロータリークラブから何名か参加してほしいと要望がありました。

9月25日に出発、当日ニューヨークに到着。翌日はニューブランズ ウィック市を訪問し、日本人墓地等も墓参。

その後ニューヨーク市で開催される鶴岡織物組合の国際見本市に参加する予定です。

若し、これに参加して頂ける方があれば、事務局山下さん、或いは私の方に申し出て下さい。

❖ 親睦委員会 張 紹淵君

下記要領で親睦旅行を開催しますので参加下さい。

日 時	57年8月1日(日)	9時より
場 所	鳥海ブルーライン	
会 費	1,000円	
弁 当	各自持参	

お 知 ら せ

(私の職場)についてお願いとお知らせ

会報委員会委員より

今年の会報委員会が計画した“Member's Now”はメンバーの方々の写真入りで、その人の考え方が紹介され、非常に好評でした。

今年度は、現在ご活躍中の職場の内容を下記に示す項目等につき紹介して頂き、常日頃心掛けておられる奉仕の理想、或いは処世術を御披露頂く予定です。

順序は、メンバーのアルファベット順に進め度いと思えますので、会報委員から原稿の依頼がありました節は、何分のご協力をお願い致します。

尚、職場の紹介は控え目にしても、多少のPRにもつながると思えますので、掲載された時点で1,500円以上の“スマイル”をお願い致します。

準備してほしいものは、

1. 白黒写真 メンバーの入ったもの

2. 原稿 原稿用紙3枚以内(1320字)

(1) 会社名又は事業所名

(2) 所在地及び電話番号

(3) 代表者名

(4) 資本金

(5) 取扱品目又は生産品目

(6) 取扱能力又は生産能力

金額又は数量

(7) 従業員数

(8) 私の心訓又は常に心掛けている注意事項或いは処世術

注) 原稿用紙は当方指定用紙をご使用下さい。

地区大会(式典・会場・余興・大会S.A.A.)
合同打合せ会のお知らせ

大会幹事 佐藤 忠

式典部会長 小池 繁治

上記委員会と新に西ロータリークラブにお問い合わせしました。

委員の方々と地区大会の準備、方法等、関連

ある委員の連絡会として下記の要領で会議を持ちたいと存じます。

御多忙の折恐縮ですが、御出席賜りたくお願いいたします。

(1) 日時 7月16日(金) 午後5時

(1) 場所 中国飯店 本町二丁目

(1) 登録料 1,000円

出席をお願いした方々(敬称略)

鶴岡西クラブ 鶴岡クラブ

桜井 清 佐藤 衛 今野 清一

佐藤 成生 佐藤 昇 小松 三雄

野口 弥 中村 富昭 藤川 享胤

菅原 幸雄 富樫 良吉 佐藤 元伸

佐藤 進一 阿蘇 司朗

加藤 広 鈴木 茂男

阿部 光男 斎藤 隆

林権之助 若生 恒吉

プログラム委員会より

7月20日

「庄内の景気動向について」

鶴岡信用金庫専務理事 森田清治氏

7月27日

「すぐ役立つスピードメモ法」

東京中根速記学校長 中根正雄氏

8月3日

「鶴岡グループ内相互通話の改善」

鶴岡電報電話局長 佐々木栄一氏

職 場 紹 介

名 称 株式会社 阿蘇電機
代表取締役 阿蘇 司朗

創 業 昭和3年6月24日

会社設立 昭和24年4月1日

従業員数 6名

電化製品一般 小売・修理

住設関係一般 小売・修理

取扱いメーカー ナショナル・ソニー・日立
三菱・パイオニア・コロナ

地域に密着して、町医者たらんとし、常に顧客に対しては、笑顔・親切な応待とサービスに心掛け、従業員同志は、仲よく・楽しく日々を過し、お客様第一、信用第一、商品第一として、今日の仕事は今



日、相手の立場に立つこと、自分のわがままは他人を苦しめていることをモットーとして、人生には真の失敗はない、何事も前進する過程であることを私訓・私定にしています。

ビ ジ タ ー

鶴岡西ロータリークラブ

鶴岡西R.C. 鈴木 昭吾 君

〃 井上 彬 君

〃 佐藤 成生 君

ス マ イ ル

藤川 享胤君 親睦ソフトボール大会を記念して

山口篤之助君 初内孫誕生祝

佐藤 衛君 前委員長に続いて

中江 亮君 素晴らしい第2例会に感謝して

ゲ ス ト

R.A.C. 清和 由雅君

〃 幹事 五十嵐由紀さん

〃 前幹事 佐藤 温子さん

(今週の担当者 中江 哲夫

代理 石塚 敏彦)

鶴岡ロータリークラブ創立 昭和34.6.9 承認 昭和34.6.27 253地区

事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電話 0235 (04) 7711

例会場 鶴岡市馬場町物産館 3階ホール 例会日 毎週火曜日 午後 12.30~1.30



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 69 名 出席 53 名 出席率 76.81 % 前田出席率 79.10 % 修正出席 60 名 確定出席率 89.55 %

会員スピーチ

庄内の景気動向について

森田清治君



景気はいまひとつぱっとしない足踏みを続けているようです。為に景気対策を要請する声も聞かれますが、財政再建の最中、それに歳入欠陥の処理に追われ景気支援策を打ち出す余地はほとんどない。又為替レートは円安が続き、内外金利差に基づく長期資本の流出が円安傾向にさせている。

円安は国内物価に悪いばかりでなく、貿易面でも海外から批判を受けているとなると、景気拡大策として国内金利を引き下げれば、内外金利差が拡大して円安を助長させるし、金利を上げれば国内景気対策上よくない。

56年度の実質成長率は2.7%、57年度は予想で2%とか云っている。だが地元の皆様は現状の景気停滞を認めながらも先行きは売上も若干伸び、業況も回復、収益もなんとかもつのではないかと考えておられるようです。しばらく我慢をと思っておられるようです。

これは私がそう思っているものではありません。これから申し上げる170社のトップの方々がそうみておられるのです。でも我慢を取り違えてはこまります。首をすくめてじっとしておれば景気がよくなるだけでなく、高成長は望めないまでも、自己企業体の中の整備(合理化・省力化)をしながら物を造るにしても、造り方を変えるとか、小売店なら仕入に商品構成に工夫するとか、総てに創意工夫が伴わなければ、我慢は活きないのではないかと思います。

これが現経済の傾向かと思えます。

これから申し上げます内容は、一部7月13日付在日日報で発表されておりますので、私は7月～9月第2、4半期のトップの方々の考え方を申し上げまして、何かの参考になれば幸いです。

重ねて申し上げますが、これは私の考えでなく、庄内の170社のトップがこのように考えておるといふことであります。

《今後の見通し》

- 製造業の57年7月～9月期の見通しとして「受注額」は増加48%、減少16%、変わらず36%と、一部季節要因から増加とする企業はあるものの、現在の景況が今後も同様推移するとみる企業が多く、業種間跛行は依然続くものと予想しています。
 - 建設業においては、「受注額」「工事施行高」とも上昇とする企業が56.3%、「変わらず」「減少」とする企業も43.7%もあり、「競争の激化」「受注施行高の停滞減少」が今後もつづくとしているものの、景気対策の効果に期待する向きも大であります。
 - 卸売業については、季節要因からみて、農水産物建設資材関連が「売上額」上昇とみている。「単価」面では、多くの企業が「変わらず」とする中で仕入・販売とも「単価上昇」とみる企業がやや増えている。
 - 小売業では、「売上額」40%、「売上数量」40.9%の企業が増加するとみている。これはボーナスサマー商戦への期待高に、夏場の観光地業者への増加ウエイトが高くなっています。
 - サービス業においては、「売上額」で上昇とする企業が31.1%、減少とする企業が20%となっており、上昇とした企業は、写真・フィルム・旅館、減少企業は自転車・自動車修理業等、いずれも季節要因がらみである。「収益」「資金」面では、現状維持で推移するとみる企業が大多数であります。
 - 不動産業では、「売上額」増加企業40%、減少企業40%とみるなど、予想はまちまちである。「単価」面でも「販売」は変わらずとする企業100%、「仕入」で変わらずが80%、下降20%とみており、地価の上昇はないと予想している。
- 以上、本当にかいつまんで、7～9月までの第2

庄内空港の建設を推進しましょう

四半期の庄内地方の景気の動向を、170社の企業のトップの方々のお答えしたものを、そのままズバリ申し上げまして、私の務めを終わらせていただきます。

会長報告

中江 亮君

- 直前ガバナー作田正治先生他地区直前スタッフ連名で、去年1年間の協力に対するお礼の手紙が届いています。
- 会員の土野三郎さんが去る14日退院され、本日お元気で例会にお見えになりました。
- お手元に配られてあるガバナー月信2号に、地区委員会総会の各分科会の記事が集録されています。各委員でご参考にされますようお願いいたします。

幹事報告

佐藤 元伸君

1. 会報到着 鶴岡西R.C. 台中港区R.C. 回覧
2. 奥羽千種会第2回研修会のお知らせ
日時 昭和57年7月24日 13:30～18:30
25日 9:00～12:00
場所 蔵王温泉 大平ホテル
会費 年会費 24,000円
当日会費 5,000円
宿泊料 10,000円
3. 内川を美しくする会 会長・菅原藤治君
お礼状が届いております。
4. ロータリー名言カレンダー
ロータリアンとして日常心がくべき名言、格言座右の銘などの応募に興味のある方は、事務局に資料がありますので、ご応募をお願いします。

委員会報告

- ◆ インターアクト委員会 藤川 享胤君
鶴岡高専インターアクトクラブ

会長 奥山 仁志君
幹事 栗田 晃一君
会計 萩原 裕君

本日の例会に見えられ、会長及び幹事の両君がご挨拶。

8月3・4・5の3日間、天童に於て第252・253地区合同インターアクト年次大会が行われます。

- ◆ 親睦委員会 迎田 稔君

本年度第1回親睦家族会を、来る8月1日先にご案内の通り行いますので、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。尚クリスマス、タラ汁会も

新会員紹介

高田 耕助君



生年月日 昭和12年6月7日
荘内証券株式会社鶴岡支店長
ご家族 妻 高田紀子 36才
長女 高田 緑 13才
長男 高田耕生 9才
趣味 魚釣り(小物)

これから一つ一つ勉強してまいりたいと思いますので、皆様方のご援助をお願いいたします。

例年通り行う予定でございますので、ご期待下さい。

県内の建築工事で一年で一ヶ所、他の模範となる工事に授与される「山建賞」を、県立鶴岡南高等学校校舎改築工事に、温海佐藤組、鶴岡建設さんの共同企業体が受賞されました。

尚、鶴岡建設さんは国道7号線舗装工事で、東北地方建設局・局長賞を、温海佐藤組さんは県道余目温海線道路改良工事で「山建賞」を、それぞれ受賞されました。おめでとうございます。

- ◆ 地区大会庶務委員会 川村 徳男君

年次大会の案内状が出来上がりましたので、本日発送致したいと思います。

- ◆ 土野三郎さん退院ご挨拶

スマイル

富樫良吉君 「山建賞」「東北地建局長賞」受賞して
佐藤 衛君 「山建賞」受賞して
藤川享胤君 荘内日報さんに職場紹介をして頂きましたので
佐藤友吉君 第一インの試食会に遅れましたので
佐藤元伸君 年次大会の佐藤幹事さんにご迷惑をおかけ致しましたので
阿蘇司朗君 職場紹介の掲載によりまして

ピジター

余目R.C. 佐藤孝二郎君
鶴岡西R.C. 鈴木昭吾君、阿部光男君
瀬尾助三郎君、菅原年雄君

ゲスト

鶴岡高専I.A.C. 奥山 仁志君、栗田 晃一君
萩原 裕君

(今週の担当者 松田 貞夫)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員69名 出席49名 出席率71.01% 前回出席率76.81% 修正出席60名 確定出席率89.55%

会 長 報 告

中江 亮 君

○ 悲しいお知らせであります。去る7月22日午後1時45分、長い間病床につかれていた当クラブのチャーターメンバーである斎藤栄作先生が亡くなりました。先生は昭和39年に第6代会長としてクラブ発展のため多くの貢献をされましたが、就中鹿児島西ロータリークラブと姉妹クラブを結ばれ鶴岡・鹿児島両市の今日の交流の礎を築かれた事は皆さんの周知の事と思えます。また先生はロータリー財団にも多くの貢献をされ、ポールハリスフェローの榮譽を受けておられます。当クラブにとって年次大会や難題の多い時に先生を失った事は、洵に大きな損失であります。本日午後1時から龍蔵寺において葬儀が行われますが、会員の皆さん出来る限り大勢参葬されて、先生のご冥福をお祈り申し上げたいと存じます。

○ 7月25日酒田東急インにおいて分区分会長・幹事会が行われました。詳細については次の例会で申し上げますが、IGFの役員について申し上げます。

※アドバイザー

社会奉仕部門～三井健君 小池繁治君

国際奉仕部門～張紹洌君

※モデレーター

職業奉仕部門～鈴木弥一郎君

○ 8月3日～5日にかけてのI.C.年次大会、8月8日のロータリー学友の会の出席等関係委員長さん(国際青少年交換・米山奨学・財団)ご準備の程お願いします。

幹 事 報 告

佐藤元伸君

1. 例会変更のお知らせ

○ 立川R.C.より 7月29日(木)の例会を下記に変更

日 時 7月31日(土)

点 鐘 PM12:00

会 場 立川町コミュニティセンター大ホール
東京立川R.C.との合同例会のため

○ 温海R.C.より 8月2日(月)の例会を下記に変更

日 時 8月2日(月) PM6:30 点鐘

会 場 ねずがせきビーチセンター

登録料 5,000円

納涼家族会のため

○ 鶴岡西R.C. 8月6日(金)の例会を下記に変更

日 時 8月6日(金) PM6:00 点鐘

会 場 大山楼

登録料 3,000円

納涼家族会のため

2. 三井賢二氏より退院のお礼状が届いております。
3. 地区社会奉仕委員長・平松信武氏より当クラブ社会奉仕委員長へ、クラブの状況調査書が参っております。
4. ローターアクト地区代表・田村仁一氏より、本年度第1回リーダーシップ研修会の開催案内
日 時 57年7月31日(土)～8月1日(日)
場 所 天童市 山形県青年の家
大会テーマ ローターアクト再発見
登録料 R.C. 2,000円 R.A.C. 1,200円

委 員 会 報 告

◆ 親睦委員会

張 紹 洌 君

下記要領で親睦旅行を開催しますので、会員・ご家族の方多数ご参加願います。

日 時 57年8月1日(日) 午前9時

場 所 鳥海ブルーライン

会 費 1,000円(弁当各自持参)



故斎藤栄作先生
を 偲 ん で

嶺岸光吉君

7月22日午後2時過ぎに先生の急逝の知らせを受けました。唯々先生を喪った想いで、哀悼痛惜に堪えません。先生は、昭和34年6月チャーターメンバーとして入会し、昭和39年には第6代目の会長となり、鹿児島西ロータリークラブとの盟約を結ばれ又、ポールハリス・フェローを受賞されました。その数々の残された業績は多大なものであると思えます。先生と私との心のふれあいは、勿論ロータリーに入会して友情を深めあうこと21年の間、先生は温厚で包括力のあるすばらしい先輩であったと思います。今年の3月頃に、「嶺岸君、僕は暫くの間新潟瀧病院

で少し療養するから、ロータリーの事はよろしくたのむ」との事でした。新穂さんの会長時代に先生は財団委員長で私が委員でした。先生は責任感の強い人で賜暇願いを出されて入院されました。3ヶ月程で退院されましたが、退院後数回検査で新潟病院に行かれたそうですが、3時間程かかる道程で、先生は数回車を止めて小憩するほどで、先生にしてみれば苦痛であったのではなかったかと思われます。又先生は、自分の事で家族にもあまり余計な事を話すような性格ではなかったかのように思われます。6月、会員の三井賢二君が斎藤先生に入院お見舞いに行った時、先生と一時間程雑談しながら早く元気になって、今年の秋こそ又スズキを釣ってやると張切っていました。四年前に釣った3尺程のスズキの魚拓を出し何年前釣ったものでも昨日釣ったかのよう

大きなものは、これが最初で最後かも知れないと話した事が本当に最後になってしまいました。先生は黒鯛よりもスズキは相当釣上げたと思います。先生は職業柄手術を終えて出かける夜釣が多かったと思います。2年前の秋、先生と2人で波渡の留棹庵に渡り黒鯛1人一匹づつ釣上げた時の先生の顔が今でもはっきりと思い出されます。又、男鹿半島では、猛吹雪にあい、私の脇にいる先生の顔が見えないような日に出かけた事等、数々の憶い出を迎れば、萬感交々胸に迫り惜別の情に堪えません。今、我々は心の光を失ったような想いです。先生は私共に無言の裡に示された様々の御訓え、そうして慈愛に充ちた数々の想い出は生涯わすれることはないでしょう。先生の生前のご活躍を忍び、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

職 場 紹 介



名 称 荘内三菱電機商品販売株式会社
代表取締役社長 早坂源四郎
創 業 昭和20年12月
会社設立 昭和23年5月5日
従業員数(役員共) 46名
事業内容 1. 三菱電機製品の販売並に仲介業務
2. 前条機器の修理・設計・施工・保守並に関連工事の請負
3. 前各項に附帯する一切の業務
資 本 金 2,400万円

終戦直後、家内の縁故で東京より疎開。仕事を始めてから37年を経過しております。子供達は庄内米のお蔭ですくすくと成長し、現在は東京、横浜、広島で幸せな生活を送っている。私は荘内、特に鶴岡の地域社会に常に感謝し、特に鶴岡をこよなく愛している。

会社のスタッフ、役員は創設以来の従業員で構成されている。

経営理念として添付写真の示す通りの理想目標を掲げている。

鶴岡の地域社会の発展と共に、会社の業務が今後益々伸展する事を常に祈念している次第です。



名 称 株式会社 亀屋ホテル
代表取締役 阿部与十郎
創 業 明治6年3月1日
会社設立 昭和33年10月16日
所 在 地 鶴岡市湯野浜 1-5-50
社 員 数 65名
設 備 客室71(収客人員400名) 大広間2 中
広間2 会議室(200席) 割烹 軽喫茶 クラブ
売店 温泉プール(児童用) 駐車場

創業以来「お客様には真心をもってお仕える」ということをモットーとしている。経営者は代々襲名し、必ず新築工事をしてまいりました。先々代、先代共に目標を大きく持ち、その実現に努力してきた事です。そしてそれは常にご来湯になられるお客様に満足の得られるような事が土台になっているのです。現状は厳しいものがありますが、宿命的に指導する立場にある事は、自分自身の内容の充実を計り、不言実行すべきであると決意しています。
stady as usual 努力不熄 これが私の座右の銘です。

ビ ジ タ ー

鶴岡西.R.C. 笹本森雄君、原田行雄君、加藤有倫君
(今週の担当者 今野清一)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 69 名 出席 52 名 出席率 75.36 % 前回出席率 71.01 % 修正出席 58 名 確定出席率 84.06 %

会 長 報 告

中 江 亮 君

- 会員の染野檀君のお母さんが亡くなりましたので昨日弔電を差し上げました。ご家族は九州の福岡です。
- 先週の例会は丁度故斎藤栄作先生のご葬儀と重なってあった為ご報告出来なかったが、7月25日酒田東急インで庄内分区の第1回会長・幹事会が開かれ、分区代理の土門敏雄先生から地区関係事項について、又年次大会幹事の佐藤忠君から大会関係事項について説明あった後、I.G.F.、各クラブの重点活動目標について協議が行われましたが、各クラブの素晴らしい活動のアイデアを拝聴して、当クラブとしてかなり参考になり勉強させられました。因みに I.G.F.は9月5日12時30分遊佐中央公民館で開かれますが、多数のご出席をお願いしたいと思います。特に新しい会員の方のご出席は非常に意義あることかと思しますので、今から都合をつけていただきたいと思ひます。尚、職業奉仕部門のモデレーターとして内山喜一君をお願いします。
- 鶴岡市青少年育成市民会議部会部員の推薦を依頼されましたので、組織育成部会員として理事には津田晋介君、部員には秋野忠君を推薦したいと思います。
- 斎藤胃腸病院さんから会葬お礼の書状が届いています。
- 柏ロータリークラブ・高島ロータリークラブからバーナーが届いています。こちらからもお送りしたいと思います。
- 年次大会の R.I.会長代理に台湾の英子珊パストガバーナーが指名されました。
- 年度始めの会報・ガバナー月信・ロータリーの友には大変大事な事項が載っておりますので、是非お読みいただきたいと思ひます。

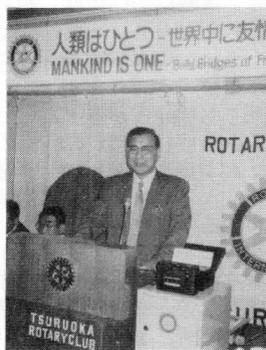
幹 事 報 告

佐 藤 元 伸 君

1. 例会変更のお知らせ
余目 R.C. 8月6日(金) PM 7:00 点鐘
場 所 余目町商工会館
登録料 3,000 円
ゆかた例会の為
2. バーナー到着
 - (1) 第 279 地区 柏 R.C.より
千葉県柏市柏 1-1-11 ファミリーかしわ 5F
事務局長 真田慶久氏
 - (2) 遊佐 R.C.より

3. 1982~83 I.G.F.の案内
9月5日(日) 11:30~12:25 受付
点 鐘 12:30
懇親会 16:00~17:30 15名以上出席の事
4. 猪苗代 R.C.
R.Y.L.A.研修会の報告書到着
5. 山形南 R.C.
創立10周年記念誌“10年のあゆみ”が到着
6. 前橋北 R.C.
第 256 地区前橋北 R.C.4月5日創立総会を行い、5月13日に正式に加盟認証状を受ける。
伝達式は11月7日(日) 於 群馬県民会館

ビジター挨拶



分区代理 土門敏雄君
今日鶴岡ロータリークラブの例会に参加させて頂き、皆様の活動の素晴らしさに驚いています。

私は現役の医者である為、ホームクラブの出席率は100%で、今までメークをしたことがありません。その私がはたして分区代理の仕事を務められるかと甚だ心配しております。

皆様のご協力、ご指導の下に、何とか全うしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

9月5日に遊佐にて I.G.F.を計画しています。皆様方多勢のご参加をお待ちしております。

今年一年、よろしくお願いして、スマイルさせて頂きます。

委 員 会 報 告

1. 親睦委員会
 - (1) 会員誕生
早坂源四郎君、三井徹君、三井賢二君、佐藤陸男君、庄司嘉男君、佐々木栄一君
 - (2) 奥様誕生
阿蘇幸子様、藤川一子様、風間慶子様、三井章(健)、手塚峰子様、吉野英子様
 - (3) スマイルのお知らせ
石黒慶之助君 ロータリーの友へ記事が載ったので
阿部与十郎君 会報へ職業紹介が載ったので
中村 富昭君 南校電気工事受注
2. 年次大会報告 事務所を産業会館3階に開設

庄内空港の建設を推進しましょう

3. 親睦家族会報告

8月1日に家族親睦会、鳥海ブルーラインを40名の参加者とデラックスバスで実行できたことを報告します。

4. 出席委員会

7月175%出席	1名	中江(亮)
7月150%出席	1名	佐藤(元)
7月100%出席	47名	

会員スピーチ

鶴岡グループ内相互通話の改善について

鶴岡電報電話局長
佐々木栄一君



与えられた演題は「鶴岡グループ内相互通話の改善」ということですが、まず最初に、鶴岡管内の電報電話の状況についてお話ししたい。

電報については、明治13年8月サービスが開始され、現在年間73,000通程扱っております。そのうち約88%が慶弔電報で占められ、残りの12%の大半が為替電報やサラ金の督促であり、人の生き死になどの緊急連絡は電話の方に役割が移っていきつつあります。

また電話については、明治41年12月にサービスが開始され、今年で74年になりますが、鶴岡では126加入でスタートし、その頃の1番は家中新町の土屋久朝さん、144番が西田川郡役所、155番が鶴岡町役場と記録に残っております。現在ではエリア内の電話機数は43,315となり、一部藤島町内に1,000程の地域集団電話が残っておりますが、今年9月下旬には一般電話になる予定で、これが完了すると、鶴岡エリアの中は全部一般電話となります。

電話の普及率は100人当たり28.5で、全国から見ると低く、特に周辺の町村は県内のみにても低い方でまだまだ普及の余地があると考えております。

また、鶴岡の電話の特徴は、共同電話の設置数が全国で一・二を争うほど多いことで、設置比率でみると21.6%となっており、この共同電話は色々制約が多くて不便な電話なので、できるだけ単独化していただくよう努力しているところです。今までに約170億円ほど設備に投資しておりますが、今後さらに充実して参りたいと思います。

一方公衆電話については、1,000人当たり7台と普及率は全国並みとなっており、ファクシミリについては、特にミニファクスの御注文が多く、好評を得ております。このファクシミリは、現在アナログ方式の電話回線で送っておりますが、最近東京・大阪間にサービス開始されたファクシミリ専用回線を使用すれば、安い料金で送ることができ、例えば90秒で約240円位かかるものが50円程で済むことになり

ます。このようなデジタルのネットワークは、おいおい全国に普及していくと思いますが、公社では今後10～15年を目途にすべてのネットワークをデジタル回線に統一する計画を進めております。いわゆる高度情報通信システム（INS）といわれるこのネットワークは、デジタルデータ交換と光ファイバーの2つの技術を柱として進められるもので、まず東京三鷹地区にモデルシステムをつくって実験をはじめ、この成果を筑波の科学万国博で世に問う予定で今年からはじまりました。

さて、本題の鶴岡グループ内の相互通話の改善ですが、これについては去る7月29日、当局エリア内の一市五町一村（温海町を含む）および鶴岡商工会議所、同電信電話ユーザー協会から当局に要望陳情書が出されましたが、58年度中に実現してほしいとの要望であり、上部にもブツとしてあります。交換設備改善の工事もあるので、時期については今のところはっきり申し上げられませんが、できるだけ早い機会にご要望にそえるよう努力したい。

通話料金の識別は市外局番でおこなっており、鶴岡エリアは0235で識別されております。ご要望が実現した場合は別紙資料のように市外局番は0235、市内局番はそれぞれ2ケタとなる予定です。

鶴岡エリア内の0発信通話は1日約45,000ほどですが、その43%の約20,000がグループ内の相互通話であり、この通話が6ケタだけで通話できることとなります。ダイヤルする回数も少なくなることにより、ダイヤルミスも少なくなり、大変便利になります。

また、局番が変わったことをご存じない遠方の御得意様からの通話が前の番号でかけてきてもつながるようなしくみを、一応とっておく予定です。

最後に、この機会をお借りして一・二点お願いをしたいと思います。

最初に、電話帳についてですが、ご家庭によっては毎回の配布は不要だとおっしゃるお客様もおりますが、省資源ということもあって、各ご家庭に電話で照会して、ご不用な家庭には配布しないような方法も考えておりますので、その節はよろしくお願い致します。

また、昨年は“がんばれ山形の若者たち”のキャンペーンを行いました。今年は山形のおかあさんにごがんばれの声援を送ることになり、現在作文と似顔絵を募集しておりますので、ご協力のほどをお願い致します。

はじめにちょっとお話ししましたINSについては、これからの時代に大きなインパクトを与えるものと予想されますので、同封の資料により是非ご理解をいただきたいと存じますが、いづれ機会をみてもっと詳しくご説明したいと考えております。

ビ ジ タ ー

鶴岡西R.C. 佐藤成生君、菅原幸雄君

ゲ ス ト

遊佐R.C. 土門敏雄君

(今週の担当者 石塚敏彦)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員70名 出席51名 出席率72.86% 前回出席率75.36% 修正出席62名 確定出席率89.86%

会員スピーチ

新規事業について

庄内交通(株)専務取締役
本山 弥 君



まず、私どもの本業でありますバス事業の実態から申し上げますと、乗合バスにおきましては、今年度決算で5億円の赤字でありました。これは私どもだけでなく、東北では1社として黒字はありません。全国的にみて75%が赤字。山交は1億3千万円、新潟交通9億5千万円の赤字という状態です。

このように本業で飯が喰えなくなると、否応なく何かをやらねばならなくなって来るのであります。

私ども何年か前に皆さまに大変ご迷惑をおかけいたしました。その時の反省から、再びあのようなことのないよう種々手がけて来たつもりであります。

当時1社しかありませんでしたが、現在種々な事業を含めまして12社設立しております。そのうちホテルは建設して1年一寸ですから水面下ですが、その他は何とかやっております。

一つの事業を始めるにあたりまして、出たとこ勝負は私の経験からいっても非常に危険だと思います。一つの事業が、何らかの形で他の事業と相乗効果を生むような事業の展開が必要だと考えます。

私ども何年前、庄交モールの建設以来、種々やって来ましたが、あの時考えたことは、ただ箱(売り場)を作って物を供給すれば良いというものではない。一つのプロジェクトはある程度将来のテーマを持ちながら展開すべきであろうと考えまして、爾来あの地点におきましてホテル等種々併設して参りました。世の中衣食住が生活の基本でございますので、これを中心にやって来たわけでありました。

ところがこう不景気になって来ますと種がなくなって来ます。種がなくなって考えましたことは「私どもバス事業を中心としたサービス業は手段の提供である。手段の提供の仕方は時代とともに変る。事業のあり方も時代に追いついて行かないと大変なことになる。企業にも人間の寿命と同じく寿命があります。だから事業そのものをどう変化させ、付加価

値を高めて展開して行くか」ということであります。

最近不景気ですが、これは当分良くならないと考えます。日本の経済活動の基本は石油です。石油の安定供給、又は値段が安定しない限り日本経済は良くならない。油が高ければ電気、素材等経済活動の基盤全体に影響します。このことを考えますとすぐ景気が良くなる期待は出来ないのであります。

そうなって参りますと、先程申し上げましたように毎年のバス赤字をどう埋めるか、ここ何年間は何とか埋めて来たが、これからもバス事業を止めることが出来ないならば何らかの形で埋めて行かねばならない。となるとこれまた何かをやらねばならんこととなります。

これからは高令化社会です。余暇をどう過すかが大切な問題になってきます。このことからスポーツ関係産業及び余暇に関連して従来の押しつけでなくして自分の趣味、自分の身につけることをやりながら余暇を過す文化産業を考えてみる必要があると思えます。ただ私ども事業ですからペイして行かねばならない。そこで石油を使わないで何かを……と考へ、実は温泉を掘ろうということになりました。役員会でもモメましたが、私は温泉を掘って湯に入るのではなく、これをエネルギーに変えたいと考えています。県とか専門家をお願いして去年の暮から掘削現時点で34.6度、湯量は毎分780ℓ噴出しております。温度はもう10度位上る予定ですから、大体初期の目的に達しております。これをエネルギーに転換できますと、相当消エネになります。

もう一つのスポーツセンター、文化施設になりますと賛成半分、反対半分であります。

「80年代は地方の時代」「開発に鶴岡らしさ」といわれます。だから他所でやって良かったから鶴岡でもとなると「大都市のコピー」になります。とはいいまして大変むづかしいことですから、日本のプール施設や外国のものをあちらこちら拝見して来まして、それはそのまま鶴岡に持ってきても駄目ですからアレンジしてやっています。

内容はプールが25mコースを6コース、テニスコート4面、ラケットボール6面、アスレチック、サウナ等総合的に作って行きたいし、料理教室等の文化教室を3教室多面的に作って行きたいと考えています。この事業につきましては日新精糖でやっている新宿のルウ・スポーツ施設(年間24億の売上げ)と技術提携することにしてあります。

来年3月末オープンの手配ですが、あまり前例がない事業ですので、私の方の推移をみて決めようという会社が50社程あります。私の方は試金石でありますので何とか頑張りたいと考えております。皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

庄内空港の建設を推進しましょう

会長報告

中江 亮君

- 長崎市の水害に対して見舞金を送られる様ガバナー連絡会議から通達が入っていますが、近いうち理事会で検討したいと思います。
- 鶴岡市長さんから、米国のニューブランズ・ウィック市を親善訪問するにつき、鶴岡ロータリークラブからも代表者を派遣されたいと言う要請が来ています。会員の新穂直前会長からすでに訪問の希望が出ていますので、これをふまえて理事会で検討したいと思います。
- 出席率が最近90%に達していないので会員各位の一層の協力をお願いしたいと思います。地区の去年の平均は92.08%でありましたが、90%台を維持しているクラブは会員も増強されて繁栄しているそうです。当クラブも是非共93%達成をしたいと考えますので、皆さまお忙しいことと存じますが、出席の意義を理解されましてご協力下さいます様お願いします。
- 8月8日福島に於てガバナー主催の会員増強拡大セミナーが開かれましたが、会長代理で出席された川村副会長から次週あたりお話を聞きたいと思えます。前年度から2名減となっていますので、そろそろ増強をして年次大会を迎えたいと思えますので、会員増強委員会の特段のご努力をお願いします。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 例会変更
鶴岡西R.C. 8月20日(金)の例会
時間 午前6時30分
場所 善宝寺斎館
登録料 1,500円
ファイヤーサイド・ミーティングの為
2. 会報到着
鹿児島西R.C.
3. 地区組織のあゆみ
R.I.第253地区
4. 年次大会ご案内
第267地区松山西R.C.
11月12.13.14日開催
5. R.I.第279地区 柏R.C.
会報到着 柏・柏西・柏南R.C.より
事務局より 7月30日訪問に伴う各種資料
及バーナー等のお礼到着
バーナー 柏南R.C.
創立20周年記念誌到着

ビジター

山形北R.C. 宮本卓君
鶴岡西R.C. 井上彬君、菅原年雄君、原田行雄君

◇三井賢二さん退院ご挨拶

(今週の担当者 中江 哲夫)

委員会報告

◆ インターアクト委員会

インターアクト年次大会に出席して

鶴岡高専インターアクトクラブ
栗田晃一君



去る8月3.4.5日の3日間、天童市「青年の家」において開催されました。今回の年次大会はインターアクト創立20周年にあたり、“友情を深め奉仕の心をつかもう”をテーマに252・253地区合同の計27校が参加しました。

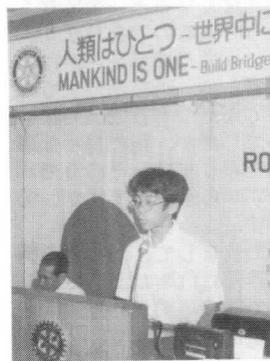
5班に分かれての分科会、ダニエル・カール氏とロータリー奨学生を招いての講演会、七宝焼や

はり絵等の創作活動やレクリエーションは、学校または個人的な親睦の場、情報交換の場として大きな役割を果し得た大切な機会であったと思えます。

今までは同じ253地区内での交遊しか図れなかったのですが、今大会では、252地区に19年前で日本では1番初めに創設された仙台育英高校インターアクトクラブがありますが、そのような伝統的なクラブと一緒にしましての3日間の活動は大変参考になりました。

鶴岡工高インターアクト会長

桜井峰夫君



工業のインターアクトはここ2～3年ほとんど活動していなかったので僕が会長になったのを機に少しずつ活動を増やしてゆきたいと思っています。

ロータリークラブとの接触も行ないまして、協力して頂きたいと考えますのでよろしくお願い致します。

◆ プログラム委員会

8月17日

「国鉄と観光キャンペーンについて」

鶴岡駅長 飛田昭造氏

8月24日

「最近の諸情勢について思うこと」

荘内証券(株)鶴岡支店長 高田耕助氏

8月31日

「鶴岡市の建設行政について」

鶴岡市建設部長 阿宗 隆氏

9月7日

「雑感」

鶴岡日石(株)社長 中野清吾氏



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員70名 出席51名 出席率72.86% 前回出席率74.29% 修正出席57名 確定出席率81.43%

ゲストスピーチ

国鉄の現状と課題について

鶴岡駅長 飛田昭造氏

今日は国鉄の現状ということでお話しをしてと云うことで、次の4点についてお話し申し上げたいと思います。

1. 国鉄の現状

昔国鉄と申しますと青少年の憧れの的でしたが、今の国鉄は、膨大な赤字をかかえている企業でありますし、サービスが悪い、運賃が高い企業だとも云われ、それから働き度が悪いとも云われております。それでは国鉄の赤字はどの位なのか、業務量はどうかと申しますと、56年度には約1兆7千億円の赤字を計上致すこととなります。国鉄が赤字に転落したのは、昭和39年からで、業務量が前年を割ったのは、旅客は49年以来で、貨物については45年からでございます。ここで全国データでなくて身近な鶴岡駅のデータで説明申し上げますと、48年を100とした場合の56年の数値は、普通乗車人員では40.3%、1日に1,000人落込んでいたり、定期乗車券は54.7%1日約1,900人の落込み、貨物では発送噸数で41%落込んでしまいました。何故この様に国鉄離れが起きたのかと申しますと、道路網の整備による自動車の発達及び時間の節約というニーズにあった航空機の発達等、国の輸送体形が大きく変化したことと、国鉄が世の中の発展変化に速に対応していなかったことが挙げられ、又あまりにも運賃料金が高くなり輸送コストが高くなったこと、大別すれば3つがあります。

2. 何故国鉄が、国民から注視されるのか。

今国鉄は国民の皆様の厳しい批判を浴びておりますが、先づ職場規律の問題が挙げられておりますが、何故国鉄が国民の注視になっているかと云うと、国鉄が国民の足として、極めて密着していること、国鉄の赤字がただちに国民の皆さんの負担となることです。具体的に云えば税金が増えることです。国鉄は今政府から財政補助金7千3百億円の補助を受けております。国民が約1億人とすると、1人当り年間7千円の税の負担を願っていると云うことです。このように税のご負担を願

いながら、1兆円という赤字をかかえているのが国鉄の現状であります。

3. 国鉄はこの財政危機をどう打開するか。

国鉄の経営改善には、輸送量の増を計り、運賃の改正、業務の効率化、国の助成を願うことの四つが考えられますが、現段階では、輸送量の増、運賃改訂は望みなく、残された国鉄自身の効率化しかございません。国鉄労使の「親方日の丸」的甘えの改革が是非必要であります。遅まきながら国鉄は意識改革の気運が高まりまして、従来の悪慣習の是正に取り組んでおります。サービスにも配慮する意識改革を行い、次に大きな問題である企業努力をして行くつもりであり、積極的な施策による収入の確保、そして輸送コストの低減を計るということで、徹底した効率化、合理化を計るために、都市間輸送、大都市圏旅客輸送、大量定型貨物輸送については、安全、大量、法則という鉄道の特性を生かしてゆくは勿論反面鉄道の特性を發揮し難い地方線区については、徹底したコストの低減化を計ることにしております。その為には昭和60年度までに職員数を32万人以下にしなければなりませんし、来年度は新規採用を中止し、本年11月のダイヤ改正には大きな合理化を実施することに致しております。

4. 新幹線時代の庄内

本年11月に開業致します上越新幹線の利便性は、新潟・上野間に初めて急行が走ったのは、昭和27年10月で、所要時間は6時間でありました。その後37年6月に特急が走り4時間40分で運行されましたが、本年11月に新幹線の開業となり、新潟ー上野間は1時間45分に縮まってきたという驚異的なスピードアップで、従来鶴岡から東京は日帰りができませんでしたが、今度は東京滞在時間が約4時間、従いまして多少のビジネスであれば、日帰圏に入った訳です。そして新幹線開業後の庄内はどのように変化するかと申しますと、新幹線によって時間距離が短縮され、今まで以上に旅行の足が延びると思われれます。新潟県の観光地よりも、出羽三山、海、温泉のある庄内の観光地が見直され、関東圏、中京圏、関西圏の観光客が庄内地方に来ると思います。観光客はより時間が短く、しかも遠くへ行ってたくさんの観光地を廻りたいという心理が有りますので、私達国鉄は新幹線の効率を挙げるために、庄内へ観光客の誘致に取組み、庄内の経済発展に寄与したいと考えております。

庄内空港の建設を推進しましょう

会長報告

中江 亮君

○本日は報告事項は特にございませぬ。本日のゲストとしてお出で頂いた飛田鶴岡駅長さんのスピーチが始まるまでの間、ロータリー談義をご自由にして下さい。

尚、年次大会の事やら、地区の動静についてご質問がありましたら、佐藤忠大会幹事、小松広穂地区幹事が居られますので、ご遠慮なくご質問下さい。

幹事報告

佐藤 元伸君

1. 会報到着

鶴岡西R.C. 山形南R.C. 山形北R.C.
山形西R.C. 山形R.C. 柏西R.C.
柏南R.C. 東京R.C. 立川R.C.

2. 1982～1983 活動計画書 鶴岡西R.C.より参っております。

3. R.I. 第252地区年次大会のご案内
昭和57年10月9日(土)～10日(日)
仙台市民会館
仙台R.C.

4. 前会員の菅氏の送別会のご案内
日時 8月19日 午後6時
場所 中国飯店
登録料 3,000円

5. ロータリークラブ会員証を本日会員の皆様に配布致しました。

大会事務局よりのお願い

佐藤 忠君

○大会の準備も着々進んでおりまして、各クラブからの登録申し込みの方も集まっておりまして、20日をもってメ切りますが、私共のクラブの会員の皆様をお願い致したいのは、ご婦人を準義務出席という形で是非ご参加願いたいと存じます。

2日間ご都合の悪い方もおられましようが、もしご都合のつかないときは、せめて1日でも大会のムードにひたって頂きたいと考えております。後程クラブの方から出欠のご案内があると思いますが、1日の本会議の部と、夜のR.I.会長代理を囲む晩餐会、2日の本会議の部に多数ご参加頂く為に、9月中旬頃にご婦人方の会合を開いて、大会について色々ご相談申し上げたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

地区主催の拡大セミナー出席報告

副会長 川村 徳男君

○8月8日(日)、福島で行われた拡大セミナーは、

参加者が各クラブの会長と分区代理で、こういったセミナーは初めてということでした。

内容は、会員増強と外部拡大(新しいクラブの創設)とロータリー財団増強の3つのテーマで行われました。

◎会員の増強については=これまでも繰り返されていることと思いますが、職業分類の整理、未充填の充填、特に増強の方法として、アディショナル正会員、シニアアクティブ会員、パストサービス会員の制度をもっと活用して欲しいと云うこと及び手続要覧にあるように、クラブ会員を5人ずつのグループに分けて、各グループが年度前半に新会員1名を確保するようなやり方で努力して欲しいということでした。

◎外部拡大については=各分区代理から分区内における新設見込みについて発表があったが、庄内分区では、藤島、松山の2町が今後クローズアップされるであろう。

◎財団増強については=向笠R.I.会長は、大変異例のことだそうですが、浜田、作田両ガバナーの年度に2回続けて第253地区の年次大会にR.I.会長代理としておいでになった程山形を懐かしみ第2の故郷とも思っておられる。私達第253地区は、会員の増強でも、外部拡大でも、またロータリー財団増強でも成果を挙げて、向笠会長を精神的にバックアップして差し上げたい。例えば香港クラブでは会員数の倍のポールハリスフェローが居るが、第253地区は、アジア地区の平均よりも低い状態です。今年のカバナーはロータリアン1人当たり50ドルを目標としているが、現在レートが238円ですが、後半には250円位になるだろうから早く出した方が得だと云うような話がありました。特にポールハリスフェローについては、1回だけでなく、何回もなれること、他人のために拠出することもできることも説明があり、当クラブの張会員が非常に貢献をされている功績を紹介されました。

米山奨学金

鈴木 弥一郎君

○本日の米山奨学金については、15,045円ご協力を頂き有難うございました。

出席委員会

佐藤 順治君

○出席率は是非90%台にする為に、例会に出席出来ないときは、メイクして頂きたいと思致します。

ビジター

温海R.C. 今野義介君、本間毅君

鶴岡西R.C. 野口弥君、長南朋養君

(今週の担当者 松田 貞夫)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員70名 出席52名 出席率74.29% 前回出席率72.86% 修正出席64名 確定出席率91.43%

会員スピーチ

最近の諸情勢について思うこと

庄内証券(株)鶴岡支店長 高田耕助君



最近、明けても暮れても教科書問題のニュースで持ち切りですが、経済問題に目を転じると米国の高金利政策・ドル高・円安・日米貿易摩擦・日立産業スパイ事件・国際収支不均衡・インフレ・失業・スタグフレーション・世界経済全体成長鈍化・保護貿易主義化・財政再建・行財政改革等困難な重要な問題が山積みしている。何に起因するのであろうか。

丁度子供の本の中に昔話の桃太郎を見つけたので、
 比喻して考えてみると、桃太郎が鬼退治に出掛ける時、
 犬も猿も雉も家来になる時「桃太郎さん桃太郎さんどこへ行くのですか。御腰に付けた袋の中は何ですか。一つ下さいきびだんご」と言って各々納得して大変美味しい日本一のきびだんごを戴いて、一致して鬼退治と云う目的に向うことができたのが成長経済時代の労使関係であり、きびだんごがなくなってしまうなどは夢にも考えなかったのが石油ショックに出合って始めて資源は有限であり、経済成長にも限度がある事を知らされた。きびだんご、すなわち経済自体のパイが小さくなった為、各国の経済が有機的に働かなくなった。特にレーガン大統領の目指す強いアメリカ・強いドル政策によって今迄垂れ流されていたドルインフレの元凶が高金利政策によって、米国へ急速に還流し始めた為、ヨーロッパ、日本の経済政策の巾が狭くなって不景気・失業の増大の一つになった。非産油発展途上国、東欧諸国の対外債務が恐ろしい位激増し、顕著な例として日本も対外債権のあるメキシコの経済の悪化に伴う同通貨ペリの暴落で三千キロ以上に亘る米・メキシコ国境沿いの都市が大混乱に陥っている。嘘のように安くなったガソリン(メキシコ1ガロン33セント 米国1ドル30セント)や食料品を買いあさる一方、メキシコが米国のショッピングを諦め、米国側の商店の売り上げが激減した。この為石油ショック当時の日本トイレットペーパー買い占め状態、買い出しパニックが起った。このように世界は狭くなり、どんな事が起きても不思議ではない現状である。しか

し漸く19日米下院で増税法案(3ヶ年983億ドル)が可決。カフマン氏の金利見通し修正に勢いを得て金利が急速に低下、第4次米国の公定歩合の引下げが期待され、ニューヨーク株も市場最高の高い連日の暴騰となり、ドル高・円安もドル安・円高に転じて来た。鶴岡経済圏も変転きわまりない諸情勢ですが、不景気の最中、日常仕事に御苦勞煩張っていらっしゃるわけですが、現在の情勢を踏まえてすべての面で体質改善をして次の飛躍が出来る様対処して行く事が大切だと考えます。

最後に、1929年のような恐慌は皆んな起きるわけがないと思っている。起きないとタカをくくっている時がむしろ怖い。ないかもしれない。しかしあるかもしれない。私はきっと未来は人間の英知によって解決出来ると信じる。期待したい。

この機会を与えて下さったプログラム委員長庄司さん並びに未熟な私の話しを最後迄お聞き下さった出席者の皆様に深く感謝致します。

会長報告

副会長 川村徳男君

- 本日は中江会長が出張中で、私が臨時に会長代理を務めさせていただきます。不馴れのところは友情に免じてお許し下さい。
- 佐藤衛君にポール・ハリスフェロー記念品が参っておりますので伝達致します。どうもありがとうございました。
- 地区年次大会まであと40日位になりましたが、会員及び奥様の出欠予定を出して頂くように文書を差し上げました。出来れば本日例会終了まで提出して下さい。本日でできない人はできるだけ早く事務局まで提出されるようお願いいたします。
- 庄内地区母子福祉のつどい実行委員から、「おとうさんと遊ぼう」(母子福祉のつどい)の開催について参加依頼の文書がきております。いこいの村庄内で9月5日の予定ですが、当日I.G.F.が有って会長も社会奉仕委員長も参加できませんのでどなたか有志の方が参加して頂ければ有難いと思えます。
- 米山記念奨学会から、56年度の寄附金明細表がきておりますので、回覧します。
- 地区年次大会に、台中港区ロータリークラブから8組の会員ご夫婦と1人の会員、合わせて17名の会員と奥様がおいでになるという連絡がありましたのでご報告致します。
- 活動計画書と活動報告書ができて、お手許に渡っておりますのでご覧下さい。

庄内空港の建設を推進しましょう

幹事報告

佐藤元伸君

- 米沢R.C. 米沢西R.C. 台中港区R.C.から会報が到着しています。
- 国際扶輪社第345・346地区扶輪季刊委員会発行の“扶輪”が到着しています。
- 酒田R.C. 酒田東R.C.から活動計画書、報告書が到着しています。
- 9月5日(日)遊佐町中央公民館で開かれるI.G.F.参加者の配車表をおくばりします。当日11時集合で出発します。

親睦活動委員会

迎田稔君

- 地区幹事の小松広穂君が健康診断の結果、異常なしという判定が出たので、スマイルをいただきました。

地区協議会記録の報告

小池繁治君

- 去る6月19・20日天童市文化会館で開かれた地区

協議会の記録が(鶴岡R.C.担当)出来上りました。部数が少ないので記録にたずさわった方、出席された方のほか、関心のある方も適宜お読み下さい。

地区大会関係

地区大会幹事 佐藤忠君

- 10月1・2・3日の地区大会の出欠を求めているが、会員の皆さん、ご夫人も含め全員登録でお願いしたい。晩餐会にも出席し大会を盛り上げていただきたい。準備の都合もあり早目に提出願います。

地区大会観光交通部会長 三井健君

- 交通観光部会を9月4日(土)午後6時から委員会室で開きます。試食会も兼ねておりますので、関係者はぜひご出席下さい。

ピジター

- 鶴岡西R.C. 鈴木昭吾君、足達一見君、村上彬君、菅原年雄君、八幡慶二君
- 温海R.C. 斎藤新作君

職場紹介

張紹淵君



会報の委員長からの要求で、460字詰の原稿用紙3枚渡されて自分の職場を紹介・広報をして、1,500円のスマイリングをするように協力願いがありましたので、断わることも出来なく考えた上紹介することにした。その理由は、鶴岡医師会で

は自分の医院の広報をお互いにやってはならない。御遠慮下さいとのことでありますからです。病院では、殊に官公立病院はそんなことがないようです。そういう訳で、皆様が病気になるれたり、精検されたりするにはどうした方がよいかをお考えになって最善の理想的な治療法をお選びした方がよいと思っております。現在の私が見た日本の医療をお知らせ致します。日本の医療は世界第二次大戦前は独乙国流の医学でありましたが、終戦後の現在は全くアメリカン医学流になりました。その医療の設備と医療の内容の段階によって分けてみますと、第一次元、第二次元、第三次元、第四次元に大別出来ますが、日本では最高が第三次元(大学病院並み)でとどまっております。アメリカの第四次元は日本の国民保険外の私立の世界最優秀なメーヨ・クリニックであります。アメリカと日本の医療の異なる点は、日本は政府の全国国民保険者であり、第三次元と云えども必ずしも次元と内容が一致しないところがあり、それでも今は日本も設備と臨床内容が専門化して一致してきています。アメリカの宇宙開発と異って、日本は経済面、政府の方針、学閥の人間関係があるから、医療はアポロの開発よりも遅れております。種々の

生業の力でもって、それでも大変進歩した医療医学になった現況であります。現在の私の張外科内科医院は、一般臨床患者の医療で、一次元の診療所で19床以下の入院可能と政府で定められています。

昭和45年1月14日に山形県告示第31号の厚生省令第8号の救急診療所として願われて、一般診療を終わってからも救急医療を24時間やることに指定されて、今日まで12年間続いています。鶴岡では救急医療指定されたのは私の医院1ヶ所であります。指定された当初の救急患者が年間300から5,600名でありましたが、昭和49年7月14日に市と医師会立の休日診療所が出来てからも、救急患者は多少減少して1年間300名前後であります。一次元の救急診療所と云えども、私医師は二、三次元の医療を独りでやれる実力があります。従業員は全部で12名おりますが、皆労働基準法令によって一般診療をやっており、私独り医師が入院当直と時間外の救急診療をやり続けています。日本の一次元の所謂開業医はアメリカでは第一次元の家庭医と云っておりますが、アメリカでは医師全部が第三次元の病院に密なる連絡関係が出来て、医師が自由に入り出して医療も一緒にやれますが、日本では未だにそんな事が出来ませんので患者に紹介状を持たせたりして、高い次元の病院へとお送り致します。この様にして一次元の開業医が予防医学の方面の関係者と共に、地域医療に努めておりますのが日本の現状であります。医術と医学が共に日に日に進歩して来ています。近頃の私の方の来院患者は目立って高齢者が多くなり、私も高齢になってきましたので、学会に努めて出席し、母校の日本医大・老人病研究所に基礎と臨床老人科を勉強して、自分の現在の診療所に来る患者達にも何かプラスになるような治療に努めています。実に最近設備面、技術面、精密検査面、治療面と専門的に分科してそれぞれの基準でもって医師が患者を治療するようになりましたです。

(今週の担当者 今野清一)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship Throughout the World



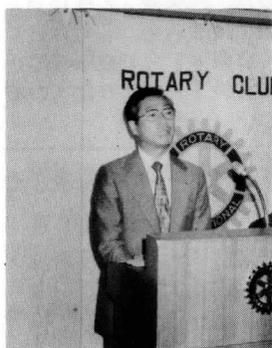
会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員70名 出席57名 出席率81.43% 前回出席率74.29% 修正出席62名 確定出席率88.57%

ゲストスピーチ

内川の改修について

鶴岡市建設部長 阿宗 隆氏



8月も今日で最後となり、明日から9月に入るわけですが、9月と云う月は、我々建設行政を担当する者にとっては、秋雨前線による集中豪雨や台風シーズン到来と云うことから災害発生のおそれのある月になります。それで今日の話題を「内川の河川改修について」にいたしました次第です。

鶴岡市の母狩、金峰山系に集中豪雨があった場合、この地区に降った雨水は四万田川、谷定川、山谷川滝沢川の4河川に流入し、いずれも青竜寺川にそいでおります。

改修計画は確率 $\frac{1}{50}$ で計画されておりますが、この地域の洪水流量は $170 \frac{t}{sec}$ となっております。現在の青竜寺川の流下能力は、この河川が農業用のかんがい用河川として整備されたためあって、 $35 \frac{t}{sec}$ ～ $40 \frac{t}{sec}$ の能力しかないのであります。 $170 \frac{t}{sec}$ もの洪水流量を流下させる河川改修は、現在の青竜寺川の位置、家屋のはりつき状況からみても、河川改修が困難であります。それで四万田川、谷定川、山谷川迄の3河川の洪水流量 $110 \frac{t}{sec}$ を青竜寺川から内川に放水路を設けて分水する計画になっており更に平野部の雨水の流入も加わって、外内島地内島影橋附近で $140 \frac{t}{sec}$ の洪水流量になります。この、 $140 \frac{t}{sec}$ の洪水流量を市街地を貫流する内川に流下させないで、市街地東側にショートカットした新内川に全量流下させ、市街地を水害から守る計画になっており、内川改修の使命が従来の平野部の雨水排除だけでなく母狩、金峰山系の雨水排除の役目を担っておるのであります。

内川の下流部赤川との合流点から西三河橋間、延長1km区間については、建設省が改修を担当しており、左岸の護岸は完成し右岸を整備中であり、今後の問題点としては羽越本線の鉄橋部分の拡巾と河床

の掘下げが残っております。

西三河橋から櫛引町丸岡部落間、延長13km区間については、山形県が改修を担当しており、着工が昭和36年からになっておりますので、今年で21年目を迎えております。

この全体事業費(56年換算)は10,544百万円の巨額となっております、56年迄の投資金額は5,317百万円(56年換算)、実質投資額3,592百万円となっております。今年度は423百万円の予算で、外内島から中橋部落区間約1.8kmの護岸工事と上中橋橋を施工中であり、残延長は2.4kmになります。

青竜寺川からの放水路の完成目標を昭和60年においておりますので、それ迄には島影橋附近の分水工と青竜寺川からの分水工を完成したいものと考えております。

島影橋附近の分水工は、市内を流れる内川への洪水の流入を阻止するだけでなく、渇水時の都市河川の維持用水確保の上からも重要な施設であり、この施設完成後には流量配分をしながら市街地の内川を鯉が遊泳する河川に整備してゆきたいものと考えており、更には内川の水質を保全するために公共下水道の整備も進めておりますので、市民の方々からも一日も早く水洗化をされ、下水道を使用して家庭の雑排水を内川に流さないようご協力をお願い申し上げておる次第であります。

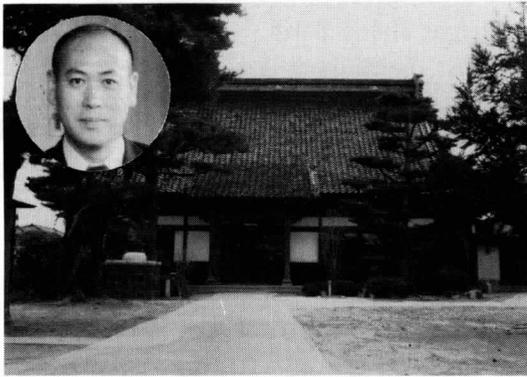
会長報告

中江 亮 君

1. 本日の臨時理事会で議決された件についてご報告します。
 - (1) 過日の長崎市の大水害に対して当クラブから10万円を送金しお見舞い申し上げることにしました。
 - (2) 鶴岡市の姉妹都市ニューブランズ ウィック市を鶴岡市長ご一行が訪問される事になっておりますが、当クラブから直前会長の新穂光一郎君が之に加わって、クラブ代表と云う形で姉妹クラブのニューブランズ ウィックR.C.と接触をしていただく事に決りましたが、おみやげ代として5万円をおあげ致しました。
 - (3) 来年5月1.2.3日の3日間鶴岡西R.C.がホストをつとめられる地区R.Y.L.A.研修会のカウンセラーとして当クラブからインターアクト委員長の藤川享胤君を委嘱しました。

庄内空港の建設を推進しましょう

職 場 紹 介



私の職場(?)般若寺は、山号を大宝山といい、今から約800年前平安時代の末期に天台宗の寺院として建立されました。当山に伝わる大宝山般若寺の記によると、文治元年(1185)の春、佐藤入道秀衝が両親の菩提をとむらうために天台宗の開祖である最澄

の弟子・慈覚大師の作といわれる釈迦牟尼仏と藤原期の名工とうたわれる仏師定朝作の阿弥陀如来とを本尊として般若寺を建立したとされております。しかし時代の変遷並びに為政者の交代等により寺領の大幅な削減にあい、荒廃の一途をたどっていたところ、元龜元年(1570)8月庭園で有名な羽黒の五川寺10世・一法宗音大和尚が曹洞宗の寺院として復興し開山になられ、今日に到っておる次第であります。以来私の師匠が般若寺33世になっております。

現在般若寺は、旧市内の蓮台院・宗伝寺・林泉寺・保春寺を含め21ヶ寺の末寺を持ち、檀家数も600を越えております。

ロータリアンの檀家としては、早坂源四郎さん、張紹淵さん、佐藤忠さん、三浦悌三さんがいらっしゃいます。

当山の一年間の主な法要は、涅槃会(2月15日)仏誕会(4月8日)、開山忌、大般若会(5月8日)両祖忌9月29日)、成道会(11月8日)、両彼岸会等があり、いづれの法要も私が説教をしておりますので会員の皆様ぜひ御来山下さい。合掌。

(4) 長年鶴岡高専校インターアクトクラブ顧問教師としてご尽力されました篠崎先生を地区表彰該当者として推薦しました。

(5) 年次大会に参加のため来訪される台中港区姉妹クラブの方々のクラブ歓迎実行委員長として黒谷正夫君にお願いしました。

2. 庄内分区分I.G.F.が来る9月5日に行われますがそれぞれの部門について自主研修をされ、当日は十分発言されまして、意義あるフォーラムにされますようお願い致します。

3. 会員染野檀君のお母さんが先日亡くなられました。クラブから規定に基きおくやみを申し上げます。心からご冥福をお祈り致します。

4. 年次大会の出欠調べを先にお願いましたが、まだ出していない方はここ2.3日中に山下さん迄必ず提出して下さい。

幹 事 報 告

佐藤元伸君

1. 例会変更 立川R.C.
9月2日(木)の例会=9月2日 P.M.12:15
庄内ドライブイン 移動例会の為
2. 残暑御見舞 酒田R.C.
3. R.I.第253地区ローターアクト第9回年次大会ご案内 山形R.A.C.のホスト 10月10日・11日
山形市少年自然の家
4. ローターアクト委員長会議
昭和57年9月14日(火) P.M. 5:30 集合
9月15日(水) A.M.11:30 解散
会場 福島県東山温泉 不動滝
秋野ローターアクト委員長出席予定

委 員 会 報 告

1. S.A.A.委員会 石川寿男君
奇数月の第1例会に皆様の席を指定する。

9月から実施しますのでご協力をお願いします。

2. ガバナー事務所報告 小松広穂君

石黒ガバナーは去る8月28日、いわき平東のロータリークラブ公式訪問の時、4時30分頃、出入口で足がもつれ、急遽同市・竹林病院に入院されました。翌29日奥様と若先生と共に鶴岡の自宅に帰られ、昨日庄内病院で精密検査が行われました。その結果急所から1cm離れた動脈の一部に0.24%位破れた所があり、1週間程経過を見れば大体の判断がつけられるとのこと。しかし1ヶ月程の静養が必要とのこと。ガバナーは、公式訪問、年次大会の事等に大変御心配をされておりますが、事務局としては、9月中の公式訪問は来年の1月にさせて頂き、10月初めの地区大会に元気な御姿で御出席頂くよう1ヶ月間の御静養をおすすめしております。

現在のところ、話し方は普通と何も変らぬ程お元気ですが、左の手足が若干御不自由なようです。事務局として途方にくれているというのが実感ですが、皆様の御協力をお願いします。

3. ロータリー財団委員会 佐藤衛君

満78歳になられた早坂源四郎バスト・ガバナーは、第2回目のポール・ハリス・フェローの基金を贈呈されました。

ス マ イ ル

張 紹淵君 職場紹介に掲載されたので。

ビ ジ タ ー

鶴岡西R.C. 加藤有倫君
立川R.C. 滝 禅源君

(今週の担当者 石塚敏彦)



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員70名 出席58名 出席率82.26% 前回出席率81.43% 修正出席64名 確定出席率91.43%

会長報告

中江 亮 君

- 本日の理事会で決定された事項を報告します。
 - 田川地区中学校・高等学校英語弁論大会に賞状、賞品を寄贈することにしました。
(総額25,000円程度)
 - 地区年次大会選挙人信認状を次の3名に交付することにしました。
中江亮君・佐藤元伸君・小松広穂君
 - 10月5日(火)の例会を10月1日(金)に繰り上げ開催することにしました。時間は同じです。
- 9月14日(火)に開く第2回クラブ協議会は、クラブの重点的な問題を討議する方式で進めたいので、各委員長さんは各自テーマをご用意下さい。
- 年次大会に会員奥様をできるだけ出席させるようご協力をお願いします。
- 9月5日(日)に開催された庄内分区分I.G.F.について報告します。(ホストクラブ 遊佐R.C.)
リーダー 浜田幸一P.D.G.
副リーダー 土門敏雄分区分代理
 - クラブ奉仕部門(出席と会員増強の問題)
 - 新会員のオリエンテーションを早く行うこと。
 - 賜暇を有効に活用すること。
 - 職業奉仕部門(道徳水準と品位の向上)
 - 買う身になって売れ、使う身になって作れ、受ける身になってサービスせよ。
 - 社会奉仕部門(地域性を考える社会奉仕の問題)
 - ゴミ箱を作る奉仕から、ゴミを捨てない啓蒙による社会奉仕の発想の転換。
 - 金よりも一人一人の行動による奉仕のあり方が望ましい。
 - 国際奉仕部門(国際理解と親善について)
 - 東南アジア等近隣諸国との交流を重視する。
 - 向笠R.I.会長を世界の男にしよう。
 - 会員増強、外部拡大、財団等数字で示そう。

幹事報告

佐藤元伸君

- 会報到着
鶴岡西R.C. 鹿児島西R.C. 寒河江R.C.
藤沢R.C. 東京R.C. 中華民国・苗栗R.C.
- 岐阜北R.C. 認証状伝達式本登録申込のご案内
57年11月28日(日) 岐阜グランドホテル
登録料 会員12,000円・同伴10,000円
- 郡山南R.C.
日本女子工業高等学校インターアクトクラブ認証状伝達式ご案内
57年9月12日 点鐘 10時 登録料3,000円
- ユネスコ新聞が参っております。

5. I.R.会長・向笠広次氏より

・1983年R.I.ロータリー年次大会6月5日～8日カナダ・オンタリオ州のトロントで開かれますが、このトロント大会に関連し米国・カナダ・バミューダ及びプエルトリコ地域の各ロータリークラブは、大会前の週間中アメリカにおけるホームステイを楽しむことができるよう、海外からのロータリアンを招待することが奨励されております。

6. 第2回のクラブ協議会開催

日時 9月14日(火)17時 場所 中国飯店
各委員長はぜひご出席下さい。

親睦活動委員会

張 紹淵君

会員誕生 小池繁治君・今野清一君・本山弥君・
上野三郎君・渡部利夫君
奥様誕生 三井糸様(徹)・三井順子様(賢二)・
本山京子様・中江さち子様(哲夫)・
染野恵美子様

出席委員会

佐藤順治君

◎年間皆出席 2年間皆出席 今野清一君
◎8月100%出席 50名

S . A . A

石川寿男君

奇数月の第1例会は席順を指定することをお願いしたが、手違いがあり9月は出来なかったので、11に改めて実施することになりますのでご了承願います。

年次大会関係

大会幹事 佐藤 忠君

- 参加申込みは現在会員が1,200名、ご婦人を入れて1,300余名となり、当初予定の1,350名にほぼ達する結果となりました。大会予算は3,000万円かかる見込みです。
- 10月5日の例会は10月1日に繰り上げ12時30分から開き、13時から15時までは大会の諸準備に入り、15時から文化会館で式典、部会長を中心にリハーサルを行ないます。
- 会場に絵や書などの「展示コーナー」がありますので、会員の方々のご出品をお願いします。搬入は9月15日までとなっています。
- また9月21日の例会では大会の全体会議を行うこととしております。

会員あいさつ

染野 檀君

去る7月31日母死亡に際しまして、クラブから香伝・弔電をいただき誠にありがとうございました。

庄内空港の建設を推進しましょう

雑 感



エネルギー問題を語る場合に、いつも枕言葉として「石油はもう30年しかありませんよ」だから速やかに原子力を代替エネルギーに切替えなければならぬという。石油の埋蔵量は間違っ

て理解されているようです。確認埋蔵量という考え方は、現在地球には、これだけの石油が確認されているということをお印象づけてしまうのです。技術的な向上によって採算がとれるならば、いくらでも膨れ上がる数字上の側面をもっています。

(現在の技術では油田の回収率30%である)

石油の代わりに原子力だという場合考えなければならぬことは、第一に石油が国民生活のどの分野で使われているかということです。

石油資料月報81年4月号によれば、電力23%、鉱工業23%、自動車21%、家庭業務14%、化学原料12%、その他7%です。

一方、原子力からは電力だけしか出来ないわけですから、石油のほとんどを代替は出来ないこととなります。原子力でガソリン、軽油に代ることは出来ませんから、原子力は石油の代替という標語は大変力の弱いものです。原発は石油を使って原子力を作り発電している。といいますと、大変奇異の感じがするかもしれませんが、ウラン鉱を掘る場合でも、濃縮ウランに精錬する場合でも、燃料棒の加工の場合も、その他原子炉の材料を製造する全過程でも石油が消費されているのです。

今後石油は30年たっても潤渇しないでしょうか、それでは、採れば採れるほどいいのかということではありません。石油の供給不安と石油汚染の拡大は100年位は続くことであろうといわれています。石油がなければ、食糧も水も断たれたと同じような生活ではないかと思えます。と同時に今後も石油依存の石油文明が長く続くことと思えます。

ところで石油文化7月号にこんな記事がありました。私には理解の出来ない点が多々ありましたので皆様の御知恵をお借りしたいと思いましたので申し上げます。

榎田敦氏(理化学研究所所長・物理学者)「石油の節約は石油が無くなるからとの理由ではない。石油を消費して地球の表面をかきまわしている汚染や自然破壊をなくすることで、又石油による悪質な廃物を捨てる場所をもこの地球からなくすることである」即ち、石油の文明から早く脱しきらねばならない。その為には石油消費水準を1960年頃に戻すべきである。

この石油文明は「はこぶ」ことによって成立しており、運搬は生産と消費を結んでおり、ところが汚染と破壊はこの運搬によって引き起されている。アメリカのトウモロコシを買って豚に食べさせ、畜産公害を、アメリカは土壌破壊。途中の海は油で汚

る。これ等の汚染を回避するには、この物を運ばないことである。特に遠距離輸送、例えば東京―大阪―東京と錯綜した輸送はしない。不必要な輸送はしないこと。この輸送を調整することによって、最終消費は当然減少することになりますが、この最終消費は昔も今もそんなに変化はない。昔とくらべて何が増えたかという、中間物が増えた結果汚染が多くなった。これをなるべく抑えて経済単価を小さくすることであっても、経済破壊でもありません。現在は車の洪水であるが、1960年頃には自動車の姿はそう見えなかったし、又私達は決してひもじい思いをしたわけでもありません。国民経済の運ぶ距離が短かくなったら、石油製品が売れなくなるが、その石油が売れなくなった余力を石油以外の方向に向けることです。

では、その輸送距離の短縮を図るには、その解決は政治だけでは頼れない問題だと思えます。結局、我々自身が変っていくということを通じてしか解決出来ないものです。

現在、一億総運転者時代ですから、もう車を買って替えない、車を使わない方法を考えよう。農家の場合なら専作農家をやめて自分の家で食べるものは自分で作ろう。そして出稼ぎが減るように努めること。この方向を国民自身が考えることです。

石油を備蓄することや、節約するだけでなく、石油なしで過せる生活へ切り換えることです。石油がなければ食糧も水も手に入らないような生活から、速やかに足を洗う必要があると思う。

米 山 奨 学 金

山形大・農芸化学専攻 廖 登 稔 君



長い間大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。留学生として日本に来た頃は言葉も通じないし、食生活も違うので、毎日毎日が容易ではありませんでした。故郷を遠く夢見てはホームシックになる事も度々ありました。吹雪と戦い厳しい寒さに耐えて、やっと山形大学での留学生活も9月一杯で終る事になりました。

無事ここまでこれたのも、皆様のご指導と御厚情のおかげであり、本当に有難うございました。

今後どうい道を進むかは未定ですが、皆様のご恩を忘れず、今まで勉強してきた精神を生かして立派に進んでいきたいと思えます。

長い間本当に有難うございました。

ス マ イ ル

石川寿男君 S.A.A.として例会席順に手違いあったので。

張 紹淵君 I.G.F.に大変気分よく参加出来たので。

財 団 へ の 寄 付 金

9月7日(火)の例会の寄附総額は16,655円でした。ありがとうございました。

ビ ジ タ ー

鶴岡西R.C. 菅原年雄君、本間文一君、井上彬君
(今週の担当者 今野清一)



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 70 名 出席 58 名 出席率 82.86 % 前回出席率 82.86 % 修正出席 66 名 確定出席率 94.29 %

ゲストスピーチ

青少年グループとボランティア

柳羊屋社長 石川 実氏



青少年が鶴岡で係わっておりますボランティア活動の状況、又具体例についてお話してみたいと思います。

皆さんのお手許の最終頁に各学校における、いわゆるクラブ活動と云いますが、サークル活動と申しますか、それらが記載されておりますが、これらの学校グループのほか、中学では西郷中学校が県の指定校になっておりまして、ボランティア活動を行っております。又これらの学校の活動とは別に、いくつかの青少年に係るボランティアサークルがあります。例えば B.B.S という非行少年の友達活動をしているグループ、あすなる会、世代にかける橋、あそびの会その他ロータリーアクトなどの青少年が活躍しております。

県内では特に鶴岡のボランティア活動が顕著であるということでございます。先日も非常に老化が激しい、これからの高令化社会の老人福祉にどう取り組むか、又在宅福祉の問題等も含めまして、県に発足いたしました高令化社会研究所の、地域推進モデル調査委員会で、老人の無差別サンプル 500 人、ボランティアも同じく 500 人のアンケート調査の依頼を、市のボランティア協会が受けましたが、何故市の協会が受けたかと申しますと、非常に鶴岡市の殊に青少年を中心としたボランティア活動が、活発に行われているということで指名されたのです。

私もボランティア協会を創立して 4 年、その間会長を 2 期務めまして、この 6 月無事任期満了で、退かせて頂きまして、現在は運営委員として相談相手となっております。青少年のボランティアとよく話し合う機会があり、そのとき一体彼等は何を考え、何をやるうとしているのかと、卒直な意見を聞きまして、吾々は何かをしたい、何か世の中の為に役にたきたいのだと、やる気は十分だが、その機会がな

いということを行います。私も素直に彼等に答えるのですが、現代の青少年、特に高校、中学、或いは大学生までを含めて、非常にシラケているというか私に云わせればオモシロイズムとでも云いますか、非常にプログラムの選択が激しく、興味のあるプログラムですと多勢来るのですが、在宅福祉の問題で少し訪問ボランティアをやってみないかと申しますと、あまり厭なことはさけて通るというような、選択の時代とは云え、好ききらいがはっきりして居りまして、たまにはきらいなものも食べてみないかということも話しております。

先日ボランティアの集いをやりましたが、この集いは毎年市の社会福祉協議会と市のボランティア協議会の共催で、ボランティアを育成する為に毎年ボランティアスクールを開催し、今年も 37 名程登録がありました。今年の第 1 回の時は若い人が多く、中でも中学生が 3 名も参加しまして、テーマは老人福祉、殊に在宅福祉ということで、寝たきり老人の問題が討議されました。

実は先日行政から寝たきり老人が誰に看護を受けているかというデータが出ましたので、あなたが例えば親が倒れたら、或いは嫁にいて姑が倒れたらあなたならどうするか卒直な意見を聞かして貰いたいと、3 名程高校生を指名して話しを聞きました。

そのうちの 1 人の人が、自分の祖母が倒れ、母は仕事を持っている関係でなかなか看護が出来ないので私が母から祖母の面倒をみるように云われましたので、最初は 2 日に 1 度という形で祖母の面倒を見ておりましたが、それが 3 日に 1 度、5 日に 1 度となり、そうこうしているうちに祖母が亡くなり、私は後悔している。あれも残った、これも残ったという祖母に対して、奉仕することができなかった、大変申し訳けないことをしたということが心残りであった。もし自分の親が、或いは嫁に行った先の姑がそのようになったら、心残りのないような看護を是非したいと思っておりますとのことでした。

自称福祉研究者と云われる金内先生が次のようなお話しを致しております。

庄内空港の建設を推進しましょう

自分の教え子が或る日来て、娘にドキッとすることを云われたので、私は生活を改めました。それは自分の母が倒れ、私も仕事を持っているので十分な看護ができず手拔が多かった。それを娘が、お母さんそんなに自分の親を粗末にするならば、あなたが年をとったときに私もそうするよと云われ、子供というものは教えるのではなく、親の姿をみて育つのだと身にしみて感じ、仕事を一時休職して自分に心残らないよう看護して送られたとのことでした。

私はこの地域の子供達が、美しい心、すばらしい市民性を持った純粋な考えが高校生時代には有るわけで、生活が変化してくると、それが思うようにはいかなくなって来る。いかにして老人福祉の問題と一生懸命話題にしている青少年は、私は非常にすばらしいと考えております。そのようなすばらしい芽をつみとってしまうのは、私達大人ではないかと反省を迫られたわけでございます。

会長報告

中江 亮君

- 静岡日本平R.C.に静岡を襲った台風について見舞電報を差し上げました。
- 地区年次大会に参加のため来訪される台中港区R.C.と鹿兒島西R.C.の姉妹クラブの歓迎実行委員長として、黒谷正夫国際奉仕委員長に諸準備をお願いすることに致しました。
- 10月1日に繰上げて行われる例会は、鶴岡西R.C.のお申し出を受けて両クラブの合同例会とし、会場は産業会館5Fとする事に致し、先刻理事会のご承認を戴きました。
- 12月7日に予定されてあった公式訪問は、石黒ガバナーのご都合で1月18日に変更されました。
- 土門分区代理より過日のI.G.F.の協力に対する礼状が参りました。
- 本日は青少年活動週間の行事としまして、羊屋社長の石川実さんに“青少年とボランティア”と云うテーマでスピーチをお願いする事にしました。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 例会報告
酒田東R.C.
9月16日の例会を創立15周年のため下記の通り変更。
9月16日 P.M 5:30 美園別館 3,000円
鶴岡西R.C.
9月24日の例会I.C.生徒との交歓会のため
9月24日 3:30～5:30 交歓会
例会 6:00点鐘 大山楼 3,000円
2. ロータリーカレンダーご案内
1983年壁掛用 500円 卓上用 1,000円
10月5日迄申し込んで下さい。(希望者)

年次大会庶務委員会

川村徳男君

庶務委員会から報告と連絡を申し上げます。
当委員会の残る主なる仕事はプログラムの作成と、

公衆電話の設置、関係書類資料の保存ですが、電話は電報電話局長さんをお願いしてあり、書類の保存は大会が終ってからですし、プログラムは昨日原案ができて印刷に廻して、28日に出来上る予定です。今後当委員会の各位のやることは、登録委員会の登録受付ですが、詳細は後日ご連絡致しますのでよろしくお願い致します。

年次大会実行委員会

佐藤 忠君

年次大会もあと2週間あまりに亘りました。庶務の方々ご苦勞されておりますが、その他の委員会の方々も着々準備ができ上りまして有難うございます。ところでご婦人の方々のご出席をご案内致しておりますが、私共ホストのご婦人方のご出席が大変少なく、コーホストの方の出席が多くて、大変はづかしい状況で、P.R.も兼ねて9月25日第一インにて打合せ会を行いたいと思っておりますので、是非多数の方のご出席をお願い致します。

米山奨学会委員会

当クラブでお世話致しておりました、米山奨学生の廖登稔君が9月末日をもって大学での修学も終り、郷里へ帰られることになりましたので、9月17日午後6時、中国飯店に於て送別会を開催致したいと思っておりますので、友情のかけ橋の一端として、是非多数会員の方々のご出席をお願い致します。

スマイル

中江 亮君 前回の確定出席率 94.29%につき

ビジター

温海R.C. 阿部一太君・佐藤五右エ門君
鶴岡西R.C. 児玉光弥君・鈴木昭吾君・
長野正彦君

(今週の担当者 松田貞夫)



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 70 名 出席 49 名 出席率 70.00 % 前回出席率 82.86 % 修正出席 63 名 確定出席率 90.00 %

会長報告

中江 亮 君

- 張紹淵君にR.I. から重ねてポール ハリス フェローの荣誉あるメダルが贈られました。
- 今年の5月31日現在に於けるR.I. 財団に対する当クラブの寄附金の累計額は28,037 US\$に達し、R.I. から3,800%クラブの証が届きました。6月に入ってからかなり増加している筈ですから、多分4,000%を超えていると思います。張君及びご協力下さった会員の皆さんにお礼を申し上げます。
- 田川地区中学校・高等学校英語弁論大会協力に対するお礼状が英語教育研究会田川支部から届いています。
- 静岡日本平R.C.に對し先日台風18号のお見舞を申し上げます所、本日被害状況についてご説明とお礼のお手紙が寄せられました。
- 本日は年次大会の打合せのために時間を提供したので、必要な報告は次回にゆずります。
- 9月24日新穂新一郎君がニューブランズウィックへ旅立たれますが、道中充分お体に気をつけられて姉妹クラブ親善の使節を果されませうお願い致します。
- 去年の交換学生であったオーストラリアのジェームス君から三井徹先生と鶴工高の田中先生宛に近況お便りが来ています。クラブ会員の皆さんによるしくとの事です。

幹事報告

藤川 享 胤 君

1. 去る16日青年センターで行なわれた第34回田川地区中・高校英語弁論大会には30人の参加を得、盛大に行なわれました。
各部門の優勝者は次のとおりです。
中学校レクテーションの部
鶴1中 笹佐高史君
中学校スピーチの部
鶴4中 笹原奈津さん
高校の部
鶴商学園 五十嵐英子さん
2. 会報到着
遊佐R.C. 台中港区扶輪社
3. 国際ロータリー加盟認証状伝達式御案内到着
第258地区東京中野R.C. 1983.1.22
4. 財団法人ロータリー-米山記念奨学会58年度奨学生募集要綱及び同事業報告書

年次大会実行委員会

佐藤 忠 君

大会もあと10日にせまりました。委員の皆さんには大変ご苦勞をかけております。大会の日程につきましてはプログラムを差し上げておりますので、お解りかと存じますが、大略ご説明いたします。

10月1日……9時からゴルフ大会。参加60数名。

諮問委員会・顧問委員会を「第一イン」で開催。

夕方、R.I.会長歓迎夕食会開催となっております。

1日の例会変更はご案内の通りですが、12時30分から食事、1時～3時の間に大会開場、周辺その他一切の準備を完了。3時からリハーサルを予定(時間が早くなることもあり得ます)遅くとも5時には終了したいと考えています。

10月2日……実行委員の方は10月3日も含めて午前

8時までに集合願ひ、各委員長の指示に従って下さい。

奥様方はご家庭の都合もあるかと存じますが遅くとも10時までにはお越し下さい。以下プログラム通りですが、本日これから部会を開きます。各部部长から話をお聞き頂き、各人仕事の内容につき部部长と連絡をとって下さい。

なお、大会へのご婦人方の参加が約20名しかありません。前回の地区大会では奥様方が59名登録になっています。大会成功のために奥様方の登録が是非必要です。これからでも結構です。また、2日・3日のうち1日だけでも結構です。是非奥様方のご出席をお願いいたします。

ビジター

酒田東R.C. 畔柳 勇君

鶴岡西R.C. 菅原年雄君・野口 弥君・

加藤有倫君

イスラム式三つのテスト

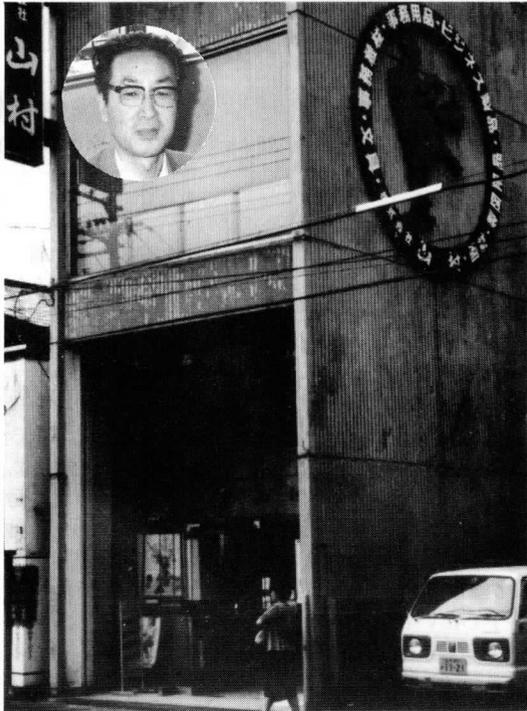
「イスラム教の諺によると、私達が述べる言葉は、声に出す前に三つの関門を経なければならぬ……

1. 最初の関門で、門番は尋ねる：『それは真実か?』
2. 二番目の関門で、門番は尋ねる：『それは必要か?』
3. 三番目の関門で：『それは思いやりがあるか?』

—米国のクラブ会報より—

庄内空港の建設を推進しましょう

職 場 紹 介



名 称 株式会社 山 村
 営業品目 事務用機械・什器用品・製図機
 明治5年創業・昭和35年設立
 代表取締役 石井 貞吉
 専務取締役 石井 敬三
 取 締 役 渡会 俊正・今間信一郎

当店は創業から数えれば110年になりますが、現在のような商品系列になってからは22年です。

商品の性質上、官公庁・銀行・大学・会社・工場農協・その他事業所が多数であり、鶴岡ロータリークラブの大方の皆様にも上得意先として、御利用戴いております。

昨今は、予算に関して、景気の影響を受けること大です。

最新の技術を搭載した電子事務機器は、大企業だけでなく、私共の扱い商品にもなっておりますが、ソフトと呼ばれる分野の規格の統一、互換性が問題で、本格的な普及はまだ先になります。

当店の位置する旧一日市町は、商店街としては難かしくなり、人通りも少なくなってきた関係上、店頭商品としては、普遍性のない専門商品を置き、この町にはなくてはならない店作りを考えております。皆様の変らぬ厚情、御引立をお願い申し上げます。



名 称 株式会社 いちかわ
 代表取締役 市川 輝雄
 創 業 昭和元年2月1日
 会社設立 昭和33年1月31日
 従業員数 20名
 事業内容 玩具・人形の卸小売

玩具一筋「よいこの太陽」を標榜しつつ、親子二代、昭和を貫ぬいてきた。いささかなりと地方の児童文化を益す限り“誇りと情熱”を持って社是に示している。

「経営者とは常に壮麗な世界を夢見ながら孜々営営として数字に追われるドレイである」と誰かが云ったが、私にとって、とかくロータリーが夢みる世界であり、経営が衰れドレイの日々にも似ている。

子供に夢を与える仕事もハタでみる程楽な商売ではない。やりたいこと、遊びたいことが山ほどあり今日にでも蒸発したい思いたが、現実にはガッシリと首カセをはめられていて全く自由がきかぬ。

当分、ロータリーの中で蜃気楼のような夢を追うことしか許されていないとは、嗚呼！

(今週の担当者 中江 哲夫)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World

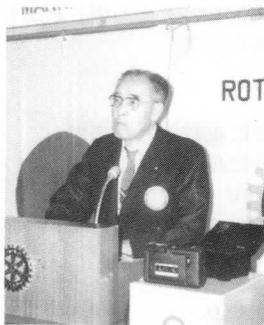


会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介
出席報告： 会員70名 出席57名 出席率81.43% 前回出席率70.00% 修正出席61名 確定出席率87.14%
会員70名 出席58名 出席率84.29% 前回出席率81.43% 修正出席65名 確定出席率92.86%

ガバナースピーチ

重大任務を前にして

ガバナー 石黒慶之助君



私はガバナーとして重大な危機に立っております。ガバナーは任期中健康を保持し、地区内ロータリアンの先頭に立って最もよく奉仕するのが任務であります。それが去る8月28日に倒れ、1ヶ月間の療養を余儀なくされました。不名誉の上

もなく、皆様に大変ご迷惑をかけ、唯々申し訳けなくお詫び申し上げます。

皆様のご同情、ご激励と近代医学の進歩ある医療により、また主治医の真剣な治療により、奇跡的にもこのように再起することができました。現在尚医師の管理を受けている身であります。1ヶ月の空転と今後の山積みする任務を考えると、ドクターの言葉を諾々と守るわけにも参りません。適当に注意しつつ、与えられた重大任務を果して参りたいと思

います。その間、小松地区幹事を中心としたガバナー事務所の皆様、更に三井大会委員長、佐藤忠大会幹事を中心とした大会実行委員会の皆様、中江亮会長外会員の皆様には大変ご心配をおかけしましたが、私は皆様のバックアップに心から感謝しつつ、任務の貫遂に闘志を燃やしております。

皆様連日のように大会準備に精魂を傾けて参りましたが、いよいよ年次大会をむかえます。明日午前11時半にはR.I.会長代理・英子先生、奥様英呂垂音さんを山形空港にお迎えいたします。会長代理に英先生ご夫妻を迎えることは私の多年の願望でありました。浜田P.G.が同期でありますので接待委員長をお願いしてあります。また同期のP.G.福島親比古先生(D273)ご夫妻も参加されます。更にR.I.会員増強委員・蔵並定男先生(D259)とR.I.日本支局長

抽冬忠氏が石黒応援団として大会当日に来鶴。この他海外から張先生のお招きでオーストリーより、Stawell R.C. Lyndse Brown氏が奥様Marjoryさんとお嬢さんをつれて参加され、台中港区R.C.より20数名のご参加が予定されています。向笠会長のテーマ“人類はひとつ-世界中に友情の橋をかけよう”に応わしい国際色豊かな“友情のかけ橋”大会にしたいものです。私は精進潔斎して大会の成功を神仏にお祈りする気持ちであります。

公式訪問は76R.C.中29回終了しました。私の感じたことは、

- (1) ガバナーは各R.C.の友情に支えられ、好意に充ちたご接待を受けていること。
- (2) 各R.C.の特色がよく判り、Gは大変勉強になった。
- (3) 私のホストクラブ鶴岡R.C.が地区内でも優秀クラブであることに誇りを感じ、Gの自信となった。
- (4) G月信4号の巻頭にある“頂門の一針”に掲げた欠点を認めた。

10月11日から再び公式訪問に出発します。もう47R.C.が残っています。私は老令期をむかえ、病魔に侵されましたが、天を敬まり人間を愛する心、ロータリーの発展を願う心はいささかも衰えておりません。何卒皆様の力強いご支援とご指導を改めて懇願申し上げます。

会長報告

中江 亮君

本日は特に報告する事はございません。大会もあと1週間足らずに迫って参りました。どうぞ皆さん健康にご注意され、当日には奥様同伴でご出席下さるようお願い致します。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 地区インターアクト協議会開催

日 時	昭和57年10月15日(金) 16:30 ~ 16日(土) 11:00 まで
場 所	山形市蔵王温泉 高見屋旅館
登 録 料	R.C.会長1万円・顧問教師分は地区負担

庄内空港の建設を推進しましょう

- 出席予定 高専 篠崎孝一氏
工業 斎藤弥三郎氏
2. 地区インターアクトクラブ顧問教師研修旅行実施
日 時 昭和57年11月6日(土)出発
8日(月)帰宅
訪問地区 R.I.第263地区(三重県・岐阜県)
出席者 インターアクトクラブ顧問教師1
名 高専・篠崎孝一氏出席予定
3. ローターリー適用相場変更のお知らせ
10月1日よりロータリーレートを一ドル260
円(現行238円)に変更。
4. R.I.第257地区・川越東R.C.より R.I.加盟認
証状伝達式ご案内
日 時 昭和57年11月18日(木)
会 場 埼玉県川越市民会館
5. 当クラブの例会変更
10月5日の例会を10月1日に変更。鶴岡西R.
C.との合同例会。地区年次大会準備。
6. R.I.第260地区名古屋千種R.C.認証状伝達式ご
あんない
日 時 昭和57年10月19日(火)
場 所 愛知厚生年金会館

委員会報告

1. 国際親睦委員会 黒谷正夫君
台中港区R.C.歓迎会を来る10月3日午後5時から

10月1日例会

会長報告

中江 亮君

- R.I.会長代理英子珊先生ご夫妻は昨日鶴岡に到着
致しました。愈々当253地区の歴史の一頁に残る
1982-83年度地区年次大会のホストクラブとし
て本日夕刻からその任務に入る訳であります。既
に諸準備も完了し、細かい詰めに入っている様
であります。

1,350名に上る登録人員数は去年の郡山大会を
上廻る数字でありまして、石黒ガバナーも昨日あ
たりからかなりご満悦の様でありました。この上
は75名会員一致して本番にのぞみ、立派にこの大
役を果してご協力の美を尽したいと念願致してい
ます。何卒会員の皆さんには少なくともここ3・
4日の間は風邪をひかない様ご精進ご協力をお願
いします。

- 10月3日大会行事が終了してから台中港区R.C.、
オーストラリア・ストールR.C.、鹿児島西R.C.等
の姉妹クラブの皆様の歓迎会を開催致します。

・場 所 かに船 時 間 P.M.5:00

現在75名の申し込みですが、鶴岡西R.C.さんのご
参加も予定され、又、R.I.会長代理英先生ご夫妻
石黒ガバナーご夫妻、浜田幸一バスターガバナーご
夫妻、米山奨学生廖登稔君の特別出席が予定され

かに船で行なわれます。

まだ出席人数の報告は受けていませんが、あまり
失礼になっては申し訳ございませんので、なるべく
多くの方々のご参加をお願い致します。

2. 年次大会登録委員会 鈴木弥一郎君

年次大会の準備は皆様のご協力により、大体の準
備も終わりました。最後に残ったのが、皆様方にお配
りするものの袋詰め作業です。これは今日例会終了
後4階で行ないます。

登録委員の数も少ないことから、ご都合のつく方
は何とぞご協力をお願い致します。

3. 会報委員会 石塚敏彦君

会報に掲載する職場紹介の原稿が集まりません。
お願いしてある方には、お忙しいところ申し訳あり
ませんが、提出方お願い致します。

スマイル

石井敬三君 職場紹介に掲載されたので。
市川輝雄君 職場紹介に掲載されたので。
石黒慶之助君 病気が回復し再び出席して。
張紹洵君 大会が成功することを祈念して。

ビジター

鶴岡西R.C. 半田茂弥君
酒田東R.C. 村上七五三夫君



ています。

- 本日定例理事会承認事項

- ① 台中港区R.C.を始めとする姉妹クラブ歓迎会
費用補助金としてクラブ基金から20万円支出の件。
- ② 12月8日の第3回クラブ協議会は石黒ガバナ
ーのご都合により、公式訪問が58年1月18日
に変更になった為11月16日に繰上げ開催する件。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 榊菱和より「小倉百人一首」全文毛筆書の案内
が参っておりますが、希望の方は事務局迄申込み事。
(今週の担当者 石塚敏彦・中江哲夫)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



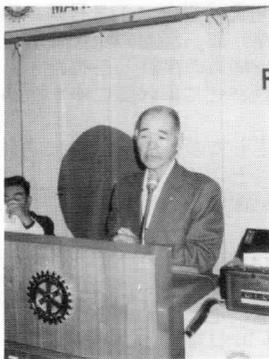
会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 70 名 出席 55 名 出席率 78.57% 前回出席率 88.57% 修正出席 68 名 確定出席率 97.14%

ゲストスピーチ

源義経の足跡

佐藤 幸作氏



—昨年もお話して頂きましたが、今年も豊富な歴史資料に基き、楽しく歴史をヒモといて頂きました。

112号線等横断道路の建設に伴ない、庄内地区を訪れる他県からの来訪者が増加することが予想される。それには、庄内地区の名所・旧蹟をつまびらかにしておく必要があることを強調された。特に、814年前に生れた源義経は、弁慶以下16名の御供を伴ない、1187年文治3年6月、念珠関を通過。三瀬、由良弁慶峠を通り田川、清水、瀬見温泉經由にて奥州平泉に到着されたと説明。この義経の庄内地区通過に当り、主人義経ののどのかわきに、弁慶が岩から水を出した弁慶清水の話。或いは源義経(当時29才)の女経歴、そして庄内地区通過時義経の子供が生れた模様であることから、ここで我々は庄内で義経の子供が生れたことにしてはとのご意見?

お客様が来られてから名所・旧蹟をつまびらかにするのはなく、その前に歴史を作っておいても良いのではないかと思う。豊富な歴史、知識から滲み出る御講演は、我々の現世を忘れさせてくれる楽しい一時でありました。

会長報告

中江 亮君

○約1年をかけて準備した年次大会も成功裡に終了致し、台風一過と云う感じであります。それにしましても、小松地区幹事をはじめ、嶺岸さん、市川さん、板垣俊次さんたちは、引き続きガバナー事務所に参勤交替を勤められる訳で、洵に御苦勞様に存じます。何れにしましても年次大会実行委員会の役員をはじめ、会員の皆さんの御協力に依りまして大会を成功させ、ホストクラブの面目を施すことが出来ました事に対し心から感謝を申し

上げます。

- この多忙な大会の間、クラブ委員会の活動が或いは滞っておられるかと存じますが、一服されまして又そろそろおみ腰を上げていただきますようお願いしたいと思います。
- 米山記念奨学会理事長から、奨学生廖登楡君のカウンセラーとしてお世話下さった三井徹さんに感謝状が贈られました。
- 台中港区R.C.からいただいた友愛の花の種子は播種の方法を研究して、折角のご好意にお答えしたいと存じます。
- 上野三郎さんのお母さまが去る10月2日お亡くなりになり、10月4日太春院でとり行われましたお葬式に、私がクラブを代表しておくやみを申し上げて来ました。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 例会変更のお知らせ
 - 酒田R.C.より 10月13日(水)の例会の変更
日時 10月13日(水) 午後3時
場所 最上河川敷(酒田市営体育館うら)
登録 3,000円 恒例の芋煮会の為
 - 酒田東R.C.より 10月21日の例会変更
日時 10月21日(木) P.M. 4:00
場所 妙法寺
登録料 1,500円 芋煮会の為
2. 温海R.C.より(1982~1983)活動計画書到着。
3. 桐生R.C.会員 P.G.前原勝樹氏より
ロータリー名言カレンダーの案内が参っております。
4. 会報到着
鶴岡西R.C. 東京R.C. 米沢西R.C. 米沢R.C. 台中港区R.C.
5. ロータリーの友事務所より
本年度(1982~1983)版全国会員名簿の追加注文のお願い到着。
6. R.I. 第274地区救援本部長崎市内6クラブ救援金受入代表・山内正明氏(当番クラブ・長崎北R.C.)より、長崎大水害救援見舞金のご惠送のお礼状が参っております。
7. 郡山北R.C.より バーナー到着
8. 米沢R.C.の財団奨学生の吉沢京子さんより、年次大会参加のお礼状が参っております。
9. 福島県の飯島隆俊P.G.より当クラブ会員の松田

庄内空港の建設を推進しましょう

氏へお礼状が参りました。特に至己博物館、羽黒山等の案内により。

ガバナーから鶴岡R.C.への謝辞

石黒ガバナー代理
地区幹事 小松広穂君

- 地区年次大会は極めて立派に終えたと思います。
 - ・ホストクラブの長い間の準備が周到であった事。
 - ・会員全員が大会のために情熱を傾けて頑張り通した事。
 - ・会長代理が人間性豊かな、高連なお人柄であった事(28地区で外国人の会長代理は2名だけ)
 - ・天候に恵まれた事。
(4月のI.C.M.、6月の地区協議会と共に…)
 - ・天の恵み、地の利、人の和(事務局山下和子さんの大変な御活躍があった事を含めて)が成功の基となったと思われます。鶴岡R.C.の誇るべき功績と確信しております。
- お詫びと感謝
 - ・ガバナーが倒れたことの影響は、皆様へ大変なご迷惑となったと思う。“頂門の一針”として深くお詫び致します。
 - ・大会当日並びに直前数日間の大会事務局の熱気に充ちた目の輝き、額に汗を流し、かけめぐる現実の姿は、私の深い感動となって何時までも残ることでしょう。言葉では表現できない感謝の気持ち一杯です。そして心から喜んでおります。
- 本日は第30回目の公式訪問として福島県・滝根R.C.へおります。今回、自分の健康管理に留意しながら、真剣にロータリーの発展に努力し、皆様のご支援に応じて行きたいと念じております。

委員会報告

1. 親睦委員会

張 紹淵君

会員誕生 秋野 忠君、石井敬三君、石川寿男君、川村徳男君、風間真一君、中江哲夫君、大森健司君、斎藤 隆君、佐藤元伸君、富樫良吉君、山口篤之助君、吉田昭利君

奥様誕生 石井博子様、池田絢子様、三浦明子様、佐藤登久子(昇)様、佐藤康江(元伸)様、鈴木須美子(弥一郎)様、玉城常磐様、内山キミ様

2. 出席委員会

佐藤 順治君

- (1) 10年間皆出席賞 森田清治君
- (2) 9月度100%出席 57名

3. 年次大会庶務委員会

川村 徳男君

地区大会保存資料についてお願い。
地区大会の幹事、副幹事、実行委員会の各部長委員長の方々が、それぞれのポストで作成した文書

ビジター挨拶

年次大会副委員長 本間儀左エ門氏



私は、はからずも年次大会副委員長を拝命しました。

しかるに、温海にいるせいばかりではないと思うが、何のお手伝いもせず、殆んどが三井大会委員長並びに佐藤幹事様他役員の皆様方が全部を進められ、私は只大きなリボンを頂戴しただけであります。

あまつさえ、2日土曜日には、余目・温海線の期成同盟会(112号線と温海とドッキングさせる道路)に、温海の町民代表としての出席に対しては、皆様方の御許しを得たとしても、大会には2時間遅刻させて頂き誠に申し訳ありませんでした。

お蔭様にて、町民代表としての、そして大会副会長としての両使命はたすことができました。ここに皆様方のご厚意に感謝申し上げます。スマイルさせて頂きます。

・資料で将来の参考、記録のために保存した方がよいと思われるものがあれば、事務局山下さんまで届けて下さい。期限は10月16日まで。

4. 社会奉仕委員会

山口 篤之助君

「ボランティア活動」に関する意識調査表を記入し、来週火曜日(10月19日)まで提出するよう協力下さい。

お知らせ

- 1. 年次大会招待の礼状が届いています。

米沢R.C. 吉沢京子さん
東京北R.C. 旅河正美君

- 2. 講演会案内

テーマ “どうする、どうなる庄内地方” 他
日 時 10月17日(日) P.M. 1:00~4:30
場 所 鶴岡市青年センターホール
講 師 伊藤善市先生
主 催 鶴岡青年会議所

スマイル

森田 清治君 ダイヤ入りバッジ賞を戴いて。
本間儀左エ門君 年次大会副会長の任務を終えて。
上野 三郎君 母親葬儀(82才)への御厚情に感謝して。

ビジター

鶴岡西R.C. 三浦 正志君
〃 加藤 有倫君
温海R.C. 本間儀左エ門君

(今週の担当者 石塚 敏彦)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員70名 出席48名 出席率68.57% 前回出席率80.00% 修正出席68名 確定出席率97.14%

財団法人 ロータリー米山記念奨学会に就いて

三 井 徹 君



米山梅吉氏は、明治元年東京で生まれ、5才の時父を失い、母の郷里三島の素封家の養子となったが、沼津中学2年生のときに雄志いだき東京に出奔、苦学4年の後渡米8年間留学し、帰国後三井銀行に入社、42才のとき常務取締役役に就任、財界の重鎮となった。

端正な人格で、文学を好み、漢詩を作り、和歌・俳句に秀いで、苦学力行大成した人物でした。

向学心に燃えながら学資に窮する学生には援助を惜まず、周囲の人々に大きな感動を与えることが、たびたびであったが、自分の名を出すことを好まず常に無名の激励者たることを望んだことは、奉仕の精神であると思います。

大正9年、日本ロータリーの嚆矢として東京R.C.を創立したが、当時の日本はまだ封建色が濃く、ロータリーはなじみにくかったが、漸く24名の会員を得て発足し、自ら初代会長となった。時に53才でした。

米山氏は非常に熱心に、宣教師のようにとも云われる程にロータリーを普及することに努力され、昭和15年戦争の為R.I.から脱退するまでに48R.C.、1,342名に達し、第70地区の初代ガバナーを勤められた。

終戦後の昭和21年4月28日、誠実と善意の生涯を79才で閉じられました。1947年1月27日、ポール・ハリスもくしくも79才で長逝された。

昭和24年にR.I.に復帰し、その後の隆盛をもたらした日本ロータリーの父とも云うべき人物でありました。

米山奨学会は、このような米山氏の人格、業績を敬慕し、その精神に賛同した日本全国ロータリアンの共同事業であります。又、この事業は日本ロータリー独自の事業で、日本では外国人留学生に対する奨学制度が、他の先進諸国に比べ貧弱で、政府の奨

学金を受けている留学生は僅か15%。85%は私費留学生で、この私費留学生に対する殆ど唯一の国際奨学事業であり、特に東南アジア諸国に対して貢献度が大きく、高く評価されております。

学生に対して単に学費を援助するだけでなく、精神的援助、親睦を計り、学生を国際文化使節としても遇し、国際親善に寄与するものであります。

会 長 報 告

中 江 亮 君

- 本日は米山週間ですので、記念スピーチを三井徹さんをお願いしました。
- 年次大会の報告等各責任者をお願いします。
- 浜田耕一バスターガバナーから年次大会について、丁寧なお礼状が参っております。(別記の通り)
- 去る10月16日第一インに於て、会員の三井健さんのお嬢さん京子さんと同じく会員の吉野勲さんのご長男隆一さんが、めでたくご結婚されました。私もクラブ会長として招かれましたが、さすが鶴岡の名門のご両家だけあって非常に格調高く盛大な披露宴でありました。
- 今年の年次大会に於て当クラブに対し、米山記念奨学会寄附優秀クラブの表彰盾が贈られました。
- 公式訪問が1月18日に変更になったので、第3回クラブ協議会を11月16日に開催したく、前期の活動の成果をまとめますよう協力願います。
- 新穂光一郎さんが、無事元気でアメリカの旅行から帰られました。色々の面白いお話を次週の例会でスピーチをお願いします。

浜田耕一バスターガバナーのご礼状

拝啓 新涼のみぎり、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、地区年次大会に際しましては、私共夫婦はじめ前事務員の小山までご招待にあづかり、誠に有難うございました。

大会は天候にも恵まれ、亦心配されたガバナーのご病氣も快服され、お元気に三日間を勤めあげられ大変盛況裡に終了いたし、心からお慶び申し上げます。

ホストクラブ、コホストクラブ皆様の周到なご準備

庄内空港の建設を推進しましょう

備による円滑な運行。またご夫人皆さまの友情あふれるご接待など、心に残るみのり多い大会でした。

英会長代理ご夫妻も深く感激のご様子で、接待役を仰せつかった私どももうれしい大会の成功でございました。

大会中にお寄せ下さいました数々のご配慮に感謝いたすとともに、貴クラブの一層のご発展をお祈りいたし、とりあえずお礼申し上げます。 敬具

幹事報告

佐藤元伸君

1. 例会会場変更 村山R.C.より
昭和57年11月より 北郡信用組合本店 4階
村山市橋岡晦日町1番8号
TEL (0237) 55-5581
2. 例会時間・場所変更 立川R.C.より
日時 10月21日(木) 午後5時より
場所 草薙 白糸の滝ドライブイン
登録料 4,000円 いも煮会の為
3. 1982~1983年度 R.I.第253地区
インターアクトクラブ会員名簿、学校並びにロータリー関係者名簿が参っております。
4. 富士海外旅行(株)より1983年トロント・国際ロータリー年次大会参加旅行の案内が参っております。

年次大会を終えて

年次大会委員長 三井 徹君

- 一般の地区年次大会におきまして、大会委員長と云う重要な役命を受けましたが、幹事さんはじめ皆さんの御協力により、無事大任を果すことができましたことに、改めてお礼申し上げます。

年次大会幹事 佐藤 忠君

- 去る10月2・3日の地区年次大会も成功裡に無事終了することができました。ホストクラブの皆様には本当にご苦労様でした。心から感謝とお礼を申し上げます。一年余りに亘り実行委員長を中心に綿密な企画と周到と準備、そして実施が立派な成果を生んだものと思います。
- 又、私の秘書役として尽力戴いた大会事務局の山下さんには、色々無理な仕事を願うなど本当に有難うございました。「ロータリー一級事務管理士」の免状でも差しあげたい気持ちです。今回の大会は、「簡素にして充実した大会」をテーマに実施して参りました。先づ①登録料について、近年10,000円であったものを8,000円に設定したこと。②シンポジウムと記念講演は、内容・質共に充実したものにしたこと。③懇親会は分区毎に実施し、温泉ホテルでゆっくりくつろいで戴いたこと。④R.I.会長代理の歓迎には万全を期するため、内容を考えた夕食会と、ムードを中心とした晚餐会を実施したこと。⑤昼食は、第一日目を軽食に、第二日目は内容を考えた弁当にした

こと。⑥会場の雰囲気盛り上げるための看板等装飾には相当の予算を配分したこと。など所期の目的は概ね達せられたものと思っております。

今後の作業は記録誌ですが、簡素にして内容は立派なものとするので、記録・広報の委員会が作業を進めており、来月上旬には月信特集として発刊する運びとなっております。

尚、11月14日(日)、三瀬の琴平荘に於ておいしい魚料理でホストクラブとして、大会反省会を開催致しますので、ご夫人共々ご参加戴き、大会についての反省、ご意見などお願いいたします。

尚、登録料は1,000円で、当日午後3時30分商工会議所をバスにて出発致します。

- 地区年次大会 参加クラブ数 83クラブ
登録者総数 1,319名
うちロータリアン 1,186名
夫人及びゲスト 113名
ございました。

◆ インターアクト委員会

藤川享胤君

11月7日、天真学園で庄内地区インターアクト研修会を行います。午前中は講演会、午後からバレーボールの試合を行いますので、前回ソフトボール大会に出席された方の参加をお願いします。

◆ 社会奉仕委員会

山口篤之助君

先週の例会で、ボランティア活動に関する意識票の提出でご協力をお願い致しましたが、まだ十分ご提出がございませんので、次の例会までに是非ご提出下さるようお願いいたします。

◆ 米山奨学会

鈴木弥一郎君

米山週間であり、偶数月でもありますので、米山奨学募金をお願いいたしましたところ、14,271円の多額のご賛同を戴きありがとうございました。

スマイル

- 三井 健君 } 両家の結婚について
- 吉野 勲君 }
- 三井 徹君 } 年次大会無事終了について
- 佐藤 忠君 }

ビジター

- 余目R.C. 佐藤孝二郎君
- 鶴岡西R.C. 鈴木昭吾君
- 〃 本間文一君
- 〃 帯谷義雄君

(今週の担当者 松田貞夫)



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship
Throughout the World

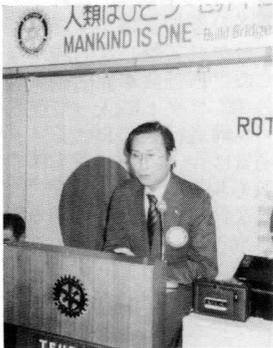


会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 70 名 出席 56 名 出席率 80.00 % 前回出席率 68.57 % 修正出席 59 名 確定出席率 84.29 %

ニューブランズウィック市を訪問して

新 穂 光 一 郎 君



うちのクラブとしては大変忙しい年次大会を欠席させて頂き、アメリカへ送り出して下さった友情に感謝申し上げます。

最初に津田さんからの調査依頼のありました大卒の給料は、大体 900 円^角～1,000 円^角だそうです。円が安いのでやや日本の倍近い額になるようです。

旅へ出る楽しみは、第一に新しい発見が何かあること。番二に全く自由な自分の時間を持つこと。第三にこれは食いしん坊の私だけかもしれませんが珍らしい食物に出会える事です。

ニューヨークへ着きまして、国連本部・エンパイア・ステートビル・ワシントン スクエア・パワリー街・ウォール街と自由の女神のみえるバッテリーパークへ行ってきました。

この中で面白いのは、ワシントンスクエアというところ。ヒッピーじみた人の集合地で、皆かなり思い思いに自由な発想で遊んでいる所ですが、そのすぐそばにアメリカでは最高と云われる宝石の取引店が並んでいるパワリー街があると云う事です。

ワシントンでは国会議事堂・記念塔・リンカーンジェファソン記念館・ウォーターゲート・ホワイトハウス、それに航空宇宙博物館に行ってきましたが、この博物館には初の大西洋横断飛行に成功したリンドバーグのスピリット オブ セントルイス号や日本の零戦、それにアポロのカプセル、月の石など展示されております。

9月27日にリンチ市長さん廻しの車でトレントンからニューブランズウィックへ行きました。公式訪問のあと日本人墓地からニューブランズウィックトモローというプロジェクトの本部へ行き、その目玉商品とも云えるハイアット リージェンシー ホテルにリンチ市長の好意で宿泊させて頂きました。大変素晴らしいホテルに目をうばわれながら、そして市長からの好意の果物、チーズの詰め合せ及びメッセージの贈物に感激いたしました。夜のパーティも大変気楽なもので、カクテルパーティからディナーパーティへと流れて、鶴岡の市長もどこでメッセージを読み上げていいものか当惑している様に見えました。

尚、市長メッセージには、1. 両都市の相互訪問 2. 両都市での交換学生 3. 小中学生の絵画工作等の交換展示 4. アメリカより鶴岡への進出企業の斡旋（これはわがクラブの玉城さんよりの要望で）等を折り込んでおります。

実はこのパーティにロータリアンがいるものと思いついていた私は2・3の人にロータリアンの存在を確認してみましたが無駄でした。

翌28日にラトガース大学の学長室に行き学長夫人（昨年ホテルニューオータニでお会いした方）との談話中、ジョージ A オスターグレンというロータリアンにお目にかかり、早速「うちのクラブとお宅のクラブが姉妹クラブであることをご存じか」と聞いてみましたが「知らない」という返事で、しからはミグリオリニー氏やクラーク氏はどうかと問うても昔の事は分らんという返事でした。

何せ時間が約5分位、それに私の英語ではそれ以上の質問及び説明は無理でしたが、ただ帰りかけた折に「とにかく私にその辺の事も含めて手紙をくれ」という事でしたので、今後会長と相談して何とか又新しい型の友好関係をつくって行きたいと存じます。

時間があれば物産の事も申し上げたいのですが、中をぬきまして日本との相違点、ズレてる点を申し上げます。

1. 先程の山谷の傍に銀座がくっついた様な街並み 2. 歩行者用赤信号でもドンドン歩いていく市民 3. マネー イーターと称する切手自動販売機 4. 皆さんご存知と思いますが煙草は各州で値段が違います。5. ニューヨークのパークアベニューという大通りの真中に北からみても南からみても通りのつきあたりにあるのがパンアメリカンビル 6. アムトラック（アメリカ国営鉄道）は日本の国鉄と違い、出 払口がなく、車掌が乗客のチケットを検査するだけだから実に簡単。国鉄赤字も膨大なのだから少し真似たらいいと思います。7. そして気楽で形式ばらないパーティ等々です。

最後に、毛の色、眼の色、肌の色の違うアメリカ人を見ますと、何か別世界の人の様に見えますが、やはり人間的優しさ、人を遇する方法など基本的には台湾でも日本でも同じと思います。ただ若干の言語上の不自由は感じつつもですが、心情的に温かさを感じた事が私の最高の収穫でした。

庄内空港の建設を推進しましょう

会長報告

中江 亮君

- 年次大会に参加されました台中港区R.C.の紀坤様 団長さんから礼状が届いております。
- 当クラブの大先輩早坂源四郎バスターガバナーの著作についてご披露申し上げます。ご承知の通り先生は今から3年前会員の要請を受けて「ロータリーとは何か」の小冊子を発刊され、地区内のクラブに配られまして好評を得たので、今般また地区のバスターガバナーの強い要望もあって「ロータリーの道徳律とは」を追加発刊されました。大変分り易い筆法で、ロータリアン必読の書と思います。汽車旅行で退屈な時など、ぜひお読みになることをお進めします。
- 早坂先生の著作のご紹介のついでに申し上げるのはどうかと思いますが、11月6日・7日酒田天真高校で酒田R.C.の主催で、中大教授・小堀憲助先生の講演会が開かれます。先生はロータリーのことについて非常にすばらしい知識を持っておられる方で、時間ありましたらぜひ参加される様おすすめします。
- 最後に、本日はプログラム委員会の肝入りで、新穂光一郎さんのアメリカ旅行についての大演説会が予定されていますので、皆さんと共に拝聴したいと思います。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 例会変更のお知らせ
酒田R.C. 11月10日の例会を下記に変更
期日 11月6日(土) P.M.3:00
場所 天真学園高等学校
講師 中央大学教授 小堀憲助先生
懇親会 6日 P.M.6:00 日和山ホテル
会費 10,000円
参加希望の方は申出を下さい。
2. 年次大会参加・お礼状到着
元ガバナー事務所事務員 斎藤多加子様
3. ロータリーの友事務所より
1983年用ロータリー ダイアリー カレンダー
のご案内＝詳しくは「友」11月号32頁をご覧下さい。
4. 年次大会幹事より年次大会還付金として
146,000円入金されました。
5. 地区社会奉仕委員長・平松信武氏より奉仕活動の報告に対してのお礼状到着。
6. 会報到着 藤沢R.C.
7. 全国ロータリーアクトクラブ名簿到着
8. R.I.第253地区ガバナー石黒慶之助氏より日比組合せ地区およびクラブ研究会開催の件
期日 11月19・20・21日の3日間
場所・Y.M.C.A.アジア青少年センター9階大ホール
登録料 20,000円

早坂源四郎バスターガバナー挨拶

会長からお褒めの言葉をいただき恐縮です。発刊の動機は、福島の大原バスターガバナーから「ロータリーとは何か」に「道徳律」を書きたし、地区内に配付してはどうかという進言もあり、ガバナーの了

第9回地区ローターアクト年次大会 参加報告とお願いについて



会長 清和由雄君

去る10月10日・11日、「山形少年自然の家」において、山形ローターアクトクラブのホストのもと、第9回の年次大会が開催されました。今回は地区外R.A.C.44名、地区内R.A.C.115名、それに地区外R.C.3名、地区内R.C.25名(北は北海道留萌、南は長崎の壱岐R.A.C.からも参加)と計187名の参加登録がなされ、

開会式の後5つの分科会に分かれて熱心な討論がなされました。① 青少年における社会奉仕活動の現状とその推進を図るには。② アクトに入って学んだこと、変わったこと。③ 高齢者社会におけるアクトの活動と考える。④ 職場では今…。⑤ 青少年の国際理解と国際人。いづれも現在から将来にかけてのクラブの活動の中で重要な課題であり、今回の討論が今後に生かされるであろう内容のものばかりでした。ひきつづき屋外キャンプ場でのレセプションがあり、また広く親睦・友情の輪を深めることができました。翌日は、分科会の発表の後オリエンテーリングやプラネタリウムと、自然と触れあい、互いに楽しみ合う時間もとられ、全員で最後に「手に手つないで」を合唱し今年度の年次大会を感銘深く終了できました。年次大会に関しての報告は以上です。

次に、現在当鶴岡ローターアクトクラブでは発会10周年を迎え、記念の企画を考えております。時期としては4月下旬をめどに2泊2日程度の日程をとり、10年間のあゆみをスライド等でふりかえりながらのディナーや、ロータリークラブの先生よりの講演などもしていただけたらとも考えております。しかしなにもふんにも力不足なため、スポンサークラブであります鶴岡ロータリークラブの諸先生の御協力御支援をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。又、上記に先立ちまして、メンバー増強の件についても諸先生のものとの適切な人物を御紹介いただきたいと考えております。ぜひよろしくお願ひします。

解も得て作りました。自弁でもあり嶺岸光吉君のご援助を得て発刊の運びとなったものです。この機会にお礼申し上げます。

スマイル

佐々木栄一君 第33回電信電話記念日を祝って
中村 富昭君 藤島町庁舎電気工事が完成したので
菅原 辰吉君 近火お見舞いのお礼
張 紹 潤君 近火お見舞いのお礼

ビジター

温海R.C. 本間儀左エ門君
鶴岡西R.C. 斎藤健治君、鈴木昭吾君
(今週の担当者 今野清一)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介
 出席報告：会員70名 出席58名 出席率82.86% 前回出席率80.00% 修正出席62名 確定出席率88.57%

鶴岡市織物海外見本市に参加して

鶴岡市役所商工観光課長 延 味 幸太郎 氏



本日のロータリークラブの例会におきまして、貴重な時間を私にお与え頂き心から感謝を申し上げます。

今年の山形県織維海外見本市は去る9月28日から3日間ニューヨーク市で開催されたのでありますが、今回で5回目になります。

この見本市は本県の織維産業振興の一環として、アメリカ、カナダに販路拡大を図るために昭和53年度から実施してきております。

第4回までの見本市は鶴岡織物、米沢織物、山形県ニットの三者が同一会場で同一期間展示というパターンでしたが、今回は各産地が独自に見本市を開催して各特徴を打出し、従来の総花的な物産展示のみに止らず商取引を主体にしようとの新たな試みをもって実施されました。

今回の派遣団のメンバーは山形県の斎藤観光物産課長(団長)、羽前絹練(株)の大和常務取締役(副団長)松文産業(株)伊藤取締役生産部長、松岡機業(株)の大森生産課長と私の計5名でした。

9月25日、成田にて結団式とニューヨーク市場の情報交換・検討を行ない、翌26日日航機で成田を立ちました。

見本市会場はブロードウェイに面した1441ビルの22階にあります西田通商(株)の事務所の2部屋を借り1部屋を物産展示会場、他の1部屋を商談コーナーとして使用しました。

今回の展示品は松文産業から114点、松岡機業から20点の計134点であります。

初日28日夕方から市内の日本クラブで現地の主な商社をお招きして「鶴岡織物求評懇談会」を開催いたしました。尚当日午後には、鶴岡市の姉妹都市であるニューブランズウィック市を親善訪問されました鶴岡市長、鶴岡市議会議長、R.C.の新穂直前会長を始めとする一行9名の方々も会場にお越し頂き、

状況をご覧いただきました。「求評懇談会」は真摯な意見交換の中にも終始なごやかな雰囲気でご充実した意義深いものであったと存じます。

2日目からは本格的な商社との打合せ、商社の同行も求めて生地問屋に入りコンバーターとの商談やカッター工場への訪問等精力的な活動を展開しました。

3日間を通じて展示会場には商社等30社近くの方にご来場頂きました。そして展示品の一つ一つをていねいに、真剣に見ていただきましたし、展示品のサンプルブックの他に展示品そのもののスワッチの要求がシルクもの20数点、ポリエステルもの65点程、また引合いも30件程ありましたし、期間中に商談成立もありました。これは前回までになかったことであり、ねばり強い商談等が効を奏したものと、高く評価されると存じます。

西田通商(株)の宮園副社長からナンシーアメリカ大統領夫人の写りが載っている新聞のコピーを見せられ「このナンシー夫人の着ている服の服地は松文産業の作品である」といわれまして、鶴織の製品が着実にアメリカに定着していることを確認し、鶴織の面目の躍如たるものを感じた次第であります。

このように、今回の見本市も極めて好評であり、予想通りの成果を収めたものと存じますし、今後もスワッチを持ち帰った商社、或は引合いのあった商社等から多くの発注があることを大いに期待したいと思っております。

ちなみに昭和53年の第一回目からの契約高の推移をみますと、引合 契約

	件数	件数	契約高	計
第1回	鶴織(?)	(12)	20,000 冊	122,000 冊
S53年	米織(?)	(20)	102,000 冊	(100%)
第2回	鶴織(127)	(23)	78,348 冊	354,553 冊
S54年	米織(254)	(45)	276,205 冊	(293.4%)
第3回	鶴織(205)	(55)	164,700 冊	415,188 冊
S55年	米織(128)	(?)	250,488 冊	(116%)
第4回	鶴織(227)	(58)	198,160 冊	603,833 冊
S56年	米織(309)	(48)	405,673 冊	(145.4%)

(いずれも翌年の5月末現在のデータ)

S53とS56を対比してみますと、鶴織で約10倍、

庄内空港の建設を推進しましょう

鶴織、米織合計でも約5倍の躍進を示しております。今年も更に多くの成果を期待して止まない次第であります。

会長報告

中江 亮君

理事会についての報告

- 国際青少年交換について～高専校と鶴岡工業高校から2名の派遣希望者がありましたので、委員会で選考された結果とその経過について石井敬三委員長からご報告があり、結果を直接本人に通知することに致しました。
- 出席奨励について～出席率の低迷する現況について佐藤順治委員長のご報告があり、理事会の方針として出席の良くない方に個々にご理解と認識喚起を申し上げて努力を続けられるようお願いを致しました。
- 会員増強について～石黒ガバナーの公式訪問に報告出来る資料がまだあげられていない理由について阿部公一委員長のご報告があり、所期の目的を達成するため2名程度の委員を補強することに決定し、その人選を近々致すことにしました。
- ニューブランズウィックR.C.との姉妹クラブ交流を今後如何に進めるべきかについて直接先方の会員と会われた新穂光一郎さんに手紙を出して頂くことにしました。
- 地区I.C.顧問教師研修旅行費用として、2名分¥65,000を支払うことにしました。
- 来年の4月24日地区I.C.の指導者講習会を当鶴岡クラブがホストを要請されたので、行事の企画を高専高の篠崎孝一先生とI.C.地区委員の田宮長二さん(温海R.C.)をお願いすることにしました。
- 公式訪問の日程表がガバナーから通知がありました。
- 11月6日午後5時、羽黒に於て開かれるスイス友の会にクラブ会長として出席して来ます。

幹事報告

佐藤元伸君

- 1. 酒田東R.C.より創立15周年記念誌到着。
- 2. 社団法人日本の松の緑を守る会より入会の案内到着。
- 3. 張紹淵氏より貯金箱を当クラブにいただきました。

親睦活動委員会

張 紹淵君

会員誕生 藤川享胤君、風間慶三君、中村富昭君、佐藤 衛君、鈴木善作君、丹下誠四郎君
奥様誕生 早坂さえ(源四郎)様、小松久子(広穂)様、中田安子様、菅原和子様、佐々木雪子様、丹下せい子様

出席委員会

佐藤順治君

- ◎年間皆出席 20年間皆出席 新穂光一郎君
4年間皆出席 藤川享胤君
1年間皆出席 小松三雄君
- ◎10月100%出席 56名

スマイル

三井 健君 開店を記念して
(今週の担当者 中江 哲夫)

S.A.A委員会打合せ記録(概要)

57.10.26(火) 午後6時から於・中国飯店
出席者・石川委員長ほか11名

○最初に7月以降本日までの例会設営にあたって、S.A.Aとしての活動状況についての反省と今後の活動にどうその反省を活かすかについて話し合いました。

1. 例会会場での出迎え方について

S.A.A.委員が多数でタスキをかけて入口に並んで出迎えられると、何となく敷居が高い感じで入りにくいのではないかとの問題提起があり、色々議論が活発におこなわれました。

その結果、

- ① 会場の設営・準備は全員がなるべく早くきてみんなでやる。
 - ② タスキは委員長と早く来た2人程度がかけることにし、他の者は席につく。(タスキをかけた者はかけたまま最後に着席する)
 - ③ 後片づけはS.A.A.全員でやる。
- 以上について意見が一致しました。

2. 例会会場での着席順について

7月の委員会で奇数月の第1例会は先着順に指定した席についてもらうことによって会員の親睦の範囲を拡げたいと決めましたが、仲々円滑にいかないの、もう一度意識統一をはかりたいということで色々議論がありました。

その結果、

- ① 奇数月に1回席順を決めることは会員親睦のために必要である。
 - ② 試行的に先着順着席の方法を1回やってみて、会員の反響を見てその後続けるかどうか決める。ただし、ビジター、ゲスト、会報委員の席は従来どおり指定する。また後方10席程度は出席予定数がわからないので保留しておく。
 - ③ 委員会毎に集める方法は、クラブ協議会のある日の例会の際実施する。(打ち合せに便利なので)
次回は11月16日の例会におこなう。
 - ④ 1月の例会では百人一首方式で実施する。
- 以上について意見が一致しました。

○委員会としての打ち合せが済んだあと、ロータリー情報委員長の小池さんからお話を聞き、勉強会をおこないました。小池講師からはロータリー活動における欧米と日本との民族性の違いによる若干の差について具体的な例を挙げながら含蓄の深いお話があり、日本人の民族性思想にあったロータリー精神と活動があってもよいのではないかとということで結ばれましたが、新入会員の多いS.A.A.としては大いに啓発されるものがありました。

○最後にプログラム委員会の三井さんから、10月以降今年末までのプログラム日程についてお知らせがあり、懇談ののち散会しました。

ビジター

余目R.C. 佐々木尚伸君
鶴岡西R.C. 鈴木昭吾君、長野正彦君、菅原幸雄君、菅沢久弥君



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 70 名 出席 58 名 出席率 82.86 % 前回出席率 82.86 % 修正出席 65 名 確定出席率 92.86 %

鶴岡ユネスコ協会から近況報告



去る6月初旬にヨーロッパ旅行に参りました。当時はパリでサミットがあったり、ロンドン駐在のイスラエル大使が暗殺されたり、イラン・イラク戦争も続いているような情勢でした。

パリのロータリークラブでは200名位の出席者で、5~6人がけの丸テーブルの真中には赤白のワインが準備されて、適当に飲みながら賑かに楽しそうな雰囲気です。

ウィーンのロータリークラブ例会は50名位で、飲み物は自費でワインが出ていました。今朝ロンドンから帰国したという外交官が、イスラエル大使の暗殺について興奮してスピーチをしていました。ヨーロッパは平和・軍縮運動が盛り上っていました。ロンドンでハイパークのすぐ近くのホテルに泊っていましたが、6月6日、未曾有の大デモ行進が行われて見物しました。15~16万人の参加者で平和・核兵器廃絶のプラカードを掲げて静かに歩いていました。家族ぐるみの参加者が多いようでした。交通はマヒして殆んど一日中ホテルに籠詰状態になりました。核戦争に備えて、市内には多くの非常に深い地下駐車場が出来ているようです。相当緊迫感がありました。

このような先進諸国の状態に対比して、アジア・アフリカの途上国の難民問題、食糧問題、更に世界中の乱開発、自然破壊の問題、文化遺産の保存の問題など、今世界中にユネスコ運動が急務となって来ているものが沢山あります。

パリのユネスコ本部に行って見学して来ました。日本の派遣職員・松本信次氏の説明を聞いて来ました。職員約2,400名。国連加盟国からその出資に比例して職員が派遣されて働いている。

設備の膨大さに驚く。日本から寄贈された日本庭園で少憩した。

ユネスコ本部では、先進国の出資による予算の中で途上国の多くの問題に対して、一定のペースで仕事をすすめている状態でした。しかし、緊迫感ある現状に対しては、もどかしいと感ぜざるを得ないと

鶴岡ユネスコ協会会長 三井 徹君

というのが実感です。而して、そこに民間ユネスコの活動が必要であると痛感しました。

此のような現状に対して、民間ユネスコは活発になって参りました。

ユネスコ本部加盟150ヶ国、民間ユネスコは78ヶ国に約3,000クラブ(協会)があります。

1974年にアジアユネスコ協会連盟(AFVCA)が、京都会議で誕生した。昨年1981.7月にチュニジア会議で世界ユネスコ協会連盟(AFUCA)が誕生した。会長国は日本・数納清氏が会長に就任した。第1回世界ユ協総会(並に世界大会)は日本の仙台市で開催することに決定した。

仙台市は民間ユネスコ発祥の地であり、昭和22年7月10日、当時は占領統治下であったので、ユネスコ協力会の名称で発会した。尚、総会・大会は1984年7月10日を含めて7~10日間、仙台・東京・広島・長崎・京都などで会合がある予定。(鶴岡ユ協は設立が昭24.7)

此の大会は知的オリンピックともいわれている。途上国の熱心な参加が期待される。先進加盟国の国からも多数の参加が予想される。国内外参加者約3,000名の予想。

此の大会に向けて今から準備活動に入っている。出来るだけの協力をやりたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

1969年アポロ11号が月に着陸して、アームストロング飛行士が地球を見て「It afftraill a smoll boat」と叫んだ。小さなボートの上で争っては自滅すると暗示した。

途上国の人々は最近急速に自主性を持って自由・平等・連帯を求めている。

全世界の人々の間に地球社会・運命協同体・地球市民という言葉が称えられている。世界人類の連帯の実践は急務になって来ている。その実践は身近な処から始めるべきである。それが民間ユネスコの大切な仕事である。

ユネスコは先づ家庭から

国際社会に通ずる常識・エチケットを子供に教えることがユネスコ活動の基本である。

ユネスコは今すぐにその理想の実現を期待しているのではない。幾つかの世代を経て“真の平和”を希求しているのである。

ユネスコは地球から

地域社会の人々の間に出来るだけ早くユネス

庄内空港の建設を推進しましょう

コを浸透させ、より多くの人々がその活動に参加し、真の平和実現に努力することを切望している。

鶴岡ユネスコ協会の子供学校は34年目になっている、阿部襄先生のご偉業である。その子供学校で薫陶を受けた人々が今、社会人として活動している。=殊にユネスコの為に=

現在の上記のような情勢のしからしむところ、鶴岡ユ協も子供学校を更に育成すると同時に、青年ユネスコの育成を実行しつつある。更に県・東北ブロック・全国・世界ユ協の一員として実践活動を行うべき情勢になって来た。会員皆様と共に、その方向に向って具体的に事業を進めて参りたいと思います。当面、

1. 隔月に例会(懇談会)開催。
2. 地域社会の人々を対象に講演会・映写会・展示会などを実行する。
3. ユーアクション運動に参加する。
4. 会員の皆様にユネスコ新聞を差し上げる。
5. ライブラリー100、テープライブラリーの活用。
6. 地球緑化運動の推進。
7. 地域の一般の人々へのユネスコ会員としての参加を勧誘する。

などを研究、実践して行く方針である。(一部実行している)

会長報告

中江 亮 君

- R.I. よりの報告: R.I. 細則に基きアジア地域ゾーンから1983~84年度のR.I. 理事ノミニートとして塩釜R.C.会員の菅野多利雄氏が指名され、本人が之を受諾した。
- 11月16日第3回クラブ協議会を開催することにしましたが、各委員長さんから活動状況について報告をしていただきますが、この報告に基いて公式訪問用のクラブ活動要約をガバナー事務所に提出しますので、成立化出来ます様予めご用意して下さい。
- 会員の玉城俊一さんが地域の経済発展のために功績があったことで藍授の章を受けられました。クラブとしても誠に名譽なことで、本当におめでとございました。
- 本日の会報にS.A.A.委員会打合せ記録が載っていますが、いろいろと苦心されている様子が手に取る様に見えて、本当に敬服にたえません。是非お読みいただいて、S.A.A.のご努力にご理解とご協力をお願いしたいと思います。

幹事報告

佐藤 元 伸 君

1. クラブ計画及び目標の要約の用紙を各委員長さんにお配りしましたが、出来るだけ早く事務局迄提出下さい。
2. 第3回クラブ協議会開催のご案内
日 時 11月16日(火) P.M.4:00~6:00協議会
6:00~懇親会
場 所 鶴岡産業会館4階第1会議室
登録料 1,000円(当日持参下さい)
3. ガバナー連絡会議 議長 川上寿一氏より
海外クラブとの姉妹クラブ一覧表が到着

4. ㈱オクトンよりロータリー用品の公認販売店としての各種用品の販売案内到着。
5. 尼崎北R.C.よりR.I.第268地区年次大会のご案内が参っております。

日 時 昭和58年3月25日~26日

希望者は事務局迄申し込み下さい。

6. ㈱北斗企画よりロータリー名言カレンダー申込書が参っております。
7. 例会場臨時変更のお知らせ 藤沢 R.C.
臨時変更例会場 藤沢平安閣
例会日時 11月10日より毎週水曜日 12:30~13:30に。12月29日を12月27日に変更。ビジターフィー 2,000円。

余目 R.C.

11月12日(金)例会 1泊 P.M. 6:30より

場 所 湯の浜「いさごや」

登録料 7,500円

8. 会報到着 藤沢 R.C. 鹿児島西 R.C.
9. 11月30日の例会を会長選任の為の臨時総会に切替えますので、なるべく出席して下さい。
10. 11月14日琴平荘 4:30、年次大会反省会。多数御出席下さい。

スピーチ計画について

庄 司 嘉 男 君

11月9日 「ユネスコについて」

三 井 徹 君

11月16日 「平和への財団」(R.C.財団週間)

国際奉仕ロータリー財団委員会

委員長 佐 藤 衛 君

11月30日 「 」(山大農学部留学)

パキスタン留学生マホメット アリ、三井徹君

12月7日 「 」

マリア園 マイケル神父様

12月14日 「 」

東北総合警備保障㈱ 社長 佐 藤 茂 氏

12月21日 クリスマス

12月28日 年末例会

インターアクト委員会報告

新 穂 光 一 郎 君

1. 日曜日に酒田の天真学園でインターアクトクラブの研修会及バレーボール大会があり、参加して参りました。午前中は小堀さんのお話があり、午後は5チームでバレー大会が行われました。ロータリアンは4名しかいないので、女子学生に4名入ってもらい、大活躍の結果、21対18で優勝しました。
2. 先週木曜日、ニューブランズウィック市の市長さんが、統一地方選挙に再選されましたので、お祝いの電報を打ってありますので、会長にかわりて報告申し上げます。

スマイル

玉城俊一君 藍授褒章を授賞して。

ビジター

立川 R.C. 池田好雄君、滝 禅源君

鶴岡西 R.C. 加藤有倫君、佐藤成生君

(今週の担当者 石 塚 敏 彦)

職 場 紹 介



名 称 アサヒハイヤー株式会社
代表取締役社長 池田 弘
事業内容 タクシー業

昭和41年10月新潟陸運局の認可を得、小型車5輛を以て営業を開始、44年には無線機を設置し、以来16年順調に伸びて来て、現在中型車2輛、小型車15輛、従業員34名の事業規模になったのであるが感慨深いものがある。

開業当時、幸い一回の申請で認可が降りたのであるが、旧市内老舗3社夫々30台位、市内約100台の中に入って果して商売になるか如何か、不安の中で出発したのであったが、お蔭様で市民の温かい援護

の下に順調に伸びて来て現在に至っている。

由来ハイヤー業の申請は非常に厳しくこれが準備の為約2年間の雌伏期間が要ったが、ハイヤーとタクシーは夫々申請が違い、現在タクシー営業は東北に於ては仙台市と新潟市のみ。最近になって各県庁所在地が一部認可を認められたのである。これ以外の我々一般業者はハイヤー営業(貸切)の認可を申請するのであり、電話注文以外は走ってはならないのが建前になっており、タクシーの拾い客専門の申請とは異なっているのである。但し、東京のハイヤー専門の業者(料金は顧客との相互協定であり、メーター器を付けていない)と違い、料金メーターを付けており、その県その県で一定料金制である。業界ではハイ・タクという通称で区別しているが、現在県庁所在地以外のハイヤー会社は皆之に属しているのである。

機会があったのでハイヤーとタクシーの違いに触れたが、尚去年56年よりハイヤー会社のタクシー行為が認められたのも時代の故であろう。

我々ハイヤー業者は何より無事故である事が、又顧客へのサービスを第一と考えているが、社是として「事前配慮・サービスの徹底」をモットーとしており、お蔭様で47年には無事故無違反で県表彰を受けておる。又本年6月には無線の運用管理体制良好と云う事で東北表彰を受けており、これを機会により一層の内容充実を計り、無事故によるサービス、親切丁寧によるサービスの徹底を期したいと願っている。

会 長 報 告

中江 亮君

- 地区組み合わせマッチドクラブのことに付いて国際ロータリー417地区(メキシコ)のZACATEPECクラブから当クラブを選んだから直ぐクラブ会長のENRIQUE Garza Valverdeとコンタクトしてほしいという手紙が届きました。この処理の仕方について地区ガバナーに指示を仰いでおります。
- 去る14日、三瀬の琴平荘に於て年次大会についてクラブ反省会が開かれ、幹事団からご報告の後、懇親会に移りましたが、佐藤忠大会幹事始め役員の皆さん、そして会員の皆さん本当にご苦勞様でありました。改めてお礼を申し上げます。
- 本日午後4時から第3回クラブ協議会が開かれることになっていますが、各委員長さんから十分ご報告とご意見を承りたいと思いますのでよろしく願います。
- 今日はロータリー財団週間でありますので、佐藤衛財団委員長のお話の後、張紹淵地区委員長が映画を上映し乍らお話があります。
- 11月2日の理事会に於て、会員増強を推進するため委員を2名増すことに決められましたので、大変ご苦勞様ですが、ベテランの渡部利夫さんと早

坂重雄さんのご両人に現委員を兼任の儘お願いすることに致したいと思います。どうぞ目標達成のため一肌おぬぎいただきたいと思ひます。

幹 事 報 告

佐藤元伸君

- 会報到着
東京R.C. 米沢R.C. 米沢西R.C. 豊原R.C.
- クラブ協議会
日 時 11月16日 P.M. 4:00~
場 所 鶴岡産業会館4階第1会議室
登録料 1,000円
- 次回例会は11月30日です。11月23日は祭日の為休会です。

ビ ジ タ ー

温海R.C. 佐藤五右エ門君
鶴岡西R.C. 佐藤 拓君
菅原年雄君
野口 弥君
長南朋養君
三浦正志君

(今週の担当者 中江 哲夫)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship Throughout the World



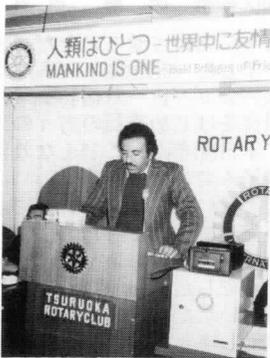
会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 69 名 出席 57 名 出席率 82.61% 前回出席率 81.43% 修正出席 64 名 確定出席率 91.43%

ゲストスピーチ

日本の印象、庄内の印象

山形大学農学部パキスタン留学生 アハメッド・アリ 君



今日鶴岡クラブの会議にゲストスピーカーとして招待されたことをうれしく思います。

ほぼ2年半前、私はロータリーの会議で台湾の友達と一緒に目にかかったことがあります。記憶でしょうか？ その時私は、日本語がとても下手で、ロータリークラブの張先生からいろんなことを英語で説明してくれた記憶があります。

1979年10月4日、私は飛行機より大阪の街を眺めていました。秋の美しい晩でした。伊丹空港に降り大阪外大の学生が私たちを迎えてくれました。

日本に来る前、日本についてのいろいろな事を考え、一つの印象を持っていました。それは日本が中国のように空手や柔道の国というイメージです。しかし、私が空港を出た時、私の思いや考えは一瞬にしてくつがえされました。一目で現代文化を持つ先進国であるということがわかったからです。すべてのものが変わって見え、私の国や私の訪れた国と違って全くの別世界でした。一つは言葉と文字の問題です。半年大阪で日本語を習い、日本人の友達ができました。日本人は外人に親切ということを知っていましたが、大阪では他の国の大都市と同じで他人は他人、自分は自分という感じでした。

大学では友達がいっぱいできました。外大の勉強も楽しくやりました。来日2年以上過ぎ、今は山形大学農学部植物病理学研究室で「穂のいもち病」の研究をしています。この2年半の間、研究室の先生に面倒をみていただき、生徒としてよりも家族の一員であるかのように感じました。このことは一生忘れません。

さて、次に庄内地方の美しい自然と人々についてですが、庄内地方は自然から種々のものに恵まれています。山や海も美しい。庄内の人々は外国人に対

してほんとうに親切で、私達と友達になりたがっているようです。しかし一寸残念なことです。外国人の気持ちを理解しない面、また私も庄内の人の気持ちがわからない面があるので、いい友達はいない。ただいい知り合いはいっぱいいます。なぜかという人々は親切にしてくれて、最後に「いつか会いましょうね」といってくれます。しかし、それはいつのことであるのかははっきりしていません。また同じ人と偶然に2~3回会ったとしても、初めに会った時のように、親しみ易さはありません。それは習慣の違いでしょうね。私の国で、初めての人と会う時はまだまだお互いのことがわからないので、そんなに急に親しくはなりません。2~3回会っているうちに仲良くなって来ます。庄内の人々の気持ちが私に通ずればどんなに良いかと思いますが、でもあと4カ月しかありません。しかし、これからよろしくお願いします。どうもありがとうございました。

میں نے ڈھائی سال جاپان میں رہ کر ان کو دیکھا

میرے دل سے بڑا متاثر ہوا۔

During my study in Japan specially in Shonai District I was very impressed by the people because of warm hospitality, which I will never forget in my life.

Ahmed Ali
AHMED ALI (PAKISTAN)
November 29, 1982

アハメッド・アリ君の紹介

パキスタンのQuatta市の出身。日本に大学院生として留学、現在山形大学農学部植物病理学研究室で研究中。研究テーマは「穂のいもち病の遺伝子に関する研究」。来日して2年10カ月、58年4月から九州大学で研究の予定。31才。

会長報告

中江 亮 君

○11月16日午後4時から第3回クラブ協議会開催。各委員長から状況報告、各委員会間の関連事項も

庄内空港の建設を推進しましょう

含めて熱のこもった討議があり、クラブ協議会の意義を痛感させられました。この中から2~3取上げ報告します。

- (1) S.A.A.から「依然としてスピーチの最中に私語をされる会員がある」との苦情。石川委員長から「S.A.A.のタスキを投出して責任をとりたい」との発言があり、出席者から「会長が例会において更に強く皆さんの自覚を促す」よう注文がありました。永年のクラブの欠点であり、改めて全会員の理解を協力をお願いします。
- (2) 情報委員会より、新会員を中心とした情報勉強会と歓迎懇親会実施予定。その折には是非ご参加下さい。
- (3) 会員増強につき、渡部利夫君、早坂重雄君に兼任のまま増強の仕事をお願いしました。成果を期待しています。
- (4) 親睦委員会では張委員長を中心に12月21日のクリスマス会員家族会の準備がすすめられています。
- (5) ローターアクトでは会員不足のため困っておられるようです。次週例会で秋野委員長からご報告いただき会員各位の協力をお願いしたいと考えています。
- 今野精一君が荏内病院に入院されました。退院されても無理がきかないことと、石塚委員長からの前からの要請もあり、S.A.A.から斎藤隆君、高田耕助君を会報委員に変更したいと思っておりますのでよろしく願います。
- 鹿児島西クラブ会員柴山一雄さんが亡くなられ、当クラブから長年の姉妹クラブ友好の橋渡しに感謝を込め弔電を出しました。
- 昨11月29日鶴岡市役所前広場で、ニューブランズウィック市、鹿児島市、江戸川区4市の友好のきずなを結ぶ「友好の塔」の除幕式があり、当クラブから石黒ガバナー、三井徹君、新穂光一郎君、石井敬三君と私が出席しました。石黒ガバナーにはロータリーから塔建設に多額の寄付をしたことに対し、石井君には塔の設計をされたことに対し市長から感謝状が贈られました。市長からN・B市との親善を深めるため鶴岡R.C.が中心となって友好協会のようなものの組織化を市民に呼びかけて頂きたいとの要望がありました。
- 公式訪問時使用のクラブ活動計画の記入を急いで事務局へ提出して下さい。
- 本日ゲストスピーチのあと、クラブ年次総会に切りかえます。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 会報到着 遊佐R.C. 台中港区R.C. 立川R.C.
2. 元米山奨学生名簿が財団法人ロータリー米山記念奨学会より到着。
3. 活動計画書到着
酒田東R.C. 遊佐R.C. 八幡R.C.
酒田R.C. 立川R.C.
4. 本日例会終了後この場所で臨時理事会を開催致します。
6. 三井健氏が東京新宿R.C.メイクしまして、R.I.第258地区年次大会の案内と会報をいただいて参りました。

クラブ年次総会

議題 1983~84年度クラブ会長イレクト及び副会長選挙の件

当クラブはクラブ細則第1条第2案の指名委員に依る指名方式を採用していますので、委員についてのお考えがありましたらお聞かせ下さい。

会長(議長)一任の動議があり、中江議長より次の方を指名しました。

上野三郎君、三井 健君、小松廣穂君、
嶺岸光吉君、新穂光一郎君、内山喜一君、
中江 亮君

年次大会についての報告

年次大会地区幹事 佐藤 忠君

年次大会の件につき若干ご報告させていただきます。①本日お配りいたしました「記念誌」(国際ロータリー第253地区年次大会がバナー月信特集号)につきましては石井委員長をはじめ委員の方々の大変なご苦勞によりまして本日配布のはこびとなりました。各クラブにも配送済みでございます。②大会の記念事業、市に寄付いたしました資金によりまして「友好の塔」が完成いたしました。③大会中ではご婦人の方々に大変ご苦勞をかけながら何もお礼をしておりませんでした。お帰りの時に該当の方々に記念品をお持ちいただきたいと思います。④大会中のために傘を準備しましたが、晴天に恵まれ全く不要でした。これを定価の1/3の値段でご入用の方にお分けしたいと考えております。大会の会計は全部終わっておりますので、売上げは当クラブのスマイルボックスに入れさせていただきます。いろいろと大変ありがとうございました。本日もって大会実行委員会を解散させていただきます。

委員会報告

ロータリー財団委員長 佐藤 衛君

前回の例会ではロータリー財団週間にちなんで、「平和への財団」という16ミリの映画を皆さんにご覧いただきましたが、早速財団の主旨にご賛同いただき、地区大会で大会幹事として活躍いただきました佐藤忠君より、ポールハリス準フェローとなられるご寄付をいただきました。

スマイル

石井敬三君 } 鶴岡市の「友好の塔」建設にあたり
佐藤 衛君 } 市から感謝状を頂戴して。

ビジター

温海R.C. 佐藤重夫君
余目R.C. 佐藤孝二郎君、佐々木尚伸君
鶴岡西R.C. 児玉光弥君、瀬尾助三郎君、
加藤有倫君
(今週の担当者 中江 哲夫)



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告: 会員 69 名 出席 59 名 出席率 85.51% 前回出席率 82.61% 修正出席 65 名 確定出席率 94.20%

ゲストスピーチ

アイルランドと日本について

マイケル神父様

私はアイルランド人で、日本とアイルランドについて話してみたいと思います。

アイルランドは、英国の西側の小さな島国で、大きさは北海道位、人口は 350 万人の農業国で、周りは海に囲まれ、天気は 1 年のうち 330 日雨が降り、世界一多雨の国です。そしてすぐ近くをメキシコ暖流が流れていますから、冬は暖かく夏は涼しい住み良い所です。主食はジャガイモで、又アイルランド人は世界中で酒呑みで有名です。

アイルランド人と日本人を比較しますと共通点は殆んどありません。先ず仕事に対して日本人は遅刻はしない、ズル休みも殆んどしない。又有給休暇があっても殆んど取らず、或は社長の命令で喜んで残業もする、祭日も休日にも喜んで出勤するような熱心な社員で、会社に対する愛着心は深いのです。しかしアイルランド人はまったくその反対で、よく遅刻をし、特に月曜日の朝又は月曜日の一日会社を休む人は少なくありません。そして残業もしない、会社に対する愛着心よりもまず家を大切に考える民族です。去年アイルランドで何十年振りです。2~3cmの雪が降ったのです。道を見て真白なので今日は寝ていようと、仕事に対する熱意は日本人と違っています。又会社に対する態度もアイルランド人は死ぬまで同じ会社で頑張るという気持ちは無く、毎日新聞を見てもし給料とかいろいろの手当の良い処があればすぐ移る。ですから何も会社に対する愛着はありません。皆さんの中でご存知の方も居られると思いますが、ソニーがアイルランドで大きな会社を作りまして社長・部長・課長と何人かの人がアイルランドに赴任して来ました。社長は非常に厳しい人でした。従業員は全てアイルランド人で、生産をあげるため夜になると社長はみんな残業しろと命令するのですが、皆んな残業をしない 5 時迄の契約ですから 5 時になると皆んな仕事をやめ残業しませんでした。その様に風俗習慣が日本とまったく反対なので、あの会社は 3 年間で閉鎖しました。

次は家族のことで、日本は家の家族主義がすごくしっかりしています。長男は嫁を貰って親の職業を引き継ぐ風習があるし、又旦那さんは会社で仕事を熱心にし、奥さんは家庭で子供の面倒を一生懸命みる。子供達はまた一生懸命勉強するとか、クラブ活動で忙がしいとか、日本の家族は大体そのようです。アイルランドではまったくその反対で、誰にとっても一番大切なのは家なのです。会社ではないのです。そしてアイルランドでは家族一緒に食事をするという規則みたいな習慣があります。そして親父さんは夕食までに家に帰らないと、お母ちゃんは大変おこって大変なことになります。ですから家族そろって一緒に夕食をとることはアイルランド人の特徴です。日本では子供が生まると子供中心の家庭となりますが、アイルランド人は最後まで夫婦中心の家庭で、夫婦間が大切なのです。私の兄には 6 人の子供がおりますが、その子供達が小さいときでもその子供達に家をまかせて、夫婦 2 人で 1 週間もヨーロッパに行っております。そして毎金曜日の晩は夫婦は子供達から解放されて夫婦揃って出かける習慣で、これは当然のことなのです。そして子供の教育に対して父親として一銭の学資も出しておりません。日本では父親は入学金から学資、そして小遣いまでも出しておりますが、これはアイルランド人にいくら説明しても理解することはできません。そうして育ててきたのに、その上この様な投資をするのか、日本人の父親バカではないだろうかとその気持ちが理解できないのです。そしてアイルランドには姑と嫁の葛藤はありません。それはアイルランドでは息子より娘を大切に、老後は娘の処で世話になるからです。嫁は他人でも娘は自分の子供だからです。

もう一つは、日本人は共同作業で有名です。アイルランド人は個人主義者です。日本の場合では父親は仕事熱心、母親は家庭で子供の養育、家計のきりまわしなど家庭の優秀なマネージャー、子供は受験勉強、そして息子は 27~8 才で嫁を貰わないと心配し、そして娘が 23~4 才になると嫁に行かせるという全て定まっている。しかしアイルランドではこのように定まっておられません。ですからみんな反対なのです。父親は仕事に熱心でない。母親は家庭の有能なマネージャーでない。子供は受験競争がなく上級学校は広き門で、すぐ入れる。しかし出るのがむづかしい。そして夫婦の責任は共同で二人で子供を作りましたから、母親だけに子供の教育をまかせることは考えられません。

次は余暇に対することで、日本人は例えばどこか遠足に行くにしても、前もって責任者とか行先、集合時間と場所とか、解散場所、時間まではっきり定めてから行い、終れば反省会ですが、アイルランド人にはいくらこの方法を説明しても理解できないのです。アイルランド人は遠足に行くときは急に決める。責任者も行先も

庄内空港の建設を推進しましょう

集合場所も時間も、そして解散場所も時間もきめません。そして勿論反省会は決して致しません。

最後は酒についてですが、気分転換の為、仕事の疲れを癒す為一杯飲む人が多い。晩酌する人、酒場に飲みに行く人も多くいます。結婚記念日とか忘年会・新年会とかお祝のときに酒を飲む。アイルランド人は酒飲みの民族です。酒を飲めない人は殆どおりません。そして世界中で一番大きなビール会社はアイルランドにあります。それはギネス。そしてすごく景気がいいです。一日中酒場に居る人が非常に多く、仕事をしないで朝から晩まで椅子に座らず立ったままで飲みます。そして酒場の前に乳母車を置く駐車場のような場所があってそこに乳母車を置いて、母親が子供を抱いてお酒を飲んでいる光景がよく見られます。日本人はウキスキーを飲むときは水割りとか、オンザロックとかをよく飲みますが、アイルランド人はそのまま、水を飲むときは水だけ、ウキスキーを飲むときはウキスキーだけをそのまま飲みます。それはメーカーの習慣なのです。

会長報告

中江 亮君

- 11月30日の臨時理事会に於て、山新観光から依頼があった“第1回山新春休みアメリカ生活”の旅企画に鶴岡R.C.の後援を戴きたいとの要望に対し次の諒解の上で承認を与えました。
 - 鶴岡市と姉妹都市であるニューブランズウィック市に当市の小中学生をホームスティさせる親善訪問旅行であること。
 - 鶴岡市も後援していること。
 - 金銭は勿論のこと如何なる迷惑も当クラブにかけないこと。
- 12月2日荘内病院に入院されている会員の今野精一さんを見舞いに佐藤元伸幹事と一緒に行って参りました。病名は腸のポリープということで、11月29日に手術されましたが大変元気でした。皆さんよろしくとのことでした。
- 本日の理事会の決定事項についてご報告します。
 - 国際青少年交換委員会で作られた交換学生派遣に際しての選定基準草案について審議を尽され修正して可決しました。これは今後のクラブの内規として採用されましたので、会報に付帯しましたのでお読み下さい。
 - 玉城俊一さんが藍綬褒章を受章されましたことに対して、来る12月21日のクラブクリスマスパーティーに於てお祝品を差し上げることに致しました。
- 11月30日のクラブ年次総会に於て、次年度クラブ会長イレクト、クラブ副会長の選出について7名の指名委員が集まって3時間近く検討をしました。優秀な候補者が多く、甲乙つけ難く難交しましたが、最終的に次年度の会長イレクト川村徳男さん、副会長に佐藤順次さんを満場一致で指名致しました。翌日私と内山イレクトが佐藤順治さん宅を訪ね指名委員会の意をお伝え致し、心よくお引受けいただきました。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 会報到着
鹿儿島西R.C. 東京R.C. 鶴岡西R.C.
2. 例会時間・場所変更のお知らせ
(1)温海R.C. 12月20日の例会はクリスマス家族会のため下記の通り変更。
日時 57年12月23日(木) P.M. 5:30点鐘
場所 温海グランドホテル
登録料 会員 7,000円 家族 3,000円
(2)鶴岡西R.C.よりクリスマス家族会の案内
日時 57年12月24日(金) P.M. 5:30点鐘

場所 グランドエルサン (苗津町)

会長・幹事出席予定

親睦活動委員会

張 紹淵君

会員誕生 菅原辰吉君・鈴木弥一郎君・津田晋介君
奥様誕生 迎田恵美子様・佐藤貴美子(順治)様・
若生 孝様・森田武子様

出席委員会

佐藤順治君

◎年間皆出席 13年間皆出席 中江 亮君
12年間皆出席 富樫良吉君

◎11月100%出席 56名

ロータリー財団委員会

佐藤 衛君

会員の板垣俊次さんよりロータリー財団に多額の寄付を頂いております。

・次年度副会長就任挨拶

佐藤順治君

私はその気でもなく、年もとっておりますし、身体の方も腰が痛とかいろいろありますので、一応おことわりしたのですが、又来年、再来年ということになりますとますますおけるということもありません。不肖も返りみずお請けすることに致しました。何分にも至らない者でございますけれども、お請け致しましたからには、ご期待にそうよう精一杯頑張りたいと思っておりますので、よろしくご指導の程お願い申し上げます。

・ゲストスピーカー紹介

張 紹淵君

ゲストスピーチに入ります前に簡単にご紹介致します。

今日は、庄司プログラム委員長さんより、私が一番尊敬しているカトリック教会(マリヤ園長)のマイケル神父様にお話をして貰えることになり、誠に有難うございます。11月中は神父様には大変ご多忙でありましたので、今日の例会日に特別都合を作っていた次第です。大変やさしくて何人にも親切に、感謝と他人への思いやりをお教え下さる神父様です。甚だ恐縮ですが、神父様から自己紹介を兼ねて生れ故郷と日本についてお話を下さるとのことです。皆さんご静聴をお願い致します。

ビジター

鶴岡西R.C. 佐藤成生君

(今週の担当者 松田貞夫)



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員69名 出席62名 出席率89.86% 前回出席率85.51% 修正出席64名 確定出席率92.75%

ゲストスピーチ

警 備 業 に つ い て

東北総合警備保障株式会社社長 佐 藤 茂 様



警備業法の成立が昭和47年で出来た当時は労働運動が加熱化しておりまして、各大学は学生から本部を占拠され、或は試験問題は守らなければならないので、警備会社が呼ばれるわけですが、労働争議その他において警備を頼まれた時代にむしろ野党側の国会議員から労働争議に口出しをさせるのかという強い意見が出て、警察庁としては野放しで全く自由に警備業をやれたわけで、それではいかんと云うので急拠警備業法を国会に提出された。その時の附帯決議が警備業者は基本原則としては何んら権限を有するものでないと言う確認事項がある。と言いますのは、悪質なガードマンが手錠をちらつかせたり、或は警察手帳みたいなものを見せて悪いことをする事もあるので、警察庁としてはとにかく警備業者は何んら権限をもっていない、服装も届けを出して警察官とまぎらわしい服装をしてはいけない大きなワッペンをつけるなど細部規制されるわけですがその中で骨子となっているのは警備会社を営む者は公安委員会に届け出しなさい。そして必ず入社前に20時間以上の教育を義務づけられている。年間に少なくとも10時間以上の現場教育を実施することも決められている。それを実際やっているかどうか2・3ヶ月に1回警察庁から調査にきているのが現状です。

しかし、現行業法が制定施行されて10年経たわけですが、またもや業法が改正され、今年7月国会を通過しました。来年1月15日に新警備業法が施行されますが、どういう点が変わったかと言いますと、業法が10年ごとに変ると言うのは、防衛体制が必要になって来ているし、それに当る警備業者がもう少し高度化され内容を充実させる必要があるということかも知れませんが、今までの公安委員会に届出さえすれば誰でも警備業を営むことが出来たのが今度は認可制になって、経営者或は会社の規模等を全部公安委員会に出して認可を得なければ営業が出来ない事になる。もちろん警備員、警備会社の経営者に警察にお世話になった方は警察は認可をしない。その狙いは町よからぬ団体その他が資金源として警備業を営むという傾向も大都市又は関西の方にあるようですので、今までの届出制を認可制にして教育も事前教育20時間以上、この20時間の中には憲法から刑法、刑事訴訟法、民事訴訟法等警備に必要な法律もあり、警備の実技、犯人逮捕の要領を教えることになっているけれども、それを更に拡充して約50時間近い教育を各警備業者は警備教育責任者という警察がお墨付の辞令を出す資料を持ったものを必ず会社に置かなければならない。指導教育責任者は社員の教育をやるというのが義務づけられたのが一つです。また、機械警備というのがあります。せっかく警備会社が異常をキャッチしても、遠くの方からパトカーがかけつけて30分も1時間もかかって行ったのはなんにもならない。その前に警察の110番して行くので、パトカーは駆けつける。鍵を持っているのはガードマンですですので中に入れない。そういう事が非常に多い。2・3年前大阪辺りで統計をとったら80%位が誤報である。現場に行ったらガードマンは来てないし、なんにもなかった。警備会社に警察がふりまわされている。極端にいうと警察を利用して警備会社はもうけているのではないかと言う声さえ大阪あたりでは出ている様に聞いているが、そういった事を改善するために機械警備会社は少なくとも20分以内に駆けつけられる距離にパトカーを待機しなさいとか、又管理者も警察庁が講習会を開いて能力なり実務をテストして認定を受けたものを必ず置かなければならないというような厳しい規制・強化されたのが今回の警備業法です。

今日では警備業は世間から注目される企業に発展し安全産業の花形だ等と言われるまでに成長致し、需要が急速に伸びています。民間の警備は法人なり個人が持っている管理権の一部の自衛権を委託を受けるので、委託者に代って安全、特に夜間の責任があるので、今回の業法改正は当然であると受けとめている。

法律改正は零細業者の足切りではないかと野党議員からの質問もあり、警察庁としてもそんな事はない、誠意をもって警備をしっかりとやっている所は資本力が少ないとか、規模が小さいとか等に関係なく認可をすると説明をしている。東北地方もだんだん高速交通時代に入ってきているので、犯罪や災害も次第に北上して来ています。仙台でも深夜営業のスーパーが増えてきてアルバイトの学生が店番をしている同じ店で連続3回強盗に入られて、売上金を持っていかれた等という事が続いております。広域かつ大型化に変化しつつありますので、警備業界に課せられた社会的使命と責任が一段と強化されつつあります。

警備会社としては質のよい大学生等に専門教育をさせ、大きな警備を完全にミスのない様にしています。

庄内空港の建設を推進しましょう

最近特異な警備として東京サミットが行なわれましたが、会場となりました迎賓館の駐車場、ニューオータニ等の裏方の方の警備を警備会社に委託されて、警察官は交通整理とか検問などは警察で行ない、手の廻らない所は警備会社が委託をされてやったし、又VIP、外国の特別なお客様のボディガード、輸送など直接警察官の出来ない部分は防弾ガラス入り的高级車でご案内する等は全部警備会社の仕事になってきているのが現状です。最近、原子力発電所の警備が高度の知識と技術が要求されて、放射線管理を出入りの業者が全部自主規制するように東京電力から仕様書が示されており、警備会社も例外でなく、そのために放射線取扱主任の第1種、第2種の国家試験があり、第1種の資格を持ったものを実務経験3年を経たならば放射線管理責任者に指定することが出来るという仕様書が出されており、国家試験を通った技術者を放射線管理者とする旨のお墨付をもらえば、その本人には相当な手当を支給しなければならない。大体第1種の資格をもっていれば、年間1,000万円の給料が相場になっているようです。放射線管理に関して相当ハイレベルの知識を持ったものが現場の出入管理をやらないと本当の保安の仕事にならない程厳しい事に昨年あたりからなっております。警備業も時代の進歩に追いつく為に一生懸命やっております。

核燃料輸送の警備につきましては、久里浜に再処理工場があって、そこから深夜高速道路等を通して原子力発電所の現場に行くわけですが、最寄りの各県の警察署に全部連絡して万が一にもハイジャックされたら大変な事になりますので、厳重な警備を要求される時代になって来ております。

現在全国で3,200社の警備会社、123,000人の登録警備員があり、外勤警察官の約半分、山形県でも850人のガードマンがあり、外勤警察官の約半数以上しかいない。アメリカでは警察官の2倍位はおり、もっともアメリカは治安は日本と違い悪いかとは思いますが、日夜お客様からご信頼を得る様にやっておるのが現状です。

・ゲストスピーカー紹介

略歴 宮城県出身 旧制仙台二中卒業
 旧陸軍大尉 元陸上自衛隊2等陸佐
 昭和41年 総合警備保障㈱入社
 昭和47年 東北総合警備保障㈱社長
 現宮城県警備業協会会長
 現東北地区警備業協会連合会会長
 現全国警備業協会理事

登録料 6,000円

思恩会 12月19日(日)P.M.1:20 湯野浜思恩園
 ○ガバナーノミニー事務所開設の案内
 R.I.第253地区ガバナーノミニー事務所
 1983～84年度ガバナーノミニー 田中善六氏
 福島市八木田字並柳58 クラロンメリヤスKK内
 ○青森東R.C. R.I.第254地区年次大会ご案内到着
 1983年4月28日(木)29日(金)
 於：青森市文化会館

会 長 報 告

中江 亮 君

○公式訪問のスケジュールが下記の通り決まりました。

A.M. 11:00～12:00 会長幹事会
 12:00～13:00 例会公式訪問
 14:00～16:00 クラブ協議会
 17:00～19:00 ガバナー歓迎会

クラブ協議会、ガバナー歓迎会には委員長以外の会員は勿論のこと、特に比較的新しい会員の方はロータリー情報勉強のチャンスとして必ずご出席をお願いしたいと考えています。又、ガバナーの要請としましてローターアクト、インターアクトクラブの会長幹事の出席を求められていますので、関係委員長のご連絡をお願い致します。

○恒例の歳末助けあい運動に協力しまして、鶴岡市に20,000円、思恩園に20,000円、NHKに20,000円を寄付することにしました。

幹 事 報 告

佐藤元伸君

○会報到着 藤沢R.C. 米沢R.C. 米沢西R.C.

○例会変更のお知らせ

余目R.C. 12月10日(金) 12:30～1:30
 余目町中央公民館 ガバナー公式訪問のため
 12月17日(金) P.M. 6:30～
 余目町商工会館 年忘れ例会のため
 登録料 3,000円

八幡R.C. 12月18日(土) P.M. 6:00
 八幡町市條公民館
 クリスマス家族親睦会 登録料 5,000円

鶴岡西R.C. 12月24日(金) P.M. 5:30
 グランドエルサン クリスマス家族会のため

出 席 委 員 会

佐藤 順治 君

本年度出席率目標は93%であります。前年度出席率実績は91.18%となっております。本年度7月～11月までの5ヶ月間の平均出席率は90.51%でありました。会員数70名を100%としますと1名1,428%です。現在平均出席率90.51%とは毎例会時7名の方が欠席してもメークアップをしない計算になります。毎週火曜日ホームクラブに出席することは、難しいという方は沢山おいでのことかと思えます。例えば出張であるとか、不意の来客であるとか、その他色々のケースがあるかと思われまふ。皆さんは夫々お忙しい方々ばかりなので、それで結構であると思えます。しかしながら、いくらお忙しい方でありましても、メークアップすることはさほど困難ではないはずであります。つまり出席の補填は当クラブ直前例会終了後から直後例会の閉会時刻までの間に他クラブへメークアップすれば出席に算定されることとあります。10日間の内都合の良い日を選んでメークアップして下さい。

聞くところによりますと、欠席しても決してメークアップをしない方もおるようでございます。このようなことは何の自慢にもなりません。そういう方はどうぞ気持ちを変えられまして、火曜日欠席したら必ずメークアップをされまして、出席率向上にご協力願います。

ビ ジ タ ー

鶴岡西R.C.

佐藤 等君・井上 彬君・鈴木昭吾君
 (今週の担当者 斎藤 隆)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告： 会員69名 出席57名 出席率82.61% 前回出席率89.86% 修正出席64名 確定出席率92.75%
 会員69名 出席60名 出席率86.96% 前回出席率82.61% 修正出席63名 確定出席率91.30%

ガバナースピーチ

ガバナー 石 黒 慶之助君



長い間、皆様にお目にかかれずにおり、本日の例会出席は、自宅に帰ったようでゆっくりした気分になっております。皆様の真剣な御支援により10月の年次大会も成功裡に終え、更に私の最大の任務である公式訪問も各R.C.の暖かい友情に支えられながら、69R.C.を終了することが出来ました。

ガバナーは独りでは何もできません。ホストクラブの皆様の御支援・御協力に負うところ誠に大であります。私は今まで、お示し下さいました皆様のお力添えに心から感謝申し上げます。鶴岡クラブが優秀であることは、ガバナーにとって大きな力です。年次大会は、ここ数年来の大成功であり、ホストクラブ全会員が汗を流し、目を輝かして、真剣に大会を作り上げられた功績は、素晴らしいものがありました。他クラブ会員より数々の賞賛を受けており、本当に嬉しく思っております。責任者として心から感謝申し上げます。11月14日の琴平荘での鶴岡R.C.大会反省会で、皆様にお礼申し上げるつもりでしたが、欠席となってしまう洵に残念でした。R.I.会長代理・英子珊先生も大変満足され、その後幾回となくお便りを交換しており、鶴岡クラブの皆様によろしくとのことであります。

私の体調につき、皆様に変御心配をおかけし、御同情を賜り、本当に申し訳なくおわび申し上げます。特に地区幹事を中心とする事務所のスタッフの御配慮と、クラブからの御声援には、感謝の言葉もありません。

8月28日、平塚クラブで倒れ、医師に3ヶ月絶対安静を求められましたが、休養の間もなく年次大会に鑑み、11月15日山形で再び不調となり、公式訪問の予定が大きく変更を余儀なくされました。全く残念でしたが、涙をのんで1週間休養致しました。しかしその後、諮問委員会の開催、ガバナーノミニー事務所開所式に出席、公式訪問も16R.C.ほど行ない、現在は大丈夫であります。何卒御休心願います。

鶴岡R.C.の今後の奉仕活動については、来年1月18日の公式訪問で皆様と充分協議致したいと考えております。今年も余すところ3日となり、お忙しいことでしょう。皆様良いお年をおむかえなさいませようお祈り致します。

会長報告

中 江 亮

- 去る12月21日の会員家族クリスマス会は親睦委員会、S.A.A.の皆さんの素晴らしい企画をもちまして、近年にない盛況振りで本当に楽しい時間を過ごすことが出来ました。心から改めてお礼を申し上げます。
 - 今ロータリー年度も折返し点の12月に来ております。この半年を振り返ってみますと、年次大会の大行事が目玉であったかと思いますが、会員全員の協力の元好評の中に成功させることが出来たことは、鶴岡R.C.にとりまして非常に喜ばしいことであったと思います。この大会の期間中各委員会は、最大限に奉仕活動のチャンスを活用された訳で、年度のお仕事は完成されたようなものでありますが、特定の委員会に於かれましては残る半年に色々とお苦勞をおかけする仕事もあろうかと思いますが、是非年度当初の目標を達成されますようお願い致します。年度の初めに一時低迷した出席率も、出席委員会のご努力のおかげで91%を上廻るようになり、ホッとしています。会員増強も委員の皆さんが一生懸命に動いておられるようでありますので、年度の後半の初め頃に具体的な数字が現われることを期待しています。親睦委員会とロータリー情報の合同企画もそろそろ時期かと思いますが、よろしく願います。
- 年末でもありますので、あまり長たらしいお話は遠慮しますが、会長職と言う建前どうしても固苦しい表現になりがちで、お気に召さない事もあるかと思いますが、そこらへんは超法規の解釈をされまして、常識豊かなクラブ全体の親睦が発展し、奉仕活動の意欲が高まれば幸いです。
- 年末から正月にかけて油断から風邪をひきがちであります。どうぞお体にくれぐれも気をつけて良いお正月を迎えられますよう祈念致します。ご協力への感謝をこめて会長報告を終ります。

庄内空港の建設を推進しましょう



鶴岡R.C.クラブ家族会

日時 昭和57年12月21日 午後6時

場所 グランドエルサン

1. 開会の挨拶 (川村副会長)

1. クリスマスソング 聖しこの夜
ソングリーダー 藤川 享 胤

1. 玉城俊一氏藍授褒章のお祝品贈呈

1. 銀婚記念記念品贈呈

上野 三郎・和子様

三浦 悌三・明子様

小池 繁治・英様

佐々木 栄一・雪子様

染野 檀・恵美子様

1. 乾杯

1. 開宴

余興

クリスマスプレゼント (子供29名)

1. ロータリーソング 手に手をつないで

ソングリーダー 藤川 享 胤

1. 閉会の挨拶 (内山会長エレクト)

- ゲスト 鶴岡市長 斎藤 第六
- (株)エルサン社長 早坂 剛
- RAC会長 清和 由雅
- RAC幹事 五十嵐 由紀
- ガバナー事務所職員 菅原 充
- OB会員 金井勝助・皆川 英二
- 安藤定助・薮田 誠樹
- 谷口 晴敏

親睦活動委員会

張 紹淵君

皆様の御陰で盛大に無事クリスマス家族会も終わりました。かつての奉仕の理想を共にした先輩、ロータリークラブは一つの大きな家族と云う意味で呼びかけ、OBの方も沢山来てくれ、賑やかに行なわれました。関係者の皆様には大変御苦労をおかけ致しました。写真も大家族の意味で全員で一枚取り、その他400枚程取り、張り出しましたので、良いものがあつたらどうぞ。大変有難うございました。

ビジター

鶴岡西R.C. 瀬尾助三郎君・斎藤健治君

(今週の担当者 高田 耕助)

第1188回例会 S 57.12.28

幹事報告

佐藤元伸君

1. 会報到着
台中港区R.C.より
2. クリスマスと新年のお祝のカードが参っております。台中港区R.C. 会長・陳克己氏他全会員より
前会長・曾隆基氏
前米山奨学生 蔡慶隆氏
3. 国際ロータリーよりロータリーレートの変更の案内が参っております。1983年1月1日より1\$ 260円が252円に変更になりました。
4. 鶴岡護国神社 宮司・石原純一
仮称鶴岡護国神社奉賛会(募金)の発起人会の案内が参っております。
日時 昭和58年1月27日 P.M.2:00より
場所 荘内神社参集殿
5. I.G.F.報告書到着 遊佐R.C.
6. 来年の1月4日の初例会に於て、昨年と同じ様に年男の人に田中貴金属(株)よりエトの(亥)の銀製マスコットを贈りたいと思います。(会員中4人)希望者は800円で申し込み下さい。(事務局まで)
7. 58年1月4日11時30分より定例理事会を開催します。
8. 当クラブへのお歳暮として、エルサン、第一インより頂戴しました。

ロータリー財団委員会

佐藤 衛君

板垣広志さんより準フェローになる為の御寄付を戴いております。今週は5週間連続ということで、鈴木弥一郎さんより準フェローになる為の御寄付を戴いております。御両人の御奉仕に対する盛大な拍手をお願い致します。

米山奨学会委員会

鈴木弥一郎君

本年最後の米山奨学金への御協力お陰様で15,585円集まりました。大変有難うございました。

ビジター

- 山形南R.C. 菊地 実君
- 温海R.C. 佐藤五右エ門君、今野 義介君、本間儀左エ門君
- 鶴岡西R.C. 桜井 晋君、長南 朋養君、鈴木 昭吾君



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship
Throughout the World



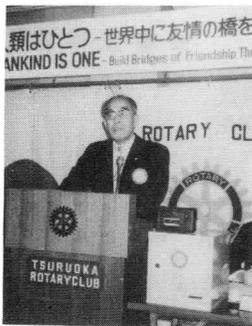
会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員69名 出席56名 出席率81.16% 前回出席率86.96% 修正出席65名 確定出席率94.20%

ガバナースピーチ

年頭の挨拶

ガバナー 石黒 慶之助 君



明けましておめでとございます。当クラブ創立以来第24回目の新年であります。皆様と共に元気で新年を迎えることができました。心から慶んでおります。

昨年は皆様大変ご心配をかけ、ご迷惑をおかけしましたが、ごらんのように健康も快復し、後半の任務に自信を持てるようになりました。後程、恒例のように年男会員の力強いスピーチを拝聴できると思いますが、私も猪歳生れの方々に負けずに頑張りたいと心を新たにしております。

年度後半には、公式訪問が7R.C.、地区諮問委員会が3回、分区代理の研修会が2回、更にガバナー連絡会議、米山奨学生の選考、財団奨学生の選考、日韓親善会議、ライラ研修会と続き、次年度のためのI.C.M.と地区協議会を開催することになっております。これからも例会には仲々出席できないと思いますが、よろしくご支援下さいますようお願いいたします。

私共の周囲には国際摩擦とか世界的な経済不況とか、憂慮すべき難問題が山積しております。ロータリーは世界を匡正するような力は何も持っていません。しかし皆様の善意と友情は地域社会の発展に寄与し、国際理解を深め、世界平和に大きく貢献しております。年末から正月にかけ私の所には海外より多くの賀状が来ております。交換学生のジェームス君、ダイアン嬢、或は米山奨学生だった蔡君、エテバリ君を始め海外のガバナーや知人から多くのお便りをいただいております。われわれのまいた善意の種子は世界中で花を咲かせております。善意と友情こそ人生の宝であると思います。

新年に当り、向笠会長ご夫妻のご健勝を祈念すると共に「人類はひとつ…世界中に友情の橋をかけよう」のテーマを再認識して、更に奉仕の輪を広げたいものと考えております。

新年に当り、謹んで皆様のご健勝とお仕事のご繁栄をお祈り申し上げます。

年男スピーチ

大森 健司 君



昨年2月12日当地に赴任して1年。春3月、玉川の水芭蕉、4月I.C.M.での鶴岡城址の桜、温海川の桜残雪の月山や湯殿山の本宮や112号線の紅葉。この紅葉は箱根や日光の紅葉のように排気ガスで汚染された色と違って、ほんとうの紅葉の色が味わうことができました。

この素晴らしい庄内を今年は多くの人にP.R.をしてゆきたいと思えます。会社のイベントをはじめ、できるだけ多く庄内でイベントを組むべく努力したいと思います。また本年も続きます「紅葉の山形路」のPART IIについても、積極的にご協力したいというのが、私の会社のP.R.を含めた仕事の願望です。

私も47年を省みて、間一発で助かった経験を何度かしています。先ず、戦時中浅草に住んでおりました時、宮城県松島へ集団疎開しました。東京の家は昭和20年3月10日の大空襲で全焼。その半年前に肋膜炎を患い、松島から東京の親元へ帰されました。大空襲の3月10日の半月前、東京に居たがる母を説き伏せ、父の実家の埼玉へ疎開して命拾いをしました。その時東京にいたら、いつもの空襲の時のように近くの国民学校の地下壕に避難していたのであつたのであつた。その地下壕はあの空襲で全滅でした。

二番目は高校3年の時。修学旅行で関西へ行ききました。比叡山の根本中堂から坂本まで地上ケーブルで下りました。中間地点の複線から単線に移るポイントで脱線。すぐ10m先は谷底。80mの欄干のない鉄橋で、片側車輪は枕木をガタガタイわせながら、鉄橋の真中で手動ブレーキで止りました。脱出するとき、線路脇の巾20cmの板の上を歩いて事なきをえました。

三番目は昭和50年、エアーマニラのボーイング707機に乗り、鹿児島上空でエンジン故障で失速。その時は顔の皮がつっぱりました。

以上、他からのインパクトによる恐怖ですが、自分でも、自ら招いた恐怖を何度か経験しております。例えば、車をグリーンベルトに乗り上げたり、スキーの検定で、直滑降で下り、危うく大木にぶつかりそうになって転んで止ったり、警報器が鳴っている踏切に突込み、フロントガラスに遮断機があたったりと、いろいろやっています。

庄内空港の建設を推進しましょう

今年は、月山へヘリコプターで登り、頂上からスキーで降りたり、県内の鄙びた温泉を少くとも10カ所位まわってみたいと考えております。あと、共食いになりますが、はじめての猪肉を食べてみたいと思っております。

藤川 享胤 君



一昨年の暮、私がかつて住職をしていたアメリカの桑港寺再建のため、私が日本の桑港寺再建支援事務局長を仰せつかり、全国を勧募しているわけでありませう。このことで皆様大変ご迷惑をかけておりますが昨年未で約2,800万円集めました。

今年の10月末、アメリカで落慶法要をするために、もう5,000万円をどうにか集めたいと頑張っているところであります。

おかげさまで、昨年12月13日、読売新聞夕刊の社会面トップに「若い僧 米国に寺院建立のために日本全国行脚」という記事で大きく取り上げて頂きました。その反響が非常に大きく、全国のいろんな方から電話を頂き、「頑張ってくれ」との励ましを頂きました。いかにマスコミの力が大きいかということをお願いしております。

今年一年、このことに私は邁進してゆきたいと思っております。

さて、十二支があって、その年に生れて、その動物と性格が似ているということについては何ら科学的根拠がないと思いますが、私の場合、体格からいって「藤川さん何年?」「亥年です」「さもありません」といわれます。体格だけでなく、皆さんの私を見る目が、猪突猛進と申しましょか、前に向かってバリバリやっけてゆくというイメージでいって下さるのかも知れませんが、私自身は内向的で、人見知りをして、はにかみの部分があると思っております。

(笑)でも皆さんの受ける印象がそうではないのご批評を受けております。

今年のもっと控え目に、内向的な藤川享胤でありたいと思っております。と申しますのは、私が非常に尊敬しております静岡のご老師が、私が修業して帰る時に、こんなはなむけの言葉をくれました。

「退くものは覚者なり 退くべきが覚者なり」

おそらく私の性格を見通していったと思えます。人生で退くことは負けでなく、退くことにより他に何かを教えられる人間になれ。特に私の仕事柄からそういう奥深い人間になれとの餞別であったと思えます。

読売新聞に私の今の気持ちをズバリ言ってくれた歌が載っておりました。上野寛永寺の開山、天和和尚が詠んだ歌です。すばらしい歌です。

「気は長く つめは堅く 色うすく 食ほそうして 心ひろかれ」

この歌に感動しました。少しでもそうなるよう、今年懸念に努力していくつもりです。

会長報告

中江 亮君

皆さんあけましておめでとうございます。昭和58年の元旦は1982～83ロータリー年度の後期の始まりであります。前期は地区年次大会のホストクラブをつとめ、輝かしい活動の実績を残されたのでありますが、あれから3ヶ月を過ぎお疲れもとれ、油がのっている現状に於て愈々各委員会本来の奉仕活動に本腰を入れていただけましたらありがたいと思えます。皆様が年度の当初に計画された奉仕活動のプログラムが、年度の最終に於て完遂されたものでありたいと期待しています。特に1月18日には石黒ガバナーの公式訪問が行われますが、各委員長さんは石黒DGの厳しい要請に充分応えられますよう準備を進めていただきたいと思います。本日はS.A.A.のご配慮により荘内神社に皆さんの健康を祈願したご神酒を頂戴しました訳ですが、どうぞお体に充分気をつけられて活動されますようお願い致します。

幹事報告

佐藤 元伸君

1. 年賀状到着
 - 台中港区R.C. 陳 宗耀氏
 - 廖 登稔氏 (前米山奨学生)
 - 本間利雄氏 (前G.S.E.)
 - 石黒慶之助ガバナー
 - R.I.第253地区I.A.小委員会
委員長 過足(ヨギアシ)正一氏
 - R.I.第253地区
ガバナー・ノミニー 田中善六氏
 - 社会福祉法人思恩会
 - 温海R.C. ○酒田R.C. ○酒田東R.C.
2. 今年の年男紹介
佐藤 忠君・斎藤 隆君
大森 健司君・藤川 享胤君

出席委員会

佐藤 順治君

- ◎年間皆出席
23年間皆出席 張 紹淵君
22年間皆出席 嶺 岸光吉君
〃 三井 徹君
12月100%出席 55名

親睦活動委員会

迎田 稔君

- 会員誕生 板垣 俊次君、三井 健君、
玉城 俊一君、吉動 勲君
奥様誕生

川村 友子(徳男)様、今野 泰子(清一)様、
庄司 志津子(嘉男)様、鈴木 勝(茂男)様、
津田 満理子(晋介)様

ロータリー財団委員会

佐藤 衛君

新春早々会長の中江亮君、阿部与十郎君よりポール・ハリス準フェローとなるご寄付を頂きました。これで、今会計年度8名の方が準フェローになりました。

ビジター

鶴岡西R.C. 佐藤 拓君、斎藤 健治君
石黒慶之助ガバナー (今週の担当者 中江 哲夫)



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介
出席報告：会員70名 出席60名 出席率85.71% 前回出席率81.16% 修正出席61名 確定出席率88.41%

年男スピーチ

齋藤 隆君

昭和年代最初の年男。

10年生れの猪。亥年生れは全国で969万人。内男475万人。女は19万人多い494万人で、総人口の8.2%。十二支別にみると亥年は10番目。ちなみに一番多いのは丑年の1,019万人で、亥年生れの最高令者は明治8年生れの108才だそうです。



黄小娥と云う女占師の書いた本に亥年生れの性格として自我をしっかり持っているが、亥年の人の特長で意志強固であることは間違いありません。又、亥年と云えばすぐ猪突猛進という言葉が出てきます。仕事の途中でつまずき、自信をなくした亥年の人はひどく他人の目が気になりはじめ、他人が変に思っていないだろうか、陰で笑っていないだろうかと必要以上に気を使う。そしてこんな落ち着きのない自分から逃れるためにもひとりよがりの激しい行動に出てしまう。

運勢としては、亥年の人は本来ファイト満々だけに調子に乗りさえすれば、若い時から戦運に恵まれるが、ただ一旦壁につきあたると意外にもろく挫折する傾向があるので、中年期をどう乗り切るかが亥年の人の課題だそうです。

体力的にみると、我々40代となると心身のおとろえを意識するようになってきます。髪の毛が薄くなったり、私の場合これは親ゆずりで仕様がありませんが、一寸運動したりすると、すぐ息切れを感じたり、約束を度忘れしたり、人の名前を思い出せなかったりするの、記憶力がおとろえた証拠。なかでも40くらがり、これはショックです。或る日突然新聞なんかの小さい文字がかすんで、少し離さないと焦点が合わなくなるし、歯にもガタがくるようになるし、すべて老化である。この老化をいかに遅らせるか。対策としては、第一に肥満の防止であり、適当な運動であるということです。幸い私は中学時代

よりテニスを30年位もやってきていますが、途中ブランクがありますが、みた目よりは激しい運動で、体力的には同年輩の人には負けない位になり、カゼをひいても、セキはでも寝込むこともなく、病氣らしい病氣もなく、いたって健康な毎日を送っています。会員の中にもお医者さんがおられますが、当分はご厄介にならなくてすみそうですが、もしもの時はよろしくお願ひします。

人間何をするのも健康が一番ではないでしょうか。その為にもこれからもテニスをやって健康に留意して頑張っていきたいと思ひます。

佐藤 忠君

風邪をひいておりますが今日は年男で何かスピーチをと約束しておりましたので、ムリをして参りました。先程齋藤さんのお話がございましたが、齋藤さんは私より一廻り若いのでございます。このクラブに年男が4名と聞いておりますが私が一番年長の亥年で、これからも身体に気をつけて頑張りたいと思ひます。



十二支という言葉について、今日来る前に辞典で調べたところ、昔から時や方向を示すのに用い、また十干を配して年や日を示すのに使ったということが書いてありました。丁度年であれば60年経つとそれが一順するわけで、60という数は10でも、12でも割れますから、丁度一順ということで、おそらく還暦ではないかと思われまふ。私もこの3月29日になりますと、還暦を迎えることになります。

先程猪の話がでましたが、これも辞典で調べたところ、猪は足が短く、首が短く、無謀に突進する動物で、ただ肉と毛だけは有用だと書いてあり、これは動物の方からみた猪であります。

暮から正月にかけてまして、私の60年間初めての経験と云いますか、体験と申しましうか、三つありますので、それを簡単に申し上げたいと思ひます。暮の29日より1月4日まで、丁度ホテルの方が休み

庄内空港の建設を推進しましょう

でしたので、夫婦揃って1週間旅行しました。これは生れて初めての事です。私共丁度青年期と云いますと、戦争の最中で、勿論結婚した当時も大変な時代で、新婚旅行などは勿論できません。これが第一の点です。

今度旅行に行ってきたきっかけは、駅の中のポスターで上原謙と高峰三枝子のフルムーンの宣伝を見まして、国鉄のその企画に合わせて何か考えようと思ひまして、2人で2日程検討し、29日の夜行で出発。翌朝の早い新幹線で岡山へ直行し、それから四国へ渡りまして金比羅様にお詣りして、30日は高松に泊りました。今回の旅行で私の同業者の所も見聞、勉強しようと思ひまして、ビジネスホテル2ヶ所、リゾート1ヶ所と、あとの2日は子供の所へ泊りました。私共には子供は娘ばかりで、みんな嫁ついであります。孫3人と娘夫婦と私共と、7人揃って正月を祝ったことは、これまた初めてのことで、これが経験の二番目でございます。

そのあと2日の日に舞子から新幹線で名古屋へ行きまして、初詣で有名な熱田神宮に参りましたが、なる程大変な人出で、参道に入りますとまさにベルトコンベアーで、立っていれば自然に拜殿の前に進み、出口に出られるという人込みでした。それから3日に伊勢神宮にお詣りし、4日には最近景気がよくないし、商売繁盛も兼ねてということで、豊川稲荷にお詣りいたしました。2人揃って初詣でということは、これまた三番目の経験で、60年にして初めてのことでございます。

今年は少しおとなしくして、家内への奉仕をする年にしたいと思っております。

60年目の新年として、今まで色々話を聞いたり、本を読んだり、商売にたづさわってきた経験からものなにか戦いに勝つとか、生き残るとか、そのような話ばかりでしたが、そのような言葉を口にしないで発想の転換をして、ものごとを考えてみたいと思っております。

会長報告

中江 亮君

- STAWELLロータリークラブのJIM会長さんからお礼の手紙が届いています。内容は去る10月の当地区年次大会に参加されたクラブ会員の、Lindsayさんに対する温かい友情に対するクラブの喜こびの表明であり、又かつPAN、PACIFIC大会の時に、当クラブ会員がSTAWELLを訪問したことを想い出して嬉しく思っていることや、出来るだけ近い将来に鶴岡クラブの会員の皆さんが、STAWELLに来られることを歓迎するというものであります。
- 病気で入院された会員の今野精一さんが、元気になられて今日から出席されました。
- 公式訪問を間近に控えて、委員会の会合がしきりに行われているようですが、まだ開かれていない委員会も必要に応じて委員会を開いて活動について中間的なまとめをして頂けましたら、有難いと思ひます。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 年賀状到着 台中港区R.C. 欧有財氏
2. 会報到着 鹿兒島西R.C. 東京R.C.
3. 職業奉仕事例集 鶴岡西R.C.
4. 理事会開催の件 本日例会終了後
産業会館会議室
5. 会員の吉田昭利氏送別会
日時 1月17日 P.M.6:00
場所 中国飯店
登録料 3,500円(記念品500円含む)
6. ガバナー歓迎会開催のお知らせ
日時 1月18日 P.M.5:30

場所 住よし

登録料 3,000円

社会奉仕委員会

新穂光一郎君

1月25日(火)P.M.2:00~4:00 郡山R.C.の会員である佐藤信さんの“人づくり教育”という題名の講演会を市の青少年育成協議会、P.T.A.の共催で市役所6階ホールで開催されますのでご案内致します。尚当日25分位当クラブでもスピーチして頂く予定です。佐藤信さんは、私の高等学校の先輩で、現在学校法人尚志学園理事長、日本女子工業高校の校長さんであります。

親睦活動委員会

張 紹淵君

昨年の暮れに西R.C.に行きましたら、この募金箱が5つ程置かれてありましたが、ただ置いてあるだけで動いておりませんでした。この募金箱は何の為かという、1円を入れるため、ロータリアンが僅か1円づつ入れると、全世界では91万円という金額になります。ですからこれをただ置いておかないで、動く箱にしたいのでよろしくご協力願ひます。

退院の挨拶

今野精一君

昨年ポリープ切除の為入院加療中、大変温かい励ましのお言葉やお見舞いを頂きまして、本当に有難うございました。お陰様で元気を取り戻し、職場に帰っておりますので、今年もよろしくお願ひしたいと思ひます。

ピジター

鶴岡西R.C. 井上 彬君

(今週の担当者 松田 貞夫)



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田

出席報告：会員70名 出席55名 出席率78.57% 前回出席率85.71% 修正出席64名 確定出席率91.43%

国際ロータリー第253地区

石黒慶之助ガバナー公式訪問挨拶



私の公式訪問は、本日で73回目となりました。私にとって最も難しい、やりにくいホームクラブの訪問であります。この土地に生を受け、この土地で育ち、この土地で生計を立てており、さらにこの土地に骨を埋めたいと思っております。

皆様の絶大なご支援を受けてガバナーになった私であり、70才まで皆様と多くの触れ合いを得ておりますが、本日の公式訪問は生涯唯一回の恐怖の時のように思います。しかし私には、また来ることのない偉大な光栄の日のようにも思います。私は年次大会におけるガバナーとしての任務よりも、本日の公式訪問の任務の方がはるかに重大な任務のように思われてなりません。本日の訪問は愚直ではありますが、誠意をもって私のロータリー観を申し上げてみたいと思っております。

当クラブは小花盛雄初代会長より24代中江亮会長に至る歴代会長が、赫々たる業績を積み重ねて来た地区内でも名門クラブの一つであります。満足は出来ません。私は今までどこのクラブを訪ねても、特長を見いださずほめて参りましたが、しかし本日はほめることをやめ、激励の言葉に代えてみたいと思っております。何卒寛容の精神を以てお許しをお願いします。

スピーチを前に、当クラブがスポンサーになっているローターアクト、インターアクトの会長さんがお見えになっておりますので、ポケットマネーを贈り、日頃青少年の中心になって活動されておられることに敬意を表したいと思います。

公式訪問の目的は、まず当クラブの実情を向笠会長に申告する義務があるということです。2番目にはクラブの活動計画に助言出来ることがあれば何かご支援申し上げる。3番目には、今年度の向笠会長のテーマにつきましてよりよいご理解をいただきたいということでスピーチ致します。

まず、向笠会長の方針について若干ふれてみたいと思います。テーマについてはすでに皆様よくご了解されているので、あえて申し上げません。しかし先生がエレクトにご指名を受けた時のお言葉は、3年前のことですが、非常に驚かれました。きわめて平凡なロータリアンにこのような異常な機会を与えてくれたのは残酷だというくらいの気持ちを持っておられました。しかし先生は、ロータリーでは頼まれればノウといわない慣例に従いまして、一週間後にはこれを「お受けする」とはっきりした決心を持っておられました。我々ロータリアンの任務はこの一語につきると感じております。先生の友情は我々の想像以上に深いものがあります。ロータリーの基礎は友情であるということから、先生の友情が世界中に行きわたるようにこのようなテーマが出ていると思います。皮膚の色・言語・宗教の相違を乗り越えて、友情や善意は世界中に広がるべきものであり、



庄内空港の建設を推進しましょう

ロータリーには国境がないという信念を持っておられます。今年度私達日本人としてお二人目の会長をお送りしている関係から、日本のロータリーは何んとか向笠会長の労に報いるために、前から申し上げたとおり、会員の増強と財団へのご協力をお願いする次第です。

次に皆さんは何んのためにロータリーに入っているのか。私なりに色々考えました。ロータリーは大変高い会費を払い、しかも職業の第一線に立って多忙な時間を毎週一回割愛されて、この例会に出席されます。当クラブの出席率もあまり高くはないが、優秀な成績を継続しておられます。このように算盤をおきましては、ロータリーは皆さんの直接の利潤には結びつきません。過去を振り返ってみますとわかりますが、当クラブではすばらしい奉仕活動を長年続けて参りました。皆さんは奉仕の機会を求めておられるわけです。このようなクラブはどこにあるのでしょうか。ロータリー以外にこのような会合は見当りません。それではなぜロータリーを愛し、信奉し、かつ奉仕の機会を求めているのか？ 私なりに是不思議な団体であると思います。ロータリアンは一体何を求めるのだろうか。結論から申し上げます。私は人間形成をめざしているものと考えております。ロータリーに求めるのでなく、ロータリーに何か貢献出来ないか、ということで皆様はこのクラブに入っておられると思います。一般テレビで見たのですが、ある篤農家は先祖伝来の土地を非常に大事にしており、その土地からの農産物で生計を立てているわけですが、その篤農家は毎日その土地に貢献しようと土地作りをしており、土地の改良やら肥料をやったりして大切にしております。「土地から取ると思うな！土地に与えよ、与えよ」ということが篤農家のお話しでした。私どももロータリーから取るのではなく、何か与えねばならないという気持ちになっている間に、自分の人生が豊かになっているのではないかと感じております。利己心というものは我々が人間として存在する限り、なくてはならないものです。たとえば赤ちゃんは乳をたくさん取らないと成長しません。幼少の頃は父母に多くのおねだりをいたします。しかし長ずるに従って利己心だけではやっていけないということを自から経験します。友人とは仲よく、人には親切にしなければならないという気持ちが出てくるでしょう。ロータリーの奉仕の哲学は、一に利己心と利他心との調和を考えることであろうと感じております。終局の目標は人間

関係の改善にある。簡単に申し上げれば、ロータリーは「人造りのためにある」クラブであると考えますと、ロータリーに対する考え方がおわかりになると思います。しかしその根底は、いつも奉仕の理想であるということに尽きると思います。日本のロータリーが世界のロータリーと若干違うところがあります。1905年にポール・ハリスがきわめて平凡な鋳山技師や仕立屋さんなど4~5人の人達で、真の友情に生きるお付き合いをしたいということからも人間は孤独には耐えきれなく、そのためにロータリーが生まれました。その当時は2週間に1回の会合で会費もなく、各会員のところを廻っていたという素朴な会合でした。しかし1905年6月の第2水曜日から例会場が決まり、シャーマンハウスというホテルで開くようになったわけです。最初の定款は幼稚なもので、会員の職業上の利益を図ることが第1です。第2は親交と社交のクラブということで専ら友情を深めるといことがポール・ハリスの考えのようです。これに附帯して色々望ましい環境づくりが次第に整ってきます。最後に、3番目としてシカゴの最善の利益を振興し、会員間に市民としての誇りを持つようと云われております。このように単純な会合でした。しかしこれも回を重ねるたびに変化がおこって来ます。この最初に集まった平凡な市民の無名の方々が、10年後にはシカゴの地域社会でリーダーシップを取るような、すばらしいロータリアンになっております。ところで、このようにして生れたロータリーですが、日本では1920年(大正9年)に東京R.C.が創立されました。この時は米山梅吉さん福島喜三次さんが会長、幹事になられたのですが、東京R.C.の入会の条件としまして、まず第1に英語に堪能でないと入会できず、東京が広いと云えども該当する人は多くありません。日本のロータリーの創立はエリートの中から出てきました。従ってロータリーは特権階級や資産階級の昼食会という非難を受けていたようです。ポール・ハリスの作ったロータリーと日に生れたロータリーとは、その出発点においてやや違っていたということを見出したわけでございます。私はシカゴに行き、ポール・ハリスのお墓を見ました。平凡な市民の墓と何ら異なるところがない小さな墓でございます。日本なら日比谷公園に立派な胸像でも立っていると思います。ポール・ハリスはこうしたことは大嫌いです。表彰されることや顕彰されることも嫌いです。ただ、すばらしい方針の実践家だと思えます。このようにシカ

ゴで生れたロータリーと、日本で生れたロータリーとは、若干の食い違っているということを感じました。私も雑草の中から生まれ、美しい花を咲かせるのがロータリーではないかと感じております。日本のロータリーは大正9年に出来てから、大東亜戦争の最中の昭和15年まで出来たクラブが3地区48クラブ、会員2,142名で、この数字が戦前のロータリークラブの実態でした。現在の253地区の会員から見ますと、はるかに劣っております。当時日本のすべてのクラブは満洲・朝鮮も入っており、3地区に分れ、事変の始まる頃70地区が東日本、71地区が西日本、72地区が満洲・朝鮮となっております。当時日本のロータリーは米山先生始め、現在のR.I.B.I.のイギリスの形態のように、地域社会に連合体を作りたいという気持ちでございました。これを作ると、R.I.の負担金が半分で済み、あとの半分は地域に残し、日本の東洋的クラブを作ろうという考えであっ



たようです。しかし、1937年(昭和12年)日華事変が始まります。この地区で一番古い郡山R.C.は昭和10年にすでに出来ていました。事変後日本が次第に帝国主義国家に変わりつつある昭和15年。横浜で3地区連合の会合が始めて行なわれました。その年は紀元2600年の年です。この頃からR.C.の会合に警察の特高や憲兵が立ち合うようになったのです。そして数ヶ月後には「ロータリーの組織機構は日本帝国に対する反逆である」という格印を押され、解散を命ぜられたのです。日本でロータリーが創立されて20年目で自決せざるを得なくなり、非常に苦しみながら国家目標のためR.I.との関係を断たれてしまいました。そしてロータリーは復帰するまで9年間地下活動に移ったのです。これは絶対主義国家にはロータリーは育たないという実例を示したものです。地下にどうして潜ったのかという状況を申し上げますと、東京R.C.は東京水曜クラブに、郡山R.C.は郡山金曜クラブに、札幌R.C.は札幌職能会に、横浜

R.C.は横浜職業同人会に変えて、ロータリーという名前は完全に消し、地下に潜って奉仕の理想を飽くまで死守しようとなりました。終戦当時まで残ったクラブは18あり、会員はわずかに1,050名でした。激戦の中でロータリー精神を受け継いだ会員がいたということです。これはすばらしい尊敬すべきことだと存じます。この地区におきましても、郡山R.C.に現存している会員がおられます。遠藤安一郎さん(91才位)ですが、この方は戦前のロータリーを知っておられます。私も任期中当時の思い出話をお聞きしたいと思っております。

終戦後3ケ年の間、R.I.では復帰をなかなか承認してくれません。たまたまR.I.からミーンズさんが来日される機会がありまして、まず東京R.C.の復活をお願いしたわけです。日本ではR.I.復帰同盟を結成し、盛んに活動したのですが、どうしても3年間は認められなかった。その間、マニラ、香港、シンガポールなどが入っており、グアムが一番早かったようです。3年後でなければ入会出来ませんでした。その時の条件は、まず現在の各曜会を全部解散することです。第2はR.I.の定款細則を守ること。第3はR.I.への義務を果たすこと。この3つが復帰の条件でした。日本では今イギリスにあるようなR.I.B.I.という機構は絶対作れないというが、ここに出ているわけでありまして。このように先輩が苦勞したロータリーですが、その後大変な勢いで現在まで発展しているのです。日本はアメリカに次ぐロータリー国家だと云っても過言でないと思います。財団でも会員数におきましても非常に発展しております。

先般ダラスの会議におきまして、韓国のガバナーが私に対しまして「日本はロータリーで世界制覇をやるのでないか」と皮肉を云いました。まだまだ誤解が解けないところがございます。昨年ソウルにおける日韓親善会議におきまして、日本は一方的に韓国の非難の声に屈しました。諸々のうらみつらみを多く持っており、豊臣秀吉の朝鮮征伐から日韓合併まですべて被害を受けたのは朝鮮の人々です。それに対しうっぷんやる方ないという気持ちで、教科書問題まで起きています。今度の中曽根首相の韓国訪問で大分やわらいだのではないかと感じております。来る4月下旬に3日間にわたって神戸のポートピアで、日韓親善会議を再び行う予定です。これには向笠会長自ら陣頭に立って行うことになっており、私も喜んでこれに出席してみたいと思っております。

日本のロータリーは、このようにして苦難の道を通りましたが、すばらしい発展をとげて参りました。これは一言でいいますと、ロータリーの精神が、自由社会の日本に非常に合っていたといえます。しかも日本人の考え方が進取の気性に富んでいるということが、すばらしい成果をあげていると思います。

R.I.の精神、やっつけやろうという精神。これがロータリーの発展につながるもっともすばらしい要件でないかと思えます。

大変長い間、時間をおかりしましてありがとうございました。

石黒ガバナー公式訪問による 第4回クラブ協議会開催さる

1月18日(火)の例会終了後、引き続き14時から鶴岡産業会館第2会議室において、石黒慶之助ガバナー公式訪問による第4回クラブ協議会が開催された。

庄内分区代理・土門敏雄氏同席の下に、中江クラブ会長の挨拶に引き続き、石黒ガバナーより歯に衣を着せず、卒直に話し合いを致しましょうとの御注意があり、17時までの3時間に及ぶ協議会は、終始穏やかに熱心な協議が行なわれた。

特に各委員会の委員代表から報告される活動報告に対して、石黒ガバナー及び土門敏雄分区代理は、丁寧に聞いて頂き、活動報告に対する問題点の御指摘或は御指導は、お二人の豊富な知識と経験がにじみ出てくるような素晴らしいお話であり、3時間の時が1時間位に感じられる程、その内容は充実したものであった。

お話の中で、感銘を受けた主なるものを、次の如く抜き書きさせていただきます。

1. クラブの良し悪しは、歴史が古いとか、会議が多いとか少ないでは決めることができない。

ロータリアンとして如何に熱心な人が多いか少ないかにより、計ることができる。

熱心なロータリアンとは、

- (1) 組織力、指導力に秀れている。
- (2) 会員の心の充実が必要。
- (3) I will・所謂・やろうという精神がある。即ちLeaderとして知識・野望・指導力を兼ねそなえた人が多くいるクラブが最も良いクラブではないだろうか。

(石黒ガバナー御挨拶より)

2. 友情とは、微笑と握手である。

3. 鶴岡ロータリークラブの会員のお話は、お互いに相手を尊敬し合っている心が、その言葉使いで感じられる。

4. ロータリアンの敬語の使い方として、お互いの呼び方を「君」又は「さん」で呼び合うところが多い。しかし「さん」で呼ぶのが最も良いのではないか。

5. ロータリアンの増員については、先祖にさかのぼって調査するところもあると聞かすが、個人が主である。良い人がいれば選考し増員しましょう。

6. ロータリアンの中の企業で従業員の4.5%に及ぶ身体障害者を採用している会社がある。身体障害者をできるだけ採用するようお願いいたします。

7. ロータリアンとして、ためになる雑誌の紹介

- (1) 世界をかけめぐる事業家
- (2) 日本60年史 (@ 3,500 円)
- (3) ロータリー・ベーシック・ダイヤリー

8. 交換学生の選考については

生命に関係のない身体障害者ならば推選OK。学校の成績にこだわらないようにしましょう。ロータリアンの子弟には機会を掴ませるよう配慮する。

ホストの少ないのは、当クラブの欠点である。

(石井敬三君、三井賢二君がまとめたアンケート集計は参考となる)

9. 社会奉仕の考え方

社会奉仕に関するロータリーの任務は、どこまでと範囲を決めるのはむずかしい。

考え方としては、昔のポンプに呼び水を入れてポンプを稼働させた、あの呼び水の役目をするもの



と考えてもらいたい。

その活用如何で呼び水の効果が大きく変わるから、うまく活用するよう研究が必要。

10. リスクへの挑戦経験という意味を兼ね、マイクの前に立ったことのない会員にも3分スピーチでよいからマイクの前に立つ機会を作ようにしましょう。

会長報告

中江亮君

- 253 地区石黒ガバナーを迎えて鶴岡R.C.公式訪問の行事が行なわれます。本来ならばクラブ協議会を先に開き、翌日クラブ例会に公式訪問くださるのが慣例となっております。今回は石黒ガバナーのご方針にしが、先にクラブ例会に出席され午後クラブ協議会に出席されることになりました。午前中は会長・幹事と次期会長・幹事が呼ばれ、懇切なご指導を受けました。
- 今日の例会において石黒ガバナーは、当クラブのために特にすばらしい情報を提供して下さるといってお話でしたから、ぜひ情報研修の場としてこの機会を有意義に活用していただきたい。
- 例会終了後クラブ協議会を開きますので、各委員会の活発なご意見をいただきたい。特に新しい会員の方々は何でも結構ですから発言をいただきたいと思います。
- 去る1月11日の臨時理事会で、鶴岡ローターアクトクラブ総立10周年記念式典のための補助金として16万円を支出することを承認しました。なお、石黒ガバナーから公式訪問に当り、多額のスマイルを頂戴致しました。お礼申し上げます。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 会報到着 米沢R.C. 米沢西R.C. 鶴岡西R.C.
2. 例会変更のお知らせ

当クラブの2月1日の例会の時間変更

1. 日時 2月1日(火) P.M. 5:30
2. 場所 例会場(たら汁会)
3. 登録料 1,500円

当日会場でオークションを行ないます。ご協力下さい。

3. 新会員の推薦に関する氏名発表
斎藤政治 (水沢化学工業(株)水沢工場長)
化学工業
手塚 拓 (山形日産自動車販売(株)常務取締役)
自動車小売

ロータリー財団委員会

佐藤 衛君

今日石黒ガバナーを迎え新穂光一郎さん、小松広穂さんのお二人からポール・ハリス準フェローとな

ガバナーを囲む懇親会

ガバナー公式訪問を記念し、17時30分から、昭和町の住よしにて、ガバナーを囲む懇親会を開催した。石黒ガバナーを囲んで土門分区代理の乾杯により、総勢40人が出席し、和気相合いの楽しいひとときを過ごすことができました。

るためのご寄付を戴いております。お二人のご奉仕に盛大な拍手をお願いします。今会計年度のポールハリス準フェローになれる方は10名になりました。

青少年交換委員会

石井敬三君

交換学生の受け入れについて、ホストファミリーの選定で悩みもあり、その問題点はどこにあるのか探ってみることにして、経験者15名の方々にアンケートをお願いし、12名の方々から回答をいただきました。出す前は否定的な回答になるかと心配したが集計してみると大変前向きなものが出来て幸いでした。アンケートを集計して感じることは、受け入れる気があれば言葉や生活習慣の違いなどあまり障害にならないことを教えてくれました。家庭の事情が許すならぜひご協力をお願いします。詳細は『交換学生ホストファミリー意識調査アンケート集計』をご覧ください。

退会あいさつ

吉田昭利君



転勤で鶴岡を去ることになりました。1年7ヶ月という短い期間でしたが、友情とご交誼をいただきありがとうございます。これからもロータリーの理想をいかし、鶴岡の良さをいつまでも忘れず、皆んなに伝えていくつもりです。会員の皆様のご健勝を祈ります。

ピジター

庄内分区代理 土門敏雄君
鶴岡西R.C. 佐藤 等君

ゲスト

R.A.C.会長 清和由雅君
鶴岡高専I.C. 奥山仁志君・栗田晃一君
鶴岡工高I.C. 桜井峰夫君・今井 裕君
佐藤文勇君

職 場 紹 介



名 称 荘内銀行

代 表 者 頭取 玉 城 俊 一

私共の荘内銀行は、創業は古く明治11年にさかのぼり、爾来、鶴岡に本店を置く地元銀行として皆様にお引立を頂いて参りました。

有難く厚くお礼申し上げます。

近時、店舗網も充実し、又店舗外CD（現金自動支払機）も設置され、益々広くご利用頂けるようになりました。

鶴岡市街地域の当行営業拠点は、

（地図をご参照下さい）

- | | |
|-----------|-------------|
| (1) 本店営業部 | (4) 鶴岡西支店 |
| (2) 北支店 | (5) 鶴岡東支店 |
| (3) 鶴岡南支店 | (6) 本町三丁目支店 |

それに、(7) 鶴岡市役所出張所がございます。

更に今年7月21日には国道7号線に、(8) 新斉町支店がオープン致します。

店舗外CDとしては、(9) 庄交モールCDコーナー (10) 荘内病院CDコーナーがございますのでご活用下さい。

店舗網は山形県内に本店以下49ヶ所があり、県外は仙台に2ヶ店、東京・新潟・秋田・福島に各1店となっており、合せて55ヶ所であります。

店舗外CDの数も18ヶ所になっております。

外国為替のお取扱いも、本店営業部と東京支店で致しており、外貨の両替は、本店と東京の他酒田中央・新庄・山形・米沢・仙台・新潟・福島の各店でも行っております。

当行の従業員数は、昨年末現在で1,021名。（男687名・女334名）ですが、上記の鶴岡市街地域店

舗に勤務する人員は273名（男169名・女104名）名）であります。

当行は次の4ヶ条の経営方針を掲げております。

- 知識を広く求め、変化に適應して行く。
- 親しまれ真に役立つ銀行になる。
- 意欲的な計画を樹て、それに挑戦して行く。
- 明るい気力に満ちた職場を作る。

私共役職員は、この経営方針を体して、地元の皆皆様のお役に立つ銀行になるよう努力しておりますので、一層のお引立て、ご支援を心からお願い申し上げます。



名 称 鶴岡アパレル株式会社

所 在 地 鶴岡市大字道形字宝田 77-1

電 話 0235-24-1140

代 表 者 社長 石 塚 敏 彦
常務 石 塚 義 一

資 本 金 1,000 万円

生 産 品 目 紳士用高級スラックス

生 産 数 月産 20,000 本

従 業 員 数 130 名

最近の客先の要望は、求める製品に対して多様性に富み、しかも低コストで高級品を求められるケースが多いようです。

当社は、できるだけこれらの要望に対応できるよう、常に生産する製品に適した作業方法の改善に努め、次の4点の遂行することをモットーとして、常に励んでいます。

- 即ち
1. 客先の要望するスラックスを
 2. 客先の希望する日に
 3. 客先の希望する数を
 4. 客先の希望する所に

ジャスト イン タイムに納入する。

（今週の担当者 今野 清一）



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship
Throughout the World

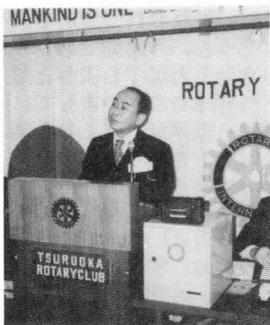


会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 69 名 出席 53 名 出席率 76.81 % 前回出席率 78.57 % 修正出席 64 名 確定出席率 91.43 %

ゲストスピーチ

佐藤 信君



私の所属する郡山クラブは東北では最高のクラブで、現在会員は 102 名です。一部では老いたりクラブなどといわれています。80才以上が 4 名もいる。ただ最近では新旧交代の様相が甚だしくなって、半分以上が昭和生まれの方、2世、3世の人が入ってきているのが現状です。

私は地区ロータリーの友地区委員を仰せつかっていて、2年間やっております。ロータリーの友委員はあまり仕事がなく、ロータリーの友を紹介して普及・宣伝をする程度の仕事しかない。このロータリーの友が以外に皆さんに読まれていないと云う事を痛切に感じています。なんとか一人でも多くの人に読んで頂きたいというのが念願です。いろいろ考えましたが、分厚い本ですので全部を毎月読むのは相当時間がかかるので、この中の精髄を抜き出して簡単な紹介文を各クラブにお送りしてはどうか、それを雑誌委員長が各クラブで披露してお勧めしてもらう方法はどうかと考えて、2年前から実施しています。この地区内76クラブで活用いただいております。お蔭様でロータリーの友の利用が飛躍的に向上していることを心からお礼申し上げます。

今年 1 月号に掲載されている中で、特に心ひかれる記事として城山三郎氏の「人間たちの魅力」がありますが、読んでみますと皆様方の企業で朝礼なんかの時、社員達にちょっと聞かせるには大変格好のものがあります。私は学校を 4 つ経営しておりますが、職員を集めてロータリーの友の中からの言葉を聞かせる大変良い訓示になります。こういう面でご活用になるのも一つの方法であります。

ロータリーの友委員会は年間予算が 3 億円で、この中の 2 億円が皆様方が毎月 1 人 200 円お支払い頂いた資財が積み積もってこういう額になるのです。それから、この雑誌の中にやたらと広告が多いという批判がありますが、色刷りの広告がたくさん出ていますが、この広告収入が年間 6 千万円。これがロータリーの友を発刊する大きな財源となっています。

ところで皆様方は外国旅行をする機会が多いと思われませんが、その際には外国のロータリーを訪問されるようお願い致します。一番障害になるのは言葉が通じないという事だと思っておりますが、ところが外国のロータリーに行きますと大歓迎してくれます。例えば英語が話せるかと聞いて、話せないというと、日本語をしゃべれるのがないかと探してくれて、隣の席に坐らせて全部通訳してくれる。私は今まで 9 カ国メークアップしていますが、ひどい所もあります。カンボジアのアノンペンへ行ったら、ロータリーの看板は下がっているが誰もいなくて、聞いてみると 3 年間休会になっているという。又、なかでもおもしろいのはビルマは社会主義の国ですが、ロータリークラブは一つ、ラングーンというところにありますが、行って見て驚いたのはビルマ人は 3 人しかいなくて、他は全部外国人で、各国の大使、公使、領事、商社の支店長などがメンバーで、通訳が金さんという韓国の総領事で、明治大学出で日本語ペラペラで、ゲストスピーチが誠に運が良くして英国大使館の駐在武官で、「戦場の我が青春」という題で第 2 次大戦にインド洋で日本の零戦と 1 騎打ちしたという話で、機会があれば日本を訪れて、かつて戦った若き日の好敵手と会いたいという話を、金さんの正確な通訳で全部わかって非常に感激しました。こういう機会に恵まれるのもロータリアンだからだなあと感じました。是非外国のロータリーをお訪ね頂くことをお願い致します。言葉が通じないなどということは全然心配ありません。どこでも実に親切に迎えてくれます。それが世界のロータリアンであるという事です。

このロータリーの友にもトロントの世界大会の事が載っておりますが、日本の R.I. 会長が出ているこの時に会長を盛り立てる意味においても、1 人でも多くの方が参加するように向笠会長のためにもお願いします。

私は学校経営のかたわら、総理府の青少年問題審議会委員の仕事もやっておりますが、東北・北海道では私 1 人ですが、20 人の総理大臣によって任命された学識経験者で構成されております。今審議しているのは、激動して止まん青少年非行に対してどういう対策を講ずるかという非常に大きな問題に取り組んでおります。昭和 56 年に発生した青少年犯罪は 18 万 5 千人、日本の全犯罪者数の 44.2% に当たっている。もっと多い国があります。それはアメリカで、52% で、将来亡ぶ可能性があるかと唱えている学者もいます。その 1 つの理由として青少年犯罪である。もう 1 つは黒人と白人の問題で、比率がまもなく逆転する。黒人の方が多くなる。その時に大きな危機に立つであろうといっている学者がいます。それ程深刻な社会問題をアメリカはかかえています。日本も 44.2% ですので、まもなくひょっとすると 50% になる可能性もある。その中で 1 番多いのは万引で、青少年犯罪の 18 万 5 千人の内、11 万 3 千人で大変な数で、これは氷山の一角で、警察で調書を取られたり補導を受けたりした数で、実際は約 90 万人います。万引の原因はどこにあるかという家庭における基本的なしつけ

庄内空港の建設を推進しましょう

が全然出来ていないと云う事です。親が子供に教えることはたくさんはないと思う。教えることは3才から5才位までは3つしかない。人のものは盗んではいけない。形あるものをこわしてはいけない。約束したことを破ってはいけない。この3つをキチンと教えておけば、子供は成長に従って3つの基本に応用をつけ加えることができる訳です。青少年犯罪の蔭には家庭の空白、家庭の秩序がなっていない、子供が脇道にそれるものである。

会長報告

中江 亮君

1月18日石黒ガバナー公式訪問の後、続いて行なわれた第4回クラブ協議会は石黒ガバナーご指導の下、延々3時間にわたって協議が行なわれましたがガバナーはご自分のホームクラブでありますので、特に微に入り細に亘って普通クラブの中には、得たい情報を与えて下さいました。本当に近來にない総りの多い協議会であったと思います。改めて石黒ガバナーに心から敬意を表したいと思います。

1月19日第1インに於いて第2回庄内分区分会幹事会が開催されました。協議された事項の中で特にご報告申し上げたい事は、石黒ガバナーが強調されておられる外部拡大についてその可能性のある地域について各クラブの意見交換がかなり活発に行なわれたのでありますが、我が鶴岡クラブに関係ある地域は藤島・羽黒であります。隣接クラブ間でテリトリーの問題もあり、近々関係クラブが集って線引きを相談したいと思っています。当クラブの方針については、後日理事会にお諮りしたいと考えていますが、さし当り藤島方面から会員としてお迎えしてから、次年度以降の検討課題にしたいと考えています。本日午前中に開かれた臨時理事会の決定事項についてご報告申し上げます。

- (1) 新穂光一郎会員のお嬢さんの恵さん（鶴岡南高校2年在学中）から出されておりましたアメリカへの交換学生派遣申請について審議をした結果、派遣を承認しました。
- (2) 1983年規定審議会の審議に付される制度案及び決議案に対する当クラブの賛否を検討する件について、理事会は現クラブ情報委員会に付託することを決めました。これには佐藤元伸幹事を加えることにしました。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 会報到着 山形南R.C. 山形北R.C. 山形R.C. 山形西R.C. 遊佐R.C. 藤沢R.C.
2. 例会変更のお知らせ
 - (1) 鶴岡西R.C. 2月4日の例会を
日時 2月4日(金) P.M.6:00
場所 かに船
登録料 4,000円 たら汁会の為
 - (2) 酒田R.C. 酒田東R.C.
酒田R.C.1月26日・酒田東R.C.1月27日を
日時 1月29日 A.M.11:00より
場所 酒田天真学園高等学校講堂
インターアクトクラブ3年生卒業の労をねぎらう合同例会のため
 - (3) 鶴岡ローターアクトクラブ
日時 4月23日(土) 24日(日)
場所 出羽ホテル
登録料 5,000円 2月7日まで返事する事
 - (4) 日本電信電話公社よりオレンジレポート到着
 - (5) 次回例会はたら汁会のため午後5時30分より

当会場で行ないます。

「小さな親切」運動

玉城 俊一君

「小さな親切」運動は、元東大総長茅誠司氏が提唱して始めたもので、昭和38年にスタートしてから今年の6月でちょうど満20周年を迎えます。

この運動は「できる親切はみんなでしょう、それが社会の習慣になるように」を合言葉に致しまして「小さな親切」の実践を通じ、失なわれつつある人間の信頼と連帯をとりもどそうという運動であります。「小さな親切」の「小さな」とは「しようと思えば誰にでもできる」という意味でございます。要は勇気をもって親切が行える雰囲気、又これを素直に受け入れるさやかなムードを盛り上げていくことがこの運動の精神となっております。

高度成長時代の“物”を主体に考える傾向が強いなかであります“心”の持ち方という人間内部をとりあげたこの運動は全国の地域、学校、企業に理解され心豊かな人間性を回復し、人間相互の連帯感を強める上で大きな成果をあげております。

昭和58年1月時点での会員数は160万人を越えてまた、地方組織として29の県本部と100以上の支部が結成されております。

「小さな親切」運動の具体的な活動といたしましては、誰にでもすぐに実行出来る「小さな親切」を実践するとともに、地域における「小さな親切」実行者を多く発掘し、実行章を贈ることにによりまして明るい豊かな地域社会を創ることあります。これまで実行章を受けた人は120万名の多きに達しております。このように全国に運動の輪が広がっている中で、鶴岡市にもこの運動を推進してゆこうとの気運が高まり、当行が中心となって昨年10月に県内4番目の地方組織として「鶴岡小さな親切の会」を結成しました。現在会員数は30名程度でございますが、更に会員を増やして組織を強化してまいりたいと考えておるところでございます。つきましては「人を信じ、人を愛し、人につくす」というスローガンはロータリーの精神と相通するものがございまして何卒皆様からも「鶴岡小さな親切の会」の会員になって頂くようお願いするものであります。

スマイル

佐藤 信君 郡山R.C.

石黒ガバナーのホームクラブを訪問する機会に恵まれ喜びに堪えないので

石塚敏彦君 職場紹介に掲載されたので
風間真一君 職場紹介に掲載されたので

ビジター

鶴岡西R.C. 野口 弥君・長南朋泰君
菅原年雄君・三浦正志君
長野正彦君

温海R.C. 佐藤五右衛門君・阿部一太君
(今週の担当者 斎藤 隆)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 70 名 出席 55 名 出席率 78.57% 前回出席率 76.81% 修正出席 65 名 確定出席率 94.20%

会 長 報 告

中 江 亮

冬とは申せ暖かい日々が続いて、春がそこまでやってきたような錯覚を感じさせるこの頃であります。皆さんそろってご健康でいらっしゃる事は大変結構なことであります。本日は特に恒例の鰯汁会で例会時間を変更した訳であります。折しも山形日産販売(株)の手塚拓さんが、私共のクラブのメンバーとしてお迎え出来ました事は、思い出になるのではなからうかと思えます。手塚さんをお迎えして現在クラブの会員数はこの年度に入って増減なしの73名であります。言葉をかえて申しますと、手塚さんがこの年度の入会第1号という事になります。ロータリーのことについて今ここで申し上げる事は、せっかくのご馳走がまずくなってしまうので、手塚さんには後日ロータリー情報委員会の方々から懇切丁寧なご説明がなされると思えます。「人類はひとつ」と云う目標を求めて今日共に奉仕の道を歩んでまいる訳であります。会員一同温かいお付き合いを手塚さんにしていただきたいと思えます。手塚さんをご推薦下さった渡部利夫さん、そして増強委員会の皆さんにお礼を申し上げますと共に、引き続き第2号、第3号……の入会者のご推薦をお願い致したいと存じます。

鹿児島西R.C.創立20周年記念式典の案内が届いていますが、4年前に行われた当クラブの20周年記念式典の時には、鹿児島西R.C.からは会長さん以下わざわざおいでになっていますので、姉妹クラブの誼を尽す様理事会で検討したいと思えます。

石黒ガバナーから、クラブ会長・幹事宛に公式訪問に対する感謝の手紙が寄せられています。

ホームクラブの公式訪問は仲々難しいものと緊張して参上いたしましたが、皆様は心からご歓迎下さいまして、予期以上の成果をあげることが出来ました。本当に有難いことと心から感謝申し上げます。会長・幹事の細心のご配慮と周到なご準備。更には心からのご協力の賜と考え深く御礼申し上げます。

貴クラブは赫々たる業績を重ねてきたクラブであります。これを誇ることなく、更に将来への奉仕に多くのご計画を持っておられ、頼もしく期待されます。

クラブ協議会についての活気あるご発言、新

しい企画の発表など、非常に楽しい会合でありました。皆様の前向きのご協力に心から嬉しく思いました。また、皆様のご熱意で協議時間は3時間に及び、さぞお疲れだったでしょう。やる気十分なファイトに心から敬服致しました。

更に私と土門分区代理のため歓迎懇親会を開催賜わり、友情を暖めていただき有難く御礼申し上げます。

私にとって、ホームクラブのご発展は何よりごの激励となっており、皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

昭和58年1月19日

石 黒 慶之助

新 会 員 紹 介

入会にあたり

手 塚 拓 君

氏 名	手 塚 拓
生年月日	昭和15年2月6日生 (42才)
職 業	山形日産自動車販売(株)勤務 代表取締役常務
本 籍	山 形 県
学 歴	早稲田大学卒 (政経・経済学科)
性 格	明朗快活
趣 味	スポーツ観戦 (サッカー・ラグビー) 読 書
家 族	妻・久子、長男・尚宏 (小4)、 2男・剛史 (年長組)、計4人 (3月末に千葉県より引越し)
現 住 所	鶴岡市千石町11-25-404



只今御紹介に預りました手塚で御座居ます。名前は「ひろし」と申しますけれども拓と書いて「ひろし」と読みます。普通の方々からはなかなか読んで戴けません。あて字に近い「ひろ

し」で御座居ます。私は実を申しますと、メーカーでは中間管理者です。こういう経営者の、或いはトップの方々の会に出させて戴くのは始めてでございますし、去年迄中間管理者が1月1日辞令をもらったら経営者になっちゃったと、非常に面食らう部分

が御座居ますけれども、なにしろ駆け出しの経営者ですので、今後共皆様の御協力と御鞭撻の程お願い申し上げます。私自身経営者としてと云うよりも、経営指導をずっとやってまいりました。ディーラーの経営指導、仲々全国のディーラー様は厳しい状況にありまして、指導自身がうまくいったと思っておられませんけれども、山形日産自動車販売はなんとか皆様の車を是非とも故障もなく、或は満足のいくような御手伝いをしたいと、来た早々ですけれども従業員の集まりの時に、鈴木健二アナウンサーの本では御座居ませんが「きくぼり」のある従業員と云うような話をしました。私は本が出る前から「きくぼり」とかいう話は非常に自分自身考えていることだったので、従業員の皆さんに話をしましたけれど、ユーザーに対してもきくぼりのある会社にしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

出席委員会

◎年間皆出席

14年間皆出席	三井 健君
10年間	佐藤 友吉君
10年間	佐藤 衛君
10年間	吉野 勲君
6年間	菅原 辰吉君

◎1月100%出席 54名

会員誕生

早坂 徳治君・早坂 重雄君
 笹原 桂一君・染野 檀君
 内山 喜一君

奥様誕生

早坂みつよ(重雄)様
 佐藤 鷹子(友吉)様

新年たら汁会

場所 物産館3階ホール
 日時 昭和58年2月1日(火)
 午後5時30分点鐘

親睦委員長挨拶

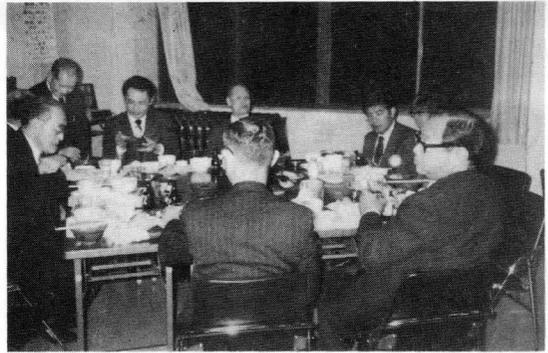
張 紹淵君

今日は新穂元会長始め、山下さん、皆様どうもご苦勞様です。新年たら汁会を開きます。石黒ガバナ―出席下さいまして有難う御座居ます。オークションもありますので、最後迄ごゆっくりどうぞ。

たら汁会メモ

新穂前会長の名コックと山下さんのコンビで、沢山、大麥おいしく出来上り、たら汁会は親睦委員長張紹淵君の挨拶に始まり、石黒慶之助ガバナ―の乾杯の音頭で酒宴に入り、楽しい雰囲気でお心ゆくまで

語り合い、ロータリー財団委員長・佐藤衛君の威勢の良い名調子でオークションが行なわれ、見る間に40品余りの品物が落札され、定刻7時30分に「手に手つないで」の大合唱で、盛会の内に散会となりました。



ゲスト

石黒慶之助ガバナ―
 インターアクト指導教官 鶴岡工専 篠崎孝一先生
 高宮 宏君
 (今週の担当者 高田 耕助)



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 70 名 出席 51 名 出席率 72.86% 前回出席率 78.57% 修正出席 58 名 確定出席率 82.86%

ゲストスピーチ

環境浄化について

鶴岡市役所市民部長 梅 津 利 治 氏



R 日頃、ロータリークラブの皆様方には市政の各般にわたりまして、いろいろご協力頂いておりますことに對しまして厚く御礼申し上げます。

皆さんも御承知の通り、環境問題と申しますと、公害の問題、公衆衛生の問題、居住環境の問題、貧困の問題、食糧問題等実に幅の広い問題でございますので、今日は絞りまして市の公害担当課に寄せられました公害苦情問題についてお話し申し上げたいと思います。また、時間がありませんでしたら、ゴミ処理問題についてもふれたいと思います。

公害問題につきましては、昭和30年代熊本県の水俣病、あるいは四日市市の喘息病疾患等の不幸な事件が発生しました。昭和40年代に入って経済の高度成長が続く中で、私たちの生活水準もそれ以前には想像も出来なかったような豊かな生活が可能となりました。しかしその反面、第2の水俣病といわれる阿賀野川の水銀汚染問題、あるいは富山県のイタイイタイ病というような産業公害が相次いで発生したことは、皆さまご承知のところでありました。

こうした公害問題の発生を背景にして、口では、「公害対策基本法」や「公害関係法」が整備されてきたわけでありまして、そして公害問題につきましては、国と企業が一致協力をして公害防止のために20兆円を越えるともいわれる設備投資を積極的に行なって参りました。その結果、従来のように健康に障害を及ぼすような公害は現段階ではあまり聞かれなくなりました。このことは、私たちにとって幸せなことだと存じます。

しかし、近年の問題は近隣公害といわれる騒音の問題、振動、悪臭の問題、生活排水からの水質汚濁問題などが全国的に問題になっているのであります。こうした問題は、日常生活にも極めて関係の深いことからありますし、これらの傾向は、本市の現

状も同様というふうに考えております。

ところで、本市の公害苦情につきまして、昭和56年度に市に寄せられた苦情件数は60件。昭和50年度に100件ありましてから、だんだん減少しております。県内他市の平均では、人口1,000人につき0.5件。本市では0.6件であり、若干上廻っています。

公害苦情の内容は、先程申し上げましたように、騒音、振動、悪臭等どちらかという主観的、心理的面がありまして個人差があります。だから件数が多いからといって、本市が他の市より環境が悪いとはいえないのであります。

苦情を種類別に申し上げますと、56年度では騒音が26件、悪臭が23件、大気汚染が6件、水質汚濁が4件となっており、騒音と悪臭で81%を占めております。これらの苦情はすべてが規制基準を超えているというわけではありませんが、快適な環境を保全するという立場から、市としての行政指導を心がけて参りたいと考えます。

騒音苦情の内容は、商業宣伝によるスピーカーの騒音が最も多くて8件。製造加工等の圧搾機等の騒音が5件、杭打作業の騒音5件。自動車の深夜の空ふかし騒音も苦情となっています。26件の騒音苦情は、騒音の発生源がはっきりしているものが殆んどでありますので、環境基準を超えるものについては発生源の人に対しては指導、解決しております。

悪臭で最も多いのは、畜産業に対するもので8件一般家庭の浄化槽の排水によるもの5件、食品製造業の排水に伴う悪臭等であります。

悪臭の測定は現在でも「人の鼻」でやっておりますので、測定がむずかしく、悪臭問題は解決がなかなか困難で、今後の課題であります。ただ脱臭剤が出来たおかげで、企業でも一般家庭でも近隣への悪臭感をやわらげることが可能であります。鶴岡市の尿処理施設、ゴミ処理場は7号線沿いにあり、悪臭を放っておりましたが、私たちとしても労働環境の面からも脱臭装置は金をかけてもやるべきだと考えました。この尿処理施設は昭和49年大幅改造しましたが、近年処理能力低下のため国庫補助を得て昨年と今年度の継続事業で脱臭装置を含めた改造を

庄内空港の建設を推進しましょう

やっておるところであります。この脱臭は、薬品洗浄方式でやっております。完全脱臭には活性炭方式が良いといわれておりますが、この方は運営コストがかかります。薬品洗浄方式でも十分な脱臭効果が可能であります。この脱臭装置だけの費用は約4千万円あります。

悪臭問題は市、企業、一般家庭を問わず、コストの面もありますが、規制のみで論ずるのでなく、話し合いの中から、出来ることから、臭気をなくする努力をしていきたいと考えています。

最後にゴミ処理問題にふれたいと思います。

経済の高度成長に伴ない、ゴミの排出量はドンドン増えてまいりました。近年になってまたゴミの増加率は落ちてきましたが、これは景気低迷による影響と、市の呼びかけによるゴミの減量運動、ゴミの再資源運動が効を奏した現われではないかと思えます。

行政として今悩んでいる問題があります。可燃ゴミにつきましては、現在145トンの消却能力を持つ施設があります。しかしこれは古くなりまして、昭和60年頃から3年連続で新炉を建設しなければなりません。この費用が約30億。鶴岡市庁舎(約27億)を上廻る費用です。

一方不燃ゴミの問題。この最終処分場の用地確保が非常に困難を極めております。全国的にもこの種のもの「迷惑施設」として用地確保が極めて困難とされておりますし、鶴岡地区のゴミ処理問題のうちで、最も困難な課題であります。

現在鶴岡市他6カ町村衛生処理組合で、ゴミを処理していますが、この最終処分場は藤島町と羽黒町の境界にあります柳久瀬地区と、櫛引町の黒川地区の楯出の埋立処分場であります。

本来藤島地区は、本年の10月頃までで埋立処分場がなくなるということでありましたので、昨年急遽櫛引町にお願いして1年間の所をお借りしました。従って昭和58年度中は何とか処理をしたいと考えております。昭和59年度からの埋立処分場がなくなるわけですが、未だ決まっております。このために関係者は用地確保のために日夜奔走しているのが現状であります。

昨年10月、今泉地区に絞って交渉を続けてきましたが、今なお合意に達していません。こうした問題は本来、迷惑をかけるのも市民、迷惑を受けるのも市民であるとの理解にたつて、了解を得たいと懸命に交渉しております。しかし公害が出る、水質が汚濁されるということで反対されます。これからの最終処分場は、技術の進歩と、専門家の設計及び国の指導規制で公害のない処分場となるわけですが、規制のなかった時代に出来た処分場のやり方と対比されて、市の計画と方針が信用されない悩みがあります。

埋立処分用地確保のための行政の苦衷を十分ご理解いただき、ご協力を賜りたいと存じます。

快適な生活環境を推進するにあたって、抱える問題の解決は、行政と事業者の努力は大切であります。住民の理解と協力もまた極めて大切なのであります。

ゲストスピーカー紹介

山口篤之助 君

略歴	昭和36年	鶴岡市役所入所	納税課
	昭和38年		人事課
	昭和50年		人事課長
	昭和55年		清掃事業部長
	昭和56年		市民部長

会長報告

中江 亮 君

- 先週の例会で申し上げましたとおり、鹿児島西R.C.の創立20周年記念式典のご案内が届いていますが、本日の理事会で会長・幹事をはじめ10名程度の慶祝団を派遣すべきであるという結論であります。詳しい事について後程幹事の方からお話がある筈であります。
- 商工会議所主催の田川地区珠算大会について協力の要請が来ていますので、理事会のご承認をいただいて5,000円ご寄付する事にしました。
- 次年度の庄内分区分区代理に酒田R.C.の伊藤政一さんが指名されました。

幹事報告

佐藤 元 伸 君

- 会報到着
鹿児島西R.C. 東京R.C. 鶴岡西R.C.
- 鶴岡ローターアクト委員会
2月第2例会 2月16日(木)
青年センター2階ロビー
PM. 7:00~8:30迄
- 青森R.C.より
斎藤堅治P.G.の「落穂集」の申込依頼到着
- 鹿児島西R.C.20周年記念式典への参加の件
日時 3月24日(木) 受付15時より
申込みを2月15日(火)の例会迄お願いします。

会長エレクトより報告

内山 喜一 君

来年度(1983.7~1986.6)の理事及び理事会のメンバーを発表いたします。

理事は下記の8名の方々です。

内山 喜一	(会長)
佐藤 順治	(副会長)
川村 徳男	(会長エレクト)
石川 寿男	(職業奉仕)
佐藤 衛	(社会奉仕)
三井 健	(国際奉仕)
小池 繁治	(青少年奉仕)
中江 亮	(直前会長)

理事会のメンバーは、上記8名の理事に下記の2名を含めた10名で構成されます。

風間 真一	(会計)
三浦 悌三	(幹事)

スマイル

張紹淵君 2月1日のたら汁会の盛会に感謝して

ビジター

鶴岡西R.C. 菅原年雄君・野口 弥君
井上 彬君・阿部光男君
(今週の担当者 中江 哲夫)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 70 名 出席 52 名 出席率 74.29% 前回出席率 72.86% 修正出席 62 名 確定出席率 88.57%

職業奉仕スピーチ

縫製業の現状について

石塚敏彦君



まず、第1番に現在のアパレル産業の台頭についてお話申し上げたいと思います。

アパレル産業とは、前回にも説明しましたが、衣服を企画し、製造し、販売する。3つの業務を行なう所と言われますが従来繊維産業の中の最も最終工程のごく小さな部分が、戦後急激に成長したところだと思えます。

戦前の繊維産業は一つの産業部門として、日本の産業を大きくリードする役目を果たしてきました。

即ち、昭和20年代は皆目わからないが、衣服は作れば売れる時代です。当時は学校の制服、或は国鉄の制服等はある程度既製服化されていましたが、一般男子及び女子用服は、町のテーラーと言われる仕立屋さんが、お客様の体型、寸法を測って服を作るというのが、20年代の実態だったと思えます。

しかし30年代に入ると、既製服化がある程度進んで、日本でもヨーロッパ、或はアメリカと同じ様に多くの人を使って量産の形をとって生産する対応が進められて来ました。

その後40年代に入り、仕立屋が工場を建設し、工場管理の態勢を取りながら、製造する段階に達した時、生産を維持する為に計画生産の必要が生じて来ました。即ち、市場を調査し、来年の流行を予測し流行を先取りした衣服を企画、生産が進められて来た訳です。この既製服の生産割合を婦人物スーツの指数で見ると、国際羊毛事務局の発表によれば40年頃には26%であったものが、55年代では90%にまで増加しました。

一方繊維産業には、川上・川中・川下という表現があります。これは40年代の後半から使われ始めた言葉ですが、川上は紡績、或は合繊メーカー等の糸を作る企業グループを指しているのに対し、川中は織物工場、編物工場或は染工場を指し、川下には縫製工場、そして百貨店、量販店、小売りに属する部門を取りまとめて言い表わしています。

当時この繊維産業は、斜陽産業と言われ始めた時で、その産業の最終工程の川下のグループが、流行

を先取りし、工場管理による量産態勢を整え、販売を促進することにより、大きな推進力を発揮するようになってきました。

つまり、繊維産業のリーダーは、川上のグループであったのが、何時の間にか、ずっと力のなかった川下グループと入れ変ってしまったのです。

この力の関係を販売価格の面から分析してみると前回の私のスピーチでも説明したのですが、ズボンの価格を10,000円として、その工程別コスト内容を表にすると次のようになります。

原反代	1,000 円	} 3,000 円	} 10,000 円
附属代	500 円		
縫製加工賃	1,000 円		
その他製造費	500 円		
流通費	7,000 円		

即ち、川上・川中の占める価格よりも、アパレル即ち流通費関係の占める力関係が如何に大きく相異なるかがわかります。この実態は、2月5日の近代縫製新聞にも私と同じ考え方が「紳士スーツのコストの構造」と題して、次の如く発表されています。

原料代	4%	} コスト 30%	} 100%
附属代	5%		
加工賃	21%		
流通費	70%		

即ち、昨年お話申し上げたコストの割合が誤りでなかったこととなります。それだけに、斜陽産業と言われた繊維産業の中から、土地も工場も人も持たないアパレル関係者が大きく伸びてきた底力が秘められていると思えます。これは、見込み商品を作る時の大変なリスクを背負い乍らアパレル業者が、自分のブランドを開発し、或は輸入し、そのブランドの名の元に、積極的に売場を獲得してきた事。又、その売場の情報を収集し、来るべきシーズンへの流行を先取りし、流行にマッチした商品企画を立案、そして仕立屋の縫製工場を駆使し、既存の百貨店或は量販店、小売店の売場を活用した知識集約化の主導的役割を遂行して、斜陽産業を盛り上げてきたアパレル企業の面目躍如たるものがあると思えます。

全国勤労世帯の消費支出統計によれば、一世帯当りの費用の割合は、食料27%、住居4.5%、水道光熱費5.9%に対し被服は、7.3%に及んでいると言われます。アパレル産業の働らき方如何では、繊維産業は決して斜陽産業ではないと考えます。

庄内空港の建設を推進しましょう

ところで、その中で我々縫製工場の産業部門に占める位置は、ここ数年加工賃も変わらず、経費の増加は年々厳しくなる一方の現状です。人件費の増加に対し、縫製工場のコスト割れを乗り切る為、都会中心方の縫製工場は、少しでも秀れた人を集められる東北、九州そして四国の田舎にどんどん移設が進められている今日です。

鶴岡には現在26社約1,000名、酒田には30社約2,000名と、両市を合すると3,000名の従業員が従事する産業に成長しつつあります。しかも内職者を合すると、5,000名近い関係者が従事する産業であることがおわかり頂けると思います。

しかし、これらは何れも企業力がなく、販売力もなく、勿論リスクを背負える企業ではありません。このコスト高に対する対応は、秀れた企画力を持つアパレルメーカーを旦那様と考え、御主人様の信頼を得ることが最も重要なポイントだと思います。

それには、納期を守り

品質を確保し

より安いコストで生産する。

そして作業方法、システム作りによる生産性向上できる対応を計ることが絶対必要かと思えます。作業方法の改善、機械の改善、システムの改善に当り、地場産業の皆様方のお力、或は知識をお借りする必要があります。その節は何分よろしくお力添えを賜りますようお願いし、スピーチをお終らせて頂きます。有難うございました。

会長報告

中江亮君

- 郵便でお知らせした通り鹿兒島西R.C.創立20周年記念式典慶祝訪問にご参加なさる方はお早めに事務局までお申込み下さい。日程表の通りですと5日間になりますので、交通公社で見直していただきまして3日間(3月24日～26日)の案もありますので、なるべく多勢のご参加をお願い致します。
- 次に台中港区R.C.の陳克己会長さんから、創立12周年記念式典のご招待状が参っております。時期は5月10日ですが、理事会で十分検討した上で、次週に皆様にお計りいたします。なお、クラブの国際親睦委員会から台中港区R.C.に日本のカレンダー45本をお送りしましたが、それに対してお礼のお言葉がありました。

幹事報告

佐藤元伸君

- 日中友好しんぶん「日本と中国」が到着
3-H報告書到着
- 奥羽千種会より研修会の案内到着
日時 昭和58年2月26～27日
場所 天童温泉 パーソナルホテル 紀の川
講師 村田善明氏(豊中R.C.)
会費 5,000円
希望者は事務局までお申し出下さい。
- 1983～84年度ロータリー手帳、ロータリー全国

会員名簿の注文書が到着しています。

- 鶴岡市民憲章パネルの頒布について
大型 5,000円 小型 3,000円
鶴岡市民憲章推進協議会
会長 安藤定助氏より
申し込みは鶴岡市役所まで

社会奉仕委員会

山口篤之助君

去る2月1日に親睦活動委員会主催のたら汁会において財団委員会と社会奉仕委員会共催で行ないましたオークションで64,800円、また現金で69,000円合計133,800円の高額の温い寄付を頂きました。今後両委員会で相談し有効に使わせていただきます。

情報委員会

小池繁治君

ロータリー規定審議会から提案されていた議案については本来クラブ全員で討議すべきことではありますが、物理的に無理があったので、情報委員会と会長・幹事で2月14日、時間をかけて審議しました。その結果などを報告します。

ロータリー規定審議会は3年に1回開催される会議です。我々が指針としているロータリーの綱領および定款、細則を3年に1回改正するところがあれば改正しようということで、各クラブに問いかけを行ない、これに対し各クラブから改正の提案がされるのですが、1983年度の規定審議会には188件の提案がありました。これに対し賛成か反対か保留かの意志決定をしなければなりません。各国から出た188件の内容は簡単なものからむづかしいものまでさまざまであり、日本からも6件ありました。この提案に対し鶴岡R.C.としては先に述べた通り審議した結果、賛成35、反対57、保留97で、保留が多くなりました。保留は代表委員に一任ということにもなります。253地区の代表委員は浜田耕一さん(米沢R.C.)です。モンテカルロで3月7日から3月10日まで開催される規定審議会に出席されて、クラブの意志を伝えることとなります。なお当クラブの審議した結果内容は、事務局にありますのでご覧下さい。ロータリーの綱領、定款、細則は上から与えられるものでなく、会員1人1人の、またクラブの意志が反映されているものであることをご認識いただきたいと存じます、したがって我々が我々の手で作った綱領であり定款であり細則である限り、ロータリアンとしてこれに添った判断、行動をとることは、課せられた義務でもあると思います。

米山奨学会委員会

菅原辰吉君

本日の例会において募金協力を要請した結果、10,707円の寄付がありました。

ビジター

鶴岡西R.C. 井上彬君 余目R.C. 佐藤孝二郎君
(今週の担当者 今野清一)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋

出席報告：会員70名 出席56名 出席率80.00% 前回出席率74.29% 修正出席60名 確定出席率85.71%

ガバナースピーチ

ロータリー創立記念日
世界理解と平和の日について

ガバナー 石 黒 慶之助 君



1905年2月23日(明治38年)シカゴ市ディアボーン街ユニテビルでロータリークラブが誕生してから、78年目の創立記念日を迎えます。

今年度、向笠会長は、MANKIND IS ONE-Build Bridges of Friendship Th-

roughout the World のテーマを掲げ、世界理解と平和を念じておられます。先生は今回の創立記念日を“世界理解と平和の日”とするよう呼びかけておられ、貧困による飢餓、疫病に悩まされている発展途上国の方々、或は戦乱による難民の救済など数多くの世界社会奉仕の仕事をかかえています。更に財団の事業としての奨学金制度にも多額の出費がかかっており、その支援をお願いするよう要請されております。即ち、ロータリー財団では、本日の創立記念日を期して、「世界理解と平和のためのロータリー財団基金」を設置することを決議されました。恒久的基金～信託基金として財団を永続させる考えであります。これについて全ロータリアンは1人1\$のご寄付をお願いするよう要望されております。本日のご寄付は勿論クラブの財団の成績に加算されますのでよろしくお願い致します。

世界は米ソ超大国を軸にして、軍備を増強し、或は経済不況のため先進諸国も発展途上国もゆれ動いております。自由主義国家も全体主義国家も経済不況の中で、将来共に安全だといえる国は何処にも見当りません。何処の国民も平和を愛し、国民の繁栄を願わぬ国はない筈です。ポーマー元会長は“平和は戦争の勝利に勝る勝利である”と言っております。

中曽根首相が“日本列島を不沈空母とする”と言

明すれば、ソビエトはSS20中距離ミサイルをシベリアへ移転するとか。シュルツ国務長官はジュネーブ会議でそんなことはさせないとか、仲々微妙な雲ゆきであります。

ロータリーでは皆様の善意と友情を基に、相手への想いやりの心をもって、国際理解を推進することが“平和への唯一の道”と考えております。

全体主義国家や共産圏諸国へのロータリーの進出がないのは極めて残念であります。現在チェコスロバキアに1つR.C.があります。北京にも外人だけのR.C.を作ろうかとの気運があります。イランには14R.C.あったが、昨年末R.I.より定款・細則を守っていないことから認承を取消されました。

鶴岡市とニューブランズウィック市の姉妹都市盟約は既に皆様ご承知であり、その媒介をしたのが当クラブであることをご存知でしょう。

昭和34年(1959年)鶴岡R.C.創立後間もなく初代会長小花盛雄氏が松本狭市長の委嘱を受けてニュージャージー州ニューブランズウィックR.C.を通じ、姉妹都市とロータリークラブの姉妹クラブを結んだのです。この縁結びの発端となったのは、庄内藩士高木三郎がN.B.市にあるラドガー大学に学んでいたことと聞いております。

先般ブリタニカ社発行の「日本のリーダー」の高橋是清の項を読んでいると、この高木三郎の洋行が書いてありましたのでご紹介いたします。それによれば、勝海舟が長男15才の小麓を英語の勉強を兼ねアナポリスの海軍兵学校に入学させようとして、その付人として仙台藩の富田鉄之助(後に日銀副総裁となる)と庄内藩士の高木三郎をつけてコロラド号で渡米させられたとあります。そしてその船には高橋是清、鈴木六之助、薩摩藩の伊東四郎(後の海軍大将伊東祐亨)国義次郎(薩摩屋敷焼打ちで庄内藩より殺される)等も同乗した。その際勝小麓、高

庄内空港の建設を推進しましょう

木三郎、富田鉄之助の3人は上等船室に乗り、高橋是清等の一行は下等船室に乗ったとあります。この若い少年達が出発したのは慶応3年(1867年)7月25日横浜沖からでありました。24日間かかってサンフランシスコに到着しております。高木は船中で鬻を落したそうです。戊辰戦争は明治元年9月~11月ですが、高木はそれを心配し勝海舟を頼って1年半位で帰国した。しかし間もなく富田、高木は共に再び渡米しラドガー大学へ入学したものと思います。高木は大学卒業後米国にとどまり領事となって日米親善に働いたようですが、私はその終末を知りません。いずれにしても庄内から百数十年前このような先覚者が出たことは鶴岡市民の誇りでありましょう。

ニューブランズウィックR.C.との姉妹クラブ関係は最近疎遠になっており残念に思います。昨年新穂光一郎さんが同市を訪たが、クラブとの姉妹関係の確認には致っておらないようです。

今までの経過は張紹淵さん、三井徹さんの方がよく判っていると思いますので、両先生から歴史をまとめて頂けないでしょうか。

私はクラブの10周年誌より次の事実を拾ってみました。

○昭和34年小花会長がN.B.-R.C.を訪問、姉妹クラブ締結。

N.B.-R.C.より米国の医学雑誌(JAMA)、内科医学雑誌など送られてきた。こちらから“THIS IS JAPAN”という写真集など送った。郵便切手の相互交換を行う。

- 昭和35年5月には張紹淵氏がN.B.-R.C.を訪問。
- 〃 11月N.B.市長より会長へメッセージ来る。
- 〃 12月N.B.-R.C.会長より三浦国際奉仕委員長宛祝詞を頂く。
- 昭和36年6月Louis Migliorini氏(N.B.-R.C.会長パストガバナー)夫妻R.I.第52回年次東京大会へ出席し、鶴岡市を訪問。酒井邸内にてガーデンパーティー開く。また市とR.C.共催で市民歓迎会などを行う。
- 昭和36年(三浦岩次郎会長) 両市の市長外首脳の写真の交換。クリスマスカード交換。
- 昭和37年(佐藤伊和治会長) 9月25日N.B.-R.C.会員Dr. Kler氏ご夫妻来訪。N.B.-R.C.の新しいパーナーを贈られる。高木三郎の留学したラドガー大学を絵にした飾り皿を頂く。12月にはKlerさんから

小中学生のかいた図画43枚と歳末助け合いへの義援金をクラブへ10,000円、市へ5,000円寄贈された。

- 昭和38年(池内方平会長)
 - ・ケネディ大統領の暗殺に対し、N.B.-R.C.へ謹んで弔電を打つ。
 - ・Dr. Kler氏よりSlid写真沢山送られる。斎藤栄作君N.B.-R.C.訪問。
 - ・N.B.-R.C.へXmasと新年のメッセージを送る。庄内地方地震にN.B.市長より見舞状頂く。
- 昭和39年(斎藤栄作会長) 田中勉君N.B.-R.C.を訪問。
- 昭和40年(張紹淵会長) 三井玉男君交換学生として渡米中、N.B.-R.C.を訪問する。
- 昭和41年(早坂源四郎会長) 加藤絃一氏N.B.-R.C.を訪問する。N.B.-R.C.より日本人墓地の清掃活動の写真送られて来る。
- 昭和42年(斎藤得四郎会長) N.B.-R.C.で日本人墓地清掃の方々へイズメコ人形を贈る。Xmasカードの交換。
- 昭和43年(石黒慶之助会長)
 - ・N.B.-R.C.へXmasと新年の挨拶を兼ね過去10年間のクラブの活動を整理し英文翻訳して解説を贈る。
 - ・2月28日Louis.B.Migliorini氏逝去の報に接し弔電を打つ。
 - ・5月20日(昭和44年)三井徹君N.B.-R.C.を訪問し、会長メッセージを送る。市長のレセプションに招かれた。
 - ・10周年記念祝賀にN.B.-R.C.会長ヘンリーJ.ダガター氏よりお祝いのメッセージを受ける。
- 昭和44年(三井徹会長) N.B.市からクロンカイト夫人とラスト嬢が来訪する。その後、目立った親善活動を行っていないようである。如何にして旧交を温めるか?
 - ・青少年交換をクラブ対クラブで行うこと。短期交換でもよい。
 - ・G.S.E.の交換 ・ペンフレンドの募集
 - ・Xmasカードの交換 ・会員同志の相互訪問
 - ・姉妹クラブの盟約書はどこにあるか?などを検討し、今後の計画を進めて下さい。

会長報告

中江亮君

- R.I.のInternational Relationship Programに基いてメキシコのD-417のZACATEPECクラブから地区組合せ(マッチド)クラブとして、当クラブを選んで、今後おつき合いを正式に申し込みが来ています。理事会はこの申し入れを承認しましたので、私から早速返事を先方クラブの会長さんに出したいと思います。
- タイ難民救済募金(主催山形新聞グループ)に3万円を寄付することにしました。
- “鶴岡・N.B.市民の会”結成について鶴岡市役所から呼びかけがきていますが、当クラブもこれに賛同することにしました。
- 台中港区R.C.の12周年記念式典のお祝いにクラブから数名を派遣した方がよいのではないかとということで、皆さんにご参加を呼びかけることに致しました。先に申し上げました鹿児島西R.C.20周年記念式典への参加を含めて、クラブから若干の補助を出すことにしました。参加される方は早急にお申し込みをお願い致します。
- 3月8日の例会は市のホームヘルパーの代表をお招きしてお話を聞くことにしてありますが、その時にホームヘルパーのご苦勞に感謝を表明するため、16名にささやかな記念品をおあげしたいと云う、山口社会奉仕委員長の提案がありまして、3万2千円を支出することにしました。
- 3月中旬以降の例会プログラムを、ゲスト中心から会員及び委員会に重点を移すようにプログラム委員長をお願いしてありますので、プログラム委員会の計画に積極的に折込んで頂くようお願い致します。
- 新しく入会された手塚拓さんの委員会所属をS.A.A.をお願い致します。

幹事報告

佐藤元伸君

- 会報到着 山形R.C. 山形西R.C. 山形北R.C. 山形南R.C. 米沢西R.C. 米沢R.C.
- ガバナー月信の誤植訂正の通知が参っております
 - ・ ガバナー月信8号、8頁の出席報告の中で郡山東クラブの12月末日会員数
83-53 増減 +31-+1
誤正 誤正
 - ・ ガバナー月信9号、1頁の表題
COSINS - COUSIN
誤正
 - ・ 同頁本文13行目
Cosin - Cousin
誤正

ロータリー財団委員会

佐藤衛君

今日は2月22日。2月の最終例会であります。2月23日はロータリー創立28周年記念日となっております。今年からこの日を世界平和の日と定め、会員1人当り1\$をロータリー財団或は世界社会奉仕事業へ献金するよう要請されております。

当クラブは中江会長さんの諒解を受けまして、ロータリー財団の方にご寄附をさせていただきます。ロータリーの原点をみつめ、全員よろしくご協力願います。

この記念すべきときに、会員の吉動勲さんが、ポール・ハリス準フェローになるため、ご寄附を頂いております。当クラブ本年度11人目の準フェローでございます。

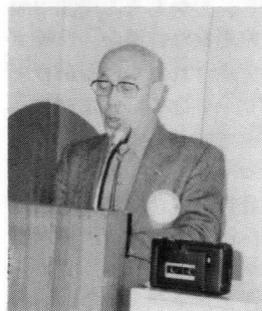
情報委員会

小池繁治君

たまたま創立記念日に合したわけではございませんが、明日が1905年2月23日というのはロータリー誕生の日で、それを記念してということではありませんが、ロータリー情報委員会と致しまして、新しく入会された方や比較的新らしい会員の方々とファイヤー サイド ミーティングを、本日午後5時30分より、中国飯店におきまして開催致しますのでよろしくお願い致します。

出席委員会

佐藤順治君



再三皆さんにお願いしておりますが、まだ出席の成績は良くないようでございます。

本年度の目標を93%と致しておりますが、1月末までの平均を取りますと、91.09%という数字になっております。

まあ90%以上であればと

というような感じもありますけれども、ご承知の通り出席は、競争となっております。今日のガバナー月信にも掲載されているように、みな順位がついておるわけでございます。

一番成績の良いときで、43、45、50、51、55というような50位を基準にして、上下している状態があります。クラブの数は76だと思っております。その中の50前後では決して優秀な成績とはならないのではないかと思います。今日のファイヤー サイド ミーティングにおきまして、出席とはこういうものと、声を大にして、一つお願いしたいと思います。

これからもまだ間がありますので、出席につきま

してよろしくご協力の程お願いいたします。

スマイル

張 紹淵君 ニューブランズウィックの話に対して

ゲスト

石黒慶之助がバナー

ビジター

温海 R.C. 佐藤五右エ門君 阿部一太君
立川 R.C. 滝 禅源君
鶴岡西 R.C. 佐藤 等君 鈴木昭吾君
長野正彦君

ロータリー入門より抜粋

◎クラブの例会に已むを得ず欠席する場合、ロータリアンはどうしたら、会員身分の保全ができますか？

欠席した日の直前の所属クラブ例会の定例の時から欠席した日の直後の所属クラブ例会の定例の時までの間に、他のどこかのロータリー・クラブ又は仮ロータリー・クラブの例会に出席してその欠席を補填すればよいのであります。もし正当かつ充分な理由から、クラブの例会に已むを得ず連続4回欠席し、しかもその期間中他のクラブの例会にも出席出来ない場合、クラブ理事会によって出席を免除されることがあります。但し出席のクレジットは得られません。

◎クラブ奉仕とはどんなことですか？

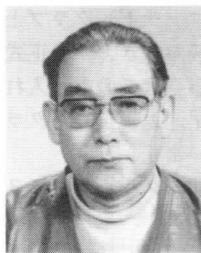
「クラブ奉仕」とは、ロータリアンが所属するロータリー・クラブの管理の成功に資する為に行なう次の様な行為をいいます。

- ・クラブ会合に出席すること
- ・クラブの親睦に寄与すること
- ・クラブの計画に参加すること
- ・委員となつてつくすこと
- ・役員をつとめること
- ・会費を払うこと
- ・クラブ外の活動に於てクラブを代表すること
例えば、ロータリーの会員でない人達にロータリーの綱領を説明したり、他のロータリー・クラブで話をしたり、都市連合会、地区協議会、地区大会に出席したり、新しいクラブの設立に当たって自分のクラブの代表したりすること。

職場紹介

三井農場 三井 健

三井農場と云うのが私の会社です。



創業は、昭和24年に遡りますが、現在でも当時とあまり変わらない小さなものです。

私どもの主たる業務は孵卵で、その為に約30名の従業員に30台の孵卵機と七種鶏場

に約3万羽のブロイラー種鶏を飼育しております。

皆さん御存知の様にブロイラーと云う名前を身近に聞く様になったのは、近々20年足らずの事です。私の所でも創業来約15年間は採卵鶏の孵化を業務にしておりましたが、昭和40年頃からブロイラーの孵化に転じて、現在に至っております。私共で発売しているヒナは、「アーバーエーカー富士」と云う品種で、米国のアーバーエーカー社で出来たものです。私共で飼っている種鶏の父母即ち原種鶏は米国の会社と三井物産の合弁会社である「日本アーバーエーカー社」に輸入飼育され、そこから我々契約孵化場に種鶏として入れられ、更にその子供が私共から一般農家即ちブロイラー養鶏家に売られる仕組になっておるのです。面白いことに出来たブロイラーは個々の農家で市場に出すのではなく、インテグレーションと云う組織の中で処理されます。商社或は経済連等をインテグレーターにして私共から買い上げたヒナと餌を農家に貸して、出来たものを引取り、それを販売するシステムになっております。ブロイラーは主に骨付きの小型(約1kg)から正肉用の大型(約2kg)迄あり、夫々6週～9週迄飼育されます。現在山形県にはブロイラーの孵化場は私共1軒しかなく、月産約20万～25万羽の孵化です。残り半分は県外から入っております。私共もなんとかそのシェアを拡げるべく鋭意努力中です。ブロイラー産業は肉牛酪農などに比べ政策の恩恵には預かる所が少なかったと思いますが、こう云う時代になればそれがかえって幸いしたようにも思われます。

最後に、私の所では銀座通りに手造りの味「デクマート」という店で、鶏卵・鶏肉等の副産物を主原料とした惣菜の店をやっております。これは、前述した養鶏孵化部門よりは皆様にも稍身近に感じて頂けるのではないかと思います。オードブル、折詰等の仕出しもしておりますので、いっぺん御賞味頂ければ有難いと思っております。

(今週の担当者 松田 貞夫)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 70 名 出席 56 名 出席率 80.00 % 前回出席率 80.00 % 修正出席数 64 名 確定出席率 91.43 %

会員スピーチ

養 鶏 の 現 況

三 井 健 君



昔はと申しまでも、昭和35年頃までの養鶏というものは、専ら採卵養鶏を指して言っておりました。

当時、日本の養鶏の改良になかなかの水準に達しておりまして、その頃各県の種鶏場に集合検定という制度があり、種鶏家から10羽づつの代表鶏を出品させて、10月1日から翌年9月30日まで1年365日産卵の検定をやっておりました。そして世界で最初に1年365日1日も休まずに産卵を続けた鶏を作出したのは岩手県の橋本善太という方でした。彼は種鶏の改良家でした。その育種技術を使っただけでなく、山形県でも365産卵鶏が出ましたし、当時の日本の状況はなかなか盛んであったのです。しかし、残念ながらこれ等はすべてオリンピック選手であり、一般の状況は概して低く、日本全体の産卵平均は150ケ～170ケ位であったろうと想像されます。ところが当時のアメリカの状況はどうであったかと申しますと、当時からアメリカでは1軒当りの養鶏羽数が何万、何10万という単位だったわけで、オリンピック選手を後生大事に言うことはなく、群単位で物事を考えておいたわけです。したがって改良育種の方法も1羽が何ケ生んだではなく、群で平均何ケ生んだか、そして日量産卵を重視して、1日平均何kgの卵が生産されたかとする群単位のいわゆる集団育種の方法がとられてきたのであります。

日本でも昭和30年から35年にかけて、例の針金を使ったゲージで飼うようになると、飼育羽数がだんだん大きくなり、アメリカ式の集団育種をされたものが求められ、35年前後からの溜々としてアメリカの鶏が入ってくるようになり、逆に4～5年の間にほとんどの鶏が青い目のトリになってしまい、現在では国産鶏はせいぜい2～3%にしかならないような状態になっています。

現在の採卵養鶏は、飼養羽数は1億5千万羽前後(内山形県60～70万羽)で、その1年間の産卵個数は1億個余り。人口1人当たり1個弱となっております。山形県は完全に卵の移入県となっております。

以上が戦前から戦後にかけての養鶏でしたが、同じく35年頃からもう1つの養鶏が生まれました。即ちブロイラー養鶏がそれです。昔から日本では四つ足は食べないが鶏は一般庶民の食卓にもものせられておりました。しかし、それは卵を生み上げたパアサンどりで、元来が食用の為に飼われたものではありませんでした。ただ、わずかに名古屋とか関西あたりの養鶏先進県では名古屋コーチンとか、ブリモスと言った卵肉兼用種を使って水炊等、専ら煮物として使われていた程度でした。ところが今お話したブロイラー鶏が(ブロイラーとは元来ブロイルする、焼くからきたもの)日本に定着してきたのです。したがって現在養鶏と言っても、採卵養鶏とブロイラー養鶏の別々のものに大別されるようになりました。

採卵養鶏については以上概略申し上げましたが、ブロイラー養鶏に一寸ふれておきたいと思えます。申し上げましたように、ブロイラー養鶏が始まったのは、昭和35年～40年頃にかけてですが、ブロイラーは水っぽいとか柔らか過ぎるとかよく言われますが、それは道理で、生れて10週間即ち70～75日飼育して食べるのですから、全くの即製で、水っぽいわけです。元来焼いて食べるように飼われたものが、煮て食っては水っぽいのは当たり前です。しかし日本では昔から鶏は煮て食うような習慣がありますから残念なことです。

現在ブロイラーは全国で年産1億5千万羽、約7万トン～8万トンとなっております、国民1人当たり消費は年間6～7kg位と推定されます。私の所では昭和27年頃から採卵鶏の孵化をやっておりましたが、40年頃からのブロイラーの孵化を始めて、現在に至っております。現在生産しているのは、アーバーエーカー富士と言う品種で、私共の所ではブロイラーの飼育ではなく、その元ビナとなるヒヨコの孵化生産のわけです。種鶏場は七窪にあり、そこに約3万羽の種鶏を飼育し、内1万5千羽が成鶏です。肉用

庄内空港の建設を推進しましょう

に改良されたものですから、産卵は白色レグホン等の採卵鶏に比べ、至って産卵率は悪く非能率です。飼育期間が約70週500日不足で、その間育成が約180日、残り320日位が産卵期間ですが、産卵個数は約150～170G位です。そもそも私共では日本アーバーエーカーと言う、三井物産とアメリカのアーバーエーカー社合併の会社から種鶏を購入しているわけですが、その日本アーバーエーカー社はアメリカのアーバーエーカー社から種鶏を購入しているわけで、完全にアメリカの下請けという格好で鶏の改

良育種は専らアメリカの同社でやるようななさけない状況です。これは青い目の採卵鶏、又外の品種のブロイラーについても全く同様の形態となっております。

以上、長々と申し述べましたが、養鶏業界も採卵鶏、ブロイラー共生産過剰気味で、なかなか容易でない現状です。ここで皆さんにせいぜいコレステロールの心配ない程度に卵を召し上げて頂く事と、脂の少ないブロイラーないし鶏肉を召し上げて頂くようにお願いして私の話を終らせて頂きます。

会長報告

中江 亮君

- 先週にもお話し申し上げました通り、今後のプログラムを委員会報告及び会員イニシャルスピーチ等を重点的に計画しておりますので、残る4ヶ月間十分にこの時間を活用されますようお願いいたします。
- 会員増強についてのお願いです。現在のところ交替が1名あっただけで、実質増は未だありません。増強委員会としては5名の実質増の方針を立てておられますが、今のところ苦勞されているようであります。2～3の会員のご協力を得て、かなり可能性のある方を2～3考えておりますが、何卒会員の皆さん1人1人のご推薦をお願い致します。

幹事報告

佐藤 元伸君

1. 会報到着 鹿児島西R.C.
2. 例会変更 鶴岡西R.C.
 - 3月11日の例会の時間と場所の変更
 - ファイヤー サイド ミーティングのため
 - 日時 3月11日(金) 18:00
 - 場所 大山楼
 - 登録料 3,000円
 - 職場訪問のため
 - 日時 3月18日(金) 12:30
 - 場所 (株)サトーゴーセツルオカ
(中央工業団地内)
 - 登録料 1,500円
3. ローターアクト委員会より例会への出席お願い
 - 3月第1例会 3月2日(水) 青年センター
P.M. 7:00
 - 第2例会 3月16日(水) 〃
4. (財)ロータリー米山記念奨学会より
57年度上期の寄付金明細が到着
5. インターアクトクラブ委員会より
鶴高専がホストクラブとなって山形地区(7クラブ)の指導者講習会を4月24日9:00より産業会館において開催します。

親睦活動委員会

張 紹淵君

会員誕生 石塚敏彦君 小松広穂君 中野清吾君

佐藤 忠君 佐藤 昇君 鈴木茂男君
手塚林治君 若生恒吉君

奥様誕生

早坂保江(徳治)様 石川徳江(寿男)様
板垣地永子(広志)様 石塚綾子(敏彦)様
小松陽子(三雄)様 嶺岸豊子(光吉)様
松田照子(貞夫)様 大森えみ子(健司)様
佐藤晴子(衛)様 高橋多恵子(良士)様
高田紀子(耕助)様

出席委員会

佐藤 順治君

◎年間皆出席

11年間皆出席 小池 繁治君
10年間皆出席 板垣 俊次君
7年間皆出席 迎田 稔君
5年間皆出席 川村 徳男君
1年間皆出席 佐々木栄一君

◎2月100%出席 49名

ロータリー財団委員会

佐藤 衛君

奇数月の第1例会はロータリー財団協力の日でありますので、会員1人1ドル以上のご寄付をお願い致します。会員の高橋良士君、佐藤昇君、松田貞夫君の三名の方よりポールハリス準フェローになる為のご寄付を頂戴しております。今年度14人目の準フェローです。

米山奨学会委員会

鈴木 弥一郎君

この程財団法人米山記念奨学会の方から寄付額の明細が来ております。253地区において当クラブの1人当りの年額寄付額が2,000円で普通寄付金が57年7月から12月までの半年間で73,000円、今年は特別寄付額がなくて、合計が73,000円となっています。過去の累計が普通寄付額が144万2千円、特別寄付額が266万5,478円、合計3百50万7,478円で、地区内では最優秀クラブになっております。これも皆様の絶大なるご協力の賜だと思えます。

ビジター

鶴岡西R.C. 八幡慶二君・菅原年雄君

(今週の担当者 斎藤 隆)



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋

出席報告：会員70名 出席52名 出席率74.29% 前回出席率80.00% 修正出席62名 確定出席率88.57%

ゲストスピーチ

老人福祉と家庭奉仕員について

鶴岡市役所福祉課長代理 大川 啓 治 氏



今日は鶴岡市から福祉関係業務をしている私達3人が伝統ある鶴岡ロータリークラブに、ゲストとしてお招きを受けて誠に光栄に存じております。

日頃、当市の福祉行政に対しましては、当クラブの皆様方からいろいろご配慮をいただいております。大変ありがとうございます。今日は『老人福祉と家庭奉仕員』ということで、皆様方にパンフレットをお配りしてありますが、これに基づきまして全般についてお話しし、具体的にはホームヘルパーの2人からお話しいたします。

鶴岡市の昭和50年総人口は95,932人でした。現在は総人口10万を突破しております。高令化時代の到来とともに、その中で65才以上の老人が12,000人もおります。昭和50年当時9,505人だったのが、わずか数年間に12,000人という高令化が進みました。これを人口対比(%)で全国平均と比較してみますと、50年は当市が9.9%で全国平均が7.9%、54年は当市が11.0%で全国平均が8.9%、56年は当市が11.7%で全国平均が9.3%、57年は当市の総人口の12.0%というかなり高い人口対比となっております。当市の最高令者は103才の伊藤鶴さんで、現在大山の友江荘でお元気でいらっしゃいます。ほかに100才の方が2人おります。高令化とともに長寿の方が

増えていることは大変結構なことだと思っております。鶴岡市の各年令別の人口は、90才以上の方は103人おられます。一昔前は90才以上といえば、わずか数人でしたが、現在は100人以上の方が長寿を保っておることになります。

次に、ホームヘルパーと関係のある寝たきりとか一人暮らしの老人の方の数ですが、統計的にみて恐縮ですが、寝たきり老人は毎年120人前後を増えたり減ったりしております。また1人暮らし老人の方は57年度には838人おられます。これは県内でも山形市の1,000人に次いで大きな数字になっており、1人暮らし老人の多いのは当市の特徴でもあります。老人夫婦世帯は、57年度780世帯で、夫婦ですから人数はこの倍になります。こうして見ましても、老人家庭のあり方が伺われると思います。

続いて家庭奉仕員の状況についてお話しいたします。現在鶴岡市に家庭奉仕員の方は16名おります。法的根拠は「老人福祉法第12条」に市町村は社会福祉法人やその他の団体に対して身体上または精神上の障害があって日常生活を営むのに支障がある老人の家庭に家庭奉仕員を派遣して、その日常生活上の世話をさせることを委託することが出来ると規定されております。実施の主体は鶴岡市、他町村では社会福祉協議会に委託しているところもあります。派遣対象は主に老衰や心身の障害、それに傷病などで寝たきりでいるなど、日常生活を営むのに支障がある大体65才以上の老人のいる家庭で、その家族が老

庄内空港の建設を推進しましょう

人の介護が出来ないような状態にある場合とされております。サービス内容は多彩で、食事の世話や洗濯、部屋の掃除、買物や身の廻りの世話などのほか生活上についての相談・助言まで、こまかに何でもやり、親身になってよく働いております。老人が首を長くして待っているのが、1日も休むことが出来ない状態です。家庭奉仕員16名の訪問内訳は、生活に困っている保護世帯11人、障害者とか老人家庭51人、計61人の世帯に訪問し、活躍しており、家庭奉仕員1人が5～6世帯を担当しております。身分は非常勤特別職となっており、1年更新ですが、長い人は12～13年、短い人でも2～3年は続けており、15年のベテランもおられます。年齢は52～53才で活躍している方もおります。勤務は月曜から金曜まで、午前9時から午後4時まで。午前、午後各1世帯を訪問、1世帯には週2回程度となっております。1世帯の奉仕時間は2時間程度で、午後4時頃に帰り、日誌をつけ退庁という日課です。

このほか、移動入浴車があります。これはねたきり老人の中には1ヶ月も入浴していない方がありまして、入浴車が行くと、手を合わせんばかりに喜ばれます。この移動入浴車に従事している方は2名おり、井上さんもその1人で、看護婦さんとしても活躍しております。家庭奉仕員は、毎日一生懸命親身になって頑張っております。皆様のご協力をよろしく願いいたします。

家庭奉仕員 菅原直子さん



このような席場でお話するのは不慣れなので、うまく出来ませんが、考えてきたこととお話いたします。いま、私たちは16人で仕事をしております。旧市内を廻っているのは9人。移動入浴車担

当が2人、半年か1年交代で取り組んでおります。また、湯田川・湯の浜・三瀬・大山などの各地域を

担当している方が5人、各地区で活躍しております。

1人の担当は5～7世帯、訪問回数は週1～3回の割合で廻ります。老人の身体の状況やその他の条件により訪問回数の増減があり、みんなで相談しながら進めております。私たちの役割は、今まで長い人生を一生懸命働いてきた老人達の余世を豊かに過していただくよう努めることだと思います。衣食住あらゆる面でお世話しているわけですが、特に介護の面では「くすり」をもらいに行った時には、医師の方にご協力をいただいております。また変わったことでは、お墓参りの代参や葬式の代理参列をたのまられることもあります。相談や助言なども大きなウエイトを占めております。私の経験ですが、近くに息子さんや娘さんがおられても複雑な事情があるために遺産相続の相談を受け、遺言状の保証人を依頼されおことわりしたこともあります。

私たちが仕事をして1番困るのは、老人の方々の中に記憶力が弱くなっている人がおり、金品が紛失したと疑いをかけられることです。これは大変悲しいことです。しかし私たちは毅然とした態度で対処しております。

また、1人暮らしの老人や老人夫婦など外出することの少ない方々を誘って花見をしたことがあります。大変喜ばれました。嬉しそうな顔を思い出し、またお誘いしたいと思っておりますが、なかなか実現出来ないのであります。お世話した方が息子さんや娘さんに引きとられ、遠くで幸せに暮しているという話を聞くと、ほんとうに嬉しくなります。東京にいる息子さんに引きとられ幸せに暮している老人から不自由な手で、たどたどしい年賀状を毎年いただくのですが、ほんとうにこの仕事をしていてよかったとつくづく思います。対象になっている老人はさまざまな方がおられますので、私たちも勉強して、よりよい仕事が出来よう努力しております。

鶴岡市では毎月1回研修会を開いております。また庄内ブロックや県の研修会にも参加しております。全国的なつながりを持っておりまして、その研修会にも参加、去年は海外研修にも参加して、国際的な

つながりも深めております。また私たちも、訪問する中で、料理の作り方や家事について、老人から学ぶこともあり、やりがいのある仕事だと思っております。老人の方がほんとうに必要なのは、身内の人の心だと思えます。私たちの仕事は、近所の方や民生委員の方、ボランティアの方々のご協力なしにはむずかしい点も多くあります。今後共皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

家庭奉仕員 井上千枝子さん



移動入浴車に従事しておりますので、そのことについてお話いたします。

鶴岡市に移動の入浴車が配置されたのは、山形・米沢・寒河江について4台目になります。一般にはあまり知られてい

ませんでしたし、私たちもどのようにして入浴させるのかわからなかったので、山形市まで見学に行ってきた。帰ってからは、自分たちで入浴車を実際に使ってみました。また、友江荘にお願いし、老人の方三人のご協力を得て、実際に入浴させてもみました。失敗もありましたが、次第に自信もついて、52年4月から運行を開始することになりました。移動入浴車を利用するには、申請書に医師の診断書を添えて社会福祉協議会に提出して許可をもらいます。許可が出ますと、実態調査に伺います。事前訪問では、まず車の置く場所、入浴場所、体の状態など、いろいろお聞きしたりします。車の置く場所と云っても道路端の家とは限らず、小さな小路をやっと入るところとか、寝室が玄関から奥まったところとか、入浴させるにはどうしても3畳程度の広さがほしいのですが、狭かったり、排水場所が離れていたり、いろいろな困難なことを乗り越らなければなりません。運行計画は私たちで作るのですが、4月から11月までは1日3人、12月から3月までは午前1人、午後1人の2人しか出来ません。冬期は湯の温度が

下るので、プロパンガスで沸しながらやるのですが、最高43度位までしか上らず、どうしても時間がかかるからです。

入浴車に従事して6年間感じたこともいろいろありました。当初は7～8年から14～15年も入浴していない老人もいて、ほんとうに喜ばれました。14年も入っていない老人は、孫が夕方風呂に入る音を聞いて、自分も入りたくて泣いていた。入浴出来てこんな嬉しいことはないと言われたこともあります。3～4年入っていない人はかなりおりました。現在では、退院して間もない人とか、病気で1～2ヶ月という人が多くなっております。移動入浴車も一般に知られるようになりました。多勢の人から大変喜ばれております。毎日でも来てほしいとよく云われるのですが、私たちも気を使うことが多くあります。体重が100キロ近い人や、持ち上げると折れそうな細い人までさまざまです。入浴前は体温、血圧、脈はくを調べて入れますが、血圧が高かったり熱があれば主治医の指示を受けます。毎日というわけにはなかなか出来ません。1ヶ月に1回程度廻っております。「温泉に入ったようだ」「生き返ったようだ」と心から喜んでもらえるので、私たちもやりがいのある仕事だと思っております。幸いこれまで1回の事故もなく運行出来てよかったと思えます。これからもよろしく願いいたします。

社会奉仕委員会

山口 篤之助 君

今日は鶴岡市役所の福祉課長代理の大川さんと、家庭奉仕員の菅原さん、井上さんをゲストとしてお迎えし、寝たきり老人や1人暮らし老人のお世話をしているご経験のお話を聞くことにしましたので、よろしく願います。なお日頃のご苦勞に感謝の意を表し、心ばかりの記念品を贈ることに致します。

次年度（1983～1984）

鶴岡 R.C. 人事について

内山 喜一 君

次年度特定委員会のメンバーのご紹介をいたしま



R す。去る3月4日、次年度の理事会を開き、その席上次年度役員並びに特定委員会メンバーの決定をみましたので発表します。なお、理事会メンバーの中で先般幹事に推薦されました三浦悌三君が

都合で辞退されましたので、斎藤隆君に変更になりますからご了承下さい。

次にお手許に配付した名簿の通り、特定委員会に2つの委員会を新設しました。「外部委員会」と「ロータリー資料委員会」です。これは、先般公式訪問の席上石黒ガバナーからのご要請に基づいて新設したものでございます。「外部拡大委員会」の拡大地域は、国道7号線を境にした東側の地域で、クラブ結成の可能な市町村への働きかけ、援助を目的とした委員会でございます。先般、当クラブ主催の「たら汁会」に藤島町の高宮さん（だるまや薬局）をご招待したのも、藤島地区にクラブ結成の核となれることを念じた1つの運動でございました。次に「ロータリー資料委員会」ですが、次年度は当クラブ創立25周年に当たります。これまで事務局の山下さんにご苦勞をかけておりましたが、次年度からこの委員会が積極的に整理に当り、資料を保存・管理することを目的として設けられたものです。以上、簡単ですが、新設の理由をご説明申し上げます。なお、これまでの「雑誌委員会」と「広報委員会」はこれを合併して「雑誌広報委員会」といたしました。理由としては、この2つの委員会は質的面で合併した方がより合理的であろうという判断によるものです。

次に、先程申し上げました創立25周年記念行事を実施するかどうか、その可否についてと、その企画等につきましては期間も十分ありますので、時間を

かけて熟慮のうえ、理事会に図り、ご審議いただく心ぐみでおります。

なお、特定委員会の委員長に、新しい会員の方々の顔ぶれが多く見受けられますが、これは理事会の一致した意見の結果であり、ご活躍のほどをご期待いたします。

以上が次年度の決議事項並びに企画の一端と併せてご報告申し上げた次第です。会員皆様のご理解とご協力・ご支援を心からお願いいたします。

会 長 報 告

中 江 亮 君

今日は特にご報告することはありません。『老人福祉とホームヘルパー』についてお話を聞く時間を充分とりました。よろしくお願ひします。

幹 事 報 告

迎 田 稔 君

○会報到着

藤沢R.C.・東京R.C.より参っております。

○R.I.第253地区山形県内インターアクトクラブ指導者講習会開催のご案内を7つのクラブ、7つのインターアクトクラブ及び地区ガバナー及び地区インターアクト委員の方々に発送致しました。

日 時 4月24日(日) 午前9時点鐘

場 所 鶴岡市馬場町

鶴岡産業会館5階ホール

出席者 ○スポンサーR.C.

インターアクト委員長 1名

○インターアクトクラブ会員 5名

〃 顧問教師 1名

ビ ジ タ ー

鶴岡西R.C. 長 野 正 彦 君

井 上 彬 君

(今週の担当者 今 野 精 一)



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 70 名 出席 51 名 出席率 72.86% 前回出席率 74.29% 修正出席数 62 名 確定出席率 88.57%

会員スピーチ

情報化社会と通信

松田 貞夫 君



情報社会の基本技術は広義のエレクトロニクスであると考えられます。コンピューターは人工頭脳であり、通信は人工神経、センサ、音声入力などの入力機器は人工五官、出力機器は人工声帯や人工手足、半導体、集積回路は人口細胞、ソフトウェアは知性であります。

先般、我国初の实用通信衛星が打上げられ、今後ますます情報の伝達機関である通信の多様化がすすむものと思われます。

コンピューターとコミュニケーション（通信）の融合がこれから21世紀にかけて公共社会、オフィス、家庭などあらゆる分野に浸透してゆくものと考えられます。コンピューターにつきましては、従来の集中処理方式から、最近では分散処理方式の多用化も始まっております。この方式は経済的、効率的、しかもシステムが簡単という特長があります。この分散処理方式でコンピューターとコンピューターを結ぶのが通信回線であります。

コンピューターで処理する情報は文字や数字だけでなく、画像や音声など人間の視聴覚に結びつく非コード化情報も進展しています。

私の会社におきましても、パソコンと音声認識装置を利用して、一部製品の電気検査を行なっております。

これからのコンピューターシステムは大量データ伝送、非コード化情報伝達、長距離伝送、高速伝送、高効率伝送を必要としております。

コンピューターが介在した通信としてよく知られているものに、国鉄のミドルの窓口の指定券、航空券の発売、各金融機関のオンラインシステムなどがありますし、現在では海外主要都市との即時自動電話も可能であります。コンピューターとコミュニケーションの融合には高度な技術的背景が要求されますが、それを方向づける技術的テーマとしては次の

ようなことが考えられます。

1. I.C.やL.S.I.など半導体素子の集積度に於る超高度化の進展
2. 光エレクトロニクスの進展
3. 音声の認識と合成の技術的進歩
4. 通信のデジタル化
5. 衛星通信の多角的利用
6. システムにおけるソフトウェアの増大

この中でも、特に半導体と集積回路の急速な進歩につきましては、昭和52年電電公社の通信研究所で世界に先がけて最初の超L.S.I.となった64キロビットメモリーの開発成功、その後の256キロビットメモリーの開発成功で、現在世界の半導体技術開発を完全にリードしておりますし、光通信技術におきましても同様であります。長年の通信技術の蓄積と高度なテクノロジーを持つ日本のエレクトロニクスは世界一流のもので、電電公社へ納入する通信機器はものによって20年無事故という厳しい品質を要求される程で、当然私の会社で製造される通信機器も厳しい品質の物を作っております。

私の会社で作っている主なものは、情報を伝達するための搬送装置、端末機器、夢の通信技術といわれた光ファイバー通信の端局装置、電力、ガス、発電所の遠方監視、交通管制などの制御機器などを手がけております。

光ファイバー通信は髪の毛ほどの太さのガラスファイバーの中をレーザー光が情報を運ぶもので、わずか数本のファイバーで1万人もの通話ができる上、光の減衰が殆んどないため長距離を無中継で伝送できますし、雷などの雑音もシャット・アウトしますので、きれいな情報を超高速で伝送することができます。

現在使用されております電話による情報伝達につきましては、長距離通信に最も適した銅線を多数束にし、それを鉛で被覆した「平衡対ケーブル」が考案されました。しかし、これは伝送路が長くなると通話電流が弱まるので、「装荷線輪」方式（例えば2kmおきに適当な大きさのコイルを挿入するもの）で、通話電流の減衰を補っております。その後数多

庄内空港の建設を推進しましょう

くの通話を一対の電線で伝送する、いわゆる「多重通信」方式の搬送技術が開発されました。しかし装荷線輪を使った「装荷ケーブル」を使用しても僅か数チャンネルの多重化が限度で、しかも高い周波数では逆に減衰が増加すること、電流の伝わる速度がおそくなるなどの不都合が生じました。

1932年、松前重義、篠原登の両博士が世界に先がけて「無装荷ケーブル搬送方式」を確立させ、古いもので6CH、18CH、そして24CH、60CHと多重化が進みましたが、この画期的な無装荷ケーブルも、ある程度以上の高い周波数では、隣り合う銅線間を流れる電流が互いに妨害するという「漏話」現象が生じました。そこで更に研究開発されたのが、現在多く使われている「同軸ケーブル」による多重化通信であります。

先日の新聞によりますと、電電公社は昭和59年度完成予定で、日本列島を縦貫する大規模光通信幹線の建設に着手する記事が発表されておりました。これは髪毛ほどの光ファイバー1本に電話5,760回線分の情報を送ることができる最先端技術を採用し、しかもこの光通信幹線の総延長は約2,800kmで、伝送速度は1秒間に4億回光の点滅、この信号を電話換算5,760回線分の情報を送るものであります。しかも25km無中継、函館～青森間は40km無中継というもので、現在実用化されている光通信の中で情報を送る能力が一番大きく、しかも信号をもっとも遠くまで送ることができるものであります。

昔の情報の伝達方法は狼煙とか、飛脚を使ったものでしたが、現在では電話機とか無線機とか、テレビ、ラジオなどの端末機器が発達しております。私たちは日頃あまり通信の仕組を考えませんが、その通信の中にコンピューターが結合され、更に多用化されていることを認識する必要があります。

今後通信業界はますます、あらゆる分野において技術革新が行われてゆくものと思えます。

会長報告

中江亮君

- 今ロータリー年度も余すところ3ヶ月半となりました。大部分の委員会は既にその計画を達成された事と思いますが、今日はその中の一部について中間報告を申し上げます。
- 最初に出席率の事ではありますが、残念乍ら現在のところ90%を割っているのではなからうかと思えます。ガバナーを輩出したクラブとして、その協力ぶりと理解の程度に批判を受けかねないかと思われませんが、出席委員会の苦しいご心境を理解されて、意識的に出席率の向上にご協力をお願い致したいと存じます。
- 会員増強につきましては、会員の皆様のご協力をいただきまして一挙に成果をあげる見通しがつきました。之については後刻幹事さんからご報告を申し上げますが、ご推薦して下さった会員の皆さんに厚くお礼を申し上げます。今後共努力

添えをお願いする事がありますが、目標達成のためにご協力をお願い致したいと存じます。

- 社会奉仕部門に於ては、社会環境委を中心とする活動計画が庄内交通さんのご協力をいただいて、「鶴岡ロータリークラブからのお願い」という案内を折り込んで頂き、バスの乗客にクリーン作戦に協力するロータリーの活動を訴え、併せてロータリーを理解していただく広報の仕事を完成させようとしています。
- 国際奉仕部門に於ては財団委員会の目ざましいご奉仕に依りまして、現在迄に既にポール・ハリスフェロー4件、同準フェロー15件という実績を挙げておられます。

以上各委員会の成果に感謝を申し上げますと共に目標達成のため格段のご努力をお願い致します。

- 最後に青少年奉仕部門について申し上げますが、社会奉仕部門から移った青少年委員会は、計画は立ててもいろいろ制約があって実行がむづかしいのが実情ではありますが、近々すばらしいアイデアで活動を計画されておられるようであります。全会員の力で成功させたいと思えます。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 会報到着
米沢R.C. 米沢西R.C. 山形R.C.
山形西R.C. 山形北R.C. 山形南R.C.
2. 例会変更のお知らせ
3月30日(水)の例会は第5週に付例会時間変更いたします。
午後6時より 例会場：藤沢平安閣
3. 日中友好の新聞「日本と中国」が到着
4. 新会員の推薦に関する氏名発表(3月15日付)
斎藤 昭氏(庄内ミート(株)常務・食肉配布)
松田 士郎氏(株トキワ屋専務・婦人服小売)
佐々木喆彦氏(宝蔵寺住職・宗教)
以上3名
5. 58年1月～6月迄の下期会費未納の方は、3月末日迄お納め下さい。(65,000円)

スマイル

お子様、お孫様の高校入試合格を記念して

- 小池繁治君(比奈さん) 佐藤元伸君(正晴君)
- 笹原桂一君(奈津さん) 早坂徳治君(妙子さん)

ロータリー財団委員会

佐藤衛君

秋野忠さんがポール・ハリス準フェローとなるための寄付をされました。今年度で15人目の準フェローであります。皆さんで盛大な拍手をお願いします。

ビジター

鶴岡西R.C. 菅原年雄君

(今週の担当者 中江哲夫)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



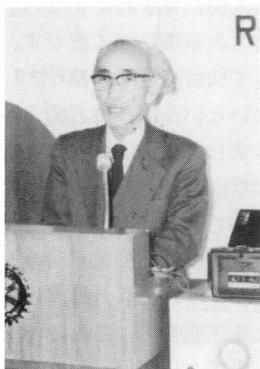
会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 70 名 出席 56 名 出席率 80.00 % 前回出席率 72.86 % 修正出席 67 名 確定出席率 95.71 %

ゲストスピーチ

道と時間の方言古語

菅原七郎氏



R 人麿の“あしびきの山鳥の尾のしだり尾の長々し夜をひとりかもねむ”という和歌は、“長々し夜”という時間の譬喩に“山鳥の尾のしだり尾”という小空間の長さを用いて、時とものさしの長さに明確な区別のついていない点に興味がわきます。

東北・関東・中部の各地方には“じょう(の口)”という古語を伝えています。東西両方言の境界線である富山・岐阜・三重で止り沖縄に飛んで、道・門・馬場(馬のかける道)の意に用いられ、竹富島

では“門前の通り”宮古島では“道への出入口”で東北方言と似通います。

一方、山形・秋田・青森・福島各県では“このじょう”という言葉に留めて、この頃、この間という小時間の意“～じゅう”と変型しては、全国的に点々と用いられています。

南方諸島語では道の意にジャラン(Jalan)という言葉があり、北上してタガログ語ではダーン(dalan)、高砂族の言葉の中、プスン蕃社でもジャーン(djaan)と子音の脱落が目され、ジャラン・ジャル・ジャウ・ジョウとの音韻変化が考えられます。そして、ジャランには小空間としての道の他に経過・進行等短い時間をも示し、日本の方言・古語ジョウと帰を一にします。ジョウはジャランに由来すると考えて差支えありません。

会長報告

中江亮君

○皆さんご承知の通り、本日の例会は私共のクラブが誕生してから第1200回の例会であります。即ち1の5の年即ち昭和34年6月9日にクラブが正式に創立し6月16日に初代会長の小花盛雄先生が第1回の例会の始りの鐘をたたかれた訳であります。その日の出席者は21名会員中19名でありました。従って出席率は90.4%と言う事になりますが、今日の当クラブの出席率90%程度に留まっているのを考えると、鶴岡R.C.の会員が如何に古い伝統を大切に居られるかが分ります。この第1回の例会の記録に理事会の決定事項として“今後会員の呼称を公式の場では“君”とし、その他は随意とする、という1項がありました。又、欠席

通知に関しては“欠席通知は例会前日午前10時迄出席監督に通報する”とあり、今日からみるとかなり厳しいものであった様です。又、今は亡き先輩の斎藤栄作先生は20年の思い出にこんな事を書いておられました。“私は最初からクラブを見て来たが、確かに堅苦しいものであった。定款の勉強をさせられ意見をたたかわしたものであった。全く真面目と云う外はなかった。こんな状態では出席率も心配されたが、近年はこんな堅苦しい傾向がなくなった代りにクラブの活力がなくなって来た”この2つの因果関係は今後も論議の種子として残る事と思われま。10年誌20年誌は大変良い記録誌ですので、皆さんもお時間ありましたらひもといってお読みになされる様おすすぬ致します。本日の1200回の記念例会に鶴岡西R.C.の皆さんが大勢おいで下さった事を心か

庄内空港の建設を推進しましょう

ら歓迎申し上げます。楽しく温かな雰囲気の流れをこれからも心がけて行きたいと考えています。どうぞ多数おさそい合せの上メイクアップして下さい。

○次に明23日の夜行で私共一行鹿児島西R.C.の20周年記念式典に出席して参ります。参加者は小池繁治さん、佐藤元伸さんご夫妻、佐藤忠さんご夫妻三井健さん、内山喜一さん、それに私中江を加えて8名の少人数ではありますが、クラブ会員の心からのお祝いを伝えて参りたいと思います。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 日本と中国のしんぶん到着
2. 東北電力(株)東北電力情報(M11)到着
3. 国際ロータリー在日財務より来る4月1日よりロータリーレート1ドル現行252円を1ドル240円に変更する旨通知がありました。
4. R.I第266地区八尾中R.C.より、認証状伝達式のご案内到着 (4月30日迄申込期間)
 - 期日 昭和58年5月28日(土) 4:00
 - 場所 大閣園
 - 登録料 15,000円
5. I.C.M.のご案内 福島R.C.より
 - 期日 昭和58年5月14日(土)10:30~15:15
 - 場所 福島市民会館
 - (現・次期会長・幹事出席予定)

ローターアクト委員会

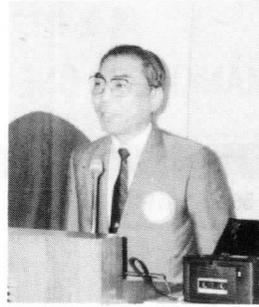
秋野忠君

日頃御世話になっておりますローターアクトクラブからの御案内を申し上げます。先にも機会ある毎にP.R.をさせて戴きましたが、ローターアクトクラブも漸く10才目を迎えて、4月23日(土)・4月24日(日)の2日間にわたりまして創立10周年記念式典が、会場を出羽ホテルで行なわれます。スポンサークラブとして多数の方々から御出席を戴き、ローターアクトクラブへの今後の発展の為に花をそえたと思っています。御出席して戴ける方々は山下さん迄御返事を3月31日迄お願いします。10周年という大変記念すべき年でもありますので、土曜日・日曜日と大変お忙しいかとは思いますが宜しく多数の方々から御参加をお願いしたい。登録料5,000円

退会の挨拶

中江哲夫君

貴重な時間をお借りして御挨拶をさせていただきます。



私この度社命によりまして東京企業保険部の所属で仙台の法人営業室という所に転勤を命ぜられまして仙台の勤務になります。私共転勤族にとりましては何年間に一度は転勤を何回も味わっておる訳ですけれども、この地

におきましても今回漸く慣れた所で去ると言う事で後髪を引かれる思いをする訳でございます。山形は内陸で3年庄内鶴岡で2年山形県で5年間御世話になりました私にとっては、非常に長い勤務でしたけれども、素晴らしい自然と人情に育まれた素晴らしい土地で良い思い出を残して去る事になる訳です。私の後任は小林と申しまして仙台支社から参ります。引続き是非御厚情を承りたいというふうをお願い致します。2年弱で私にとりましては良い勉強にもなり、良い体験にもなりましたけれども、R.C.には何ら御役に立てず勉強だけさせて戴いたと言う事でじくじたるものを感じております。特に会報委員の方には2回位当番があるわけですけれども、放擲して去るわけですけれども、大変迷惑を掛けるわけですけれども宜しく御願ひ致します。なお早坂重雄も是非御挨拶という事で御伺いすべきなんですけれども一寸仕事の都合でやむをえないと言う事で失礼させて戴きますけれども、早坂も盛岡市のみやこという支部に変わりますので一つ宜しくお礼を申し上げておいてくれと言う事ですので伝えさせて戴きます。大変長い間御世話になりました。今後鶴岡R.C.の御発展御隆盛と皆様方の御健勝を心から祈念しまして、挨拶に変えさせて戴きます。どうも大変有難う御座居ました。

スマイル

張 紹潤君…1200回例会に元気で参加してと“老化を防ぎ自分で測定出来る血圧について”のお話のお礼として戴いた分を。

藤川享胤君…元気で帰鶴して。

ビジター

鶴岡西R.C. 菅井幹雄君・井上 彬君
桜井 清君・本間文一君
佐藤 等君・桜井 晋君
(今週の担当者 高田 耕助)



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship
Throughout the World



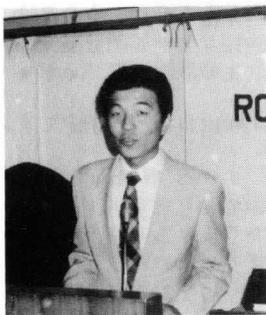
会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 68 名 出席数 54 名 出席率 79.41% 前回出席率 80.00% 修正出席 66 名 確定出席率 94.29%

ゲストスピーチ

アメリカ・ラトマーズ大学で学ぶ

滝川 義朗 君



私が日本を出発したのが2月11日で、安い飛行機を探するために、東京のダイヤモンドという旅行社を使い、夕方4時頃出発して翌朝8時頃サンフランシスコに到着し、その日一泊して翌日ニューヨークに向かう予定が、アメリカが豪雪のため、ニューヨークのケネディ空港が4日間も閉鎖されているので、翌朝2時半出発して約5時間もかかってニューヨークに着きました。着いたら驚いたことにニューブランズウィックの警察が迎えに来て呉れて、パトカーに乗ってニューブランズウィックにつれていかれました。

鶴岡を出発する前に、斎藤第六市長よりメッセージとお土産を向うの市長あてをたずさえて行きました。その夜は一泊して翌日ラトマーズ大学に行き、国際学部英語学科に入学。私のクラスはポーランド人、ベネズエラ人、イタリヤ人、台湾人、ヨルダン人、エジプト人等総勢15・6人で、授業の内容は英作文、発言、LLで朝8時半から夕方3時半まででその他大変多くの宿題があって、寮に帰って寝るまでかかる位の量があります。寮にもクラスにも日本人は私一人ですので、日本語は使えず英語だけの生活をしてきて、最初の一週間は時差ボケと英語だけというので苦痛をとまいませんでしたが、あとは馴れたもので、いつもの根性をだしてやってきました。

学校の生活も大変楽しく、クラスメートも太陽がいつも当たっている国の連中が多いので、陽気に過ごすことができました。英語教育に関しては、ラテン系民族は文法は全然駄目ですが、聞くことや会話はできる。が日本人は聞くことも会話も駄目だが文法だけは出来るので書くことは得意で、レベルは高く試験を受けるの高いところに行く。ところが授業の内容が英語でしゃべるので全然わからないというギャップがあります。私なりの考えではどっちが重要かは人それぞれの考えがあると思いますが、日本では大学を卒業するまで10年位も勉強しているのに全然会話ができないのはおかしいんじゃないかとアメリカ人は思っています。

次にニューブランズウィック観ですが、鶴岡より

は小さな町で3分の1位の規模で、ダウンタウンという繁華街は1キロもなく人口が52,000人ですが、この町にジョンソン&ジョンソンと言う世界最大の製薬会社があり、ニューブランズウィックと言えばジョンソン&ジョンソンとアメリカ人は皆知っている位ですが、鶴岡は人口は倍もあって世界的に誇れるものは何もない。鶴岡も世界に誇れるものが何かあってもいいなあと感じている。

次にロータリークラブに関してですが、3月3日の昼食会に招待されました。その前にデービットハイラインと言う私が大変お世話になった人ですが、ニューブランズウィックに着いた日に電話が来て、日本語をしゃべるので日本人かと思ったのですがアメリカ人で、同志社大学で2年間アジア研究とアメリカ・日本間の研究をしてきた人で、日本語はペラペラでその人がぜひ鶴岡で国際交流のためにも働きたいという事でメッセージを預かってきて、鶴岡市長と新穂さんに渡しておきました。彼は35才で有能な人で、ニューブランズウィックでアメリカ・日本間のコンサルタント並びに学校で日本語を教えています。又アジア、日本の研究をしている人で、是非鶴岡によんで国際交流のために働かせてやりたいこれからの鶴岡のためにもなると思うし、ニューブランズウィック市との交流もますます深まるので、会員の皆様もご協力をお願いします。

3月3日、デービットのお父さんがロータリアンで、ぜひ昼食会に招待したいと言うことでしたので出席致しました。例会は12時半からの点鐘に始まりゲストスピーカーはラトマーズ大学元教授で、異常天候などの話を40分位して終了しました。

ランチ市長とのミーティングも私と私専属のスタッフとラトマーズ大学の部長と4人で雑談をかわして参りました。5月にランチ市長及び関係者が来鶴される予定ですので、その時はよろしくお願い致します。

1ヶ月間という短い期間ではありましたが、口では言い表わせない程のいろんな体験をして来ました。私なりに考えたことは、鶴岡だけの考えではなく、国際的な視野に立って広い目で自分自身を見つめていかなければならないと考えました。

最後に、ニューブランズウィックと鶴岡との交流を益々深めてゆくために、市民の会が発足する筈ですが、私はもちろん皆様もぜひ会員になって協力して頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

庄内空港の建設を推進しましょう

ゲストスピーカー紹介

新穂光一郎 君

滝川義朗君をご紹介致します。滝川君は本町1丁目
の滝川かまぼこ店の長男で、独協大学を卒業され
現在家業についておられます。今年2月11日からラ
トマーズ大学へ約1ヶ月留学して、4~5日前に帰
って来られたとの事です。その時デヴィットニー
ハイラインと云う日本を大変研究している方に逢っ
たとか、ニューブランズウィックのロータリーの例
会にも出席したという事で、そういう話しも出るか
と思います。

会長報告

中江亮君

○鹿児島西R.C.創立20周年記念式典に出席して、3
月23日夜行日本海で鶴岡を出発致し、翌朝大阪空
港から鹿児島に午前11時頃に到着しました。私は
鹿児島は初めての旅であったが、予想以上に空港
が立派で規模が大きく人込みの中を歩く様な状態
で一驚させられました。

鹿児島西R.C.の方々がわざわざ出迎えに見えられ
て、約40分のハイウェイで鹿児島市内に入り、鹿
鳴館というホテルに着いたのですが、このホテル
は会員の小山さんの経営するホテルで、規模とし
ては新しいホテル程ではないが、格調の高い伝統
の古いホテルであります。ここで昼食をご馳走に
なり、午後からはタクシーで市内を観光させてい
ただいたのですが、西郷隆盛墓地に参拝した時、
庄内人(鶴岡市)の榊原と伴さんの2人を祀った
墓があり、当時17才位で殉死されたそうであります。
人口51万の鹿児島市は島津藩の遺跡、西郷南洲の
遺跡、そして桜島など観光ムード一色の様な感じ
がしました。

午後4時から式典が行なわれ、ご来賓の方々を入
れて180名位の出席者となりましたが、久保政次
会長の経過報告は20年間のクラブの内外に亘って
詳細なお話でありました。就中国際青少年交換は
20数名の多きに達し、青少年部門については創立
当初からクラブが非常に力を入れて来られたそう
で、社会奉仕部門と共に鹿児島西ロータリー賞が
毎年功績者に授与される制度があります。又、外
部拡大では三つの子クラブのスポンサーであり、
その活動の実績はすばらしいものと敬服しながら
拝聴した次第であります。

6時30分から祝宴が催され、アトラクションは余
興が披露されましたが、当クラブの佐藤元伸、三
井健さんの美声に救われて、私一行恥をかかずに
済んだ様でありました。祝宴の後、私たちは特別
に別席に招かれまして、杉村ガバナーご夫妻も参
加された宴席でいろいろと懇談を致し、このたび
の至れり尽せりのご接待にお礼を申し上げてお別
れしました。

翌3月25日は桜島、それに最南端の指宿に観光の
足をのぼし、3月26日にそれぞれのコースで鹿児
島を離れました。

尚、私共が記念品をいただいた上、クラブの会員
全員にもおみやげを後便でお送り下さるとの事、
本当に恐縮致しております。

最後になりましたが、参加されました小池繁治さ
ん、三井健さん、内山喜一さん、佐藤忠さんご夫
妻、佐藤元伸さんご夫妻大変ご苦勞様でした。特
に元伸幹事さんにはご旅行中かゆい所に手が届く
様なお世話を頂き、心からお礼を申し上げます。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 会報到着
鶴岡西R.C. 村上R.C. 遊佐R.C.
2. ロータリー財団ニュース到着
3. ロータリーの友事務所より「ロータリー日本60
年史」の申込みの案内到着 1部3,500円(送
料別)
4. 新会員の推薦に関する氏名発表
加藤賢氏(寛明堂写真館)写真器材小売
小林敏夫氏(日本生命荘内分室支社長)生命保険
福島三郎氏(日本生命保険相互会社鶴岡営業支部
推進部長兼鶴岡支部長)生命保険(アディショ
ナル)
5. 第5回クラブ協議会を4月12日に行う予定です。

会報委員会

石塚敏彦君

会報に職場紹介をいただいておりますが、最近お
願いしている原稿が届いておりませんので、早目
にお出し下さる様をお願いします。又お詫びござい
ますが、お手元に配布しております会報で、会長さ
んが記念すべき1200回例会であるということですが
即ち1の5の年……は1959年の誤りで、その上に一
番上の鶴岡ロータリークラブ第2000回例会は1200回
の誤りで、責任を感じて担当の高田君と私がスマイ
ルさせていただきます。誠に申し訳なくお詫びして訂正
させていただきます。

青少年委員会

若生恒吉君

パネルディスカッション開催

テーマ「少年非行問題への提言」

第1週目(4月12日)「基調講演」

少年非行の現状とその対策

講師 市教育委員会学校教育課長 岡崎氏

鶴岡第3中学校校長 加藤達也氏

第2週目(4月19日)パネルディスカッション

少年非行を私達はかく考える

テーブルリーダー サブリーダー

Aテーブル 佐藤元伸 高田耕助

Bテーブル 小松三男 手塚拓

Cテーブル 佐藤陸男 鈴木茂男

Dテーブル 中田敏和 斎藤隆

Eテーブル 秋野忠 工藤弘道

Fテーブル 藤川享胤 大森健司

第3週目(4月26日)意見発表会

各テーブルよりリーダーが6分以内で発表す
る。原稿を会報委員会へ提出。

まとめ 青少年奉仕委員長 津田晋介

ピジター

鶴岡西R.C. 三浦正志君・児玉光弥君

(今週の担当者 斎藤隆)



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋

出席報告：会員70名 出席57名 出席率81.43% 前田出席率79.41% 修正出席58名 確定出席率85.29%

ゲストスピーチ

市の財政の現況について

鶴岡市長 斎藤 第六氏



本日は大変貴重な時間に、これからの市の財政の概況についてお話しする機会を得まして誠に有難うございます。

58年度新年度予算は3月定例会市議会におきまして、3月25日賛成多数で原案通り決定させて頂きまして、4月から新年度に入り、新しい予算を施行する段階となったわけでありまして。

新聞・テレビ等でご案内の通り、国の財政が危機的な状態になっており、そのため我々地方自治体の行政も色々な面で影響を受けており、特に地方交付税が前年より下廻るということは、かつて無かったことで、昨年、国の税収不足と云いますか、歳入欠陥が影響して公付税が大巾に落ち込む状態になっております。

今年度の一般会計予算は184億で、前年比0.7%の落ち込みで、予算総額も前年度を下廻っております。特別会計は84億3千万円。企業会計は水道事業と病院事業で独立採算の公益事業で79億。総計で347億4千万円となり、前年比6.5%の伸びとなっております。

一般会計の歳入の中でもっとも大きいウエイトは、市民の方々から納めて頂く税金で、66億4千万、前年より2億5千万、率にして4.1%の伸びを見込んでおり、これはまだ当市は良い方で、他の市町村、殊に農村地区では、税金収入が前年度より増収はむ

づかしい状態であるようです。今まで鶴岡の場合、税収の伸びは例年7～8%位でありましたが、今年は不況の影響で4%程度がぎりぎりのところで、ややもすれば、これが多少落ち込むのではないかとの懸念もあるわけでございます。その次が国からきます地方交付税で、33億8千万円。前年度に対して1億1千万の減少した予算計上を致しております。これは率にして3.2%の減となるわけでございます。それから国庫支出金、県支出金で、国からの補助金支出金は前年とほぼ同額と致しましたが、県支出金は前年度より約2億の増額を見込んでおります。それから市債、即ち色々な事業を行います為の国からの借入金で、25億4千、前年度より約8億3千程増え、率にして4.6%の増となっております、これは何故かと申しますと、中央公民館、視聴覚センターの改併築等の大型の事業を計画し、国からの起債、補助を仰がなければ出来ないことで、この他、後程申し上げますが、今年度は大きな事業を予定しております、しかも昨年まではこの起債は抑制されておりましたが、今年は税収は伸びない地方交付税は前年度を下廻るという状態で、地方自治体もやって行けないであろうということで、昨年まで差し止められておりました、財源対策債という特別の国からの借入金制度が復活したことにより、この機会に今までの懸案であった事業は思いきって実行した方が得策であろうと予算化したわけでございます。

歳出ではどうかと申しますと、この中で一歩大きな支出は、教育費の37億5千万で、今までにないほどの予算となっております。前年度より約8億の増

庄内空港の建設を推進しましょう

加となっておりますが、これは先程申し上げました中央公民館などの大型事業があるわけでありまして。それから次に多いのが土木費31億5千万で、これは環境整備、道路整備などの事業を行うため、今年度は思いきって計上致しました。3番目に多いのが民生費で29億8千万、これは社会補償費であります。これは前年度は大きな事業があったのが終了致しましたので、前年度より減っております。その次が総務費で22億。また、ここで特徴的なのは公債費で、歳入の方でも公債費がりましたが、これは借入金の方で、この歳出の公債費は、今まで何年も前からの国からの借入金を、58年度に返済するもので、12億7千万。これは学校を建てる、道路を修理する、橋を架ける、市庁舎を建てるということで、百億、百数億の借入金を年次返済計画にのって積み上げた金額であり、前年度比約2億返済額が増加しております。これは今後共毎年2億程度増えていく計算になり、このことはこれからの財政運営上、余程気をつけていかないと、財政硬直化という状態になり、事業を行う資金が圧迫されることになるわけです。

今、鶴岡市でどうしてもやらなければならない事業は多種ありますが、将来に向けてどうしてもやりとげなければいけないものと、今すぐにはないが長期的に進めるものがありますが、この中で、私としてどうしても実行したいものは、義務教育の学校の整備で、優先的にやらなければならないと思っております。明治時代の学校がまだ相当残っておりますので、1年に2校位は建て直したいと考えております。それをそのまま放置致しますと、新しい学

校と古い学校との格差があまりにも大きすぎるのであります。

次に消費的経費の中で、人件費は市職員の人件費、市会議員、教育委員、選挙管理委員、農業委員などの方々の報酬全ての額で41億6百万。この構成比が22.3%、前年が21.6%で若干上廻っておりますが、ベースアップは国にならって凍結しておりますが定期昇給だけを見込んでおります。物件費13億は前年より若干増えており、消費的経費は92億9千万で全体の50.5%、前年度は92億7千万で、2千万しか増えておりません。これは相当切りつめた節約予算となっており、そのかわり投資的経費は、市民の方にお返しする分をなるべく大きくしなければいけないと、52億7千万とし、その比率が28.7%。前年が24.1%で、これだけ確保致した次第です。

投資的経費の重点施策は、

- 上郷地区にコミュニティーセンターの新築
- 大得寺に保育園の新築
- 庄内地区健康管理センターの補助金
- 新斉部下水路の整備（西部地区）
- 総合運動公園の環境整備、緑化整備
- 苗津大山線の改良拡复工事
- 黄金、加茂小学校の体育館の新設
- 栄小学校の設計委託
- 中央公民館、視聴覚センターの改併築
- 図書館の設計委託
- 環境整備事業
- 道路の新設、改良事業

などであります。

会長報告

中江亮君

- 本日は斎藤鶴岡市長さんをゲストとしてお迎えています。後程58年度の市の予算を中心に、市政についてお話しをお願いすることにしましたのでとくと拜聴をお願いします。
- 鹿児島西R.C.久保政治会長さんから、次の様なお手紙が届いております。
明日はいよいよ4月。鹿児島は春本番となり、桜も開花期を迎えました。御地は如何でござい

ませうか。

此の度の私共のクラブ創立20周年記念祝典に際しましては、貴クラブの会長初め会員及び御夫人には遠路わざわざ御臨席を賜り、加うるに貴地名産の“ササニシキ”並に祝典には多額のお祝金を頂戴し、誠に有難うございました。

おかげ様で式典並に祝宴を滞りなく、且つ盛大に終了することが出来ました。

貴クラブの御芳情に対し、会員一同を代表し厚く御礼を申し上げます。

此の度の御来鹿にはさしたるおもてなしも出来ず申し訳けなく存じて居りますが、翌25日よりの鹿児島の旅は如何でございましたでしょうか。南国薩摩の片鱗でも味わって戴けましたでしょうか。また機会がございましたら再度御来訪下さいますようお願い致します。

今後共姉妹クラブとして友好のおつき合いを末永く続けて参りたいと思っておりますので、何卒よろしく御指導と御好誼を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、会員の皆様にくれぐれもよろしくお伝声の程お願い申し上げます。

先づは取り急ぎ御礼申し述べまで。

追伸

故柴山一雄会員に対する貴クラブの御香料は確かに未亡人にお渡し致しました。

大変喜ばれ、厚く御礼を申し述べてくれとの事で御座いました。

幹事報告

佐藤元伸君

- ユニセフ ニュース到着
- (財)日本ユニセフ協会より、ユニセフ・アジアの子供募金の協力のお願いのパンフレット到着
- 地区ロータリーの友委員より
ロータリーの友4月号の紹介が到着
- 第5回クラブ協議会のご案内
日時 4月12日(火) 16:00～
場所 住よし 18:00より懇親会
登録料 3,000円(当日持参)
4月9日まで事務局に連絡願います。

会員誕生

阿蘇司朗君・飯白祐佑君
小松三雄君・工藤弘道君
中田敏和君・新穂光一郎君

奥様誕生

市川芳子様・中江道子様
笹原郁子様・新穂瑠璃子様
佐藤佐保子様

新会員紹介

氏名	斎藤 昭
生年月日	昭和2年2月7日(56才)
職業	庄内ミート(株) 常務取締役
学歴	山形県立庄内農学校
特技	家畜全国審査委員、教員資格
家族	妻・和 祖母・みよし 長男・元
現住所	東田川郡藤島町渡前



只今ご紹介頂きました斎藤昭でございます。

ロータリーにつきましては何も私はわかりませんが、従来農業協同組合の中で組織の一員として、現在まで32年間特に私の場合には畜産技術者ということで、畜産ひとすじで通してきましたので、こういう会議につきましては、まったくの素人でございますし、これからは皆様のご指導とご鞭撻によりまして、何かと足手間といにならない形で努力をして行きたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

氏名	佐々木 喆彦
生年月日	昭和5年11月3日(52才)
職業	和光幼稚園長・宝蔵寺副住職
学歴	山形大学農学部農学科応用動物研究室・東北大学理学部生物学教室加藤研究室
現住所	鶴岡市大字我老林字五里市62番地



只今ご紹介頂きました佐々木でございます。

いま幼稚園の園長で、鶴岡市で一番小さな幼稚園を経営しておりますが、鶴岡市内の幼稚園では、年々児童数が減るにつれて、幼児の数も減ってきておりますのに、私の処だけは何故か去年から幼児の数が徐々に増えてきて、皆さんから何故増えたということを云われます。これは園長の魅力だと申し上げておりますけれど、そのくらい自信

を持って、これからも幼児教育に取り組んでゆきたいと思っております。

今後皆さんのお役に立ちますように、皆さんからのご指導をお願い致したいと存じます。

スマイル

高橋良士君……この度、病院の第1期増築工事が完了し、内科を新設して104ベッドの病院となりました。又私も院長に就任致しましたので、スマイルいたします。

(誠にお目出度うございます。益々のご発展と職業を通しての社会奉仕を)

三井 徹君……ご子息の三井玉男氏の東芝アメリカ社ニュージャージー本社勤務に転務に対して。

(ご子息のご栄転誠にお目出度うございます。

異国でのご活躍を祈念いたします)

早坂重雄君……この度社命にて盛岡支社へ転任することになりました。

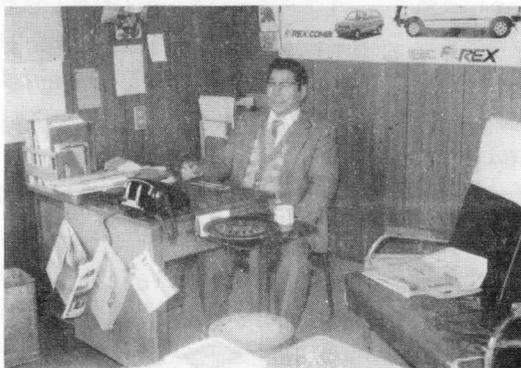
酒田大火5ヶ月後の昭和52年4月、酒田東クラブに入会して4年、鶴岡クラブ2年間、庄内分区分計6年になりました。鶴岡クラブ2年間、人情豊かな皆様に支えられて、又ご指導を頂き、厚く感謝申し上げる次第です。

最後に貴クラブの益々のご発展を祈念してスマイルさせていただきます。有難うございました。

ビジター

鶴岡西R.C. 鈴木昭吾君・菅井幹雄君

職場紹介



名称	有限会社 石川ボデー製作所
創業	昭和31年5月1日
会社設立	昭和36年5月1日
代表者	代表取締役 石川寿男
所在地	本社工場 鶴岡市宝町19-2 白山工場 鶴岡市白山字村北86-1
資本金	350万円
事業内容	自動車鉸金・塗装・ラヂエーター修理
従業員数	17名(役員含む)

車はよい技術者にかかる喜びます。

お車の鉸金・修理や全塗装のご用命は、最新式の設備と信頼できる、技術で最高の仕上りをお約束する当工場に是非ご用命下さるようお願い致します。

ロータリー入門より抜粋

◎クラブ協議会とはどんなものですか？

クラブ内においてロータリーのプログラムを調整し発展させる為の役員・理事及び委員長の会合であります。

◎職業奉仕とはどんなことですか？

ロータリーの職業分類を持っているすべてのロータリアンが、その職業上のあらゆる関係において、ロータリアンでない人達に奉仕の理想を分かち与える責務のことをいうのです。

◎「四つのテスト」とは如何なるものですか？

次のような四つの簡単な質問から成る。すべての人間関係の便利な尺度であります。

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

「四つのテスト」はシカゴのロータリアン、ハーバート J. テーラ氏が、1933年に、倒産寸前の会社を救済する方法として創案したものでした。非常に効果的な方法であることがわかったので、国際ロータリーはこれを職業奉仕のプログラムに取り入れたのであります。

(今週の担当者 松田貞夫)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田平

出席報告：会員 74 名 出席 58 名 出席率 78.38 % 前回出席率 81.43 % 修正出席 64 名 確定出席率 90.43 %

特集 テーマ 少年非行問題への提言

基調講演 少年非行の現状とその対策

講師 鶴岡市立第3中学校校長
田川地区中学校校長

加藤達也氏



現在、特に中学校が世の中で大変厳しく批判されている様であります。その現実がどうなのかと言う事の一つ、もう一つは非行を起している子どもの要因というものが、果して有るのか無いのか。有るとすればどうい所に問題があるのか。こんな

点をお話し申し上げてみたいと思います。最後に現在学校ではどんな事に力を入れているのか、お話を申し上げてみたい。

鶴岡だけの問題ではなしに、全国的な一つの風潮ではないかと思えますけれども、例の大学紛争に始まった学校の問題が、その後高等学校問題に移ってまいり、現在は専ら中学校非行暴力やら様々の問題を抱えてるのが現実です。私共の田川管内の中学校21校の中で、問題が無い学校は無いのではないかと思います。只その問題が爆発的に現われてくるという学校は大変少ない。只、鶴岡市内のNo.1スクールと言われる学校は、多かれ少なかれ問題を抱えています。私の学校を例に取りましても所謂ツッパリという生徒がいます。昨年度も一昨年度もおりましたし、現在もそれらしい生徒がぼつぼつ見えるのであります。只そういう子どもが必ずしも問題を起すかと言うと、そうでもないのであります。例を上げますと、昨年ですと私の生徒の中にも違反の服装をして学校に来る、例のダブダブのズボンをはいて、背中の中の下が割れている学生服を着て、中には色物の派手なシャツを着てくる自己顕示の表われであり、学校中を闊歩して歩いている。べつに学校を毀したり、

あるいはだれかをぶん殴ったりはしないのです。そういう子ども達がついにはグループを作り始めるのです。昨年の例を見ましても、私の方の生徒と四中のツッパリの生徒が大変仲良くなり、ツッパリの流れが出来る。これの一つ断ち切らないと大変問題が大袈裟になってまいります。昨年度もそういう例がありまして、両方の学校で連携しながら指導したのですが、そういうのが一つあります。もう一つの問題は、後で岡崎課長さんから細かなデータが出ると思いますが、万引が横行しているのであります。この問題はここしばらくの間数年間続いております。減る傾向が若干あったのかなと安心しておりましたけれども、やはり減ってはおりません。特定の子どもを考えて、あの子は万引するのかなあとは考えられないのであります。どこにでもそういう要素があるのではないかと思います。万引の特長は窮めて遊び型であります。スリルを味わうとか、だれかがやったのが良くいったので僕もやってみよう、窮めて単純なので、物に困っているとか、物を買いたくともお金がなくて買えないとか、迫られて物を取るといのではないのであります。もう一つは大変複数化している。1人ぼっちで出掛け、つい万引をしたという子どももおりますけれども、大部分はグループで出かける傾向が見えてきている。それから中には計画的ではないかなと思われる悪質な者も見えてきている。私共がその子どもを呼んで聞いてみますと、殆んどの子が一過性と言いますか、一辺きりで指導されれば立ち直るんですけども、前に経験しておいて見つからないでそのままになっている子は何回も繰り返す傾向があります。

その他、問題になる行動では、暴力と言う事があるわけですが、最近の子どもは喧嘩が下手で

庄内空港の建設を推進しましょう

喧嘩の仕方をほとんど知らないと思います。私共が子どもの頃は縦の社会があったわけです。自分の先輩・後輩と一緒に遊んだんですけれども、今の子ども達は横系列の社会で同年令の子しか遊ばない。そんなわけで喧嘩の仕方も順調に学んでいない。ですから喧嘩の限度を知らない。相手が泣いたらやめるとか、謝ったらやめるとか、そういう事を知りませんから、とことんまでやるものですから、怪我する者も出てまいるわけです。

さて、私共の場合こう言った子ども達を見ながらどこにどんな要因があるのであろうかと色々捜してみるわけですが、1人1人皆んな違うようであります。要素とって累計化するのが大変むずかしい。したがって対応の仕方も一概にはいかない。それでもなお捜してみようと、色々幼ない頃からの状況を捜してみますと、万引を別にしまして、つっぱったり乱暴な行動をとったりする子供の場合、お手許のプリントの中に家庭内暴力校あるいは登校拒否非行という事例について、その母親・父親の性格、養育態度についてどんな状況であろうかと調べたのがありましたので持って参りました。これで見ますと、性格的には母親も父親もやさしかったり、まじめであったりと言う家庭が多いわけですね。そうしますと大変意外なわけですね。決してでたらめな家庭でもない様に思われます。ところが、主たる養育態度と言う所を見ますと、大変干渉がましい、あるいは過保護であり、あるいは支配的である。そして最も問題になるのは放任である。こういう所に長が表われてきますし、実際に問題を起した子どもさんと色々話をしますと、幼児期に実は根差した問題があるように思うのです。3才頃迄の親との接触が大変問題のようであります。良い発達年令段階に十分に経験をしてこないという場合の問題が大きいようであります。私の学校の生徒でも、そういう子どもが3人程おりますが、殆んど4才頃の第1反抗期を経過してこない。親に聞いてみますと、4才児頃迄は大変良い子であった。5才6才頃も大変良い子であった。良い子と言うのは親がさかし安いと言う逆の面があるわけですが、そういう子どもが多い。そういう子どもがだんだん成長してまいりますと、中学校に入ってきて第2反抗期を迎える時期になりますと、その幼児期の第1反抗期と一緒に表われて来るといふ大変困った現象が起ってくる。ですからやる事の中に大人の知識も入ってきています。けれども幼児期そのままの態度が表われてくる大変な長があります。これが非常に困った現象なのです。それから家庭的に言いますと、やはり家庭の養育態度はもちろん、生活そのものに問題があるようであります。最も困るのは家庭の崩壊している場合、それ

から夫婦の仲が良くない場合必ず問題を起します。特に登校拒否のような場合ですと、親の離婚・再婚というような事が相当影響が大きいようでありますし、殆ど情緒的不安な事が原因しているわけですが、暴力を振ったり、あるいはつっぱったり、実際は1人1人呼んで話しますと大変良くわかって理解するのですけれども、集団を作るともう駄目になる例が多いのです。そんな訳ですので、先生方に良く話しをするんですけれども、問題を起した時注意するよりも普段の何でもない時に一つ声を掛けて下さいと。つまりは愛情に飢えてるような傾向があるのであります。ですから先生方に声を掛けられたり、廻りの大人に声を掛けられたりすると、大変その子にとっては嬉しいのです。そういう経験に乏しいために色々な逆作用で悪い事をしてかす傾向が強いように思います。私共はこれにどう対処するかと色々苦心を致しておりますけれども、なかなか決め手となるものは御座居ません。もちろん万引したとか、あるいは乱暴したとかは発見しだい話し合いをします。叱る前にまず話し合いをします。その後親を呼んで話し合いをします。その話し合いの中で悪いことだと言うことはわかっている様ですが、それを押えることが出来ない所に悪さが現われてくる。自制心が大変乏しいように思います。これも戦後の景気の良い時代からずっと物が豊富になりまして、小使い銭も大体2千円以上ももらっている例が多いようですが、そんな風にお金も割合自由になると、そんな中で育っているものですから、どうしても自分の思いどおりにならないと、すぐに爆発してしまう。癇癪を起したり、そんな子どもが増えているような感じであります。学校で対策を練る。廻りの社会で対策を練る。といってもむずかしいのではないかと思います。昨年鶴岡市の場合ですが、中学校区を対象にしまして、小学校の先生も、3中の場合ですと第1小、第2小、黄金小、斎小と4つの小学校が中学校区にあるわけですが、その小学校・中学校の全職員が一堂に会してざっくばらんに話し合うと言うことで、自分の学校の状況を話し合いました。これは他の学区でも話し合いをして戴きました。その中でも、話し合いをしてみますと、小学校でも非常に言葉が乱暴になってきた。応答の仕方も大変先生に対する言葉ではないような言葉で応答する子どもが相当数増えているというような報告がある。今お話し申し上げましたように、金銭の使い方が大変粗末である。そんな色々な報告をし合って、中学校の場合は万引が何件あって、グループ化しているのが何件あったぞと言われ、見ればその子は小学校の時も問題があったのだと言う報告会をやって、それじゃ今後どういう風に対応して行こ

うかと言うので話し合ったと、そういう会が有ります。私の学校の場合ですと、問題行動緊急対策事業と言うので、色々なステッカーみたいな物を作ったり、補導便りを作ったりして、各家庭とつながりを持つように努力致しました。特にそれらの文書の配布は子どもの手を通さないで、直接母の会の役員、補導部の部長と言うような方々に声をかけながら、各家庭に配布をして戴くと、そんな方策も取ってまいりました。それから第3中の場合は、鶴岡警察署の健全育成モデル地区という指定を頂戴しまして、中学校区を12分割しまして、その各分割しましたブロック1名から2名の推進委員をお願いしまして、直接子ども達の様子を見て戴くと言う様な運動も致しております。又、職員も含めまして補導部員の方にもお願いして大型店舗あるいは問題のしょっちゅう起きやすい場所、例えば遊園地とかお宮とか、そういった所の巡回もしばしば行っております。しかしこれも仲々効果があるのかないのかと言う事で議論があるのですが、子どもの方がいち早く知って、そこには近づかない逆効果もあるようです。仲々生徒指導というのはむずかしいようであります。しかし私共は教育の専門家の集団が学校でありますので、決してどの子も見捨ててはいけなと、たとえどんな問題を起そうがその子を見捨ててはいけな。そして学校職員全員が同じ方向を向いて、同じような

指導をしていかなければ、やっぱり子どもが見てちゃんと弱点を突いて来る。そんな事で私共一生懸命頑張っているつもりですけれども、先程お話ししましたように、まだ万引のような問題は絶えておりません。私共はこれに負けないで根強く、なお指導してまいりたいと思います。学校だけで解決しようとしても、これは無理ではないかと、廻りの社会全体がそういった所に注目して戴いて、是非声を掛けてほしいのであります。昔ですと同じ町に住んでいる大人達が子どもに皆んな声を掛けて下さったものですけれども、最近では皆さんがお忙しいし、なお新しい建物を建てられて移られたの言う事で、馴染みが薄いものですから、まだ声を掛ける所迄いかないのです。けれども、どんな小さな事でも注意をすると言うよりも、むしろ親しみ深く声を掛けて戴ければきっと非行防止になるのではないかと、こんな風に感じている所です。どの子どもも、私の学校に1,111名の生徒がいますけれども、1,111名すべてが問題の子どもでもあります。問題の子どもというのは問題を持っている子どもです。悪い事をすると言うのではありません。只、それがどんなきっかけで、どこで悪い問題が発生するか、私共は未然に防止したいとこんな風に思う次第です。

大変まとまりのない話しを申し上げまして、大変失礼しました。

昭和57年度 鶴岡市の児童・生徒の問題行動

一 学校事故（児童・生徒）報告から一

鶴岡市教育委員会

1. 月別発生状況 昭和57.4～58.3末報告分

(数字：人数)

区分	校種	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
交通事故	小	2	2	2	1	3	1	1				1	1	14	9
	中				3		1			1	1			6	3
負傷・骨折	小	1	3	1	1							3		9	9
	中		1				1			1				3	4
ろう火	小													0	4
	中				3									3	4
窃盗・万引	小	3	5	1		5	4		4		1	2	3	28	28
	中		1	3	7	4	16	11	8			10	2	62	62
恐かつ・傷害 暴力	小						1							1	0
	中			1	2		1	2		2			2	10	3
家出 無断外泊	小													0	0
	中			1	1			1			1	1		5	1
その他	小													0	2
	中	8		1						4		3		16	0

2. 傾向

1. 相変わらず多い遊び型非行……万引

- ・動機は単純だが、悪質化している。
- ・みつからないと、どんどんエスカレートしている。

2. 暴力型非行の増加

- ・落書き ⇨ 破壊 ⇨ 暴力 初期指導が大切

3. 性行為や薬物乱用などの好奇心型非行が発生している

- ・児童・生徒自身の心身が荒廃していくこと

〈第1表〉 母親の性格特性の順位 ☆家庭内暴力と登校拒否に共通 △家庭内暴力と非行に共通

家庭内暴力事例 (40例)				登校拒否事例 (30例)				非行事例 (20例)			
順位	性格特性	人数	%	順位	性格特性	人数	%	順位	性格特性	人数	%
1	やさしい ☆△	17	43.6	1	まじめ ☆	16	53.3	1	まじめ △	9	52.9
2	自己中心的☆△	14	35.9	2	内気 ☆	10	33.3	2	頑固	7	41.2
3	内気 ☆	12	30.8	3	やさしい ☆	9	30.0	3	自己中心的 △	4	23.5
3	まじめ ☆△	12	30.8	4	自己中心的 ☆	8	26.7	3	やさしい △	4	23.5
5	感情が激しい	7	17.9	5	無責任	5	16.7	5	あっさり	3	17.6

〈第2表〉 父親の性格特性の順位 ☆家庭内暴力と登校拒否に共通 △家庭内暴力と非行に共通

家庭内暴力事例 (40例)				登校拒否事例 (30例)				非行事例 (20例)			
順位	性格特性	人数	%	順位	性格特性	人数	%	順位	性格特性	人数	%
1	まじめ ☆△	16	40.0	1	まじめ ☆	11	36.7	1	まじめ △	11	55.0
2	勝気 ☆	12	30.0	2	勝気 ☆	7	23.3	2	内気	6	30.0
3	不安定 △	11	27.5	2	やさしい ☆	7	23.3	3	抑制的	5	25.0
4	しつこい	10	25.0	2	抑制的	7	23.3	3	不安定 △	5	25.0
5	やさしい ☆△	9	22.5	5	内気	6	20.0	5	やさしい △	4	20.0

〈第3表〉 母親の主たる養育態度 ☆家庭内暴力と登校拒否に共通 △家庭内暴力と非行に共通

家庭内暴力事例 (40例)				登校拒否事例 (30例)				非行事例 (20例)			
順位	養育態度	人数	%	順位	養育態度	人数	%	順位	養育態度	人数	%
1	干渉 ☆	12	30.0	1	干渉 ☆	8	26.7	1	放任 △	7	35.0
1	過保護 ☆△	12	30.0	1	過保護 ☆	8	26.7	2	過保護 △	5	25.0
3	支配 ☆△	8	20.0	3	支配 ☆	6	20.0	3	支配 △	4	20.0
4	放任 △	6	15.0	4	偏りが無い	3	10.0	4	干渉	3	15.0
5	服従	1	2.5	5	放任	2	6.7	5	拒否	1	5.0
5	拒否	1	2.5	5	拒否	2	6.7				

〈第4表〉 父親の養育態度 ☆家庭内暴力と登校拒否に共通 △家庭内暴力と非行に共通

家庭内暴力事例 (40例)				登校拒否事例 (30例)				非行事例 (20例)			
順位	養育態度	人数	%	順位	養育態度	人数	%	順位	養育態度	人数	%
1	放任 ☆△	22	56.4	1	放任 ☆	11	36.7	1	放任 △	8	47.1
2	過保護	8	20.0	2	偏りが無い	6	20.0	2	支配	3	17.6
3	拒否	3	7.7	3	支配	5	16.7	3	干渉	2	11.8

生育歴上の出来事

〈第5表〉 挫折体験

()は%

問題別 挫折体験	家庭内暴力 事例	登校拒否事 例	非行事例
あった	28(70.0)	19(63.3)	8(40.0)
なかった	12(30.0)	11(36.7)	12(60.0)
計	40(100.0)	30(100.0)	20(100.0)

〈第6表〉 被暴力体験

()は%

問題別 被暴力体験	家庭内暴力 事例	登校拒否事 例	非行事例
あった	10(25.0)	1(3.3)	1(5.0)
なかった	30(75.0)	29(96.7)	19(95.0)
計	40(100.0)	30(100.0)	20(100.0)

基調講演 少年非行の現状とその対策

講師

鶴岡市教育委員会 岡崎 克次氏
学校教育課長



先程ロータリーソングを聞きまして、こういうような事が地域全体に広がれば、今のこの苦慮してます青少年の健全育成も一気に解決するのではなからうかと言う事を考えさせられた者で御座居ます。更にロータリークラブで青少年問題を取り

上げて戴いて論議して戴く事についても感謝申し上げます。

今、教育委員会と申しまして、子どもを預かる機関におきましては、すべてそうでございますけれども、教育をするというエネルギーよりも、こういう子どもをどうして立ち直らせるかという事にエネルギーを使っているのが現状のようにも見受けられる訳でございます。実は数字の事で申し訳ございませんけれども、校長会がございまして、昨年1年間の鶴岡市の生徒の問題行動につきまして報告致しましたそのものズバリの資料が、先程申し上げました資料でございます。そこにございます事故の報告は色々種類がございまして、特に非行にかかわりのあるものにつきまして書いてございます。それでも、何と申しまして苦慮するのは窃盗・万引と言うことであります。相変わらず非行型遊び型非行と申しましょうか、罪の意識の認識が低いために発生するものが大部分なのでございます。しかし、これも何人かの子どもの報告を受けて分析してみると、非常に動機が単純なものから、どんどん悪質化していくと最後には着た物を販売するような場面迄

進んでまいります。2年程前でありましたが、グループでそういう事をやりまして、なんとそれがリンゴ箱で6つ程になった例がございます。大変これは私共驚きまして、なぜ・どこで・どうなったのかという事を、2ヶ月に亘って1人1人の生徒の調査を進めたのでございますが、まったく今申し上げたような事で、どんどんエスカレートしていく。そういう意味からすると、市内の商店の皆様からは最初の段階でなんとかこの非行を切り取ってしまうというように、そういう事をして戴かなければならないのじゃないかという事で、商店の方とも連携をとりながら進めている訳であります。ろう火というところから窃盗・万引・恐かつ・傷害・暴力・家出・無断外泊・その他合計を取りましたら、小学校では29名であります。それから中学校では96名。これはいったいどの位の割合になるかと調べますと、小学校の場合は鶴岡市の場合9,041名、中学校の場合4,538名ですので、この生徒で割ってみますと、小学生全生徒に対する割合は0.3%、中学生は2.1%、いわゆる100人に対して2人ちょっとがなんらかの非行を行ったという事です。警察の資料やら、全国的なものに比較しましても、大体こういう傾向にございます。こんな事で、私共とにかくなんとかして非行「ゼロ」にしたいという事で、先程も市内小中学校に対して非行ゼロを目覚せという通達があった訳ですけれども、懸命にこの事に向って努力をしている状況にございます。万引・窃盗・その他につきましては、そんな事ではありますが、最近鶴岡で校内暴力と言われる対教師に対する暴力行為がございました。これは、まことに単純な動機でありまして、私共その後学校につきましては何回も指導訪問をおこなっ

た訳ですが、本当に何故そうなるかという事がわからない。ほんとうにちょっとしたきっかけが教師と子どものそういう問題になってしまう。その後こういう事については鎮静化方向にありますけれども、最近私共警戒していますのは、生徒と生徒の間のそういう問題になってきているのではないかという事を心配している訳です。生徒間の恐かつ・ゆすり・そういうものの芽が伸びてきているという事で、これも見つけ次第徹底的に指導が必要ではないか。この暴力型非行の傾向というのは、私共ずっとさぐって基に行きますと、最初は壁に落書きをするあたりから始まっている。そしてそれが物を毀す。例えばトイレに行ってドアを足でけとばしてくる。それが手あたりしだいその辺をけとばして歩くというような状況になる。それがさらに物を持って暴力を働くと、こういうケースでございますので、とにかく落書きをした、この落書きはだれだろうと、そのあたりからしないといけないのではないだろうかと思います。そんなふうな事で初期指導がもっとも大切なのではないかと、そんなふう考えているという事でございます。そこにあります10件という中に2名の対教師暴力があります。それから家出・無断外泊というのわりとケースが少ないのですけれども、特に女の中学生の家出が多いのであります。無断外泊にとどまらないで、性的なものにつながってしまうというケースが殆どでありまして、その子どものふらふらしている所を聞いてみますと、どこのだれだかわからないけれども、とにかく車に乗せられて楽しんで来たと言うような事で終わってしまうような事でございます。又、人数が5と書いてありますが、5の内3位は実は同じ子の繰り返しでありまして、生徒の全く特種な子どもと言わざるを得ません。それから、その他の所に16件とありますが、前年はゼロでありました。ところが今年に入って16件と言うのでありますが、普通使っていない別荘のような所に入りこんで、その辺にあった籠詰を持ち出すやら、あるいはテレビを持って行って見るやらというような事で、これは8と書いて例えば4月に8と書いてある所の数字8人で共同でやったところの事で、件数は多くないのであります。シンナー、バイクの無免許運転等も含めまして、こういう種類のものが多くなってきているのであります。それが生徒の状況であります。今申し上げたのが数字的な事ではありますが、私共考えております事は、いくらこの時代が経済的に恵まれた時代であっても、子どもが健やかに育たない社会というのは、決して望ましい

社会ではないのではないかと、そんな事から、いくつかの対策を考えている訳であります。1つは、なんと申しましても学校と教師のふれあいでもあります。私共も中学の教師をしながら子どもとの幾つかの出会いがあった訳ですが、よく話しの出る話しに、非行が出てきたのはいつからだろうという話しが、私共聞かれたり話題になるのでありますが、そうしますと、多分学校の先生が宿直がなくなってからであろうという見方が大方を占めているようでもあります。なぜだろうという事を考えてみますと、その問題を持つ子どもに対しては、先生が宿直の場合、夜泊るから遊びに来なさい、一緒に風呂に入るぞというような事で、非常に親密な付き合いの出来た時代があった。私もそういう経験がございます。学校の管理というものが機械化されまして、あるいは教師の労働の問題から廃止されまして出来なくなったという事から、この上滑りの、いわゆる本音の言い合わない、只その授業で「お前そんな事では学校に行けないぞ」とか、あるいは別の言い方をしますと、おどして教育をする悪い言葉ですが、そんな状態では、「どこどこの学校に落ちるぞ」とか、そんなような事で子どもと付き合いができる、どうしても不信感が生れてくる。あったかさが足りない。そんな事での生徒と教師、いわゆる人間関係ではないのか。これをなんとか快復する方法を見い出さなければならぬというので、今私共そういう意味で人間らしい教師に戻れとの指導をしている訳です。先程、校長会長さんから話がありました通り、私共もこれといって決め手はないのですけれども、しかし、今申し上げた事につきましても、学校のいわゆる体勢というのも十分ではないのではないかと、幾つかの事私共聞きますけれども、やはり今私共が地域社会で大切なのは、いわゆる我が子は誰ともかかわりが無いと言うのではなくして行かなければならないのではないかと。個人の親子という関係、さらに社会の子どもとしての見方をしないといけないのではないかと。このような事が盛んに言われております。もともと子どもの成長というのは、やはり心配をさせながら育てていくというのは今も昔も同じではないかと。はらはらしながら、あるいは今のあのような似たような親子の関係は昔もあったのではないかと。私共学生時代上級生からよく部屋に呼ばれて、随分殴られたような経験がありますが、そういうような事が今も昔もやはりあったように記憶ある訳ですが、そういう事になった時に、子どものそういう状況を大人がどう判断して、先程ここにありますように子

どもの行動について社会の皆んなが声を掛けてやる。先般、私も町を歩いていましたら、高校1年位のスカートの長い女の子がタバコを買っていました。自動販売機からです。私は立ち止まりまして、ずっと様子を見ていたのですが、その子が胡散くさそうに私を見るわけなのですが、貴方はそのタバコをどこで吸いますか、貴方が吸うのですか、だれが吸うのですかと聞いたら、黙って答えないので、さらにうるさく、貴方がどこかで吸うのでしたらやめなさいと注意をしたら、そしたらにらみ返され、女の子からにらみ返されて、あまり良い気持ちではありませんでしたけれども、人間の葛藤みたいなものがあったと思うわけなんですけれども、帰りにぼそと言った言葉の中に「ありがとう」と、こういうふうに言ったのです。このありがとうという言葉が何を意味するのか、まだ中味を何を意味するのか考えていないのですけれども、注意をしてくれてありがとうと、自分なりに判断したのですけれども、こういうふうな今、子どもを取りまく社会というのはそういうふうな事を行動に移る沢山の材料があるので、そういう事で社会全体が子どもを包んでいく、そういう体勢でなければならないという事も何日でも考えさせられていまして、あらゆる機会に会合に出まして、訴えている状況もございます。これは校長会で報告された事ですけれども、自由という事と、いわゆる子どもの自主性という事と、子どもの我儘という事のあたりがどうもばらばらな状況にあるのではないかと。先般ある大人が、2年生の子どもが屋敷に入ってきて、その木を棒で叩いたり、花をむしったり、色々やったので注意をした。その父さんの所に困るとい話をしましたら、家では子どもにはよその家に行って、木の芽を摘んだり、悪戯をしたりするのは悪い事だとは教えてないので、しばらく注意をしないでくれと、こう言われた話があります。これも随分おかしな話だと私共は考えたわけです。いずれにしても、良い悪いと言うのはやっぱりきちんとあるわけですので、そういう家庭教育の基本というものも、今後家庭の中に入れないう状況にありますけれども、しっかりしていかなければならないのじゃないか、そんな事を行政でどれだけ出来るのかという、非常に遠いのでありますけれども、1つ1つ出来る事から実践して行かなければならない。生徒指導機会ある毎に沢山の問題が出され、私共苦慮していますし、さらに今後小さな事から実践しなければならぬと思っています。

今後とも宜しくお願いします。

会長報告

中江亮君

- 御承知の通り、会員の風間慶三さんが、去る4月7日午後9時27分亡くなられました。お葬式は金屋興業株式会社と鶴岡商工会議所の合同葬で、11日午前11時広濟寺でとり行われましたが、当クラブの会員の皆さんも多勢の会葬者と共に、お別れのお焼香をされたようであります。遺族を代表して風間真一さんがご発病からお亡くなりになるまでのご病状についてお話をされましたが、肺ガンに侵されて2度の手術をされたようであります。風間慶三さんは、昭和47年6月27日に当クラブに入会されてこの方10年の間、ロータリー情報委員会、プログラム、会計、財団等多くの委員会に亘ってご活躍され、数多くの貢献をされたのであります。ご功績を偲び、ご冥福をお祈り申し上げて1分間の黙禱を致します。
- この度新しく入会されました方々の委員会所属を次のようにお願い致しましたので、各委員長さんは早速手ほどきをされますようお願い致します。
S.A.A.→佐々木喆彦君・加藤賢君・斎藤昭君・松田士郎君
会報委員→小林敏夫君
雑誌委員→福島三郎君
- 石黒ガバナーから只今いただいたニュース速報によりますと、国際ロータリー加入の第20,000番目のロータリークラブが誕生したようであります。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 会報到着
東京R.C. 藤沢R.C. 米沢R.C. 米沢西R.C.
2. 例会変更のお知らせ
余目R.C.・立川R.C.例会日時・場所変更
4月14日の例会を4月15日(金) P.M.
P.M. 6:30
余目町商工会館
登録料 3,000円
余目・立川合同例会の為
3. 「日本と中国」しんぶん到着

出席委員会

佐藤順治君

年間皆出席

23年間皆出席 鈴木善作君

20年間皆出席 石 黒 慶之助 君
18 〃 佐 藤 忠 君
1 〃 佐 藤 元 伸 君

3月100%出席

阿蘇君、阿部君、佐々木君、張君、藤川君、渡部君、飯白君、今野君、石井君、石川君、石黒君、板垣(俊)君、市川君、早坂(重)君、川村君、黒谷君、小池君、小松(広)君、三井(徹)君、三井(健)君、若生君、嶺岸君、迎田君、本山君、森田君、中江君、中野君、松田君、庄司君、高田君、斎藤(隆)君、工藤君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)君、佐藤(順)君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君、中田君、佐藤(元)君、新穂君、菅原君、鈴木(善)君、鈴木(弥)君、石塚君、小松(三)君、大森君、丹下君、手塚(林)治君、富樫君、内山君、山口君、吉野君、上野君

ビ ジ タ ー

温海R.C. 菅原鉄三郎君

新 会 員 紹 介



氏 名 加藤 賢 (マサル)

昭和28年9月22日生

住 所 山王町10-54 寛明堂写真館

家 族 妻 典子

長女 彩子 (サイコ)

父 正雄

母 克子

学 歴 大阪芸術大学芸術学部写真学科卒

趣 味 野球・音楽鑑賞



氏 名 小林 敏夫 昭和9年10月19日生

住 所 鶴岡市日枝字海老島 276-8

電 話 0235-24-4602

勤務先 日本生命保険相互会社

役 職 荘内分室 分室担当支社長

家 族 妻 清子 昭和9年11月30日生

長男 徹 昭和35年2月19日生

次男 勝 昭和39年4月9日生

長女 純子 昭和42年12月14日生

趣 味 スポーツ (9人制バレーボール)

ゴルフ (幼稚園なみ)

前任地 仙台市 (日本生命仙台支社)



氏 名 福島 三郎 昭和20年4月7日生

住 所 鶴岡市鳥居町 5-12

電 話 0235-25-1311

勤務先 日本生命保険相互会社

役 職 鶴岡営業支部 推進部長

家 族 妻 宜子 昭和23年2月14日生

長男 健太郎 昭和47年9月10日生

長女 順子 昭和48年12月3日生

趣 味 旅行・ドライブ・歴史物読書

前任地 米沢市



氏 名 松田 士郎 昭和13年5月25日生

住 所 鶴岡市本町1丁目7-48

勤務先 ㈱トキワ屋 専務取締役

家 族 妻 一枝 昭和16年5月6日生

長女 香織 昭和42年7月6日生

次女 博美 昭和45年5月19日生

長男 一郎 昭和49年5月17日生

父 東一 大正4年4月15日生

母 松子 大正8年1月27日生

学 歴 鶴南卒 仙台電気通信学園卒

趣 味 軟式テニス・ゴルフ・囲碁・マーじゃん
(今週の担当者 高田 耕助)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正人 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員74名 出席59名 出席率79.73% 前回出席率78.38% 修正出席69名 確定出席率93.24%

会 員 報 告

広報・会報セミナーに出席して

佐々木栄一君

4月17日、地区の広報、会報セミナーに出席いたしました。

会場の山形南高校は新築間もない、素晴らしく設備のととのった学校でした。

午前10時40分から午後2時まで昼食1時間をはさんで、講師の方から熱心な講義を受けました。



最初に浜田地区広報委員長から歓迎のご挨拶と、会報発行についての基本的な注意事項についてご指示があり、ついで山形新聞社伊豆田整理部長から、新聞のつくられる過程を参考にしながら、編集やレイアウトについて具体的など指導があり、さらにはあらかじめ提出してあった、各クラブ会報について簡単なご批評がコメントされました。

当鶴岡クラブの会報は、卓話が最初に掲載され、また整理の仕方がよく、よみやすいということで、今回の中では上位にランクされる出来栄えであるとのご批評をいただきました。先輩の会報委員の方々のこれまでのご努力に感謝いたします。一番よいのは山形クラブの会報であり、大変多彩でよみやすい会報であるとおほめの言葉がありました。

午後からは、次期地区広報委員長佐藤信氏からご挨拶があり、特に会報に「ロータリーの友」を活用するようにとのアドバイスがありました。

最後に、山形クラブ会報委員長斎藤利明氏から、山形クラブの会報を手本に、スライドを使いながら具体的な会報編集の要点を説明していただきましたが、ポイントをよくついていて非常に参考になりました。

広報セミナーに参加して

工藤弘道君

次年度の広報活動の充実に資するため地区広報セミナーに参加いたしました。専ら次の講師の講話を

受講する形でしたが、とりわけ浜田パストガバナーの講話で「該当年度のターゲットを地域社会にどのようP.R.するか、その手法・意義について」印象を深くしました。

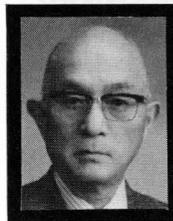
セミナー

・「広報学入門」講師 山形県広報懇話会委員 高橋健一氏

・「ロータリーの広報活動」

講師 国際R第253地区広報委員長 濱田耕一氏

以上



鶴岡商工会議所会頭 風間慶三
昭和58年4月7日午後9時27分
庄内病院にて死去

風間慶三
明治42年11月7日生(73才)
葬儀 4月11日(月)午前11時
広濟寺(鶴岡市本町二丁目)

金屋興業(株) 鶴岡商工会議所 } 合同葬
葬儀委員長 佐藤伊和治

(金屋興業(株)取締役社長)

葬儀副委員長 森田清治
(鶴岡商工会議所副会頭)

喪主 風間慶子
鶴岡市馬場町6-8

(1) 略 歴

昭和13年3月 東京帝国大学文学部卒業
昭和25年10月 (株)庄内銀行専務取締役
昭和47年6月27日 鶴岡ロータリークラブ入会
昭和53年12月 金屋興業(株)取締役副社長
昭和54年10月～会頭

(2) 主な就任団体

東北横断自動車道酒田線建設促進庄内期成同盟会長
鶴岡市江戸川区友好都市交流促進会長
庄内空港建設促進期成同盟会鶴岡支部長

会 長 報 告

副会長 川村徳男君

中江会長が所要で出席できませんので、代って会報報告をします。

庄内空港の建設を推進しましょう

1. 鹿児島西R.C.と当クラブの盟約に際して、かけ橋となって下さった方で、昨年の年次大会にも出席された、鹿児島西クラブの柴山一雄氏が逝去されましたので、先般の鹿児島訪問の折に、クラブからご香典をさしあげましたところ、未亡人から礼状が参っておりますのでご報告致します。
2. 本日は「少年非行問題への提言」の第2週で、パネルディスカッションが行なわれますが、ぜひビジターの方々も参加されて、みのりの多いものになりますようお願い致します。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 会報到着 台中港区R.C.
2. 例会場所・時間変更について
 - (1) 酒田東R.C.より4月21日(木)の例会を、家族観桜会のため下記に変更

日時 4月21日(木) P.M. 6:00
場所 妙法寺
登録料 3,000円
 - (2) 酒田R.C.より4月20日(水)の例会を観桜会のために変更

日時 4月20日(水)
酒田市役所前 16:00 出発
場所 鶴岡市大山公園 17:10～19:00
(庄内交通2階仕立バスで送迎致します。
登録料 3,000円
3. 酒田市制50周年記念 第10回ふだん着の茶会

日時 5月15日(日) 午前10時～午後3時
ところ 酒田地区 清亀園中庭
(雨天の場合、室内)
鶴岡地区 致道館中庭
(雨天の場合、中央公民館)

親睦活動委員会

張紹淵君

1. 由良海岸浜遊び家族会のご案内



本年度最後の家族会を次により開催致します。

今回は、遊覧船で八乙女見学、浜で孟宗汁を煮て弁当びらき、貝拾いなど。楽しいものになりたいと企画しました。

また、できるだけ多くの会員、ご家族の交歓により広く親睦を深め、有意義なものにしたいと思ひまして、登録料を格安にしましたので、大勢ご参加下さい。

- (1) 期日 5月15日(日)
- (2) 時間 午前9時 産業会館をバスで出発
午後3時頃 〃 帰着

- (3) 場所 由良海岸
- (4) 登録料 会員・家族(何人でも)1単位で1,000円
- (5) 昼食
 - ① お弁当は各自用意下さい。
 - ② 浜で孟宗汁を(ひょっとしたらおでんも)煮ます。お碗はこちらで用意します。
- (6) 申込み 次の4月26日(火)の例会までご返事下さい。

2. 協議会の出席率向上の為、病気の方は予め届出て許可を得るように致しましょう。
3. 長く休んでおられた早坂源四郎パストガバナーは、1時退院しておられましたが、一昨日また具合が悪くなり、再び入院されました。
4. 三浦悌三氏が長く休んでおられますが、先日私の所に来て、3月から4月にかけて出張が多く、出席できず申し訳ない旨伝言がありました。
5. 奥様誕生 佐藤佐保子(陸男)様

米山奨学会委員会

鈴木弥一郎君

今日は、4月の第3例会に当りますので、米山奨学会の募金の日であります。桜花爛漫の例会であります。美しい友情に花を咲かせて、1\$以上の募金をお願い致します。

先般のガバナー月信に、台湾の元米山奨学生が同窓会を結成したという記事が出ております。何卒よろしく御願ひ致します。

募金額集計 16,955円

社会奉仕委員会

清掃奉仕活動へ参加のお願い

中村富昭君

桜花爛漫の好季節でございますが、先般クラブ協議会での席上、赤川土堤が空カン等で非常に汚れるとの発言がありまして、下記要領で清掃致しますので、会員多数のご参加をお願いします。(小雨決行します)軽食を準備します。

期日 4月24日(日)

時間 A.M. 7:00～A.M. 8:00まで

集合場所 日の出町阿部園芸様前もしくは産業会館前(7:00に10分前まで集合して下さい。

国際親睦活動

N.B.市からの便りについて

新穂光一郎君

前からいろいろお話のありました、ニューブランズウィックについて、お話し上げます。

前にもお話したように、何かうまくいっていないという印象があり、中にはニューブランズウィック

との姉妹関係を断ち切ってしまうという、強行な御意見もあったようです。しかし、2週間程前、向うのクラブのデビット・エム・ハイラインさんという方から手紙を頂きましたので、手紙の内容をご紹介申し上げます。

即ち……私は貴男のクラブとの友情関係を続けていくということを前提として書いています。

確かに私のクラブと貴男のクラブとは、昔から親しい関係。そして強い関係を持っていたと思います。しかし、時の流れとともに、違った人達が出てきてそれぞれの人が持つ価値感の相違から、先細りの状態になって参りました。

但し、貴男が最近ニューブランズウィックに訪問した事、そして貴男の娘さんがこちらにいらっしゃるにより、私達の関係をより深いものにさせることと信じております。

貴男或は貴男のクラブの誰かが、トロントの国際大会にご出席になるのであれば、私達のクラブの次の会長であるドクター・カールチエーチンが参加しますので、よく話し合っていたきたい。

注：トロントには残念ながら我がクラブから誰も出席しないようです。又、手紙の中には前に張先生から報告のあった、ルイス・ミグリオリーさんとジョセフ・クラークさんのことで次の如く書いてあります。

ミスター・ルイス・ミグリオリーと、ドクター・ジョセフ・クラークは、私を良く知っていますし私も彼達が貴クラブを訪問したことを知っています。特に、ドクター・クラークは、鶴岡クラブで何かローソクを灯けてパーティをしたようで、そのローソク？を私達のクラブに持ってきて、それに灯をともしながら話をしてくれたのを覚えています。

私達の国際親睦は、大変強かったと思います。

注：このデビット・エムさんは、前のニューブランズウィックのロータリークラブの会長さんのようです。そして現在は地区ロータリー財団の委員をしており、又、ラトガース大学で学ぶ学生のカウンセラーもしてもらえるようです。

この人は現会長のオスター・グリーンさんと違って、人それぞれの言い方はあるがその中で言い訳がましくはあるが！

私の方のクラブの会長は些か小さい混乱と、そして小さな誤解があったように感じられます……と書いてありました。

つまり、向うのクラブとしては、クラブの総意ではないにしても、今後我々のクラブと交友関係を続けて行かねばならないということを行っているようですので、ご報告申し上げます。

尚、私の娘の留学についても、向うの方々が大変

お骨折りをしている旨書いてありましたので御心配していただいて下さる方もありますので、私事で失礼ですが、ご報告させていただきます。

職 場 紹 介



NHK鶴岡放送局 TEL (代) 22-7711

NHK鶴岡放送局 局長 今野清一

- 臨時ラジオ放送所が鶴岡市郊外の浄水場に設置されたのは、昭和16年12月のことです。続いて昭和21年4月、現在地にNHK鶴岡放送局が開局しました。
- サービスエリアは庄内地方一円で、テレビは総合と教育、ラジオは第1と第2、それにFMの5波で放送しております。放送施設は、テレビが高館山テレビ放送所ほか中継所が5ヶ所、ラジオは羽黒ラジオ放送所ほか1ヶ所、FMは高館山FM放送所ほか1ヶ所があり、この放送網にのせて“全国放送”と地域の身近かなニュース、話題を伝える“ローカル放送”を毎日皆さんのご家庭にお届けしております。
- 放送番組は4月4日から全国一斉に衣替えしました。

◎NHKニュースワイドのローカル時間帯が変わりました。(総合テレビ)

・月～土 前7:03～7:05

東北全域のニュース

・月～土 前7:26～7:30

各領域のニュースと天気予報

・月～金 前7:55～8:10

ローカルニュース・天気予報と身近な情報・話題

・土 前7:55～8:14

ニュースワイド東北と天気予報

◎新たにスタートします。

・東北金曜特集

総合テレビ(金)後10:00～10:30

○4月からの新番組です。東北地方のさまざまな問題を機動的に、ざん新手法で

伝えます。また、東北各局が製作した、「NHK東北アワー」のアンコール放送も実施します。

○放送以外に毎月第1土曜日午後1時30分から「NHK映画の会」を開いております。また、無料でどなたでも利用出来る「NHKつるおかギャラリー」があります。窓口の「視聴者コーナー」では放送番組や放送技術のこと、受信料のことなどご相談やご意見を受けておりますので、どうぞお気軽においで下さい。

ロータリー・クイズ

—情報抄録より—

あなたは、ロータリーの基本情報にどの程度通じているか？

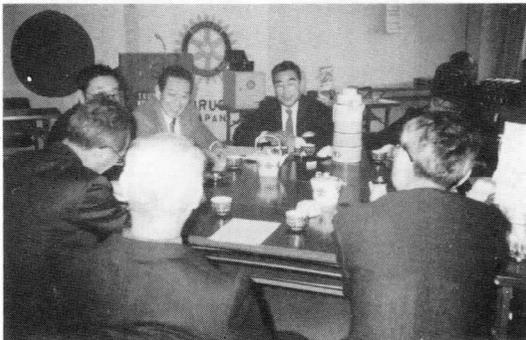
次に重要な事実のテストを挙げる：

1. 最初のロータリーの会合はどこで開かれたか？
2. いつ（ローター年度）理事会は、現在のR.I. 徽章を承認したか？
3. ポール・ハリスの職業は何か？
4. いつ公式ロータリー旗は採用されたか？
5. 1917年に、ロータリー財団の前身と言うべきものを最初に提案したのは誰か？
6. ROVEとは、どの青少年プログラムの頭文字による略語か？

.....
Exchange (ロータリー国際職業人交換)
(6) Rotary Overseas Vocational
;(4) 1915年 ; (5) 元R.I. 会長マーチ・クラフツ ;
ルフレベック ; (2) 1923年 - 24年度 ; (3) 弁護士 ;
;(1) 米国イリノイ州シカゴのエニッチ・ロ

パネル・ディスカッション

少年非行を私達はかく考える



—副会長を囲んでパネル・ディスカッション—

1時から約40分にわたり、AからFまでの6つのテーブルに分散し、それぞれのテーブル・リーダーの司会で熱心な意見が交換されました。セクレタリー取りまとめ結果は、次回の会報に掲載されます。

故風間慶三氏の 葬儀に対するご挨拶

風間 真一 君

貴重な時間をお借りして、一言お礼の言葉を申し上げさせて頂きたいと思っております。

私のおじであります、ロータリークラブの会員でありました、前の商工会議所の会頭、そして金屋興業㈱副社長の風間慶三が去る4月7日亡くなりまして、その節はロータリークラブからは会長様始め皆様方から御丁寧なおくやみの言葉、また御香典等を頂戴致しまして、心から厚くお礼申し上げます。

特に会長さんからは弔詞を頂戴し、また石黒ガバナーさんからもお読み頂きまして、ほんとうにありがたくお礼申し上げます。

また、この席をお借り致しまして、故人が生前皆様方からおよせ頂きました暖かい御厚情に対しまして、心から厚くお礼申し上げる次第であります。

故人は、昨年2月頃から体調をこわしまして、この会には3月に1回出席させて頂いたくらいで、その後ずっと顔を見せておらなかったと思っております。御存知の方もあると思いますが、その頃東京の方に行って手術を致しまして、6月頃から鶴岡に帰って参りまして、出勤も暫くはしていたのであります。しかし、年末頃からまた具合が悪くなり、今年再び東京に入院したのですが、思わしくないということで、こちらにつれて帰りました。

庄内病院ではそう長くなかったのですが、そんなことで何分とりこみの中で、皆様方には不十分な、行届かぬ点が多々あった事と思っております。この席を借りてお詫び申し上げます。

ほんとうに故人に対する御厚情に対し、厚くお礼申し上げます。

スマイル

張 紹淵君 佐藤陸男君の奥様・佐保子様の誕生日に誰の奥様かと失言して。

ピジター

余目R.C. 佐々木 尚 伸 君
鶴岡西R.C. 長 野 正 彦 君
菅 井 幹 雄 君

(今週の担当 石塚 敏彦)



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋

出席報告：会員74名 出席60名 出席率81.08% 前回出席率79.73% 修正出席68名 確定出席率91.89%

特集 テーマ 少年非行問題への提言

パネルディスカッション 少年非行を私達はかく考える

意見発表

★Aテーブル

発表者 佐藤元伸君

参加者 高田耕助・佐藤元伸・佐藤 忠・

小松広穂・上野三郎・小池繁治・

嶺岸光吉・三井 徹・佐々木尚伸(鶴岡西R.C.)の各氏

- 文化の発達と人間形成の問題では、家庭におけるしつけが大切で、親が中心になって考えなくてはならない。特に幼児期から体で覚えさせるなど、学校に入る前からしっかりとしつけを行うことが必要と思う。現代は物が豊富で、親は子供に物を与え過ぎ、放任すぎる。また、先生の中には、学校では学問のみを教え、しつけは家庭で行うべきだとする意見が多いと聞く。親の方は先生が学問としつけと両方やってほしいという考えが多いように思う。しかし、社会環境の変化があるとしても責任を転嫁するのではなく、しつけの問題は家庭と学校が連絡を密にし、責任をもって育てるという意識がぜひ必要である。
- 万引きの事例報告では、子供が悪い事をしたのに子供に謝らせないで親だけが菓子折を持って謝りに来る。悪い事をした子供自身にきちんとけじめをつけない親の過保護が問題。子供達が多勢出入りする大型商店では、先生も補導に入り、未然防止の指導に当るべきでないか。
- 統合化が進み大規模化された学校に問題が多いようだ。小規模校は先生と生徒の関係がうまくいっている。大規模校はどうしても目が行き届かないとか、欠陥があるように思う。この問題点を洗い

出し、解決への努力が必要である。中学生位までは親の影響よりも先生からの影響の方が大きいと思う。



★Bテーブル

発表者 小松三雄君

参加者 小松三雄・手塚 拓・迎田 稔・

飯白裕信・川村徳雄・染野 檀・

山口篤之助・高橋良士・板垣広志の各氏

- 子供の非行の原因の多くは親・家庭にある。またテレビなど社会的環境にも原因があるのでないか。
- 家庭でのしつけが大切である。世の中はわがままな行動は許されないことを5才位までの幼児期にしっかりとしつけることが家庭教育の基本である。昔は子供の頃のけんかで痛みを知った。やっていけないことも子供心に覚えた。兄弟も多く、現代とは手のかかり方が違う。忍耐力、自律心なども自然に養われたし、また宗教面でも先祖を敬う心を仏に手を合せる親の姿から教えられた。日本

庄内空港の建設を推進しましょう

人は倫理の問題が抜けている。子供には何の考えもなく物を与えすぎる。外国人は子供とは妥協しない、きびしくしつける。

- 社会の風潮では、子供がさわいでも親は知らんぶり、廻りの人も無関心である。親も廻りの人も注意することはきちんと注意する必要がある。また親子のつながりが大切、自分の子供のことをよく知っておくことが必要だ。子供と一緒にスポーツをやることもよい。スポーツをしている子供は、一般に非行には走らないようだ。子供達は横のつながりで遊ぶ、縦のつながりがなく、ガキ大将はいなくなったようだ。マスコミは殺人場面を大きく取り上げすぎる。深夜テレビの人命を軽んずるようなものがあるのではないか。学校の成績が悪いからやる気を失って非行に走る。偏差値にも起因している。中学校の先生にはプロ意識に欠ける点があり、先生方もまとまりが悪い。もっと連帯して前向きに取り組むことを期待する。道徳教育は一部反対の声もあるが、人間の道という基本に立って必要だと思う。



★Cグループ

発表者 阿蘇司朗君

参加者 佐藤陸雄・阿蘇司朗・新徳光一郎・

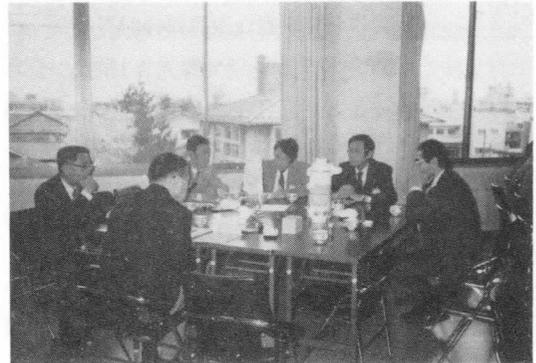
石井敬一・今野清一・石川寿男・

石塚敏彦・松田貞夫・若生恒吉の各氏

- 非行の実態はかなり低年化化している。万引きにしても、必ずしも金品に恵まれない者ばかりでなく、自己を顕示したい、変ったことをやりたいという自分の不満や悩みを大人に訴える行動でもある。家庭や学校で早く発見し手を打つことが必要であろう。暴走族もその例で、エネルギーのはけ

口を見つけてやればよい。交通安全協会など中心になってサーキット、モトクロスなど場所を作ること考えてはどうか。

- 子供は干渉されたくないという反発心も強く持っていることを知っておかねばならない。悩みは友達に話す場合が一番多く、次で母親で、先生や父親というのは少ない。先生も尊敬されるよう努力してもらいたい。父親も関心不足ではないか。家庭にしろ学校にしろもっと子供に接触する環境をよくすることが必要である。家庭内のコミュニケーションが大切である。金品を与え放任していることに問題が発生しやすい。挨拶の仕方、善悪の区別、公平な扱いなど人間形成の基本は小さいうちからきびしくしつけることが必要で、特に3才位までが大事である。
- コマーシャルに一言「こんな事やっていたらお父さんみたいになるよ……」これはやめてもらいたい。世の中のお父さん族もしっかりしないと問題は解決しないと思う。



★Dグループ

発表者 斎藤 隆君

参加者 中田敏和・斎藤 隆・三井 健・

黒谷正夫・森田清治・中村富昭・

中野清吾・富樫良吉・渡部利夫・

本山 弥の各氏

- 非行の根源は家庭にあるのではないかという意見が最初に出た。ではどういう家庭から非行に走る子供が出るのか考えてみると、愛情のない家庭に多いということ、また愛情があり過ぎる弱愛では決して許されるものではない。子供を立派に育てるには豊かな愛情としっかりしたしつけが必要で

ある。また父親の権威が薄れてきたことも原因の一つだという意見もあり、戦前の家庭は父親の鶴の一声ですべて決められていたが、戦後は特に母親が過保護になりやすく、子供のいいなりになる傾向がある。家庭は父親が権威をもって中心となっていく方がよいのでないか。

最近、少年の非行年齢が高校生から中学生・小学生と低年齢化してきている。先生に対する暴力や集団リンチなど毎日新聞紙上をにぎわしている状態である。昔から子供とけんかはつきものだが、現代の子供はけんかの仕方を知らない。突組合いのけんかもしたが、ルールみたいなものがあり、年少者や女の子はいじめない。みんなで一人をいじめない。石や棒などは使わない、げんこつだけのけんかであった。したがって、あまりしこりも残らず仲よしになることが出来た。現代の子供はテレビの影響もあって集団リンチや相手に大げなをさせるなど限度を知らない、エスカレートする傾向がある。「三つ児の魂百まで」のたとえのように、幼児期のしつけをしっかりとしておくことが子供を育てる基本と考える。



★Eグループ

発表者 工藤弘道君

参加者 秋野 忠・工藤弘道・板垣俊次・

加藤 寛・佐々木栄一・鈴木弥一郎・

丹下誠二郎・張 紹淵・諸橋政貞の各氏

- 学校教育については、国の教育方針に人の基本となる「心」の教育がない。6・3・3制に問題があるのではないか。義務教育は最少限にとどめ、勉強したい者だけが学校に行く方がよいと思う。一方、学校当局、先生が生徒（非行少年）に対し

真正面からぶつかっていない。先生と生徒の関係は友達付き合いだけでなく、はじめをつけて、非行を犯した者には厳しく真剣に取り組むべきである。

- 家庭教育について、しつけは、ものわりのよい親、家庭が多く、小さい頃からのしつけがなおざりにされている。感謝の心、他人への思いやりの心、お互い理解し合う心を育くむべきだ。物事に感動する心が足りない。無関心、しらせ人間にならないよう育てる。
- 社会の風潮として、物が豊富で便利な社会だが、反面自分の欲望が満たされない不満から、すぐ万引き、暴力など非行に走る。学歴社会が受験戦争へ子供達をかりたてている、ついていけない子供が多くいる。マスコミによる情報が無差別に子供達を直撃している。安易な欲望社会の風潮が子供達の背後にあることを認識しなくてはならない。
- 家庭・学校・社会の三者が一体となってこの問題に取り組んで行くことが、今もっとも必要なことではないか。このテーブルに現場の先生方を交えて意見交換を試みたらどうか提案したい。



★Fグループ

発表者 大森健司君

参加者 大森健司・三井賢二・手塚林治・

市川輝雄・早坂徳治・風間真一・

松田士郎・佐藤順治・鈴木善作の各氏

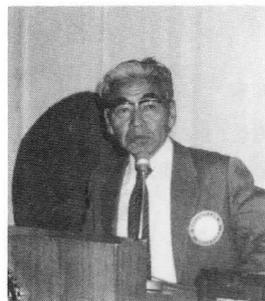
- 市の児童・生徒の問題行動の中で、一番多い万引きについての議論が中心になった。万引きの原因動機が遊び、好奇心、スリルで行っていて、罪の意識が薄い。そして非常に手口が巧妙になって、二人以上でグループ化した犯行で、他のグループ

と競っているようでもある。犯行の現場を見つけて注意してもなかなか犯行を認めず、ますます反抗的になる。親に通報しても弁償してもらうが、「うちの子は小遣い銭に困っていないはずである」とか、自分の子供の罪に対する連帯責任が薄い。学校教育でも昔のように「修身」課程がなく、また各家庭も核家族化が進んで、自分の先祖を敬う習慣が年々とぼしくなっている。親が一生懸命先祖に向かって拝んでいる姿をみれば、子供だって自分の家庭について自信を持って行動するはずである。学校教育についても、ただ有名校の合格者数を競うのではなく、精神面の教育に重点を置いて教育する。非行の第一歩は服装に表われるので、制服制帽の徹底とか、きちんとできる挨拶の励行等自分の学校についてプライドを持たせる教育を徹底すべきである。青少年の非行を防止するには、家庭と学校、そして地域社会が一体となって進めなくてはならない。万引きは犯罪であることをしっかりと教えることである。



おま と め

青少年委員会委員長 津田晋介君



この企画は大変評判が良い。委員会メンバーのすぐれた企画力、実行力が成功に導いたものと思う。

報告を聞いて耳が痛かった。それは私が非行の経験者だからです。皆さんは品行方正な方々ですが、そうした立場から非行少年の問題を論じておられる。私は非行少年の立場

から聞きました。かなりピントのはずれた意見もありました。この問題を扱うなら非行少年の身になって考えなくてはならないと思う。

私は旧制中学ですから、当時校則を犯して勝手なことをしました。同級生は誰も品行方正だという者はいない。しかし旧中の5年間をかえりみて、良かったと思っている。品行方正に過した生徒には味わえない経験を重ねている。生徒の時代から経験を積んでいるから、品行方正に過した人の立場から批判しても通用しないと思う。

非行少年に対する親なり教師なりの立場はどうあるべきかを申し上げますと、一つのエピソードがあります。私の友人で福島県会津中学を4年で病気のため中退した人がいる。しかし2年後病気回復。旧制の浦和高校を受験したが落ちて予備校に入った。そこで浦和高校は成績は良くても浪人者は入学させないということを教えられた。一高受験を進められてパスした。結局浦和高校は2年浪人したという理由でパス出来なかったが、始めから浪人を入れないという発表をしていれば受験しないのに、だまって受験生を落すことは、当時赤の学生が問題になっていた。赤に走るのは浪人していた者が多い。したがって入学させない。理由を発表することが出来ないから落す。教育者はこれではいけないと思う。しかしこうした態度が今の先生方にないだらうか。非行少年をいやな存在だとして避ける態度がないだらうか。これが根本問題だと思います。非行少年も人間である。人間としての価値を認めてやるのが根本的心構えであろうと思う。同級会でも非行少年であった者の方が話題が豊富である。私は非行少年であったことを誇りに思っている。

私の軍隊での経験であるが、当時23才で伍長の私に対し、37才の上等兵は年長者で言うことをきかない。軍隊では階級一つの差は天地ほどの違いがあったが、敬礼もしてくれない。いわばつっぱり兵である。軍規からいえばとんでもないことで私も困った。しかし自分から接触する以外にないと考え、敬礼を自分の方からやったり、一緒に酒を飲むなどやっているうちに、次第に態度も改まり、何んでも言うことをよく聞くようになり、敬礼もするようになった。したがって、非行少年だからといって、これを敬遠せず、彼に接触するということが基本であろう。先

生もまた非行少年の存在があれば、やりがいがあるのではないだろうか。このように考えます。

感想

石黒慶之助ガバナー

青少年の問題について私の考えを月信11号に述べてありますが、本日の発表を拝聴して、私の考えと差がないように思いほっといたしました。『ローターの友』5月号に青少年問題について、カバー座談会の模様が載っております。私も出席しておりますので、ぜひ一読下さい。

ライラ研修会について

鶴岡西R.C. 大川俊一君



石黒ガバナーから庄内地区でライラ研修会を実践したい。については鶴岡西R.C.がホストクラブを引き受けてほしいとの要請を受けて、57年から準備委員会を作り準備を進めてきた。

5月1日2日3日の3日間「いこいの村庄内」で開催する運びとなりました。プログラムはまだ出来ませんが、鶴岡R.C.からも多勢参加いただき花を添えていただくことになりました。研修生は現在90名の登録があります。昨年までの反省もあり、むずかしい話ばかりでなく、楽しくやろうと自由時間も設け、交流の場を計画しました。シンポジウムには元オリンピック選手の中村昌枝さんも参加することになっております。よろしく願います。

10周年記念式典の報告

鶴岡R.A.C.会長 清和由雅君

今日は例会の貴重な時間をいただき、4月23日から24日にかけて行なわれた鶴岡ローターアクトクラブの10周年記念式典の報告と協力をいただいたお礼を申し上げます。

23日出羽ホテルで行なわれたディナーをまじえた式典におきましては、大変おいそがしい時期にも

かかわらず、石黒ガバナーをはじめロータリアン、OB、ローターアクト総勢43名もの参加者を数えることができました。遠方は会津若松、米沢、山形からもロータリアン、ローターアクトの御出席をいただきましたが、何よりもまして親クラブであります鶴岡ロータークラブからは中江会長、佐藤幹事さんをはじめとして16名もの御出席をいただきました。このことに対しては現クラブ員一同非常にうれしく思っているところであります。

24日は、当初記念講演を計画いたしておりましたが、種々の都合でとりやめとし、遠方の方々にも鶴岡を知っていただくという意味を込めて、羽黒山を中心とする観光に変更いたしました。これとは別に鶴岡市の都合を伺った上で、しかるべき所への記念植樹も計画中でありますので、御通知の際にはぜひ出席をたまわりたいと思っております。また、記念誌も現在製作中であり、まもなく皆様のお手元へ発行できると思っておりますので、お読み下さるようお願いいたします。

今回の式典におきましては、クラブ員の経験不足もあり、何かと不手際がありました。先生方に対しましては失礼なこともあったと思われませんが、この経験を私どもは今後の活動の中にも生かしていくつもりでおりますので、今後とも御指導・御協力をお願いいたします。

今日は、先の10周年記念式に対する御礼と報告まで申し上げ、これで終りたいと思っております。

会長報告

中江亮君

- 4月23日出羽ホテルに於て鶴岡R.A.C.の10周年記念式典が行われましたが、石黒ガバナーもお忙しい中を特にご出席されお祝いと激励をされました。
- 4月24日産業会館に於て、地区I.C.指導者講習会が開かれ、山形県区内7つのインターアクトクラブの会員及び顧問教師、その他ロータリアンが多数参加しました。回を経るにつれて、運営のしかたが上手になって、効果をあげてきたように感じます。石黒ガバナーの多彩なご講話と、地区I.C.委員の田宮長二さん、染野高専校校長先生のお話には会員は非常な興味を示していたようでした。
- 鹿兒島西R.C.の会員であられました故柴山さんの奥様から、ご丁寧なお礼状とお香料に対するお返

しのお茶が届いています。

- 「鶴岡・ニューブランズウィック友好協会」が発会されましたが、5月中旬に会員総会を控えて会員の募集をしておりますが、この設立に当っては市当局の要望で、当クラブが中心的役割を引き受けることになったので、出費ご多端の折とは存じますが、会員の皆さんからはぜひご入会をお願いいたします。いずれ山下さんからお願いしますがよろしく願います。(一口2,000円です)
- 仙台にご転勤になりました元会員の中江哲夫さんからお礼のハガキが届いていますので、回覧します。
- 次年度のR.I.会長のターゲットが正式に発表されました。

「みんなにロータリーを みんなに奉仕を」
SHARE ROTARY SERVE ROTARY

幹事報告

佐藤元伸君

- 例会変更のお知らせ
鶴岡西R.C. 5月6日(金)の例会をライラ研修会準備のため下記に変更
日時 5月1日(日) 午前11時
場所 いこいの村庄内
- 会報到着
鹿児島西R.C. 東白川R.C.
- 朝日R.C.より創立10周年記念式典御案内
日時 58年6月5日(日) 午後1時より
場所 朝日町中央公民館
登録料 10,000円
- ガバナー月信11号8ページ「クラブ便り」に鹿児島西R.C.の20周年記念式典に参加した記事が掲載してあります。ご覧下さい。

委員会報告

社会奉仕委員会

中村富昭君

- 4月24日(日)112号バイパスの赤川堤の清掃作業を行ないました。早朝7時から8時まで、会員および家族の方、朝陽町の町内会の皆様と一緒に総勢40名程で汗を流しました。トラック2台分のゴミには一同驚ろかされました。
- 庄内交通の協力で「ごみをすてない運動」の一言をバスの車内放送で、鶴岡R.C.として呼びかけを一年間実施することにいたしました。

出席委員会

佐藤順治君

6月9日は当クラブの創立記念日にあたる。月曜日であるが、当日か7日に例会を開く計画もあるので、この例会は100%の出席にしたいと企画している。これには会員各位の協力なしには実現しない。都合で欠席したら他のクラブにメイクするなど、目標達成にぜひご協力下さるよう、重ねてお願いします。

ゲスト

石黒慶之助ガバナー
清和由雅R.A.C.会長

ビジター

- 立川R.C. 滝 禅 源 君
- 温海R.C. 佐藤 五右エ門 君
阿部 一 太 君
- 鶴岡西R.C. 加藤 有 倫 君
安藤 修 平 君
菅原 年 雄 君
大川 俊 一 君

(今週の担当者 今野 清一)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長中江 亮 幹事佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 74 名 出席 52 名 出席率 70.27 % 前回出席率 81.08 % 修正出席 69 名 確定出席率 93.24 %

ゲストスピーチ

酒気帯び運転事故のもと

山形大学農学部教授 福 島 忠 昭 氏



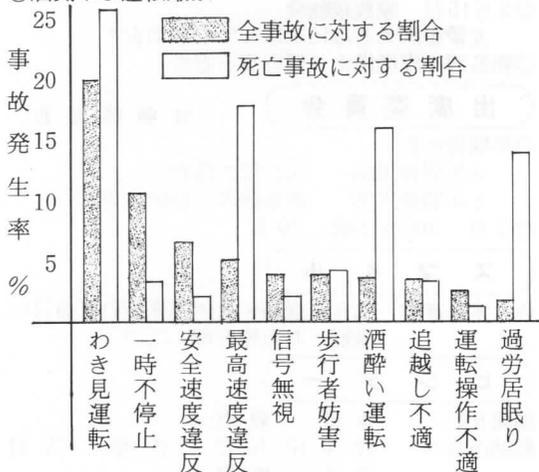
◎交通戦争再来の兆し
交通事故は一時減少傾向にあったが、昨年から死者が増え、庄内地方⇨56年度 8 名、57年度 15 名、58年 5 月 3 日現在 13 名と昨年度年間と同数の状況である。山形県⇨58年 5 月 3 日現在 30 名、このままでゆくと昨年度を大中に上廻ると云われている。

どのような事故が増えているかという、

- ① 加害者は二輪車が30%増、自転車も30%増、そして女性ドライバーが15%増。
 - ② 被害者は女性ドライバーが13%増、二輪車・自転車も16%増、そして老人が10%増となっている。
- 5月11日から春の交通安全県民運動が始まるが、その目標も、① 自転車・老人の保護 ② 二輪車事故の防止 ③ 安全運転の徹底、特に酒飲み運転の防止 となっている。

酒飲み運転による事故は、昨年度は6倍にも増えこの連休中の交通事故死者4名のうち3名が、酒飲み運転が原因で死亡している。

◎酒気帯び運転厳禁



第1図 交通事故の原因 (昭和57年度 山形県)

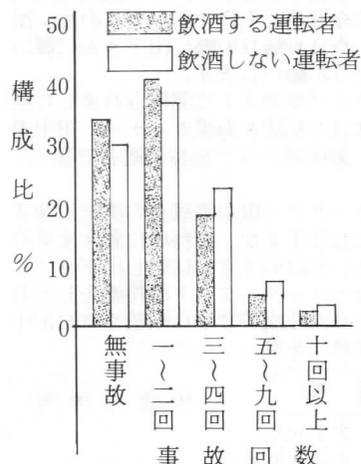
死亡事故だけを取り上げると、第1位わき見運転

第2位スピード違反、第3位酒酔い運転となっているが、この中の酒酔い運転を私が問題にし、今日お話し申し上げるのは、私自身が酒気帯び運転で捕えられた体験から、どうも釈然としないところがあったからである。即ち「標識による制限」は誰がみても「わかった」「違反をした」ということがわかるのであるが、「酒酔い運転」だけは客観的にみてもどこまでが良いのか悪いのか判断ができず、警察に捕えられて始めて悪いことがわかる。警察で使っているあの風船をドライバーに渡し、「これではダメ」ということがはっきりわかるようにしてはどうか、と提案してみたが受入れてはもらえなかった。

それで、これは自分で「何が酒気帯びか」を判断できるような防衛策を講ずる必要があると痛感し、いろいろ文献を調べてみた。

◎酒気帯びとは何か

道路交通法第65条「何人も酒気を帯びて車輛等を運転してはならない」=「飲んだら乗るな」ということであり、ちょっと一杯ぐらいいもいけない。血中アルコール濃度が0.5mg以上で罰則が定められているが、「酒気を帯びて運転してはならない」ということは0.5mg以下でもダメということである。しかし人間の体内には微量のアルコールが常にありあまり厳密にこの規則にこだわると、車の運転は金輪際できないということになる。



第2図 事故と飲酒習慣との関係

これは、タクシー運転者を調査した結果であるが、無事故は毎晩晩酌をやっている者が多く逆に3～4回以上の事故は飲酒しない者が多いという事実がわかった。

酒は「百薬の長」と云われるように、「睡眠」「ストレス解消」という面での

庄内空港の建設を推進しましょう

効用は大きく、適量の晩酌は快適な生活上必要とい
ってよい。そこで、適量とはどの位かということに
なるが、これは大変むずかしい。

酒を飲まない状態でも、人間いろいろと見落としや
不注意を犯すが、酒を飲むとその頻度は当然高くな
る。酒が醒めて元の状態にもどるにはどれ位の時間
がかかるかを調べてみると、これは個人差が大きい。
又、飲み方でも醒め具合が違っており、満腹時より
も空腹時に飲んだ方が早く醒め、早いピッチで飲ん
だ時の方がゆっくり飲んだ時より醒め方が遅い。一
般的には次の式で必要休憩時間が出るが、これは、
この時間だったら車を運転してもよいというのでは
なく、翌日出勤する時に車を運転するにはどれだけ
飲めるかというような計算に使ってほしい。

$$\text{休む時間} = 0.7 + \frac{\text{飲んだアルコールの量}}{\text{体重} \times 0.12}$$

◎交通安全

いずれにしてもアルコールは、中枢神経を麻痺さ
せて運転技術に悪影響を与え、又、脳の働きのうち
理性に関する部分を麻痺させて感情的になったり、
大胆になって本来マール出しの行為に走らせるもの
である。こんな状態で車を運転すれば事故が起こるの
は当然であって、「血中アルコール濃度0に近い状態
」で車を運転し交通安全に努めたいものである。

会長報告

副会長 川村徳男君
中江会長が台湾訪問中ですので、代って会長報告を
します。

1. 先々週の例会で鶴岡・ニューブランズウィック
友好協会設立の趣旨書を差し上げておりますが、
この両市の友好関係にはこれまでも当クラブが深
いかかわりをもってきた歴史的背景がありますし、
また今回、友好協会の設立について三井徹さんが
発起人代表になっておられるほか、中江現会長、
新穂前会長が発起人として名を連ねている関係か
ら、せひとも当クラブの全員が入会して頂くよ
うお願いします。会費は年額で1口2,000円です
が、今日お帰りのときに山下さんに申し込んで頂
ければ大変有難いと思います。
2. また、同協会の設立総会が5月18日(水)午後3
時から第1インで開かれますが、その案内と出欠
の通知の用紙を今日差し上げてありますので、出
欠を記入して、今日お帰りの際に山下さんに置い
て頂いて頂くようお願いいたします。
3. 先搬鶴岡西クラブがホストで開催されました第
4回ライラ研修会の礼状が石黒ガバナー、田中善
六実行委員長、瀬尾西クラブ会長の連名で参って
おります。
4. 1983年国際ロータリー規定審議会の決定に関す
る報告がきておりますが、事務局に置きますの
でご覧になりたい方は山下さんに申し出下さい。
5. 鶴岡工業高校でインターアクトの指導をしてお
られ、このたび寒河江高等学校に転勤された田中
英司先生から挨拶状が参っております。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 会報到着 東京R.C.
2. 日中友好のしんぶん到着
3. 例会変更のお知らせ

八幡R.C. 5月14日(土)の例会を孟宗汁例会の為
下記に変更

日時 5月11日(水) P.M.6:00

場所 八幡町市条 普門院内

登録料 3,000円

鶴岡西R.C. 5月13日(金)の例会を孟宗汁例会の
為下記に変更

日時 5月13日(金) P.M.6:00

場所 湯田川温泉 七内旅館

登録料 4,000円

4. ローターアクト委員会

第1例会 5月11日 P.M.7:00 産業会館3階

第2例会 5月18日 P.M.7:00 青年センター

5. 新会員の推薦に関する氏名発表

根岸幸一氏 山形スバル自動車株式会社取締役

自動車部品小売

御橋義諦氏 県立鶴岡家政高等学校校長
高等学校

6. 山形県日中友好協会第3年度通常総会資料及び 協会員名簿到着

鶴岡・田川・酒田日中友好協会より第1回合同
親善訪中団計画のご案内到着

10月2日～11日 費用360,000円

7. R.I.第253地区第4回R.Y.L.A.研修会の報告

5月1日～3日 いこいの村庄内にて開催

ホスト 鶴岡西R.C.

当クラブより石黒ガバナー、藤川享嵐カウンセ
ラー他多数の当クラブ会員が出席致しました。

親睦活動委員会

張紹淵君

◎会員誕生

阿部与十郎君・板垣広志君

市川輝雄君・三浦悌三君

迎田稔君・諸橋政漬君

佐藤友吉君・松田士郎君

◎奥様誕生

石常常(慶之助)様 板垣喜美子(俊次)様

黒谷貞子(正夫)様 上野和子(三郎)様

山口マサキ(篤之助)様 松田一枝(士郎)様

◎5月15日 家族親睦会

友愛を深める為にふるってご参加を!

◎新名簿作成準備中 顔写真を撮影

出席委員会

佐藤順治君

◎年間皆出席

8年間皆出席 山口篤之助君

1年間皆出席 斎藤隆君・松田貞夫君

◎2月 100%出席 59名

スマイル

佐々木喆彦君…前R.C会員・故阿部先生のご命日に
読経・お布施を戴いたので

ビジター

温海R.C. 本間毅君

鶴岡西R.C. 鈴木昭吾君・佐藤等君

井上彬君

(今週の担当者 小林敏夫)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員76名 出席57名 出席率75.00% 前回出席率70.27% 修正出席72名 確定出席率97.30%

会 長 報 告

中 江 亮 君

1. 本日から当クラブに入会される鶴岡家政高校校長先生の御橋義諦さんと、山形スバル自動車販売㈱代表取締役の根岸幸一さんをお迎えておりますが、これで本年度当クラブの会員増強の目標が達成された訳で、クラブ総会員数は78名になりました。しかしながら、残余の任期中に未充填の職業分類を検討されまして、更に幅広く多彩な職業人を推薦されますよう、一層のご協力をお願いします。
2. 本日の理事会の決定事項についての報告
 - (1) 本年度の活動報告書の提出期限を6月7日と致したいが、各特定委員長さんは期日までに所属の部門委員長さんに提出され、部門委員長さんがチェックをされた後、所感報告書を添えて幹事までご提出をお願いしたいと思います。
 - (2) 兼ねて社会奉仕委員会で計画されておりました「ゴミを捨てない、空缶を捨てない運動」のアピールとして、庄内交通路線バスの案内で乗客に呼びかけるテープの吹き込みにご協力下さいました庄内交通さんに、薄謝として金5万円を差し上げることに致しました。ご協力下さった会員の本山さんに感謝を申し上げます。
3. 6月9日は当クラブの創立記念日に当たりますが例会で簡単ながらお祝いを予定しておりますので、全員のご出席をお願い致しますと存じます。
(例会日の6月7日に行ないます)
4. 最後に、台中港区R.C.12周年記念式典慶祝訪問についてご報告致します。

私は一足先に出発しましたが、一行7名は予定通り5月7日に台湾に到着。午後から国内航空で花連の観光に向われました。石黒ガバナーご夫妻は台北に留って台北市郊外の士林R.C.の7周年記念式典に招待されたようでありました。翌8日は全員台北で過ごし、9日午後揃って台中に到着。同夜に市内のホテルで台中港区R.C.の歓迎晩餐会にお招きを受け、時間のたつのも忘れて歓談しました。10日の日は日月潭の観光とゴルフのプレイの

2組に分れて別々に行動した後、予定通り午後5時沙鹿中学校の講堂において式典に参加致しました。廖泉生ガバナーと石黒ガバナーの祝辞があり、続いて各界各姉妹クラブ会長からの祝詞がありましたが、台中港区R.C.会長の陳克己(同中学校長)さんの基調報告を聴いて、私はこのクラブが実に活力に満ち充ちたロータリークラブであると感心しました。年次大会で数々の賞を受けられたそうですが、当日の式典の場に於いても、社会・職業に貢献のあった社会人に対して心のこもった表彰をされるなど、実に活発な奉仕活動をされておられるようでありました。特にポール ハリス フェローの数が多く、一人一人がロータリーを楽しみ奉仕に励まれているようでありました。祝宴に入ってからでも会長経験者のお歴々をはじめ、会員の皆さんが遠路の私たちを擲い、波のおしよせるように絶え間なく廻ってきては酒をすすめるなど、まことに心温まるおもてなしに感謝を深めて参りました。特に会員夫人が30名近く宴に加わられた事、何時ものことながら恐縮してまいりました。私共のクラブのやり方は引っ込み思案で心の表現が下手のようではありますが、この点一考する必要があるかと考えます。

以上をもって報告を終わります。

5. 最終回のクラブ協議会は6月14日に実施したいと予定しています。



庄内空港の建設を推進しましょう

幹事報告

佐藤元伸君

1. 会報到着
遊佐R.C. 鶴岡西R.C.
米沢R.C. 米沢西R.C.
2. R.I.第253地区I.A.小委員会委員長過足正一氏より経費等の送金について、染野先生・顧問教師篠崎孝一先生・鶴岡R.C.三井徹先生によるしくとの事です。
3. 例会変更
温海R.C. 山菜がりの為
日時 5月23日(月) P.M.3:30
場所 関川 金沢屋
登録料 会員 2,500円
家族 2,000円
4. 立川R.C.より職場訪問の為
日時 5月19日 12:00～
場所 東北阪東電機KK
5. 酒田・酒田東R.C.合同例会
日時 5月18日 12:30
場所 山形新聞酒田支局3階ホール
登録料 1,500円

新会員紹介

御橋義諦 (ミハシ ギタイ)
生年月日 昭和3年生れ(55才)
勤務先 県立鶴岡家政高等学校校長
自宅 鶴岡市本町二丁目7-30
(旧一日市町)
学歴 旧制山形高等学校卒業
海軍兵学校2年修了(前にゲストスピーチとして「零戦闘機」のお話をして頂きました。)
職歴 中学校教諭15年(一中、三中他)
高校教員15年
(家政高、鶴工高他)
県教育庁勤務5年
趣味 軟式庭球と飛行機(零戦闘機か)



只今紹介頂いた御橋義諦でございます。

一年前零戦の話の時は大変お世話になりました。あの時は、随分勝手なことを話させてもらって、私は気分良くして帰らせて頂きました。

斎藤さんとは、頭の方は斎藤さんの方が上のようではありますが、(一同

爆笑) 年令の方は、私は昭和一桁で私の方が少し上のようにあります。

幸い今回、斎藤様始め会長様からのお話を戴き、この名誉ある当会のメンバーに加えて頂けるということは、私は私なりに大変名誉なことと感激しております。

いろいろな諸先輩の方々がおられます。どうか今後よろしくお願い致します。

根岸幸一 (ネギシ コウイチ)

生年月日 昭和6年8月14日
勤務先 山形スバル自動車株式会社代表取締役
自宅 鶴岡市大西町37-25
会社 鶴岡市西新斎町8-20
出身地 群馬県
学歴 東大法学部 昭和29年卒
職歴 昭和29年 富士重工業入社
昭和54年6月 山形スバル自動車株式会社代表取締役に就任
家族 埼玉県和光市に奥様・彩子(サイコ)様
趣味 ゴルフ・読書



只今紹介頂きました根岸でございます。

鶴岡に参りまして4年を経過する訳ですが、最初メーカーから出向する時、鶴岡はそう雪は深くないところであると聞かされてきたのですが、その年の冬には20数年ぶりという大雪にぶち当たり、話が大部違うぞと感じた

記憶がございます。話には聞いていましたが、風雪の厳しさというものは、ほんとうに体験してみないと理解できないものであり、4年経ってやっと冬に馴れ、庄内の冬に免疫抵抗力ができて参りました。庄内の良いところは、素晴らしい自然と、そして人情豊かなところが、東京にはない良さがあると思います。

いろいろ解らないところばかりですが、よろしくお願い致します。

会員報告

1. 社会奉仕委員会

山口篤之助君

車椅子の青春という映画が来る5月23日夜開催されます。会員の皆様に前売券の御購入をご協力方お願い申し上げます。

2. インター シティ ミーティング に 参 加 し て



内 山 喜 一 君

去る5月14日福島市民会館において「第253地区 1982~'83 インターシティ ミーティング (I.C.M.)」が開催されました。

その時、田中善六がガバナー ノミニーのアメリカに行かれる送別会も兼ね会談が催されました。そして、田中ガバナー

ノミニーより、来年度第253地区の運営基本方針要項につき、次の如く説明が行われました。即ち、国際ロータリー会長 ウィリアム E スケルトン氏の今年度テーマ

・Share Rotary Serve People!
(みんなにロータリーを みんなに奉仕を)

の鼓吹と実践に努力し、新しい発想の転換によって組織の簡素化による経費の節減につとめ、その使命とする課題を次の四本の柱を軸として、地区の運営にあたる。

(1) 会員増強拡大

(1)-1 内部拡大 会員増強運動の強力な展開

クラブ規模	純会員増
15名以下	1名
16~25名	2名
26~35名	3名
36~65名	4名
66名以上	5名

(1)-2 外部拡大

新ロータリークラブの創立 2R.C.

(2) 職業による奉仕の徹底

自己の職業に徹し発展の尖兵たること

(3) ロータリー財団への協力

地区平均 1人当り 50ドルの支援

(4) 広報活動の充実

(4)-1 内部情報の充実

(4)-2 外部広報の重要性の認識

尚、研修会が開催されましたが、皆さん方がそれぞれ非常に熱心であり、上述の基本方針等についても種々の意見が出されました。それらの有意義な発言は、来年度の運営にその効果が発揮されるものと考えます。

又、活動計画の提出日を6月7日にしたのは、ガバナーの公式訪問日が既に決っているからであります。鶴岡は7月19日です。実際にガバナーが到着さ

れるのは18日の4時にお迎えに参りまして、5時には鶴岡にお入りになります。19日は例会開催後、その後クラブ協議会に参加されるスケジュールになっています。従って19日までは活動計画の立案、そして報告の取りまとめを完成して、ガバナーをお迎えできる態勢を整えたいと思います。

この点をお含みの上、6月7日までの活動計画の提出については、何分のご協力をお願い致します。

3. 親睦活動委員会

張 紹淵 君

○奥様誕生 黒谷貞子(正夫)様

○5月15日の由良海岸家族親睦会の開催について
5月15日は皆さんがご多忙の為にお集まりがやや少ないようでした。

マイクロバス1台で、大変和やかに行なわれました。今回の親睦会は、参加人員には恵まれなかったが、天気には大変恵まれて、川村君、山下君等幹事の皆様のご協力で、楽しい親睦会を開催することができました。

次回は、参加人員にも恵まれ、更に有益な親睦会が催されるよう、スマイルをさせていただきます。

4. ロータリー財団委員会

佐 藤 衛 君

ポールハリス フェローになれる為のご寄付を頂いた方々をご紹介申し上げます。

迎 田 稔 君 ポールハリス フェロー
石 井 敬 三 君 ポールハリス 準フェロー
若 生 恒 吉 君 ポールハリス 準フェロー

今年度は今日まで、ポールハリスが5名、準ポールハリスが17名が誕生していますので、ご報告申し上げます。

ス マ イ ル

張 紹淵君 由良海岸の家族親睦会の成功を感謝して

佐藤友吉君 鶴岡市中央公民館、視聴覚センター工事を受注につき (株)佐藤工務店

中村富昭君 庄内地区健康管理センター新築工事受注につき

東北電気工事(株) 中村富昭君
東北量水器(株) 若生恒吉君
(株)温海佐藤組 佐藤 衛君

佐藤 衛君 長男が医師国家試験に合格して
佐藤順治君 5月10日の出席率97.3%を感謝し、更に次回も好成绩となる様祈念して

ビ ジ タ ー

鶴岡西R.C. 菅原年雄君・佐藤 拓君

職 場 紹 介



医療法人 産婦人科 三井病院
理事長・院長 三井 徹

昭和24年もっとも小さな医院(医師1・看護婦1)として開業。地域と時勢のニーズに従って、徐々に拡張して今日の形態になった、根っからの開業医である。開業医という心易い人間関係と近代医療の設備とを兼ね備えることを目的に病院形態になった。病床数52、常勤医3、嘱託医2、助産婦5、高看6産科看護婦11、准看5など総勢50名の従業員。「和顔愛護」をモットーにしている。昭和54年30周年記念に、内川端児童公園に「母子像」(標題 慈愛)を建立。元気な赤ちゃんの誕生から、健全なその育成を念願している。最近は分娩と併行して、手術が活発になってきている。一般の人々の生活水準の向上に伴って、病院の居住性の改善に留意している。病院のシンボルマークはカトレヤの花、院内に花と緑と絵を多からしめている。病院経営の夢は多いが、現実の日本の低医療費、殊に数年来実質的な値上げがない。尚当分は現状維持という医療保険行政には夢がしばんでしまう。手術料はアメリカの1/8、韓国の1/2という信じられぬような現状である。政府、大企業、マスコミも皆支払側という経済立国の日本の医療費抑圧行政は早急に、合理的に改善されて、夢の花ひらくような快適な医療が国民に提供されなければならないと痛感する。

職業奉仕に関するポール・ハリスの考え

「こんな質問をよく受ける：『何故ロータリークラブは会員を明確に異なる各職業から一人に限っているのか?』それは、このやり方で様々な効果が得られるとわかったからだ。即ち、気心の合った仲間



名 称 住友海上火災保険株式会社
鶴岡支社
所 在 地 鶴岡市馬場町 8-25
電 話 0235-24-6314
代 表 者 社 長 徳 増 須磨夫
支社長 工 藤 弘 道
資 本 金 275 億 円
取 扱 品 目 自動車保険、火災保険他各種損害保険

従 業 員 10名(鶴岡支社)

当社は、明治26年の創業以来約1世紀にわたり、「損害保険事業を通じて社会・公共に奉仕し、その福祉と繁栄に貢献する」ことを事業精神として着実にその歩みをすすめてまいりました。

「1人は万人のために、万人は1人のために」という保険事業を象徴した言葉がありますが、このきわめて社会公共性の高い使命、責任を果たしていくため、当社は「信用を重んじ確実を旨とする」ことを経営の根幹とし、又、変化する社会の要請に応えるべく「進取向上を尊ぶ」精神を行動指針としております。

当鶴岡支社は、3年にわたる準備期間を経て昨年4月開設いたしました。おかげさまでクラブの皆様をはじめ、当地域の皆さまのご支援を得て無事スタートできました。お客様に「親生まれ信頼される住友海上」をモットーに、不断の努力を積み重ねてまいります。なにぶんのご指導をお願い申し上げる次第であります。

意識を生み出し、職業上の嫉妬心を取り除き、互いの助け合いを奨励し、自己の職業の尊さに誇りを持たせ、さらに、他の職業の業績を共に喜び合う広い心や問題点を気づかう思いやりを涵養するのである。」

(今週の担当者 石塚敏彦)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 76 名 出席 57 名 出席率 75.00 % 前回出席率 75.00 % 修正出席 69 名 確定出席率 90.79 %

会員スピーチ

銀座地区市街地再開発について

松田士郎君

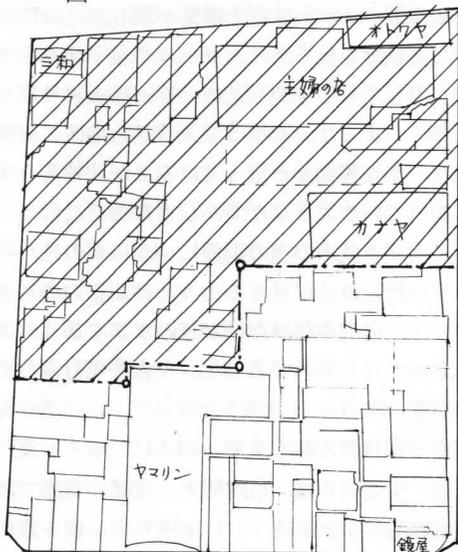


現在銀座商店会で市街地再開発について計画し着々進行中でございますが、当初の計画ではA図の一面全部を再開発しようという計画でありましたが、あまりにも膨大すぎるということで、計画

が変更され、斜線部分の地域だけを再開発しようということになりました。

現在、銀座通りは11m道路であります、市の都市計画道路で18mにしなければなりません。資金的なものなどで、道路を拡げるためには再開発と一緒にした方が有利じゃないかということで、銀座通りでは第3ブロックと言っているが、この部分から

A 図



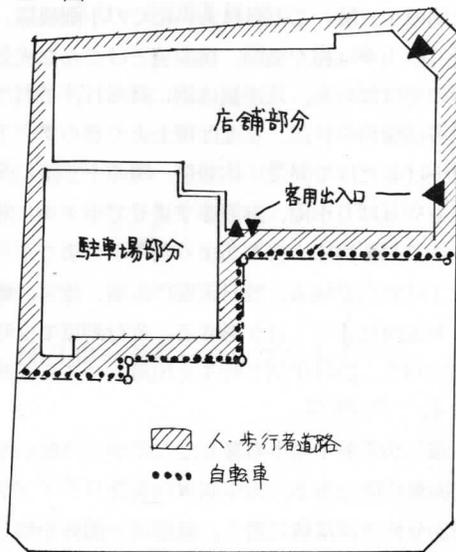
やっていく予定です。この道路を18mにして、車道を9m、歩道を4.5mづつとる関係上、現在の建物を3.5mづつテークバックしなければならないのが現状で、それにアーケードをつけていこうという計画です。

建物の概要は、商業ビルが5階建て、駐車場ビルが7階建ての予定で、上にアイススケート、ローラースケート場を作り、文化施設として中規模な文化会館的なものを作る予定です。

この計画の中にかわっているのが、8mの歩行者と自転車だけの道路をとって、川端通りからの人も銀座通りに吸収したいという計画です。

これからの予定としては、61年10月完成を目標に着々進行しているわけですが、問題点としては、銀座の中央に1カ所大きなビルを建てて集客力がある

B 図



庄内空港の建設を推進しましょう

のかどうか。理想としては銀座通りに2カ所位核になる大きなビルがあった方がいいのではないかと言う意見が出ております。ただ、現在銀座通りも大変落ち込んでいますが、皆さんおわかりのように銀座

通りもサラ金通りと言われているようですが、組合員110名一丸となって鶴岡の中心商店街として頑張っておりますので、今後とも深いご理解をお願い致します。

中国友好の旅

内山喜一君



40年前に駐留していたなつかしい北支に行ける

と知った時から、私達は大きく夢がふくらんでいた。不安と希望が入り乱れ、半年の間、それはそれは長い期間でした。その嬉しい中国の旅が私達

にとっては人生最高の喜びとなったことでしょう。一行30人、どなたの想いも同じでした。

北京…4月19日、ホリディインナリタに1泊、明朝8時30分、大阪廻りの日航機北京行きにて出発。2時15分北京空港着。入国手続きも無事に済み、出迎えの大型バスに乗り40分程で天安門広場に着く。途中ポプラ並木の7kmに亘る快適のドライブコース。左右には桃・梨等の花盛り。天安門から天壇公園を見てホテルに向う。ホテルは友誼賓館。ソ連技術関係者の宿舎に使われた広大な敷地と建造物、まあまあ設備であった。21日朝8時30分出発。万里の長城と明の十三陵。この日はあいにくの小雨模様。長城近くの山々は梅が満開。桃源境とはこんな光景を云うのではないか。八達嶺は雨に降られ、それでも観光客は満員の状況。私達は頂上まで登らず、下から見上げるだけで昼食。休憩後、明の十三陵に向う。ここもやっぱり小雨、参観をすませてホテルに帰る。夕食後京劇を観る。皆があまり判らないようだったので1時間程で帰る。22日天安門広場、故宮、頤和園、友誼商社等で1日が過ぎる。夜行列車で9時発曲阜に向う。23日午前6時半兗州着。バスにて曲阜に行く。

曲阜…40年前1年半も暮したなつかしい曲阜だけに皆興奮状態である。途中泗水河を渡り、ポプラ並木を20分位で曲阜城に着く。城壁は一部分を残してほとんど取払われていた。大成殿も孔子廟も昔のま

まであった。ホテルは昔の至誠殿。中庭のある中国風の建物に観光客のために改造されたお粗末なものであった。私達には却って中国の面影が残っており嬉しかった。大成殿、孔子廟など曲阜の名跡をなつかしく参観。5時より中国側要人(曲阜副知事を始め5人)と表敬訪問の行事を行う。

訪中団のメッセージと記念品、朝倉文夫作「大人可笑」と日本から酒とタバコを各人が土産として持参これをプレゼントした。中国側から石刷、本等が贈られた。6時30分よりホテル大会場で晩さん会。中国側を招待。この会場には、日本、中国を始めフランス、ドイツ、イタリア等の観光客も大勢おり、期せずして国際パーティーとなった。北国の春、花笠音頭からオーソレミヨ、サンタルチアまでとび出す大音楽会。曲阜始って以来の賑いであった。

戦跡廻り…24日朝から戦蹟訪問。曲阜から2時間足らずで昔の駐屯地、寧陽はまだ未開放地区、同時に今新しい街に作り変ろうとしている最中。街の中央に大通りが出来、昔の面影は何一つ残っていない。私達のバスが止まると群集が取りかこみ物珍らしくただ私達を見るだけ。タバコや菓子などを子供に差し出しても手を引っ込め、昔とはあまりにも変りはててしまった。兗州は立入り禁止地区。紋河、安篤荘、泰安等次々と廻ってはみたが、皆変り果て險に描いていたようななつかしさなどどこにもなかった。ポプラ並木の道の両側に一面に菜の花が咲き乱れていた。遠くに見える山々だけが昔の姿をとどめている。宿泊地曲阜だけが昔のままだったのでそれが何よりの救いであった。夕食後夜行寝台車に乗り南京に向う。

南京…25日朝8時南京着。バスにてホテル双門楼賓館着。少憩朝食後、市内観光。夜は迎賓館で宮廷料理で24品に余る素晴らしい中国料理に皆を驚かせた。

蘇州…26日午前11時発蘇州行列車に乗り込む。午後2時半蘇州着く。友誼商社、拙政園、刺繍工場等を参観。蘇州飯店に入る。夕食後民族舞踊、歌舞団を見学。27日寒山寺、虎丘山等を見学。

上海…11時上海に向う。正午上海着後バスで街を観光、友誼商社等。ホテルは上海随一のブロードウェイ、マンションの大廈、最後の夜に花を添えて呉れた。窓からはガーデン、ブリッジ、黄浦江等上海の夜景を眼下に見下し全員大機嫌。夕食後上海名物雑技を観る。28日朝ホテルを後に玉仏寺を見学。人民広場、上海工業展覧館を見学。昼食後上海空港に向う。15時発日航機に搭乗、大阪廻りにて成田に19時40分着。無事旅行終り解散。

なり振りをかまわぬ程に土産持ち

中国の旅つつがなくすむ 蛙の子

会長報告

中江亮君



○多くの会員の皆さんには既にご承知の事ではあります、本日は皆さんに悲しいお知らせをしなければなりません。即ち会員の早坂源四郎さんが長い間病床に就かれておられましたが、薬

石の効なく去る5月19日午前9時25分ご逝去されました。早坂さんは昭和35年1月当クラブにご入会され、その後41年7月1日に第8代クラブ会長に就任され、クラブの発展に絶大なるご貢献をされましたが、続いて翌42年庄内分区代理となられ更には48年7月1日当253地区ガバナーとしてご活躍され、地区内に早坂源四郎在りの名をあげられたユニークな所存の方でありました。「職業奉仕の事例集」「ロータリーの道徳律」「ロータリーとは」等々数多くの著作を発刊されました事はロータリアンの均しく知るところであります。早坂さんはこよなくロータリー初期の原理を愛され就中道徳律については終始その精神を貫かれたようであります。ここに在りし日の早坂さんのご功績を偲び慎んでご冥福をお祈り申し上げたいと存じます。皆さんご起立の上1分間の黙禱をささげたいと思います。

○鶴岡・ニューブランズウィック友好協会総会についての報告

去る5月18日第1インに於て、鶴岡・ニューブランズウィック両市の友好を更に発展させる目的で作られた市民の各層を網羅した友好協会の総会が開かれましたが、出席者は約60名で、市長・市会議長の祝辞の後、当クラブ会員の三井徹さんが会長に選ばれました。これからニューブランズウィック市長やロータリアンのご来鶴が予定されておりますが、皆さんにも先立ってご入会をお願いしましたところ、殆どの会員の方のご入会をいただき洵にありがとうございました。尚、まだ入会されていない方は是非お早めに事務局の山下さんまでお申し込みの程お願い致します。

○来月6月9日は当クラブの創立記念日ですが、この日を6月7日の定例例会日に繰り上げてささやかなお祝いをしたいと考えています。尚、この日の記念講演はチャーターメンバーの津田晋介さんをお願い致しました。ご承知の通り型破りの面白いお話、ユーモアに富んだお話を存分に承りたいと思い、楽しみにしております。この日だけは皆さん我がホームクラブに出席されて、一生に一度の思い出にして下さい。

幹事報告

斎藤隆君

1. 会報到着 いわき平R.C.
2. 「いわき平R.C.30年の歩み」記念誌到着

委員会報告

1. ロータリー財団委員会

佐藤衛君

会員の本山弥君、内山喜一君、斎藤隆君の三名の方よりポールハリス準フェローになるためのご寄付を頂いております。なお内山君はポールハリスフェローになられておりますが、今回2回目のご寄付を頂いております。今年度ポールハリスフェローが5名、準フェローが20名になりました。

2. N.B.ロータリークラブからの手紙

新穂光一郎君

ニューブランズウィックロータリークラブから私あてに2通の手紙が参っております。

1つはN.B.ロータリークラブのデヴィット・M・ハイラインさんからのもので、青少年交換学生の申



請書を受けとったと言う事で、751地区（ニュージャージー州地区）のオーレンリイチさん（青少年交換委員長）と申請書について検討したとの内容でした。もう1つはジョージ・オスターグレンさん（N.B.ロータリークラブ会長）からのもので、デヴィット・A・ハイラインに対する推せん状で、

彼は多国語を話せる好青年で、是非日本で働きたいが、就職先について尽力して欲しいという内容の手紙が来ておりますのでよろしくお願い致します。

ビ ジ タ ー

温海R.C. 齋藤五郎八君

鶴岡西R.C. 佐藤 拡君

ク 齋藤 正志君

（今週の担当者 齋藤 隆）

早坂源四郎著

「ロータリーとは何か」より抜粋

ロータリーとは何か？と云うご質問には色々な形で回答されていますが、私はこの度は、どうしてロータリーは造られたのか、何時何処で造られたのかと云うロータリーの創設の原点を求めてその歴史を追ってご説明したいと思います。そして一番重要な事は誰が発案設計したかと云う事です。云うまでもなく、一介の37才の若い弁護士ポール・ハリスであり、彼が創設の役割を果たした創立者であります。

ロータリーは1905年2月23日、米国シカゴ市のデイヤボン街のユニティビル 鋤山技師ガスターバス・ローアの事務所の一室で、弁護士ポール・ハリス、石炭商シルベスター・シール、洋服商のハイラム・シヨレーそれに事務所の主人公、ガスターバスの4人が集って創設されました。ロータリー創設の中心人物ポール・ハリスは後に国際ロータリー会長となり、1947年1月27日の逝去まで40数年間をロータリー運動に彼の生涯を捧げたのです。

ロータリー創設の動機とその経緯

ポール・ハリスがプリンストン大学を経て、祖母のすすめるアイオワ大学法科に入学し、法律を学び1891年24才で卒業、それから5年間の放浪生活で人世社会学を体験し、漸く1896年シカゴの土地を選んで、ここに定着するようになった。—中略—

1900年の夏のある日、ポールは友人の弁護士と夕食を共にした後、連れ立って附近の街頭を散歩したが、その道々二人は種々の商店や事務所を訪問し、その度毎ポールはこの友人から各店の主人に紹介されたのであった。ポールはこの夜の散歩から深い印

象を受けた。彼の友人が近隣の実業家達の間に、多くの良い友人を持っている事に深い感銘を受けたのである。ポールの処へは、法律事件で依頼に来て交る様になった職業上の知人は居たが、それ等の人々は社交上の友人ではなかった。彼はここでこの職業上の知人を、その一部の人でも社交上の友人にする事は出来ないだろうかと云う事を考え、更に各種の事業家達を社交的に結合した一個の団体という様なものを考えてみた。更にその団員達が各々の異なった職業を代表して参加し、相互に助け合う事が出来るならばと考えた。彼は遂にこうしたクラブの組織を思い立ったのである。—中略—

1905年2月23日の夜、第1回の会合をユニティビル内のガスターバスの事務所で開催した。—中略—

ロータリー初期の精神はしばしば利己的であったと評されていますが、確かにこれは否定出来ません。新会員の勧誘は商売上の利益と云う基調の下で直接訴えられた事も事実でありました。然しながら初期のロータリーに於ても、その根本理念として主たる思想は“与えんとする”に在って“受けんとする”思想ではなかったとポール・ハリスは強く述べて居ります。—中略—

そして第3年目の初めに、シカゴクラブが漸く大伸展を示して来た時、ポールは推挙され、クラブ会長の任に就きました。彼の抱懐していた三つの野心は、

第一にシカゴクラブの発展を益々促進する事

第二はロータリー運動を他の諸都市にまで拡充する事

第三はクラブの目的の中に社会奉仕の項目を加える事



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 76 名 出席 65 名 出席率 85.53 % 前回出席率 75.00 % 修正出席 67 名 確定出席率 88.16 %

会員スピーチ

地震と生命保険

小林 敏 夫 君



○日本海中部地震は、秋田県を中心に多数の死者・行方不明者を出しました。(5月30日午後5時現在・死者56名 行方不明者46名、計102名)

○地震の場合に、生命保険はその機能を果たすかどうかというご質問も災害発生以来多数戴きましたので、駆け足ですがご説明申し上げます。

○生命保険は、商法に免責事項が定められております。(別表)

○これを受けまして、生命保険約款にも免責事由を載せてあります。

○地震・津波に関します規定は、普通保険約款にはなく、各種の特約(災害割増、傷害、入院給付)の約款にございます。=別紙=

○地震・津波によります場合
普通死亡保険金はそのまま全額お支払いし、特約による給付金・保険金は、被害状況により削減してお支払いしたり、又はお支払いしないことがあります。

○今回の場合は、計算の基礎に重大な影響を与えるような被害状況とは認められませんので、特約による給付金・保険金も全額お支払いすることになります。

○日本生命の「約款と考え方」を中心に申し上げましたが、各社により若干取扱いが異っておりますので、念のため申し添えます。

※犯罪行為・死刑執行の取扱い

1. 法定免責
 - 被保険者が自殺・決闘・犯罪又は死刑執行による死亡
 - 受取人が被保険者を故意に殺害 (商法第 680 条)
 - 契約者が被保険者を故意に殺害
 - 戦争その他の変死による損害 (商法第 683 条・第 640 条)

2. 生命保険約款
 - ① 普通保険約款第 2 条 (削減支払)
戦争・その他の変死による死亡者が計算の基礎に影響を及ぼす時、削減して支払う。
 - ② 特約約款 (災害割増・傷害・入院) 第 2 条
次の原因による死亡・傷害・入院が計算の基礎に影響を及ぼす時支払わないか、削減して支払う。

- ・地震、噴火または津波
- ・戦争その他の変乱

3. 今回の場合
普通保険金+各種特約給付金
↓ ↓
全額支払 全額支払

※参 考
普通保険約款上の免責事由 (死亡保険金を支払わない場合)

- ① 責任開始日から 1 年以内の自殺
- ② 契約者・受取人の故意による殺害

1. 計算の基礎に影響を及ぼす時
 - ① 計算の基礎 死亡表

② 大数の法則

特定地域・特定保険にかたよらない販売と保有契約高

〔災害死亡保険金の保有契約高〕

日本	65兆3,340億	(対普通死亡62.9%)
第一	56兆1,886億	(〃 85.4%)
住友	48兆1,195億	(〃 74.6%)

2. 行方不明者(死体が発見できない)の取扱い

普通失踪⇒7年間不明のとき死亡とみなす
特別失踪(危難失踪)⇒1年間生死が不明のとき危難の去った時に遡及し死亡とみなす
認定死亡⇒A. 公的機関による認定死亡

(戸籍法89条)

B. 会社による認定死亡

「失踪宣告・その満了」あるいは「公的機関による認定死亡」をまわっていると相当の時間を要し、その間保険契約を有効に継続させるため、保険料の払込みを要することを考慮した便宜的

取扱い

- ・海上遭難の場合—海運局の海難届出証明書
- ・大災害の場合—海上は海上保安本部長、陸上は警察署長の証明書

C. 猶予期間の延長—3カ月プラス

3. 支払資金

① 外国政府等貸付=57年3月現在

日本	1,659.7億円	(対総資産2.3%)
第一	965億円	(〃 2.1%)
住友	897億円	(〃 2.4%)

② 国内貸付先

地域的・貸付企業ともにかたよらない

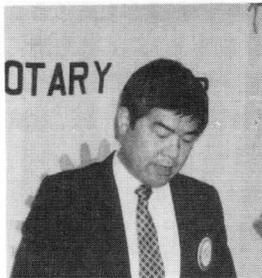
③ 国債保有=換金確実

日本	2,822億円	(対総資産4.0%)
第一	453億円	(〃 1.0%)
住友	892億円	(〃 2.4%)

④ 含み資産=ダイヤモンド社の推定 86条準備金

女性ユーザー市場について

手塚 拓君



私が赴任してまいりましたのは今年の1月末で雪の多い時期はそうでもなかったのですが、雪が融けて春になるにつれ、女性の方々の運転が東京にくらべ多く目につき、庄内の女性の活発さには

驚かされました。

先日の5月27日に私の会社の前の道路で、女性運転の車の数を調べてみました。午後4時30分から5時30分の1時間で191台の車が通過して、その内53台27.7%が女性ドライバーでした。内訳は小型車以上で150台の内33台21.7%、軽四輪で39台の内20台51.3%となっています。

実際には、現在これだけのクルマ社会となりますと、車をもつこと、運転することは何ら珍しいことではありません。因に運転免許所有者は、全国で乗用車の世帯普及率が25%であった昭和45年には男性の50%(1,750万人)、女性はわずか10%(367

万人)に過ぎませんでした。それが、世帯普及率が62%となった昭和57年には、男性の免許所有者は68%(2,835万人)、女性は25%(1,108万人)が免許をもつようになり、最近の女性ドライバーの大巾な増加は目を見張るものがあります。

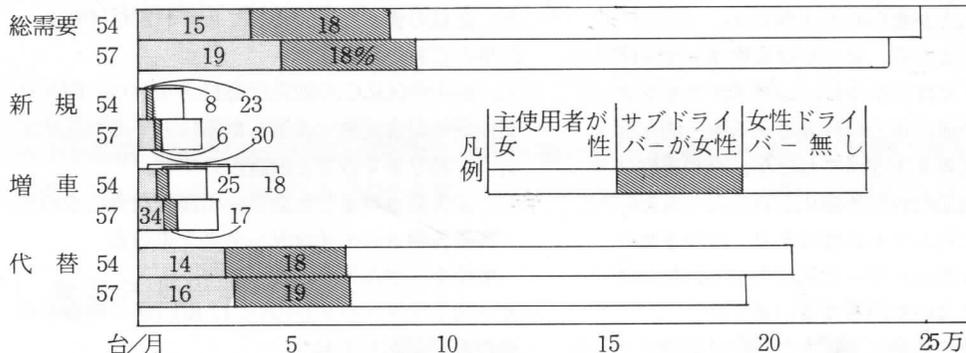
このような女性ドライバーの増加は、1世帯で所有する車を男性から拝借して運転するのではなく、別に車を新たに買い求めて自ら運転するようになりました。これが自動車需要の新たな拡大になっています。

例えば、昭和57年の7~9月の3ヶ月間に購入された新車を調べてみますと、主に女性が運転される車は代替の場合16%、新規の場合30%、増車の場合34%になっています。

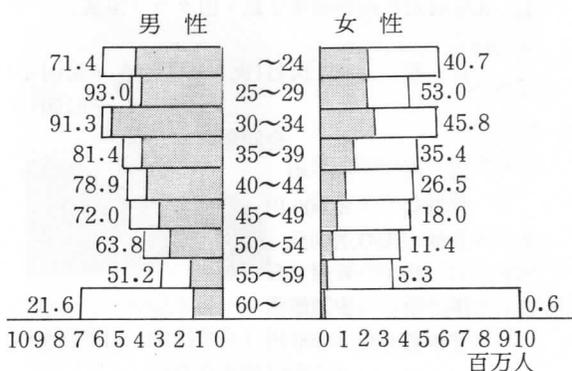
また購入された車全体では、サブドライバーとして女性の運転する機会のある車は37%の比率になり、女性ドライバーの方々の運転が目につく裏付けともなっています。

以上の数字からみまますと、女性ドライバーの増加が自動車の市場に大きな影響を与えていることがう

新規・代替・増車別女性ドライバーの存在状況



年齢階層別人口・免許保有者数と保有率



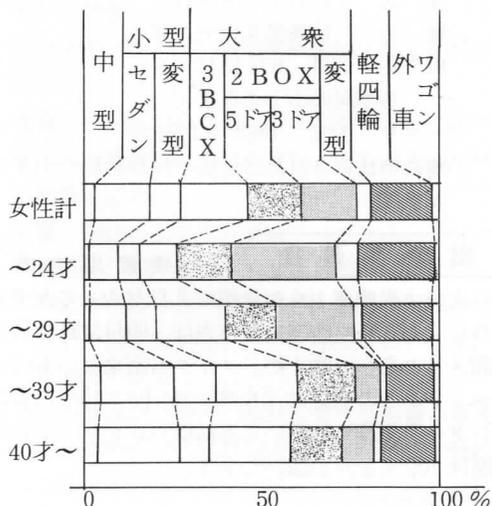
く一家で購入される場合には、大蔵大臣の役割だけでなく、車選びに大いに意見を出されておられます。

調査結果では、購入に当って女性の意見を取り入れられ買われた車は46%だそうです。購入される車の2台に1台は女性の意見が係わりをもっている計算になります。これは車を運転する、つまりドライバーとして増えているということに加え、女性の高学歴化で社会進出に伴う発言力が強まってきているという、一般的社会的な流れではないかと思えます。そこで、私どもの自動車に対する具体的影響として女性が車を選ぶ際に“とりまわしが楽なこと”“実用的であること”にポイントを置かれる方が多く、このことが軽四輪や1000CC~1500CCクラスの大衆2ボックス車等の売れ行きを著しく増やしていますし、更にパワステアリング、トルコン車などの増加を生んでいます。

又、女性の方々は車の色や車の室内の色を選ぶ傾向が強く、最近の流れは赤色のボディ色が多く売れその赤色に室内の色柄が合うかが問題にされています。これは、あたかも服飾品やインテリア関連商品を買う時の感覚に近いと考えられます。女性は男性とは違う感覚での車選びの視点をお持ちではないでしょうか。

しかし、女性が全部そうだというのではなく、ライフステージによって自分達の生活の中の車に求めるものは違っておられるようです。例えば未婚女性の志向は既婚者の志向よりも同世代の男性に近く、スポーティーでレジャーユースに合う車で、自分の気に入るファッションな車を望まれる傾向が強いですし、既婚者では家族揃って出かけることを想定し、ファミリーカーとして室内空間の広く落ちついた雰囲気のある車を希望される方、あるいは普段の近隣への買物、用足しのための自分専用車として、何

女性の年齢別購入車の特徴



(注1) 二輪・原付免許は除く

(注2) 免許取得可能年齢人口に対する所有率が

かえります。

更に女性の存在は、私どもの場合、免許を持つ持たない、あるいはハンドルを握る握らないに関係な

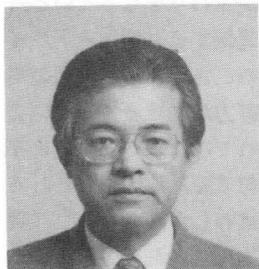
よりも経済性の高い、使用負担の少ないセカンドカー的な車を望まれる方がおられるようです。

以上のようなことから、私どもは女性ユーザー向きの車となると「車体の小さい、パワステアリング付、トルコン付の赤い車」に代表させる画一的な女性仕様車しか従来考えませんでした。今や男性ユーザーに対する商品内容の多様化と同じような対応を女性ユーザーに対しても必要であり、このきめの細かい対応が今後女性ユーザーに気に入っていただける大切な事柄ではないかと考えています。

今日は、街に多く活発に活躍されている女性ドライバーに焦点を合せたお話をさせていただきました。

退会 の 挨拶

大森 健司 君



なんとも申し上げ辛いですけれども、6月1日付の人事移動の発令で、大宮の花月営業本部の方に転動になりました。一昨年2月に赴任して以来1年3ヶ月の間色々公私共に御指導賜りまして誠に有難うございました。

是非大宮にお出になりましたら、お立ち寄り戴きたいと思ひます。今後共宜しく御指導賜りますようお願い致します。後任者は新潟支店から明日、白坂という者が着任します。後任が着任次第ロータリークラブに入れさせて戴きますので、私同様御指導御鞭撻の程お願い申し上げます。どうも色々有難うございました。

会 長 報 告

中 江 亮 君

○ご承知のように去る5月26日、秋田沖を中心に発生したマグニチュード7.7の大地震は、秋田・青森を中心に大きな被害をもたらしたものでありますが、就中10数名の小学児童をさらっていった津波の災害は洵に心の痛む惨事でご同情に耐えられません。当鶴岡地方もかなりの震度でありましたが、特に被害もなく、会員の皆さんも全員ご無事のことと同慶に存じます。このニュースは世界の至る所で報道されたものでありますが、台中港区R.C.の陳克己会長さんからクラブを代表してお見舞いの電話があり、更に丁度日本に来ておられました

同R.C.会長の洪炳煌さんからもお見舞いの電話を頂き、会員の皆さんによるしくとのお言付けがあった事をご報告致します。

- 又、台中港区R.C.の陳克己会長さんから、同クラブ12周年記念式典に参加した事に対するお礼状が届いておりますのでご披露致します。
- 新しく入会されました会員の所属委員会について
御橋義諦さん～インタラクティブ委員会
根岸幸一さん～S.A.A
- オーストラリアのSTAWELL R.C.から地震お見舞いの電話がありました。

幹 事 報 告

- 6月14日に行われます新・旧クラブ協議会について
日 時 6月14日(火) 新 3:00～5:00
旧 5:00～6:00
合同懇親会 6:00～
場 所 祝 々
登録料 3,000 円
- 大森健司氏の送別会
日 時 6月2日 6:30
場 所 中国飯店
登録料 3,500 円(当日持参) 山下さんへ(みやげ代を含む)
- 第253地区年次大会のご案内到着
期 日 10月1日～2日
場 所 福島県文化センター
仮申込〆切日 6月15日
事務局の山下さんまで
- ロータリー手帳 1983～1984年
前に申込みされた方は帰りに事務局の山下さんまで

出 席 委 員 会

佐藤 順治 君

いよいよ出席率100%目標の7日がやってきます。どうしても7日出席出来ない方は、明日以降13日迄の間メイクをして戴くか、メイクも出来ない方はロータリークラブの例会に(6月4日(土)7時から青年センター)出席して戴いても結構ですから、7日の出席は100%是非お願いします。

ビ ジ タ ー

余目R.C. 佐藤 孝二郎 君
温海R.C. 今野 義介 君
鶴岡西R.C. 井上 彬君・鈴木 昭吾君
(今週の担当者 高田 耕助)



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員75名 出席63名 出席率84.00% 前回出席率85.53% 修正出席71名 確定出席率93.42%

会員スピーチ

～クラブ創立記念～

津田晋介君



本日は我が鶴岡R.C.の創立記念の例会ですから平凡で面白くないロータリーについての愚見を述べたいと思います。

第1は会員増強委員会について

先般、3～4ヶ月前の理事会の席上、会長が会員増強委員長代理に対し、「今年度も既に半分以上過ぎたのに、未だ目標には程遠い状態である。ぜひとも目標達成に努力してもらわねばならない」と、語気鋭く迫った。この会長の熱意に応じて会員増強委員会が努力した結果、優秀な新入会員の加入を得て、目標がめでたく達成された。

私はこの事実に対し、複雑な感情を抱かざるを得なかった。相反する2つの感情である。

その1つは、会長の稀にみる旺盛な責任感に基く目標達成への熱意と、これに応えた会員増強委員会の努力に対する敬意である。

他の1つは、これに対する懐疑の念である。ロータリークラブのあるべき姿の考えれば、このような事はむしろ悲しむべき事態であり、目標を達成してよかったなどと喜んではいられない筈である。本来なら会員増強委員会は不要になるべきである。何故ならば、入会希望者が殺到して事務局の山下さんが応待に汗だくだくだになっているという状態こそロータリークラブのあるべき姿だからである。

然るに、会員の増強に奔走努力せねばならない現状は寒心に耐えないのである。

第2はスマイルボックスの運用について

此の頃、経済事情を反映してかスマイルボックスの入りが少ないように思われるが、このスマイルボックスに入る金の多い少ないかは、クラブ活動を左右するものであるから、決して軽視してはならないと思う。

スマイルボックスの運営には物心両面から考慮すべく、物的な面に於てはもっと入口を大きくしてスイスイと札が入り易くなるよう改善すべきである。心的な面に於ては、罰金というような運用を捨てて嬉しいことがあったときにスマイルするという点に徹底すべきであると考え。それには皆に公表すべき嬉しいことと、公表したくない嬉しいことの2つがあると思われる。前者については従前から行われてきたことなので、今後とも大いに拡大運用されるべきであり、これをパブリックスマイルというならば、後者はプライベートスマイルというべきもので、今後この方面の運用の拡大を図らねばならないと思う。

第3はロータリーの歌について

現在迄歌われてきたロータリーの歌は、歌う者、聞く者をして「ウツリ」させるという点において未だしの感があるように思われる。聞く者の心に響くような歌を考案する必要を痛感する次第である。

毎週開かれる例会場の傍を通る人々がロータリーソングを聞いて思わず立ち止って耳を傾けざるを得ないようなソングを、ガバナーは次期ガバナーに申し送りして実現に向けて一歩前進して頂きたいと思う。

スピーチの感想

石黒慶之助ガバナー

すばらしい発想のお話に敬服致しました。

会員増強についてはその通りだと思う。ロータリーに入会希望者がいないのは、種々困難な点もあります。これまでは年々減少するという状況で、前年度は全世界で増加率わずか0.8%。これではロータリーは衰微するだろうと向笠会長も懸命に拡大を図っておられます。バッチをつけて街を堂々と歩いている魅力のある会員が多勢いれば入会希望者が続々と出てくるのではないかと思います。

スマイルボックスについては、今年度中に入口を大きくし、次年度へ申し送ってはどうか。社会奉仕をしたり、交換学生を受け入れたりするにも財源が必要です。会員の年会費では不足で、スマイルは大きな財源です。罰金という考え方でなく、喜びであり、名誉であるということをお願いしたい。山形県内のあるクラブでは、寄付をしたくても出づらいうという雰囲気を作っているところもあるが、あくまで喜びを周囲に分ち合うという意味でスマイ

庄内空港の建設を推進しましょう

ルボックスを活用して下さい。

ロータリーソングですが、私は日本の例会は堅苦しい、もっとリラックスした例会にしてほしいというを各地で申し上げてきました。したがってローカルカラーあるクラブ例会でよいと思う。「庄内

おぼこ」など民謡を歌っても差支えないし、なにを歌って悪いというルールはありませんので、たまには愉快な歌を歌うのもよいでしょう。親睦活動委員会でも検討してみたいかかと存じます。

次年度庄内分区代理挨拶

酒田R.C. 伊藤政一君



実は5月31日にお伺いする予定でしたが、会長さんから6月7日は創立記念なので、当日の方がよいのではないかとアドバイスをいただき、今日に延した次第です。先輩クラブでもあり、一番目にお伺いするところですが、遅れて申しわけありません。

先程会長さんから、酒田R.C.のあばれん坊みたいな印象を受けるご紹介をいただきましたが、いたって淑やかな男でございしますので、よろしくお願ひ致します。

次年度は行事もいろいろございまして、酒田R.C.としては9月4日にI.G.F.があり、また来年の1月にはロータリー情報委員会の研修会があります。それやこれやで大変な1年になろうかと思いますが、一生懸命頑張っていきたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願ひ致します。

会長報告

中江亮君

今日は真夏を思わせるような暑さであります。昨日の天気予報によりますと、今年は平年並の暑い夏になるそうであります。天候の変動にめげずに、お体ご自愛の程をお願ひ致します。

さて、当ロータリー年度も愈々最終ラウンドに入り、明荷の片付けなど周囲がなんとなくざわめいてきましたが、残る任期中に今一度夫々の委員会の活動計画を点検されて、報告書の仕上げをしていただきたいと存じます。

本日は皆様既にご承知の通り、当クラブ創立24回目の誕生日をお祝いする例会日でもあります。即ち正式には1959年(昭和34年)6月9日に創立され、同じ月の27日には異例の速さでR.I.の認承をいただいたのであります。これには山形R.C.、山形西R.C.が共同スポンサーで有名な安斎徹先生が特別代表としてご尽力下さったのであります。それから7年後の昭和41年には当クラブがスポンサーとなって鶴岡西R.C.を、更には昭和45年に鶴岡西R.C.と共同スポンサーになって温海R.C.を誕生させたのであります。

クラブ創立当時の会員数は21名でありましたが、10周年記念式典の時には64名を数え、24年後の本日私共のクラブの会員数は77名にまで増加しました。反面国際奉仕活動の分野に於ての努力もかなり顕著な成果を挙げており、P.H.(フェロー)も本年度6名増で15名。P.H.S.(準)は20名増で26名になりました。安斎パストガバナーはこのクラブを地区内のみならず東北地方に於て、国内的より国際的なクラブであり、国際理解にすばらしい功績があったと評しています。張紹淵会員が地区では初めてのポールハリスフェローになられた事を知っておられる会員は少ないかと存じます。しかしこの華やかな反面、物故された先輩会員は25名を数え、今更のように歴史の重さを痛感させられま

す。本日は特にチャーターメンバーの津田晋介君に記念講演をお願い致しましたので、とくとご拝聴の程お願ひ致します。

- 土門庄内分区代理が区内のクラブを代表して一昨日故早坂源四郎先生のご遺族を訪問されおやみを申されました事をご報告致します。
- 鹿兒島西R.C.の海老原利則さんから当地方の地震にお見舞いのお葉書が届いています。
- 本日の理事会で、次の事が決議されました。
 - (1) 日本海中部地震で大きな災害を蒙った秋田青森両県の被災者救援資金として50,000円を贈る件(R.I.第254地区を通して)
 - (2) 本年度最終例会(6月28日)の時間を午後6時に変更する件

幹事報告

佐藤元伸君

- 東京R.C.から会報が到着しています。
- 大森健司氏の送別会の残金3,500円はスマイルしますのご了承下さい。

親睦活動委員会

張紹淵君

- 会員誕生 池田弘君・石黒慶之助君
高橋良士君・高田耕助君
張紹淵君・松田貞夫君
- 奥様誕生 斎藤美代子(隆)様・斎藤和(昭)様
渡部てい子(利夫)様
- 会員名簿(58.6.1)が出来ました。創立記念日に当り皆様に配付しますので、ご利用下さい。

出席委員会

佐藤元伸君

- 年間皆出席

14年間皆出席	手塚林治君
12年間皆出席	佐藤順治君・市川輝雄君
9年間皆出席	飯白祐佑君
7年間皆出席	丹下誠四郎君
5年間皆出席	内山喜一君
2年間皆出席	庄司嘉男君
- 5月100%出席 63名

ロータリー財団委員会

佐藤元伸君

年度当初3600%から出発した財団に対する寄付金が4600%達成し、証書が国際ロータリー財団から到着しておりますので報告します。

スマイル

石黒慶之助君 健康で古希を迎えたので
伊藤政一君・伊藤三郎君(酒田R.C.)
次期分区代理・次期分区幹事でお世話になるので

張紹淵君 新しい会員名簿が出来たので
津田晋介君 弁護士登録30周年表彰を受けたので

ビジター

酒田R.C. 伊藤政一君・伊藤三郎君
温海R.C. 斎藤新作君
鶴岡西R.C. 井上彬君・菅井幹雄君
野口 弥君
(今週の担当者 今野清一)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 75 名 出席 57 名 出席率 76.00 % 前回出席率 84.00 % 修正出席 75 名 確定出席率 100.0 %

出席委員会

佐藤 順治 君

前回（創立記念）確定出席率 100 % 達成 ヤッタ!!
やれば出来る。年に 1 回位は 100 % にしよう

～出席委員会諸君のご苦勞に深く感謝します 中江会長～

会員スピーチ

「私」そして「写真」

加藤 賢君



◎虫が知らせる

寛明堂写真館の加藤賢君です。私は4月12日入会なものですから、まだロータリーというもの自体わからずに2カ月過ぎてしまいました。でも只ひとつ覚えたことがあります。それはスマイルです。

5月18日、2番目の子どもが生まれました。名前は「あずさ」です。ではスマイル致します。

実は、生れる前日の5月17日に、三浦屋さんで昭和二桁会があり出席しました。二次会の中江会長のお店へと流れました時、吾家では私の行方をさがしていたらしいのです。そんな事とは露知らず、ワイワイと飲んでいました。特別講師の小池さんのテーマ「台湾旅行記」が大変楽しいものですから……

出産予定日が27日でしたが、早いかもかもしれないと云われてましたので、時間が経つにつれ、何か胸さわぎが致しまして、「子供が生れるから帰ります」と云っても、だれ1人「心配だね、早く帰りなさい」と暖い言葉はかけてくれず、「まだまだ大丈夫だ、もっと飲め」とか「入院したわけじゃないからもっと飲んで帰れ」とか、まだひどいのは「一番若いのは最後までいなさい」とか、戸塚ヨットスクールなみのシゴキでした。先輩諸兄の暖かいシゴキを振りきって帰宅したとたん、病院行きです。無事出産しました。虫が知らせたのでしょうか。

◎写真のプロ
寛明堂は、明治4年の開業。私で6代目です。明治4年と申しますと西歴1871年「廃藩置県」の頃だそうです。その時の加藤家の当主が、2～3年前から酒井様のお供をして東京へ行き、横浜で写真術を会得し、鶴岡で開業したとの事です。

写真は1839年、ダゲレオタイプという写真法が始まりとされています。当時は銅板に沃化銀を塗布したものがフィルムとして使われていました。

露光は、20秒～40秒位だったそうです。当時は、肖像画にかわるものとして大変注目され、特に特権階級の人々に人気があったようです。

年代が進むにつれ写真が流行し、現在では子どもでも上手に写せるカメラが出まわり、プロとアマの差がだんだん縮んでまいりました。

昔、ライカの35%カメラの値段は、家が1軒建つ位の金額でしたが、現在国産の35%カメラは3万円位です。

写真を写して商売をするのには、免許も何も必要ありませんので、アマがお金をもらって写せばプロになれるのです。本当の写真のプロとは何かとつくづく考えさせられます。技術は努力すれば誰でもある程度水準までは育ちます。その上に何かをプラス出来るかどうか、良い写真を撮る重要なポイントです。

肖像写真であれば、被写体の人間性を素早く見抜く力があるかどうか。商業写真であれば、被写体の

庄内空港の建設を推進しましょう

美しさとライティングと小道具等のマッチングを考えるセンス。建築写真であれば、その建築に託した設計者の心を読みとる力があるかどうか。

これらのことを踏まえて、カメラは何にするか、ライトはどうするか、フィルターは何を使うか、を考えながら、始めて写しはじめます。これが俗にいうカメラマンの目なんです。

都会であれば、それぞれ専門分野で仕事をしています。報道・風景・人物＝肖像、ファッション、モード・静物＝金属、ガラス、宝石、車・料理＝和・洋・建築etc 多種多様なカメラマンがいます。

地方ですと、この知識をある程度知らないとお客さんのニーズには応えられないようになってきています。

写真屋は何でもうまく写せるんだと云われると困る事があります。お医者さんでも科別がありますし、学校の先生だって科別があります。

私自身、もっともっと知識をとり入れ、技術を磨き、皆様のお役に立ちたいと思っております。

現在当館では、商業写真・建築・美術品の写真や卒業アルバム等に力を入れています。もちろん、営業写真も従来どおり、一生懸命やっておりますので何かご用の節は、よろしくお願い致します。

副生物を食卓へ

齋藤 昭君



私も4月に入会したばかりですが、よろしくお願い致します。

皆様ヤキトリでおなじみの畜産副生物につきましてお話申し上げます。畜産副生物という言葉は6年前頃からはやり出したものです。昔は、庄内地方では全部廃棄されて

おり、昭和27年頃から栄養価が高く且つ安価に入手できる食品としてみなおされ、ポツポツ利用されて参りました。然し私の「庄内ミート」ではクシサシを月間80万本から120万本生産しておりますが、殆んど関東地方に移出し、地元はまだまだ少いのが現状です。

現在のような経済状態不振の時は、安くて栄養価の高い食品をどう利用するかが大切ではないかと思えます。どうぞ、どんどんご利用下さい。

レバーはよくご存知と思いますが、それ以外のものの栄養価値も大変高く、ご参考までに別表をお示し致します。

副生物をご存知ですか

私達が食べている肉料理の中で、ステーキばかりが高級な料理だと、思い込んでいるようなことはないでしょうか。ここで一度副生物を見なおしてみ下さい。

●副生物って何?! 耳なれない言葉ですが、牛や豚の内臓類のことを畜産副生物と呼んでいきます。その主なものには、レバー・キモ(肝臓)タン(舌)ハツ・ココロ(心臓)ハラミ(横膈膜)テール(尾)シマチョウ(大腸)ヒモ・ホソ(小腸)などがあげられます。なかには食卓ではなじみのないものもあるので、「ギョッ」とするむきもありますが、欧米諸国ではVariety MeatとかFancy Meatと呼ばれ、たいへん親しまれています。フランス料理には、これらを素材にした最高級な料理がいくつもあり、食通の高い評価をうけています。また中国料理、焼肉料理などにも、欠かすことのできない一皿になっています。

●栄養成分に富む副生物 ロース肉やヒレ肉などの普通の肉類と同じように副生物もタンパク質が主な成分です。ものによっては、ビタミンやミネラルなど、普通の肉よりもはるかに多く含んでいるものもあり、栄養食品と呼んでもさしつかえありません。育ち盛りのお子さんの成長促進に、女性、特に産前産後の方の栄養補給に、十二分に利用していただきたい食品です。気がかりなコレステロールについても、心配は不要です。栄養成分が豊富ならえに、値段も普通の肉よりは安い副生物です。まずは“喰わず嫌い”にならないで、一度召し上がってみて下さい。

●副生物で豊かな食卓を! 副生物は、煮る、焼く、揚げるをはじめ、炒める、ゆでるまで、素材の持ち味を生かした調理方法で、バラエティに富んだ味覚を楽しめます。また圧力ナベやクックポットなどを使うことによって、じっくり煮込む料理も手軽に作れるようになりました。工夫しだいでは、高級レストランの珍味にひびきする味わいを家庭で作ることも夢ではありません。そのためには、まず下ごしらえが大切です。新鮮なものを選び、血抜きや余分な脂肪、筋などをていねいに取り除いたり、ワインや香味野菜、香辛料などを使って独特のくせをカバーすれば、想像以上においしい、新しい味の発見となるでしょう。元來肉食の歴史が浅い日本では、普通の肉以外に、まだこうした副

生物を食卓に生かす知識も、料理法もよく知られていません。おくれればせながら、まず先入観を捨

て、副生物の栄養価値を知り、じょうずに使って得意料理のレパートリーを広げてみて下さい。

部位	成分	水分 %	クタン質 %	脂質 %	灰分 %	糖質 %	シカウムル mg	リナウムト mg	リン mg	鉄 mg	ギエネール K J	ビタミン		
												A I.U	B ₁ mg	B ₂ mg
牛	レバー	71.5	19.6	3.7	1.5	3.7	5	55	330	4.0	548	40,000	0.22	3.00
	タタ	62.1	15.2	21.7	0.9	0.1	5	60	140	2.5	1,092	37	0.12	0.30
	ハツ・ココロ	74.8	16.5	7.6	1.0	0.1	5	70	170	3.3	582	30	0.42	0.90
	胃腸	64.5	12.6	22.1	0.7	0.1	10	55	120	1.7	1,063	+	0.08	0.22
豚	レバー	72.0	20.4	3.4	1.7	2.5	5	55	340	13.0	531	43,000	0.34	3.60
	タタ	66.7	15.9	16.3	1.0	0.1	8	80	160	2.3	900	23	0.37	0.45
	ハツ・ココロ	75.7	16.2	7.0	1.0	0.1	5	80	170	3.5	556	30	0.38	0.95
	胃腸	61.7	10.5	27.2	0.6	+	12	75	95	5.0	1,213	33	0.04	0.32

科学技術庁資源調査会「三訂補日本食品標準成分表」による。

最近の生命保険

福島三郎君



1. 日本海中部地震の支払い

- 全生保で43名、5億3,800万円。内、日本生命で16名、2億5,230万円。
- 今回の死者・行方不明者は102名(除・外人)で加入率は、42.6%

- 1人当たり1,252万円(内災害分382万円)
- 平均年齢 39才

2. 保険の加入状況と特徴

(生命保険文化センターの調べから)

① 生命保険の加入率

	世帯加入率			世帯主加入率			妻の加入率	
	前々回(51年)	前回(54年)	今回(57年)	前々回(51年)	前回(54年)	今回(57年)	前回(54年)	今回(57年)
全生保	89.6%	90.5%	92.3%	84.6%	84.9%	86.6%	43.7%	51.7%
民保	75.0	75.4	77.8	68.8	68.6	70.2	27.5	33.1
簡保	46.2	48.2	50.8	33.0	32.7	29.4	16.1	21.5
農協	18.1	17.8	18.2	14.0	13.3	12.6	5.4	6.9

② 生命保険の年間払込保険料(一戸帯当り)

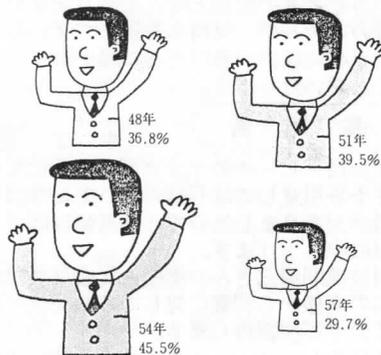
	前々回(51年)	前回(54年)	今回(57年)	
			前回比	前回比
全生保	18.8 冊	25.2 冊	1.34 倍	1.31 倍
民保	15.5	19.7	1.27	1.25
簡保	8.2	12.0	1.46	1.38
農協	10.5	13.1	1.25	1.29

③ 生命保険の加入金額

		前々回(51年)	前回(54年)	今回(57年)
		前回比	前回比	前回比
満期保険金	全生保	406 冊	457 冊	1.13 倍
	民保	344	373	1.08
	簡保	149	180	1.21
	農保	256	270	1.05
普通死亡保険金	全生保	959 冊	1,360 冊	1.42 倍
	民保	874	1,244	1.42
	簡保	228	300	1.32
	農保	614	885	1.44
災害死亡保険金	全生保	1,716 冊	2,316 冊	1.35 倍
	民保	1,561	2,143	1.37
	簡保	426	504	1.18
	農保	1,103	1,441	1.31

④ 加入金額に対する充足感

現在の加入金額で十分という人



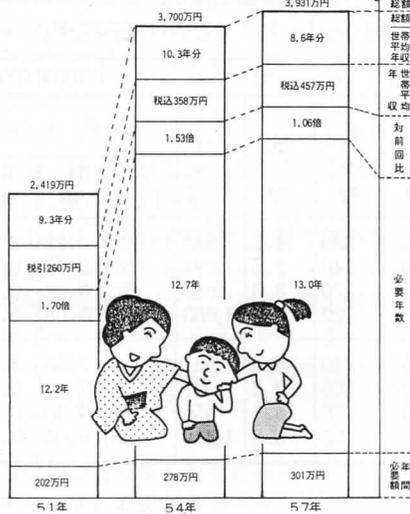
⑤ 支出可能と考える保険料は年額33万8千円(一戸帯当り)



⑦ 世帯全生保加入金額(満期、普通死亡、災害死亡)および年間払込保険料の対年収比率<平均>

	今回			保年間払込
	加入金額	満期	普通死亡	
全国	年分 1.5	年分 4.4	年分 7.2	% 7.4

⑥ 万一の場合に必要なと考える家族の生活資金



ごあいさつ



東京北.R.C.
旅河正美君
暫くぶりで鶴岡R.C.に出席させていただきます。昨年の年次大会では参加クラブ代表として挨拶する光栄に浴しました。先週の火曜日は、シンガポールのラッフェلزシティR.C.に出席し、その前後10日間位ボルネオで過ごして参りました。今年3月に高校3年の子

供を亡くし、どうしてもあきらめきれず、ボルネオの地元の方が死者の聖地と呼んでおりますキナバル山の中腹のホテルで、気持ちを鎮めてまいりました。このクラブには、いろいろとご縁があり、どうぞよろしく願ひ致します。

会長報告

中江亮君

- 本日は会員スピーチのプログラムを消化するため時間を十分用意してほしいと云う庄司委員長さんのご指示がありましたので、会長報告は2・3だけ簡単に申し上げます。
- 元会員故風間慶三さんの奥様と元会員故早坂源四郎さんの奥様から葬儀に対してのお礼状が届いていますのでご披露致します。
- 次にすばらしいニュースをお知らせ致します。兼ねて佐藤順治出席委員長さんから皆様にクラブ創立24周年を記念してクラブ創立以来未だかつて達成されなかった100%例会出席を呼びかけたところ、皆様のご理解とご協力を得て無事達成された事であります。出席委員会の皆さん、すばらしい記録を作られた事に対しお礼を申し上げます。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 会報到着 鶴岡西R.C.
2. 例会変更のお知らせ 鶴岡西R.C.6月24日(金)の例会は最終例会の

⑧ 加入したい保険種類

回答数	万一の場合の保障に重点を置いたり、災害・事故にそなえるもの	病気や怪我の治療や入院にそなえるもの	保障と貯蓄をかねたもの	老後の生活資金の準備に重点を置いたもの	子供の教育や結婚資金の準備に重点を置いたもの	土地・家屋の所得、建築の融資が受けられるもの	貯蓄に重点を置いたもの	わからない
全国 1,322	33.6%	19.0%	24.1%	13.8%	4.8%	0.9%	2.0%	1.9%

以上①～⑧の実態調査状況となっております。特徴としましては、

- ① 3件に1件は前の契約を下取りして加入
 - ② その際、入院、手術等の見舞金の給付特約をつける
 - ③ 保障と老後の資金準備の為の「終身保険」が約40%の販売高となっている。
- というような傾向が出ております。

ため下記の通り変更致します。

日時 6月24日(金) 午後4時
場所 竹屋ホテル
登録料 4,000円

鶴岡R.C.6月28日の例会は最終例会のため下記の通り変更致します。

日時 6月28日(火) 午後6時
場所 産業会館5階ホール

3. 新会員の推薦に関する氏名発表 白坂 久(日本交通公社鶴岡支店長) 旅行幹旋
4. ユネスコ新聞、R.I.第252地区1982～83年度年次大会記録、日本と中国到着。
5. 鶴岡田川日中友好協会より総会資料到着
6. R.I.第250地区米山奨学委員長より「米山奨学事業の精神的原点」到着。

ロータリー財団委員会

佐藤 衛君

会員の笹原桂一君と石塚敏彦君より、P.H.準フェローになる為のご寄付をいただいております。お二人の立派なご奉仕に盛大な拍手をお願いします。尚、今年度会員皆様のご協力により、22人のP.H.準フェローが誕生しました。

出席委員会

佐藤 順治君

12年間皆出席 佐藤 順治君

スマイル

旅河正美君 鶴岡R.C.に久し振りに出席して
加藤賢君 次女誕生
佐藤順治君 } 創立記念例会
中江亮君 } 確定出席率100%を祝う
佐藤元伸君 }

ピジター

東京北.R.C. 旅河正美君
余目R.C. 佐々木尚伸君
鶴岡西R.C. 長野正彦君

(今週の担当者 小林 敏夫)



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口徳之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員 75 名 出席 55 名 出席率 73.33% 前回出席率 77.33% 修正出席 68 名 確定出席率 90.67%

会員スピーチ

テレビと精神衛生

佐々木 喆 彦 君



「衣食絶って礼節を知る」という言葉がある。現在の社会状況は、吾が国の長い歴史の中でもかつて経験したことのない程豊かな生活を過しているが、その中で特に青少年の精神の荒廃が指摘され、青少年非行の増加が憂慮すべき状況にあることは御承知の通りであります。

この精神の荒廃は、一体どこに原因があるのか。即現代の人間の精神構成に影響を与えてきたのは何であるかを考えてみたい。

青少年の健全育成は、家族と学校と地域社会のバランスのとれた教育力の協調提携が必要であるとされているが、ここでは主に家庭を中心にその生活に大きな影響を与えているTVの問題を取り上げてみたい。

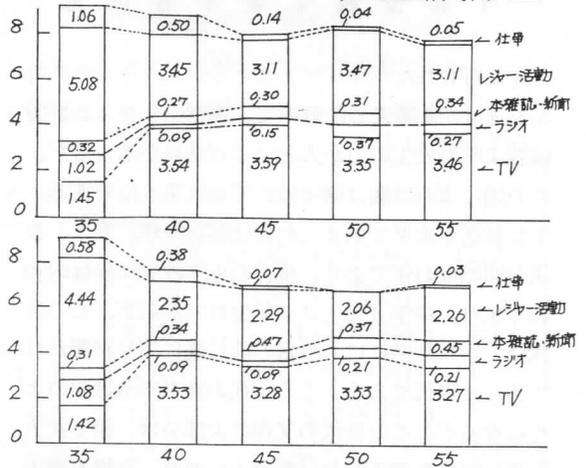
第1図は、昭和35年から5年毎にNHKで調査した生活時間調査である。特徴的なことは、レジャー活動、遊びの時間が少なくなったことであり、更に仕事の時間の著しい減少である。TV視聴の時間はやや減少しているが、生活時間に占める率は大きい。又、ラジオを聞く時間の増加は、深夜のDJのためで、益々増加の傾向にある。

その結果第2図に見られるように起床、就寝時間への影響となって現われてくる。

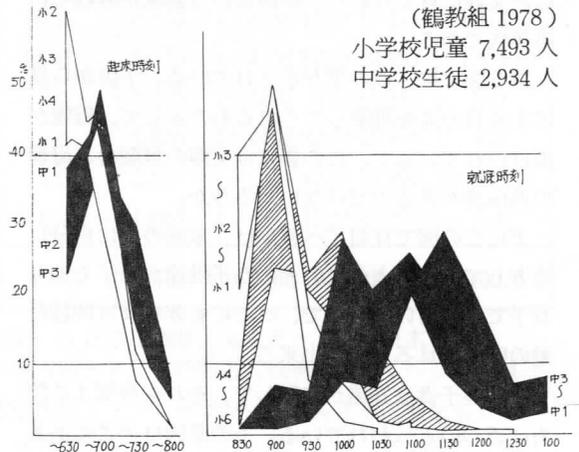
起床時間の図では、小学校と中学校生活との差に注目していただきたい。更に就寝時間では、中学生

においてその差が顕著になる。その結果中学生の20%に及ぶ生徒が朝食抜きで登校する結果となる。TV、ラジオの存在は青少年の精神の構成に大きな影響を及ぼしている。

1 図 10~15才の日曜日の生活時間 (NHK生活時間調査)

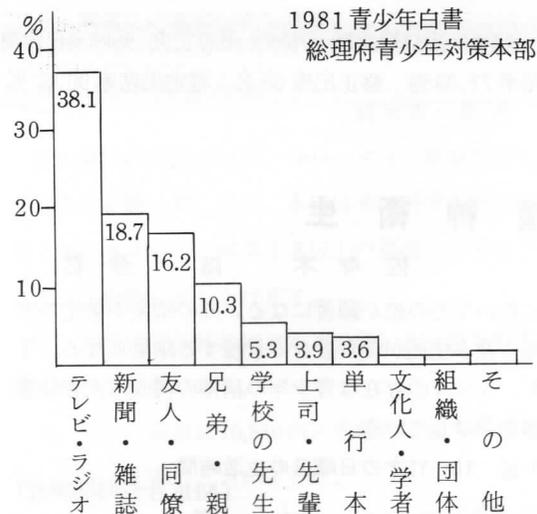


2 図 鶴岡市内小中学校生活環境調査



第3図をご覧ください。青少年の意識、物事の考え方に影響を与えているものの第1位はTV・ラジオである。

3図 青少年の生活と意識（考え方に影響を与えたもの）



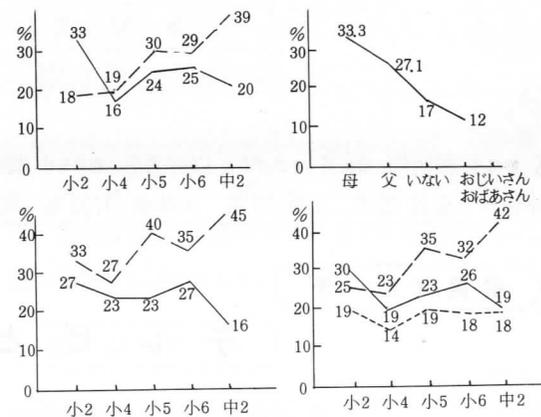
先に行われたパネルディスカッション「少年非行を私達はかく考える」の中で、中学生に与える影響は親よりも先生の方が大きいとの意見があったが、この図によれば親は第4位、先生は第5位である。TV放送が本県で始まったのは昭和34年。カラー放送の開始は41年である。現在の小学校6年生は昭和46年生れ。中学3年生は42年生れであるが、この世代は、生れた時にはもう目の前に既にTVが置かれてあった世代である。この年代の親の年齢は次のようになるが、この世代の父親の大部分は、第2次大戦後に父権を喪失した父親達といわれ、父権を喪失した父親に育てられた子供達という表現がされている年代である。

第5図には、この事が示されている。子供から見てよく自分達を理解してくれるものとして、母親があげられているが、この裏には父親の無関心と母親の過保護があるのではないだろうか。

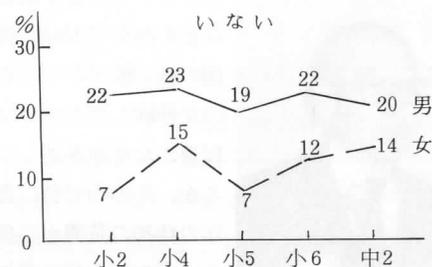
更にこの図で注目すべき点は、家庭の中に自分に味方してくれる人がないという子供達が男子で20%女子で14%もいることで、ここにも非行又は問題行動の関連を見ることが出来る。

現代の子供は知識が先行して、それを理解する能力は乏しいと云われている。その原因はどこにあるのであろうか。“三つ子の魂百まで”という言葉が

5図 家族の中で私に一番味方してくれる人は



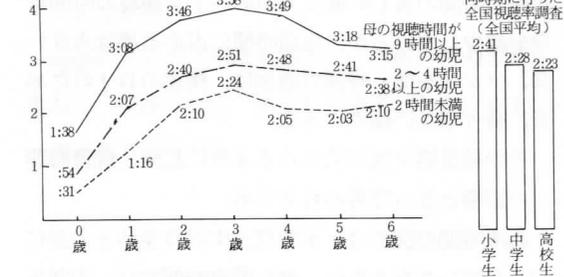
家族の中で味方をしてくれる人がいないと回答したもの



あるが、人格の形成に最も重要な時期は、生れてから3才～5才頃迄といわれているが、この時期の子供と母親のTV視聴を第4図及び第6図に示してある。第4図は母親との関連で、第6図は1日の生活時間の中での時間を表わしている。

昨年北九州市小児保健研究会で、生後2ヶ月で42%の親が、生後3ヶ月で61.6%の親が子供にTVを見せはじめているとの調査結果が報告され、更に授乳中にTVを見せている親は60.8%、乳を飲みながらTVを見ている子供が19.6%もいることも報告された。生後5ヶ月という時期は、幼児が自己主張を見せる第1段階の転換期であるといわれ、この時期

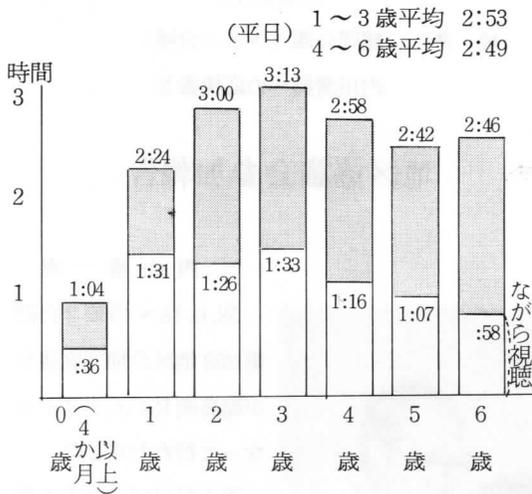
4図 母の視聴の長さ別、幼児の視聴時間（平日）



NHK放送世論調査所調「幼児の生活とテレビ」

6図 幼児のテレビ視聴時間（11月・首都圏）

NHK放送世論調査所「幼児の生活とテレビ」調査



に幼児にもっとも必要なものは、授乳と同時に与えられる母語である。この母語は幼児の精神構成に多くの影響を与えているとすれば、この状態は決して

好ましいものとはいえない。

Bグループにおける提言は、この結果からみて単に小・中学生に及ぼすTVの影響だけではなく、幼児期を含めての問題として取り上げられなければならない。

TVは、精神形成に及ぼす影響だけでなく、健全な肉体を作るべき食生活の面にも影響を及ぼしている。子供が好む食卓の献立はTV、CMの影響が大きい。清涼飲料、スナック食品、レトルト食品等のCMは表1に見られるように、CMの上位を占めている。その結果、勿論この事だけが原因ではないが、子供達の体に変調が見られる事も又、事実である。背柱異常、骨折しやすい子供の多い事、虫歯の多い子供が多い事との関連がないとは云えないのである。

Eグループに於ける指摘は、この事を指しているのではないか。

以上、青少年の健全育成について多くの要因の中から、特に家庭教育に影響を及ぼすものとして、TVをとりあげて考察を行なった次第である。

表1 子どものゴールデンアワーに放映されているテレビ広告（CM）の業種別CM本数・時間量

— 4局1週間合計 —

分類No.	業 種	C M 本 数		放 映 時 間 量	
食 品	1 おやつ・菓子	405本	13.6%	7,605秒（2時間 6分 45秒） 12.9%	
	2 ファースト・フード	278	9.3	5,010 （1時間 23分 30秒） 8.5	
	3 アルコール飲料	128	4.3	2,430 （ 40分 30秒） 4.1	
	4 その他食品	355	11.9	6,510 （1時間 48分 30秒） 11.1	
5	玩 具	185	6.2	3,330 （ 55分 30秒） 5.7	
6	医薬品・健康食品	134	4.5	2,820 （ 47分 ） 4.8	
7	衣類・身装品	87	2.9	2,235 （ 37分 15秒） 3.8	
8	日用雑貨	322	10.8	6,135 （1時間 42分 15秒） 10.4	
9	家電・精密機器	494	16.6	9,270 （2時間 34分 30秒） 15.8	
10	住宅・車・家具	182	6.1	3,975 （1時間 6分 15秒） 6.8	
11	金融・サービス・レジャー産業	210	7.1	5,565 （1時間 32分 45秒） 9.5	
12	番組宣伝・映画・出版物	156	5.3	2,835 （ 47分 15秒） 4.8	
13	その他（農業他）	38	1.4	1,065 （ 17分 45秒） 1.8	
合 計		2,974	100.0	58,785（16時間 19分 45秒） 100.0	

注） 調査期間及び調査対象は、1979年11月18日～24日の1週間、東京キー4局（日本テレビ、TBSテレビ、フジテレビ、テレビ朝日）午後5時～8時の時間帯に放映されたすべてのCM

— FCT子ども向けCM内容分析調査報告No.1「テレビコマーシャルと子どもたち」
（子どものテレビの会発行'80年）より—

会長報告

中江亮君

- 本年度は会員の皆様のご協力をもちまして今日まで漕ぎつけて参りました。心から感謝を致します。愈々6月28日の最終例会だけとなりましたが、当日は例会場と時間を変更して、夜の例会という事になっておりますが、1年間ご苦勞談等でご歓談を願って、1982-83ロータリー年度の鶴岡クラブのご用おさめとしたいと考えていますので、100%例会を再現するお気持ちで、是非全員のご出席をお願い出来ましたら有難いと思います。
- 本日は次期会長及び部門担当理事の地区協議会のご報告がありますので、これから拝聴したいと思います。
- 月信13号の9頁に台中港区姉妹クラブ訪問の私の記事が掲載されておりますので、お読み頂ければ幸いです。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 会報到着 台中港区R.C. 遊佐R.C.
2. R.Y.L.A.のレポートが鶴岡西R.C.より到着
3. 電電公社さんよりテレトピアが到着
4. 日中友好の新聞「日本と中国」が到着
5. 例会変更のお知らせ
温海R.C.
日時 6月27日(月) 点鐘 18時
場所 越後屋旅館
尚、17時より熊野神社の清掃作業を行なった後
登録料 2,000円
6. 立川町観光協会・最上川夏まつり実行委員会より、「ミス最上川」の推薦依頼が参っております。
7. 鶴岡「小さな親切の会」より鶴岡公園の清掃奉仕への協力お願いについて
日時 58年7月10日(日)

午前7時より9時まで

(小雨決行)

場所 鶴岡公園(メイン会場)

内川清掃への応援参加

地区協議会参加報告

内山喜一君

58.6.18~19の2日間

第253地区の地区協議会が福島南R.C.のホストとなって行われました。

第1日目は、ホテル辰巳屋に於て次年度分区代理会長幹事会が開催され田中ガバナーエレクトの



国際会議に於る体験談に深く感動を受けました。

また、ターゲットの“みんなにロータリー みんなに奉仕を”の解説には、次年度の意欲的な活動を示唆されたものと感銘を受けました。

第2日目、19日は本会議場を福島県文化センター分科会を桜の丘短大、緑ヶ丘学園の2校に当てまして、石黒ガバナーの挨拶、田中ガバナーエレクトのともに「奉仕する我々の年度」と題した講演があり、午後の部は3つの会場にそれぞれ分かれて分科会が開催されました。午後3時再び本会場に集まりまして、分科会の報告があり、石黒ガバナーから大会の所感、田中ガバナーエレクトより謝辞、次いで次期開催ホストクラブ、山形南R.C.会長の挨拶がありまして、大会を終了しました。尚、大会の詳細については、今ここで申し上げると長くなりますので会報をもってご案内申し上げます。

クラブ奉仕担当理事 佐藤順治君

次期クラブ奉仕担当理事として、地区協議会に出席し、桜の聖母短大の会場の分科会に於て、

リーダー ガバナーノミニー 斎藤利世(山形)
副リーダー 県北分区代理 石森健三郎(福島南)
ク 置賜分区代理 佐藤幸雄(白鷹)
ク 次期ロータリーの友小委員会委員長
脇屋隆治(福島)

により、午前(11.00~12.30)はリーダー、副リーダーよりお話があり、午後(13.00~14.30)は質疑応答でした。午前、

1. 斎藤リーダー

・クラブ奉仕の数多い各委員会を関連ある委員会毎の小グループに分け、緊密な連絡をとりながら計画を実行してはどうか。

イ. 会員増強・会員選考・職業分類・ロータリー情報

ロ. 出席・親睦・S.A.A.プログラム

ハ. 広報・会報

2. 石森副リーダー

・会員増強について

商売している場合、全然セールスをしないで売り上げが20%位減少する。それで年間20%以上の得意先を開拓しなければ駄目になってしまう。ロータリーもまた同じように、会員を増強しないと年間8%~10%位減少する。例えば50名のクラブであれば、4~5人位が自然減となるので、それ以上の増強をしなければいけないことになる。

3. 佐藤副リーダー

・出席率について

近年不況のためか欠席が多くなっているが、そもそもロータリーの初めは、不況を乗り切るということを目的として出来たものである。

ロータリーは職業別の集団であるから、会員名簿を利用し、メイクをしながら商売も出来るのではないかと思う。出席率も85%以上であればまずまずではないだろうか。

4. 脇屋副リーダー

イ. 広報について

活氣的に充実を図る

ロ. ロータリーの友について

過日ロータリーの友についてアンケートをお願いしたのですが、76クラブ中35クラブ位からしか回答がなかった。その内容細部については後日各クラブに送付する予定である。

午後(13.00~14.30) 午前中のことなど質疑応答

1. 会員増強で福島南R.C.は30名から50名にした秘話はどうかとの質問に対して、福島の南地区は発展地であり、キャノン、松下電器など中央の大企業が進出倍増しており、根気よく頼みこんだためと思われる。又、地の利を活用したとも云えるのではないか。

2. 出席率85%以上であればよいのかとの間に対し、地区全体としては他地区より少しでも高くしたいのが人情であり、100%にならなくとも成る可く高くなるよう奨励している。又、仮に除名に値する出席率であっても、いちまつの望みがあれば、友愛、親睦をもって除名を成すべきでないし、又逆に全く希望がないならば、除名するのも止むを得ないと思う。

3. 1クラブの会員数はどの位が適当かとの間に対し、場所などの問題もあり、回答出来ない。

(地区 76クラブ3,619人 1クラブ当47.61人)

4. 山形西クラブ現在90名で、次年度は100名を目標に増強したいと言っているが、人口対比についてはどうかとの間に対し、何等関係がないと思う。

5. 無届欠席の為食事が無駄になるが、どうすれば良いかとの間に対し、余目クラブの回答で、例会の前日、全会員に電話連絡して出欠を確める為、大変効果を挙げている由。

6. リーダーの助言

プログラムの編成については、分区代理にスピーカーの斡旋を依頼するのも良いと思う。

7. ロータリーの友に投稿しても、掲載するか、し

ないか返事がないのはどうしたのかとの間に対し
今後は必ず返事を出す。尚、投稿する場合は、必
ずガバナー事務所を通してもらいたい。

以上、簡単にご報告いたします。

米山奨学会委員会

鈴木弥一郎 君

米山奨学会委員会より、今ロータリー年度最後の
ご協力をお願い致します。本日は米山奨学会募金の
日でありますので、何卒1\$以上の募金をお寄せ下
さるようお願い申し上げます。

尚、本年度は会員の皆さんより厚いご支援を戴き
厚く御礼申し上げます。

又、本日の募金は16,810円と多額のご協力を戴き
まして誠に有難うございました。

スマイル

青少年委員会、ローターアクト、インターアクト
の合同委員会の反省会会費の残金について、三井徹
君、藤川享胤君、中田敏和君、秋野忠君、手塚林治
君、若生恒吉君の各委員よりスマイルを戴きました。
誠に有難うございました。

ビジター

余目R.C. 佐々木尚伸 君
温海R.C. 佐藤五右エ門君・阿部一太君
鶴岡西R.C. 井上 彬君・児玉光弥君
佐藤成生君・佐藤 拡君
(今週の担当者 松田 貞夫)

職 場 紹 介

社 名 庄内交通株式会社
資本金 2億4千万円
代表者 社長 友野 重 也
専務 本 山 嗣

当社は、昭和18年10月1日、太平洋戦争のさなか
地方陸運事業の一元化という時局の要請に即応し、
5会社統合による、資本金150万円をもって設立さ
れたものであり、本年は創業40周年目にあたる。

現在、従業員数780余名により、一般乗合旅客事
業を中心に、貸切旅客事業、自動車道事業、ビル事
業、広告事業、ガソリンスタンド事業などを展開し
ている。

関連会社は、本年2社を加え合計12社となり、従
業員の総数は1,300名を超える。

当社の、また当社関連会社グループの基本理念は

「地域社会とのより密接な連帯」にあり、「積極的
な地域開発と生活提案型事業の推進」を実践テーマ
にしての地域社会発展への貢献を使命と考えている。

多角的な事業展開にあたり、社員には、すべての
事業が本業となることの意識を植え付け、とりわけ
当社グループの事業は、ほとんどがサービス業であ
ることから、社員1人ひとりが地域の人々、利用者
との対話を進め、そこから生れる信頼関係の中で、
精一杯のサービス・奉仕を続けてゆくことを働きが
いとさせ、日々の努力を続けさせている。

交通とは、もはや時間的短縮にのみ機能するの
ではなく、近未来の社会を作りあげるであろう情報伝
達にも機能してゆくことを認識し、今後とも創立工
夫を進めながら、地域社会発展の事業を続けていき
たいと考える。

地域の人々のご指導を礎に、不断の努力を積み
重ねて、信頼される、愛される企業にしていきたい
と考えるものである。



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員75名 出席65名 出席率86.67% 前回出席率73.33% 修正出席71名 確定出席率94.67%

第24代中江亮会長退任挨拶



会長の任務を離れるに際しこの1年を省りみて、私の所感を申し上げ、最終報告と致したいと存じます。

向笠R.I会長の“人類はひとつ”のターゲットを受けて、世界中のロータリアンは至る

処で友情の橋をかける奉仕活動をされてきたと思いますが、私達鶴岡クラブにとりましては、今年は奉仕のしかいと、手ごたえのあった年度と思います。それは、とりもなおさず私達のクラブから地区ガバナーを出したという責任感と、ホストクラブとしての使命感からきた賜であろうかと思ひます。

二度目の試練は、私達に与えられた総合奉仕のチャンスでもありましたが、我々は過去の経験を生かして強い連帯で地区年次大会のホスト役を務め、大会を成功に導いたのであります。この時私は鶴岡クラブは力のある、貯えのあるすばらしいクラブであると認識を新たにさせられました。

それは、経験豊かな諸先輩の厚い断層と無限の若き力を秘めておられる若い会員の献身的な行動が、1本の強い絆に結ばれたからであります。

R.I.会長代理英子珊ご夫妻を初め、海外からも多くの姉妹クラブロータリアンが参加された事は、R.I.向笠会長が強調される友情のかけ橋となったかとも考えています。

向笠会長の言われるターゲットの友情が、外へ向けてのものであるならば、内なる親睦はクラブ活動

にとりまして欠くことの出来ない原動力であり“泉”であり、豊かな常識と相俟って、計画の遂行の道程に於て常に和を優先させたつもりでありました。

扱て、年度の前半期はクラブのエネルギーが年次大会に注がれていましたので、プランの達成が大巾に遅れ、気がついた時は既に遅く、X'masの鐘が鳴り、正月も過ぎた1月18日の公式訪問の時でありました。ホストクラブとして満足な手土産も持たずに石黒ガバナーの前に出る事は辛い思いでありました。“計画は必ず達成します”と心臓強くお答えしましたものの、会員増強はそのとき“ゼロ”でありました。あせる心を抑えながら、各委員長さんのお力によって懸命の追い上げを試みた結果、ほのかな明りと自信を抱くようになり、安堵の胸をなでおろしたところへ、3月24日鹿児島西R.C.創立記念式典、5月10日には同じく12周年式典で台中港区R.C.を訪問するためにクラブを離れた時の心境は、本当にやりきれないものがありました。

以下その後の成果についてご報告したいと存じますが、全委員会の計画の平均的な達成などは、とても不可能であり、1年間の中では無理と考えましたので、部門別のバランスをとる事を心掛けたのであります。その結果は、何れ活動計画書をご覧頂くことにしまして、本日はその中から注目すべきものについてのみ申し上げます。

○先づ最初に今年度中に新しい会員が12名入会されたこととあります。この方々は職業分類上でも、社会的にも立派な一城の主ばかりで、私はこの年

庄内空港の建設を推進しましょう

度にこのような素晴らしい素材を仕入れる事が出来たことを誇りに思い、推薦者に感謝致しております。この上はクラブの資産勘定に入れ次期に繰越して大事にしたいと思います。

しかしながらこの華かな反面、古き良き時代の先達であられた、斎藤栄作さん、風間慶三さん、そしてパストガバナーの早坂源四郎さんが他界されたことは誠に残念であり、寂しい思い出となっております。

- 次に歴代必ず取り上げられ改善を要望されてきた例会場の食事や雰囲気作りであります。石川委員長をはじめS.A.A.の方々が心を砕いてのご努力は、私が申すまでもなく、会員の皆さんが感謝と共に高く評価して戴けるものと思います。S.A.A.さんはこわい方が良いかも知れません。
- 更に私が是非ともお願いしたのが、新しい会員に対するロータリー情報の研修でありましたが、小池委員長以下の委員のご努力で3回実施され、その何れもがファイヤーサイド方式で研修に夢中の余り、予定の時間を大きく食いつぶす程の勉強ぶりでありましたが、本当に委員会の魅力の成果と感謝致しております。
- 青少年部門について申し上げますが、当初から私の意図は、インターアクト、ローターアクト、青少年の3委員会には共通の問題点が多いので、委員長にはすべて若い会員をあて、かなめとして弁護士であり、青少年問題に関心を持っておられる津田さんをお願いしたのであります。I.C.の指導者講習会、R.A.C.の10周年行事、R.Y.L.A.の研修、教育関係者等3回のスピーチを経て、4月に入ってから3週連続のプログラムを組んで実施された、パネルディスカッションの成果の特集がクラブ内外に好評を呼び、地区の関係委員会から資料の提供を求められたほどでした。これを土台として今後具体的な奉仕活動が行われる事を期待したいと思います。
- 国際奉仕部門では、新穂恵さんの交換派遣の決定ベトナム難民の救助寄附、米山の募金等著しい活動の足跡を残されましたが、なかんずく財団では

佐藤委員長を中心に委員会のめざましい活躍により、P.H.4名、P.H.S.23名という、地区では最高の成績を挙げられました。本当にむずかしい仕事でありましたが、ご努力に敬意を表します。

- 職業奉仕部門は担当者が地区の役員を兼ねておられたせいもあり、平常の活動程度に終わりましたが、
- 社会奉仕部門に於ては、新設の社会環境委を中心に、数多くの新しいテストに成功しました。
- 会報の内容は、本年度の行事を反映して記事も豊富で、クラブ記録資料の価値としてすぐれ、又担当者の編集の特長がにじみ出て、スマートで比類のない立派なものと思います。
- 出席は依然として古い伝統を守り続けて、今年度も92%程度になるかと思いますが、6月9日の創立記念日の6月7日の例会には100%のクラブ記録を作ったことは思い出になり、又これから出席率向上の足がかりとなると期待したいものであります。
- 今年は更に姉妹クラブとの往来があり、年次大会にわざわざご参加下さった鹿児島西R.C.には、3月24日の創立20周年記念式典に8名が参加、また5月10日の台中港区R.C.創立12周年記念式典には7名がお祝いに行き参りました。

以上、荒削りに申し上げましたが、私が1年間の会長在任中、皆さんの負託に充分にお応え出来なかった事を深くお詫び致し、大過なく過すことが出来た事は、理事、役員を初め会員の皆さんと、山下さんのご協力のお陰に依ることは、論を俟たないが、“誠心誠意”クラブの仕事を忠実に処理され、1年間例会を殆ど休まずにご協力下さった、有能な佐藤元伸幹事の力強い支えの賜であったと、心から厚くお礼を申し上げたいと存じます。

この報告を持ちまして、私の会長退任のご挨拶と致します。皆様有難うございました。

佐藤元伸幹事退任挨拶

会長さんを始め会員の皆様方のご指導により、何とか無事に幹事を努める事が出来ました。心からお



礼申し上げます。

私の場合は、前幹事さんのあたたかいご友情により、見習い期間を充分取って頂いたので、本番の方へスムーズに入る事が出来ました。本来ならば幹事として当然やらなければ

ならない仕事の大部分を、山下さんにお手伝い頂きました。本当に有難うございました。彼女と1年間おつき合い頂きましたが、彼女には何んとお礼を申し上げるべきか、仮に将来女性会員がロータリーに入会出来る事になりましたら、第1番に推薦致したいと考えております。

各担当の委員長さんや、委員の方々に私がいたらないばかりに大変ご迷惑をおかけしたことも多々あったと思いますが、その分はまだロータリーをやめるわけではありませんので、時間をかけて少しずつでもお返ししていきたいと思っておりますので、宜しくお願ひ申し上げます。

幹事をやらさせていただいて、特に感じた事なのですが、当クラブは本当にすばらしいクラブだと思います。他クラブの幹事さん方からいろいろ話を聞きますと、特に当クラブの良さがわかってきました。昨年来、大先輩の斎藤得四郎さん、斎藤栄作さん、風間慶三さん、早坂源四郎さんと次々にお亡くなりになりましたが、私にとっては親睦会やその他の酒の席等で、ロータリーの事や、それ以外の人間として、ロータリーや仕事に関する心構え等含めて教えて戴いたと考えております。今後も会員の皆様方から、いろいろ教えて戴きながら、ふれあいを大事にしていきたいと考えております。

本当に1年間お世話になり有難うございました。

幹 事 報 告

佐藤元伸君

1. 例会変更のお知らせ

○酒田R.C. 6月29日(水)の例会は年度末懇親会の為

日 時 6月29日(水) 18:00

場 所 ホテル リッチ酒田

会 費 2,000 円

○酒田東R.C. 7月7日(木) 3:00 ~
湯の浜 宮嶋

○立川R.C. 6月30日(木)の例会は創立記念
例会の為

日 時 6月30日(木) 18:30

場 所 庄内ドライブイン

登録料 4,000 円

2. 特別養護老人ホーム しおん荘増築工事

竣工式典並に祝賀会への招待状が参っております。

日 時 7月5日(火)

3. 市民憲章制定20周年記念行事に係る表彰のご推薦の依頼について

4. 新入会員の紹介

白坂 久君(日本交通公社鶴岡支店長)

ガバナー事務所スタッフより

小松 広穂 君

私達6名あと2日を残して任期を終ろうとしております。何も解らない私共でしたが、石黒ガバナーのご懇篤なるご指導によりまして、一糸乱れぬと申しても過言ではないと思っておりますが、私の指図通りに5人の方に動いて頂きまして、とどこおりなく、大過なく任務を終えようと致しております。これ一重にホストクラブの皆様のご友情の賜と厚くお礼申し上げます。

特に地区大会におきましては、事務局のスタッフとしてお手伝いもしないのに、あのような見事な地区大会が演出され、他の参加ロータリアンより絶賛をばくしたというようなことにつきましては、ああすれば良かった、こうすれば良かったという気持ちが一杯です。

又、ガバナーが病気で倒れ、2度に亘って公式訪問延期ということがあった際も、先生の遠方の送迎は私共でやろうではないかと言葉をかけてくれた方も数名おり、ご友情に対し私として感激したことが、昨日のように思い出されます。

この1年間、皆様から寄せられましたご友情と励

ましの言葉によりまして、無事終る事が出来ました
ことを厚くお礼申し上げます。

一同を代表致しましてスマイルさせていただきます。

N.B.市リンチ市長歓迎について

三井 徹 君

来月29日、N.B.市リンチ市長が盟約締結20年を記念して、鶴岡を公式訪問されることとなりました。

種々歓迎の準備を致しますが、私共R.C.がこの両市の盟約について、初めからかかわりを持っておりました。初代の当R.C.の小花会長がN.B.へ参り盟約が出来たのでございます。当時の松木市長との間にその計画をご相談されたようですが、色々調べてみますと、小花先生の方から熱意あるアイデアが出たのではないかと考えられます。

高木三郎さんの実績があったことが基となっているわけですが、この他に小花先生が当時結核が非常に猛威を奮っていた時代で、結核の治療薬のストレスマイシンを開発されたワックスマン博士が、N.B.市のラトガース大学内の微生物研究所で活躍されておられ、そのワックスマン博士に対する小花先生の敬慕の念が非常に強くて、これらのことが盟約の原動力となったのではないかと考えられます。

盟約当時は色々与交流もあったのですが、その後だんだんと交流がうすれ、ここ10年余り交流がありませんでしたが、昨年あたりから交流の兆しがみられまして、去年は当市の市長がN.B.市を訪問し、今度はN.B.市の市長が参ることになりました。

N.B.市長の歓迎のプログラムも追々出来上ると思いますが、どうぞ全面的に盛り上げて頂きたいと思っております。

殊に30日の友好協会主催の晩餐会を第1インで予定しておりますので、これにはロータリアンの方々ご夫人同伴で多数ご参加願いたいと思っております。

ロータリー財団委員会

佐藤 衛 君

先程は中江会長さんよりお誉の言葉を賜り大変恐縮致しております。これも会員の皆様のご協力の賜と厚くお礼申し上げます。

この度、会員の嶺岸光吉さんが、従来のP.H.準フェローでありましたが、差額のご寄附を頂きましてP.H.フェローになりました。

又、会員の諸橋政積さんが、P.H.準フェローになれるご寄附を頂戴致しております。ご両人のご奉仕に対して盛大な拍手をお願い致します。

鶴岡 R. C. 最終例会での謝辞

石黒 慶之助 ガバナー

私は人生70年の間、このような多忙な、しかも充実した日々を送ったことはありません。初めより毀誉褒貶にこだわらず、唯々誠実に力一杯やるだけと覚悟を定めて向ったのですが、それですら能力の限界を越えるような、あとからあとからと押し寄せてくる仕事量に悩みながら、無我無中で過したと言つてよいと思っております。

ロータリー手帖に自らを制御し、ロータリーに専念するよう、いましめというか、信条というかを記入し、困難に遭遇すればこれを読み、冷静さを取り戻すよう心掛けて参りました。更に不慮の発病で皆様に大変ご心配をかけましたが、私自身はそんなに



皆様に大変お世話になった向笠年度も明後日で終わります。今から3年前G.N.に就任して以来、小松、嶺岸、新穂、中江と4代の長い会長年度に亘り、皆様の想いやりあるご支援によりやっとここまで参りました。

愚直そのものの風庸な私を、重責あるガバナーにご推挙いただき、全面的にご支援下さいました。長い間よくぞ最後までご支援下さいました。心から厚くお礼申し上げます。

目録

一 国旗

旗幟、三才剣、三脚台付

国名 日本、アメリカ

オーストラリア、カナダ

中華民国、大韓民国

フィリピン、マレーシア

一 収納ケース 四箱

右の品R・C・O・五三地区ガバナー

在任記念として寄贈致します。

昭和五十八年六月二十八日

石黒慶之助

鶴岡ロタリクラブ 殿

苦しまず、与えられた任務への支障のみを案じ、ロータリーの停滞を恐れました。

皆様はこの不甲斐ないガバナーを善意に満ちた暖かい友情をもって最後までご支援下さいました。今ガバナーの任期を終えようとする時、感謝の気持ちで一杯であり、充ち足りた満足感に浸っております。

私は本当に幸せな奴だなあノと思っております。その幸せは、

- (1) ホストクラブの全面的な支援—歴代の会長が先頭に立って私の行動に総力をあげてご援助下さいました。ガバナーとしての活動の根源
- (2) ガバナー事務所スタッフの終始変らぬ支援 (家族ぐるみ) (小松地区幹事引き出したのは大成功でした。スタッフは常に幹事を中心に頑張りました)
- (3) 分区代理の協力一致した支援 (10人の方々が私の方針を傘下のクラブに伝達するよう真剣になってくれた)
- (4) 私が主催した会合は全て晴天、事故者なし
- (5) わが地区の先輩ガバナー及びノミニーも私の意見を援助され、善意と寛容をもって協力して下さいました。

過去に於て、こんなに恵まれたガバナーは少なかったと思います。

これ一重にホストクラブ全員の暖かいご支援の賜であり、私に、ことに皆様に満腔の感謝を心から捧げます。皆様のご好意に対し物をもって感謝することは不可能です。しかし私の心のほんの一部として大会の剰余金より、登録料を除いた分をクラブへ還元したいと考えております。

○国旗の贈呈

クラブの国際性を更に尊重するため、私個人でホストクラブへ8ヶ国の国旗をお贈りいたします。所有権は鶴岡R.C.で保存願ひ、必要に応じ庄内分区各R.C.へもお貸し下さい。

田中ガバナーの訪問の時にも使用して頂ければ幸せと思います。

私が地区の任務中、夢中になっている間、斎藤得四郎、斎藤栄作、風間慶三、早坂源四郎の各氏がお亡くなりになられ、残念至極と思っております。しかし前途を嘱望される新会員が沢山入会された喜びを知りました。

善意に対する信頼を失えば、世の中は暗黒となる。任期終了後は皆様と共に会員の一員として奉仕の機会を与えて下さるようお願い致します。

クラブの進歩発達に最も害するものは、青年の過失でなく、老人の跋扈であることを心して、皆様と共にロータリーを楽しんで参りたいと自戒してまいりたいと思います。本当に有難うございました。

石黒ガバナー謝辞

会長 中江 亮君

石黒先生、1年間の大任本当にご苦勞様ございました。さぞかしお疲れの事とお察し致します。

昨年7月1日めでたくガバナーにご就任され、地区協議会年次大会という大行事を主催されたほか、76クラブの公式訪問という超人的なハードスケジュールを全うされ、更に国内、国外へとロータリーのため東奔西走せられ、この間には突然のご病氣、ホストクラブ会員一同非常にご心配申し上げましたが無事ご病氣を克服され、地区クラブへのご指導を続けられました事、私共一同心からお喜び申し上げます。

肩のこらない親しみ易いガバナーの定祥が地区内に拡まったところで無事その任期を終えられようとするとき、私達会員はクラブの名誉であり、誇りである石黒先生のご指導に感謝すると共に、今後共

体に気をつけられてロータリーの為一層のご指導をお願い申し上げてお礼の言葉と致します。

亦、本日石黒先生からは高価な万国旗を当クラブに寄贈して戴き、大事に致したいと存じます。

当クラブからも、会員一同の気持ちとして記念品をお贈りいたします。

任期満了の会長、幹事へ謝辞

石黒慶之助ガバナー

中江亮会長、佐藤元伸幹事、1年間の会務担当、誠にご苦勞様でした。お2人を中心とした鶴岡R.C.の奉仕活動は、目を見張るご活動であり、赫たる行績は長くたたえられると思います。

- 今年にはガバナーを出したので、地区スタッフと大会実行委員会に有能な会員を送り出したため、会長は人事に苦勞されたことと思います。
- クラブの行績を上げようとしても、年次大会の準備で前半は手が出なかったことと思います。
- 年次大会などに出費が多く、臨時会費も取れず、緊縮財政を強いられたと思います。

これら3つの困難を乗り越えられて、僅か実働6ヶ月の間に、次の3つの成功をなしました。

- 地区年次大会の陰の力となったこと。更に会員全員、ご家族にまで奉仕の精神を浸透させたこと。
- クラブの発展、会員増強を最後まで遂行し、優秀な新会員を迎え、又出席率100%例会を出したこと
- 国際奉仕 抜群のロータリー財団の活動で一挙に1,000倍の増となり、更にN.B.市への親交を高め台中港区を始め台湾との交流を深められた。

このような優秀な成績をあげた会長・幹事に心から敬意を表します。

R.I.へ地区内の優秀会長として4名推薦し、その中の1名に、中江亮会長を推しました。

会長、幹事の労をねぎらい、心から盛大な拍手をもって、感謝の意を表したいと思います。

ビ ジ タ ー

鶴岡西R.C. 半田茂弥君

余目R.C. 佐々木尚伸君

(今週の担当者 松田貞夫)

